地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案参照条文

# 目 次

<u>+</u>	内閣府関係)
$\bigcirc$	災害対策基本法(昭和三十六年法律第二百二十三号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\circ$	原子力災害対策特別措置法(平成十一年法律第百五十六号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\bigcirc$	石油コンビナート等災害防止法(昭和五十年法律第八十四号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\circ$	交通安全対策基本法(昭和四十五年法律第百十号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\bigcirc$	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成十八年法律第七十七号)(抄)
$\circ$	児童福祉法(昭和二十二年法律第百六十四号)(抄)
	(こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律(令和四年法律第七十六号)第二条による改
$\circ$	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律(令和元年法律第七号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\circ$	子ども・子育て支援法(平成二十四年法律第六十五号)(抄)
	(こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律(令和四年法律第七十六号)第三十三条によ
$\bigcirc$	学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\bigcirc$	地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4/1	総務省関係)
$\bigcirc$	住民基本台帳法(昭和四十二年法律第八十一号)(抄)
	(デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律(令和三年法律第三十七号)第二十七条による
0	森林法(昭和二十六年法律第二百四十九号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\bigcirc$	農地法(昭和二十七年法律第二百二十九号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\bigcirc$	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和四十五年法律第百三十七号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\circ$	不動産登記法(平成十六年法律第百二十三号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
$\bigcirc$	農地中間管理事業の推進に関する法律(平成二十五年法律第百一号)(抄)
	(農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律(令和四年法律第五十六号)第二条による改正後)・・・

○ 浄化槽法(昭和五十八年法律第四十三号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul><li>都市緑地法(昭和四十八年法律第七十二号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	〇 作業環境測定法(昭和五十年法律第二十八号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○ 社会保険労務士法(昭和四十三年法律第八十九号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	〇 登録免許税法(昭和四十二年法律第三十五号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	〇 都市計画法(昭和四十三年法律第百号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul><li>消防法(昭和二十三年法律第百八十六号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul><li>地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul><li>行政不服審査法(平成二十六年法律第六十八号)(抄)・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律(昭和四十五年法律第二十号)(抄)	<ul><li>○ 建築士法(昭和二十五年法律第二百二号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	律第六十九号)第四条(附則第一条第四号に掲げる規定に限る)による改正後)・・	(脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	〇 建築基準法(昭和二十五年法律第二百一号)(抄)	(国土交通省関係)	(戸籍法の一部を改正する法律(令和元年法律第十七号)による改正後)・・・・・	〇 戸籍法(昭和二十二年法律第二百二十四号)(抄)	(法務省関係)	<ul><li>学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul><li>地方独立行政法人法(平成十五年法律第百十八号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	〇 表題部所有者不明土地の登記及び管理の適正化に関する法律(令和元年法律第十五号	正後)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法の一部を改正する法律(令和	〇 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法(平成三十年法律第四十九号)	○ 森林経営管理法(平成三十年法律第三十五号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
999							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	律第二十号) (		よる改正	の向上に関			改 正					和元年法律第	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	改正する法	年法律第四十	

0		$\circ$	$\bigcirc$	0	0	0	0	$\circ$	0	0	0	$\circ$
第六十九号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	六十九号)第一条による改正後)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(说炭素社会の実現こ資するための書築物のエネルギー肖費生能の向上こ関する去書等の一部を改正する去書(令印四年去建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律(平成二十七年法律第五十三号)(抄)	都市の低炭素化の促進に関する法律(平成二十四年法律第八十四号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15	長期優良住宅の普及の促進に関する法律(平成二十年法律第八十七号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(平成十八年法律第九十一号)(抄)・・・・・・・・・・・・・11	景観法(平成十六年法律第百十号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10	津波防災地域づくりに関する法律(平成二十三年法律第百二十三号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	特定都市河川浸水被害対策法(平成十五年法律第七十七号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	都市再生特別措置法(平成十四年法律第二十二号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・105	住宅の品質確保の促進等に関する法律(平成十一年法律第八十一号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・102	密集市街地における防災街区の整備の促進に関する法律(平成九年法律第四十九号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・10	建築物の耐震改修の促進に関する法律(平成七年法律第百二十三号)(抄)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

### 内 閣 府 関 係

 $\bigcirc$ (罹,災害 害 対 策 基 本 法 (昭 和三十六年 法 律 :第二百二十三号) 抄

災 証 明 書  $\mathcal{O}$ 交 付

第 て「罹 九十条の二 災証 住 家 明書 0) 被 市 害その 町村長 」という。 は、 他当該市 当 該 を交付 町 市 村 町 長 L 村 なけ が 0 定 地 れ  $\otimes$ 域 ば る に ならない。 種 係 類 る 0 災 被害 害 が  $\mathcal{O}$ 発 状 生した場合におい 沢沢を調 査 し、 当 て、 該災害による被害の 当該災害の被災者 程 から 度 を 証 申 請 明 でする書 が あ つたときは、 面 (次項に お 遅 滞

2 門 的 市 な 町 知 村長は、 識 及 び 災害の 経 験を有する職 発生に備 え、 員 0 罹災 育 成 証 当 明 該 書 市  $\mathcal{O}$ 交付に必要 町 村 と他 0) 地 な業務の 方 公 共 4 実 施 体 又 体 は 制  $\mathcal{O}$ 民 間 確 保 0) 寸 を図るため、 体 との 連 携  $\mathcal{O}$ 前 確 項 保  $\mathcal{O}$ 規 そ 定による 0) 他 必 要 な 調 措 査 置 に を 0 講 11 ずる て

よう努 8 な け れ ば なら な

(被災者 台 帳  $\mathcal{O}$ 作 成

九十 施するため必 · 条 の  $\equiv$ 要が 市 町 あ 村長は、 ると認めるときは、 当 該 市 町 村の 地域 被 災 者 に 係る災害が発生した場合に  $\mathcal{O}$ 援護を実施するための基礎とする台帳 おいて、 当該災害の (以下この条及び 被災者の援護を総 次条第 合 項に 的 か お 0 効率的 て 被災 に 実

2 略

台帳」という。

を作成することができる。

 $\bigcirc$ 原 子 力災 害 対 策 特 別 沿 措 置 法 平 成 十 一 年 法 律 第 百 五. 十六 号)

災 害対 策基 本 法  $\mathcal{O}$ 規 定 の読 替え適用 等)

に掲

げ

第 規定 二十八 に ょ ŋ る字句とする。 読 原子 み 替 力災害に えて 適 用 ついての災害対策基 さ れ る場合を含む。 本 法 0)  $\mathcal{O}$ 適用に 次  $\mathcal{O}$ 表 0  $\mathcal{O}$ V) 上 ては、これらの 欄に掲げる規定 規定中同 (石油 コンビナー 表 0 中 欄 に掲げる字句 ト等災害防 止法第三十二条第二 は、 それぞれ同 表 0) 項 下

(略)	読
	み
	替
	え
	る
	規
	定
	読
略)	み
	替
	え
	Ġ
	れ
	る
	字
	句
(略	読
	み
	替
	え
	る
	字
	句

十条の三第一項 第九十条の二第一項及び第二項並びに第九	第九 災害	原子力災害
(略)	(略)	(略)

2~6 (略

 $\bigcirc$ 石 油 コ ン ピ ナ ] 1 等 災 害 防 止 法 昭 和 五. + 年 法 律 第 八 + 兀 号) (抄

災害対策基本法等との関係)

第三十二条 (略)

2 議 協 中 + 0 五. は 第 + 会 条 八 項 石 別 第 都 あ に 同  $\mathcal{O}$ 油 防 条 都 る لح 規 災 中 道 法 道 法 コ 区域に 項に ン 府 府  $\mathcal{O}$ あ 定 第 律 ピ 市 県 県 は る す +  $\mathcal{O}$ 町 防 地 0) る 規 規 ナ 一条第二 村 災 域 都 は 石 定 定 係 地 会 防 道 油 に す  $\vdash$ る災害対 による都 | 議又は る石 域 災 府 都 等災害 コ 県防 一項 中 防 計 ン 道 ・ビナ 災 府 油 画 又は 計 災会議、 県 防 そ 道 策基本法の コ *О* 都 防 ] 府 ン 止 画 県 ピ 災 法 石 1 道 とあ لح 油 会 ナ 等 府 (昭 用 所 災 議 とあ あ 石油 防 ] コ ン 災 規 る る  $\mathcal{O}$  $\vdash$ 和 ピ 協 等  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ コ 本 る Ŧī. 定 は は ナ ン 議 部 숲 防  $\mathcal{O}$ 十  $\mathcal{O}$ 会、 ] ピ 議 は 災 年 適 以 ナ 又 計 石 都  $\vdash$ 法 用 は 律 ] 都 等 石 下 油 道 画 に コ 府 防  $\vdash$ 油 道 第 つ 石 以 とあるの いて ン 県 災 等 コ 府 八 県」 ピ ンビ 防 計 防 油 下 +は、 画 ナ 災 災 コ 兀 と、 石油 号) 슾 本 ナ ン 一議若 と 部 は ] F, 同法第二条第十号中 1 · 等 コンビ  $\vdash$ ナ 同 第三十二条第 と、 防 同 等 法 L 都 第 災 < 法 防 卜 道 ナ 計 は 第 同 災 等 府 六 兀 法 本 防 県 条 1 画 石 第 + 第 部 災 防 1 油 とする。 匹 本部 五. 災会議、 等  $\mathcal{O}$ コ 防 ン 条中 協 項 項に規定 十一条中 ビナ · 「次に 災 議 中 とい 会」 計 「会長」 画 石 と、 油コ う。 0) す 掲 「又は都 とい っる特別: 等 げ 法 とあ るも 防 律 同 ンビナー 又は」 · う。 災 法 0) 第二 規 防 *の* 本 る 道 部  $\mathcal{O}$ 府 定による 災 とあ と、 県 <u>+</u> 区 又 は  $\vdash$ 小地域防 \_ -域 に はこれら 等 「会長若 災害防 条中 と る 都 玉 0 0 災 道 同 11 は 0 L 計 都 府 止 لح 法 て 次に < 道 県 法 あ 第 は、 画 と 第二十 は 防 府 る 災 لح 県 条 本  $\mathcal{O}$ 同 掲 第 法 部 あ 防 숲 げ 同 は 法 長 る 災 議 七 兀 第 る 0 会 条 項  $\mathcal{O}$ 玉

 $\bigcirc$ 通 安 全 対 策 基 本 法 昭 和 兀 + 五. 年 法 律 第 百 + 号) 抄

市町村交通安全計画等)

第 六 条 市 町 村 交通 安全対策会議は、 都 道 府 県交通安全計 画 に . 基 づ き、 市 町 村 交通安全計 画 [を作 成するよう努めるものとする。

# 2 · 3 (略)

4 交通 全 実 市 施 安 町 計 全 村 画に 実 長 施 は、 抵 計 触 画 市 す 町 るものであ لح 村 1 0 う。 区 域  $\overline{\phantom{a}}$ に つては を お 作 け る陸 成 なら する 上 よう努 な 交 通  $\mathcal{O}$  $\otimes$ 安 全に る ŧ 0) 関 とす し、 る。 当 該 ے 年 度に 0) 場 合 お に 1 T お 市 11 て、 町 村 市 が 町 講 ずべ 村 交 き施 通 安 全 策 実 に 関 施 す 計 る 画 は 計 画 都 以 道 下 府 県 市 交 通 町 安 村

### 5~7 (略

 $\bigcirc$ 就 学 前 の子ども に 関 す る教 育、 保 育 等 0) 総 合 的 な 提 供 0 推 進 に 関 す る 法 律 伞 成 + 八 年 法 律 第七十 七号)

(抄)

(定義)

# 第二条 (略)

2

5

略

6 設 及 び 0 幼 法 律に 保 連 携型認 お 1 て 定こども園 認定こども園」 をい لح は、 次 条 第 項 又は 第三 項 0) 認 定 を受けた施 設 同 条第 +項 0) 規 定 によ る 公 示 が さ れ た

7 より を与えて、 対 す ,る教育 設 0) 置 法 さ 律 そ に れ 並 る 0) び お 施 心 に V 設 身 保 て を  $\mathcal{O}$ 育 幼幼 1 発 を必要とする子ども 光達を助 保連 う。 携型認定こど 長するととも ŧ に に、 対 亰 する لح 保 護 は、 保育を一 者 に 義 対 務 す 体 教 んる子 的 育 及びそ に 育 行 て 1 0) 0) 支援 後 れ  $\mathcal{O}$ を行うことを 5 教 の子ども 育 の基 礎 0) を 目 培 健 つうも 的 B か と L な  $\mathcal{O}$ て、 成 と 長 L が て 図ら 0)  $\mathcal{O}$ 満三 法 律 れ 0) る 歳 定 ょ 以 う 8 上 適当 るところ 0 子 ども な 環 境 に

### 8~12 (略)

幼 保 連 携型 認 定こども 園 以 外 0 認定こど Ł 遠  $\mathcal{O}$ 認 定

又は 該 所 定 都 指 市 る 他 が 又 定 は 公 都 都 例 0 幼 <u>\</u> 同 稚 市 で 地 道 大学 法 遠 等 定 方 府  $\mathcal{O}$  $\Diamond$ 公 県 第 又 長 る 法 共 は (当 要 寸 百 保 人 件に を 体 該 五. 育 十二条 保 خ 幼 所 1 共同 適 稚園 等 う。 育所に係る児童福 合し 0) 又は 設 以 L のニ+ニ て設立 て 置 下 ٧, 同 保 者 ľ 育 る旨 する 都 所等 第  $\mathcal{O}$ 道 公立 が 項 祉 都 が 府 設 指 県 法 道  $\mathcal{O}$ 大学 置 中  $\mathcal{O}$ 府 定 及 都市 規 す 核 び 県 る施 地方自 法 定 知 市 に 事 人 等 以 ょ 設 所 地地 当 る認 以 在 下 治 該 外 方 施 法 可 独 指  $\mathcal{O}$ 設 幼 ŧ 定都 そ 立 昭和二十二 稚 行 指  $\mathcal{O}$ 遠  $\mathcal{O}$ を 政 定 他 又 市  $\mathcal{O}$ は 1 法 都 等」という。 う。 処 保 人法 市 分 育 等 年 をする権 以 下 法 所  $\mathcal{O}$ (平成-等 区域 達第六十 同 が ľ 十五 方に 指 を 限 定 所在 に 除 七 都 年 号) 係る事務 で 法 市 ける 律第 あ 等 る場 所 第二百 百 施 は、 在 を地 合に 十八 施 設 設 で そ 五. あっ 十 二 で 号) 方 あ  $\mathcal{O}$ 自 設 あ 0 治法 第六 一条の て て、 置 る 場 は す 第 合 + 都 る + 百 に 当 八 道 幼 九 あ 該 条 稚 第 八 府 0 指 第 + 県 亰 条の二 7 定 が 又 項 は は 都 項 単  $\mathcal{O}$ に 独 保 指 市 当 規 等 で 育 定

施

令 で 定 定 に . 基づ め る < 場 合 都 に 道 あ 府 県 0 て 知 事 は 又は 都 指 道 府 定 県 都 市 又 は 等  $\mathcal{O}$ 指 定 長 都 0) 委 市 任 等  $\mathcal{O}$ を受け 教 育 委 て 当 員 会。 該 都 以 道 下 府 県 0) 又 章 は 及 指 び 定 第 都 兀 市 章 等 に 0 教育 お 11 て 委 員 同 ľ 会が 行 う場 0 認 定 合 を そ 受 0 け 他 ること 0 主 務 が 省

2 略

きる。

- 3 当 保 当 該 育 幼 連 機 該 稚 連 携 能 遠 携 施 施 及 施 設 設 び 設 が 保 が 指 以 育 指 定 下 機 都 能 定 施設 市 連 都 等所 携施 市 のそ 等 所 在 設 施 れ 在 記設であ の とい ぞ 施 設 れ う。 で 0 あ る 用 場 る に 合 場  $\mathcal{O}$ 供 に 合 設 さ あ に 置 れ る建 者 あ 0 て 0 (都 物及 7 は は 道 当 び 府 その 県 当 該 及 指 該 び 附 指 定 指 定 都 属 都 市 定 設 等 都 備 市 等 市 が 等  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 条例 長) 体 を 除 的 で定 < 0 に · 設 認 定 め 置 る要 合れ は、 を受けること 外に そ 7 V  $\mathcal{O}$ る場 適 設 合して 置 一合に が す る できる。 おけ 11 連 る旨 携 る当 施 0) 設 都 が 該 道 都 幼 府 渞 稚 県 府 遠 知 県 及 事 び
- 4 5 6 略
- 7 指 定 都 市 等 0) 長 は 第 項 又 は 第 項 0 認 定 を ようとするとき は あ 5 か じ め、 都 道 府 県 知 事 に 協 議 L な け れ ば な 5 な
- 8 9 略

付

L

な

け

5

- 10 指 定 都 れ 市 ば 等 な 0 長 は、 な V ) 第 項 又 は 第三 項 0 認 定 を L たときは、 速 B カゝ に 都 道 府 県 知 事 に、 次 条第 項 に 規 定す Ś 申 請 書 0 写 L を 送
- 11 指 定 都 都 道 市 府 等 県 0 知 条 事 例 又 は で 定 指 め 定 る要件に 都 市 等  $\mathcal{O}$ · 適 合 長 は、 L て 当 11 該 る 都 لح 道 認 府 め 県 るも 又 は 0) 指 に 定 つ 都 V 市 ては、 等 が 設 置 れ す を公示するもの る 施 設 0) うち、 とす 第 る 項 又 は 第 項  $\mathcal{O}$ 当 該 都 道 府 県 又 は
- 12 に 提 指 出 定 L 都 な 市 け 等 れ  $\mathcal{O}$ ば 長 な は 5 な 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 公 示 を L たとき は 速 P カュ に、 次 条 第 項 各号 に 掲 げ る事 項 を 記 載 L た 書 類 を 都 道 府 県 知 事

認 定 0 申 請

第 兀 又 は 条 第 前 項 条 0 第 条 例 項 で 又 定 は 第三項 8 る要件に の認定を受けようとす 適合して 1 ること ) を 証 る者 する書 は、 次に 類 を添 掲 だげる事 付 L て 項 を 記 載 れ を 都 した申 道 請 府 書に、 県 知 事 に その 提 申 出 請 L に な 保る施 け れ ば な 設 5 が 同 な 条 第 項

氏 名又 は 名 称 及 び 住所 並 び に 法 人に は、 その

あ

0

て

代

表

者

0

氏

- 施 設 0 名 称 及 び 所 在 地
- 三 る。 保 育 を 必 要 لح す る子ども に 係 る 利 用 定 員 満 歳 未 満  $\mathcal{O}$ 者 12 係 る 利 用 定 員 及 び 満 歳 以 上 0) 者 に 係 る 利 用 定 員 に 区 分 す る ŧ 0 لح
- 兀 保 育 を 必 要とする子ども以外の子どもに係 る利 用 定 員 満 歳 未 満 0) 者 に 係る利 用 定 員 及び 満 歳 以 上 0) 者 に 係 る 利 用 定 員 に 区

分するも のとする。

Ŧī. その 他 主 務 省令で定め いる事 項

2 略

(教育及び 保 育 0) 内 容

第六条 教 育 又は保 第三条第 育 を行うに当たっては、 項又は第三項の認定を受け 第十条第一 た施 項 0 設 幼保連携型認 及び同条第 十 定こども 項の 規 袁 定  $\mathcal{O}$ による公示がされ 教育課程その 他 た施設 の 教育 及び の設 保 置 者 育 をは、 0 内 容 当 に 該 関 施 す 設 ^る事 に お 項 11 を て

踏まえて行 わなけ れ ばならない。

(認 定の 取消 し

第七 条 略

2 略

3 なけ 指 定都 都 れ 道 府県. ば 市 なら 等  $\mathcal{O}$ 知 条例 な 事 V ) 又は で 定め 指定都市等の長は、 る要件を欠くに至ったと認め 第三条第十一 るときは、 項の規定に よる公示 同条第十 が 項の された施設 規定によりされた公示を取り が同 条第一 項 文は 第三 消 項 の当 し、 そ 該 0) 都 旨 道 日を公示 府 県又は

、教育及び 保. 育 0) 内容)

第十条 定する目標に 幼保連携型認定こども園 従 11 一務大臣 が 定 の教育課程 め そ 0) 他 0) 教 育 及 び 保 育 0 内 容 に 関 す の事項 は 第二条第 七 項 に 規 定する目 的 及 び 前 条 に 規

2 • 略)

主

る。

(設備 及び運 営 0 基 準

第十三条 5 都 Ł ない。 0 市 等。 で な け この場合において、 都道 次項 れ 及び第二十五条に ば 府 な 県 6 (指定都市等所 ない その お 基 V 在 準 施設であ て同じ。 は、 子ども る幼保連携型認定こども園 は、 0 身体的 幼保連携型認定こども 精 神的 及び 社 会的 遠 都 0 道 な発達 設 府県が設置するものを除く。 配備及び 0 ため 運 営につい に 必 要な教育及び て、 条 例で 保育 基準 に つ  $\mathcal{O}$ を V) 水 定 7 準  $\Diamond$ は、 を な け 当該 確 保 れ ば す 指 る な 定

2 5 (略)

設 置 等  $\mathcal{O}$ 届 出

第十 六条 市 町 村 (指 定都市等を除く。 以下この 条及び次条第五項において同じ。 市 町 村 が 単 - 独で 又 は 他 0 市 町 村 と共同 て設

<u>\( \frac{1}{12} \)</u>

とす 止 る る 休 公 立 止 き 大 若 しく は 学 法 あ は 人 5 設 を 置 含 か 者の む。 じ め、 変更そ は 都 道  $\mathcal{O}$ 府 幼 県 他 保 知 政 連 事 令 携 で 型 に 定 認 届 け  $\emptyset$ 定 こど る 出 事 な け 項 ŧ 遠 れ 同 ば を 設 条 な 5 第 置 な L 項 ようとするとき、 及 び 第  $\equiv$ +兀 条 又は 第 六 項 そ 0 に お 設 11 置 て L た 廃 幼 保 止 等」 連 携 型 لح 11 認 定こど う。 t を 行 遠 お  $\mathcal{O}$ Š 廃

設 置 等  $\mathcal{O}$ 認 可

都 £ 市 遠 七 等 0) 条 廃  $\mathcal{O}$ 長。 止 玉 等 及 次 を び 項 行 地 お 方 う 公 とすると 共 項 寸 体 第六項 以 き 外 c は、  $\mathcal{O}$ 及 者 び 都 は、 第 道 七 府 幼 項 保 県 並 知 連 び 事 携 型 に 指 一認定こども 次 条第 定 都 市 項 等 遠 に 0) を 区 お 域 設 11 て 内 置 同 に L r. 所 ようとするとき、 在する幼 0) 認 可 保 連 を 受け 携型 又 は 認 な そ け 定 こど 0) れ 設 ば な t 置 5 遠 た幼 な に 0 1 保 連 7 携 は 型 当 該 定 指 定

2 3 略

4 指 定 都 市 等  $\mathcal{O}$ 長 は 第 項  $\mathcal{O}$ 認 可 を L ようと す るとき は あ 5 か じ め 都 道 府 県 知 事 に 協 議 L な け れ ば な 5 な

5 7 略

都 道 府 小県人 知 事  $\sim$ 0) 情 報 0 提

八 条 第 十 六 条 0) 届 出 を行 おうとする者 文は 前 条 第 項  $\mathcal{O}$ 認 可 を 受けようとする者 は 第 匹 条 第 項 各 号 に 掲 げ る 事 項 を 記 載 L た

類 を 都 道 府 県 知 事 に 提 出 L な け れ ば なら な

2 3 な 連 5 携 指 型 な 定 定 認 都 都 定こど 市 市 等 等 0)  $\mathcal{O}$ ŧ 長 長 遠 は は を 設 当 前 条第 置 該 指 L たとき 定 項 都 市  $\mathcal{O}$ は 等 認 可 当 速 を 該 Þ L たと 指 カ に、 定 き 都 は、 市 第 兀 等 条 が 速 第 単 B 独 か に、 で 項 又 各 号 は 都 に 他 道 掲  $\mathcal{O}$ 府 げ 市 県 町 知 る 事 村 事 と共 に、 項 を 同 記 前 載 L 項 て設  $\mathcal{O}$ た 書 <u>\( \frac{1}{2} \).</u> 書 類 する 類  $\mathcal{O}$ を 写 公立 都 L を 道 大学 送 府 県 付 知 法 L 事 人 な に を け 提 含 れ 出 ば む な な 5 が け な 幼 n 11 保 ば

教 育 保 育 等 に 関 す る 情 報 0) 提 供

含 第 (当 0 + む 送 八 該 条 施 れ 付 項 0 が 項 設 5 を 幼  $\mathcal{O}$ に に 受 書 都 保 規 お 係 け 類 道 連 定 11 る た  $\mathcal{O}$ 府 携 に 7 施 لح 提 県 き、 型 行 設 知 ょ 出 認定こども園 に 事 る わ を 受け 又 は は、 公 ħ お 示 る V 教 て 同 第三条第 を た 行う場 '提供 条第三 とき、 育 及 いされ を設置 び 合 保育 項 第 んるサ 項 + 及  $\mathcal{O}$ ーする 等 書 若 び 六  $\mathcal{O}$ ] 条 都 類 L 場 < 道 概 ビ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 合 要 ス 提 届 は 府 第三 を を ŧ 県 出 出 [を受け 「を受け 利 項 う。 用 同 都 L 0) 様 道 ようとする者 たときは、 認 府 次 た لح 定 県 条 き、 る 第 をしたとき、 が 単 第 項 独 で に イ +ン 又 お に 七 対 タ 条 は い 第 て 同 他 し、 同 条第 ネ  $\mathcal{O}$ U 項 地 第 ツ 匹  $\vdash$ 方  $\mathcal{O}$ + 公共 項 条 0) 認 第一 に  $\mathcal{O}$ 利 可 をし 寸 0 申 用 項 11 請 体 :と共 各号に てそ たと 書 印 刷  $\mathcal{O}$ き、 写 同  $\mathcal{O}$ 物 L 周 掲  $\mathcal{O}$ L 知 げ 第  $\mathcal{O}$ 配 て 設立す を + 送 る 布 付を受け 事 义 そ 八 る 項  $\mathcal{O}$ 条 る ŧ 及 他 第 公立  $\mathcal{O}$ び 適 لح 教 切 項 た 大学法 لح す 育 な 0 る る き、 保 方 書 法 育 類 人 概 に 同 第  $\mathcal{O}$ 要 写 ょ 条

とす

### (変更の届出)

第二十 か 教 じ 育 め、 九 保 育 条 その 概 要 認 旨 と 定 こど を L 都 7 前 ŧ 道 府県知 袁 条  $\mathcal{O}$ 0 設 規 事 定 置 に 者 **当** ょ (都 該認力 ŋ 周 道 定こと 知 府 さ 県 及 れ Ł た び 園 が 事 指 項 定 指 都  $\mathcal{O}$ 定 変 市 都 更 等 市 を (主務: 等 除 < o 所 省 在 施 令 次 条に 設 で で 定 あ  $\otimes$ お る場合に る 11 て 同 軽 微 ľ な あ 変 更 つ ては は、 を 除 送 当 該 第 四 指 条 をし 定 第 都 ようと 市 項 等 各 0) 뭉 長。 す に る 掲 次 لح げ 条第 き る 項 項 あ 及 及 5 び

2~4 (略

び

第

項

に

お

1

て

同

じ

に

届

け

出

なけ

れ

ば

な

5

な

 $\bigcirc$ 法 児 律 第 童 七 福 + 祉 六号) 法 昭 第二 和二 一条によっ 十二年法 る改正 律第百六 後 + 兀 号) 抄 (こども 家 庭 庁 設 置 法 0 施 行 伴 う 関 係 法 律 0 整 備 に 関 す る 法 律 和 兀 年

第二 監 ば 認 定こど 護 な 5 す 兀 ~ 条 な V ) し も 園 き乳児、 市 町村 法 第 は、 幼 条 児 この 第 そ 0 項 法 他 0)  $\mathcal{O}$ 律 .. 及び 認 児童につ 定 足を受け 子ども 11 た て ŧ 保 子 育  $\mathcal{O}$ 育 及 び を必要とする場 7 支 同条第 援 法  $\mathcal{O}$ +定  $\Diamond$ 合に 項 るところ 0 規 お 定に 11 て、 に ょ ょ る公公示 り、 次 項に 保 定 が 護 さ めるところに 者 れ  $\mathcal{O}$ たもの 労 働 又 を除 は ょ 疾 る 病 ほ そ か、  $\mathcal{O}$ に 他 お 当  $\mathcal{O}$ 11 該 事 て 児 由 童 保 に を ょ 保 り な 育 所 そ け n

2 第 保 育 市 事 項 町 業を  $\mathcal{O}$ 村 確 は、 認 う。 を 前 受 項 以 け に たものに限 規 下 同 定する児 る。 童に に ょ ŋ 対 又 は 必 Ļ 要 な 家 認 保 庭 定こども園 的 育 を 保育事業等 確 保 法第二 す る た (家庭的保育 一条第六  $\otimes$  $\mathcal{O}$ 措 項 置 に を 講じ 事 規 業、 定する認定こども園 な け 小規模保育事 れ ば なら な 業 (子ども 居 宅 訪 問 型 子 育て 保 育 事 支 業 援 又 法 は 第二 事 業 + 所 七 内 条

3~⑦ (略)

第三十九 人以 上 条 一であ 保 る 育 ŧ 所  $\mathcal{O}$ は に 保 限 育を必 り、 幼 要とする乳 保 連 携 型認 定 児 こど 幼 ŧ 児 遠 を 「 を 除 日 Þ 保 護 )とする。 者 0 下 か 5 通 わ せ て 保育を行うことを目 的 とす る施 設 (利 用 定 員 が二

(略)

第五 事 項 ŧ 0 + 又 認 九 は 条 可  $\mathcal{O}$ の 二 む 認 又 幼 兒 可 は を 認 を に 取 定 対 第 ŋ こど 象とするも 六 0 1 消 条 う も 園 され の三 て は 第 た 法 そ ŧ 第 0 九 その  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ + 項 施設の 又 七 か 条第 は 他 5 認 第  $\mathcal{O}$ 設置 定こと + 内 閣 項 者  $\mathcal{O}$ 府 項 は、 ŧ 認 令 ま でに 園法第二 可 で を受け そ 定 んめるも  $\mathcal{O}$ 規 事 定  $\frac{+}{-}$ 業 て す 0) 0) る業務又は 11 条 を除く。 開 な 第 始 1 ŧ  $\mathcal{O}$ 項 日  $\mathcal{O}$ 第三 0) 第 であ 第 規 定 五. +五. に つて第三十 九条第一 十 +八 八 ょ 条 り幼 条 の規 0 規 保 項 定 連 定 兀 に 条の に に 規 携 より 型 ょ 定 ŋ 認 する + 定こど 児 児 五. 童 童 第 業 福 福 務 祉 ŧ 祉 項 を 施設 若 施 目 袁 設 しく  $\mathcal{O}$ 的 若 認 若 と 可 L は す 第三 を る は は 施 取 +家 ŋ 家 設 庭 消 五. 庭 的 的 条 保 保 第 数 れ 育 兀 育 た

施 設 に 等 あ  $\mathcal{O}$ 0 認 て 可 は、 を 取 当 ŋ 該 消 認 さ れ 可  $\mathcal{O}$ た 取 施 消 設 又 L は  $\mathcal{O}$ 日) 認 定こど カコ ら ŧ 月 遠 以 法第二十二条第 內 に、 次 E 掲 げ 項 る 事 0) 項 規 を 定 に 都 より幼 道 府 県 保 知 事 連 に 携 型認 届 け 定こど 出 な け ŧ れ ば 袁 な 0 5 認 な 可 を 取 ŋ 消 さ れ た

- 一施設の名称及び所在地
- 設 置 者  $\mathcal{O}$ 氏 名 及 び 住 所 又は 名 称 及び 所 在 地
- $\equiv$ 建 物 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 設 備 0 規 模 及 び 構 造
- 四 事業を開始した年月日
- 五 施設の管理者の氏名及び住所
- その他内閣府令で定める事項

六

子ども・・

児

童

福

祉 則

法

第

Ŧī.

十

九

条

の 二

第一

項

に

規

定

す

る

施

設

12

関

す

る

経

過

措

附

2

3

略

 $\bigcirc$ 子 ど ŧ 子 育 て 支援 法  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す Ź 法 律 **令** 和 元 年 法 律 第 七 号)

抄

第 受け に 0) 兀 に 祉 限 掲 子 法 条 る。 げ تلح た る施設 もに ŧ 昭 新 法  $\mathcal{O}$ 和二十二 関 及 及 第 び と び す 八 第 4 同 る 条 五. な 条 教 年 に **糸育、** 第十 L 法 規 + て、 律 定する子育て 八 条の 保 第百六十四 育等 新 項 +法 の規定による 第  $\mathcal{O}$ (第五 総合的 | 号) 項  $\mathcal{O}$ 十八 ため 第 第 な 条 提 三 公 五.  $\mathcal{O}$ 号  $\mathcal{O}$ 示 供 十 施 兀 に が  $\mathcal{O}$ 九 設 係る部 さ 第 推 条 等 進に の 二 れ 利 項た 用 ŧ 関 第 給 分 第 に  $\mathcal{O}$ す 付 限 几 る 項 並 に る。 号に び 法 に 0 に 律 規定する 11 係る て 新 平 は、 を 法 除 部 第 成 分に < 七 +施 施 条 八 設 行 限 第 年 日 る。 同 から  $\mathcal{O}$ 法 + 規 項 律 項 定 第 第  $\mathcal{O}$ 起 を 兀 七 規 算 適 第 号 +定 L 五. Ė て 用 に ハ 十八 号) す 0) ょ 五. る届 政 年 条 令 第三 を 0) で 出 経 九 定 条 が 過 め 第 第 さ す る施 る れ 項 項 た 日 又 は 設 ŧ ま 第 を  $\mathcal{O}$ で 除 第 に 0) 号に <  $\equiv$ 限 間 項 り、 は 0) 係 る 認 就 児 を 定 部 同 学 童 分 号 を 前 福

2 · 3 (略

 $\bigcirc$ 令 子 和 兀 ŧ 年 法 律 子 第 育 七 て 支援 +六 号) 法 平 第三十三条に ·成二十 匹 年 法 よる 律 改 第 六 正 十五 後 号) (抄) (こども 家 庭 庁 設 置 法 0) 施 行 に 伴 Š 関 係 法 律  $\mathcal{O}$ 整 備 関 す る 法

第七条 (略

2 3 (略

4 学 及 育 所 び 校 法 同 教 律 0) 条第十一 育 第 法 定こども 法 七 律 + に 昭 七 お 項 和二 号。 亰 0) 7 十二年 法 規 以 下 第三条第 定による公示 教 育 法 認 保 律 定 :第二十 こども園 育 項 施 設」 0 が べされ 認定を受け 六号) とは、 法 た 第一 ŧ لح  $\mathcal{O}$ 11 就 たもの 条に う。 を 学 除 前 規定する < . 0 子ど 及 第二条 以 び もに 同 下 第六 幼 条 関する 幼稚 第十 稚園 、項に 園」と ②認 項 規 教 育、  $\mathcal{O}$ 定こども園 定 とする認定し いう。 規 定による公示 保 育 及び児 こど 法 0 第 総 三条 ŧ 合 が 童 康 的 べされ 福祉 第 な提 以 たも 法 項 供 下 第三 又 0) 0) は 認 推 を除く。 第 定こど +進 九 に 条 関 項 する 第  $\mathcal{O}$ Ł 認 遠 下 項 定 法 とい に を受けたも 律 保育所 規定する保 (平成十八 . う。

5~9 (略)

い

. う。

をいう。

10 この 法 律に お 1 て 「子ども 子育て `支援 施 設 等」 لح は、 次に 掲 げ る 施 設 又 は 事 業を 1

一~三 (略)

兀 ち、 児童 当該施設 福 祉 設 法 に 第 配 五 置する従業者及び 十 九 条の二第一 項 その 12 規 員 定 する 数 そ の施 他 設  $\mathcal{O}$ 事 同 項 項 に  $\mathcal{O}$ 規 0 1 定 · て内 に ょ 閣 る 府 届 令 出 で が され 定める基準 たも 0) を に 限り、 満たす 次に ŧ 掲 げ る ŧ 0 を 除 0) う

7 (略)

口 認定こど ŧ 亰 法 第三条第 +項  $\mathcal{O}$ 規 定 に よる公示が さ れ た ŧ  $\mathcal{O}$ 

第五十 九 条 0 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に による助 成 を受けて 1 る ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ うち 政 令 で 定 め る ŧ  $\mathcal{O}$ 

五~八 (略)

(子ども・子育て支援給付の種類)

子ども・ 子 育て支援 給 付 は 子ども  $\mathcal{O}$ た  $\otimes$ 0) 現 金 給 付 ジも  $\mathcal{O}$ た め  $\mathcal{O}$ 教 育 保 育 給 付 及び子 育 7 0 た 8 0 施 設 竿 利 用 付

する。

(特定教育・保育施設の基準)

第三十四 保育 施 設 条  $\mathcal{O}$ 認 可 定 基 教 準 育 とい 保 育 、 う。 施 設  $\mathcal{O}$ を 設 遵 置 守 者 は、 L な け 次 れ  $\mathcal{O}$ ば 各 号に なら 掲げ な る 教 育 保 育 施 設 0) 区 分に応じ、 当 該各 号に 定 8 る基 準 以 下 教 育

で 第 認 定こども 定 0 百 を る 除 五. 要件 十二条の二十二第一 遠 以 (当 下 認 定こども 該 認定こども園が 指 定 都 嵐 市 項 法 等 公第三条: 所  $\mathcal{O}$ 在認 中 ?認定 核 定 市 第 こど こども 议 項 ŧ 下 0) 園法第三条第 嵐 規定によ 指 定都 と 1 う。 り 市 等 都 道 لح 項 に 府 0) 県 0 11 う。 V 認 地地 定 て を受けたも は 方 0) 自 当 区 治 域 該 法 第二百 指 内 に 0) 定 であ 所 都 市 在 五. る場合 十二条 · 等 。 す る認 以 又は 定  $\mathcal{O}$ 下 こど + 同 九  $\mathcal{O}$ 号 ŧ 項 第 0 に 遠 規 お 項 定 1 都 0 に て 道 指 ょ 同 府 定 ŋ ľ 県 都 が 都 市 設 道 又 置 府  $\mathcal{O}$ は 条 す 同

定 法 0 又 は 連 に 第 条 携 ょ 例 認 型 ŋ 条 で 認 定こど 都 第 定 定 道 三  $\emptyset$ こど 府 項 る ŧ 県  $\mathcal{O}$ 要 t 遠  $\mathcal{O}$ 規 件 遠 法第十三条第 定 に 条 例 に 適 (認定 より で定 合 L こども  $\Diamond$ て 都 る 道 1 要 府 る £ 項 件 県 遠  $\mathcal{O}$ に 法  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 適 条 と 第 合 例 L 定 条 に L で 7 第 ょ 定 同 て  $\otimes$ 七 ŋ 1 条 項 都 る る 第 に 道 ŧ 要 + 規 府 件  $\mathcal{O}$ 県 とし 定 項 (当 す  $\mathcal{O}$ 0 る幼 条 例 て 該 規 認 同 定 保 で 条 定 に こど 連 定 第 ょ 携  $\Diamond$ +る 型 る ŧ 公 認定こども 設 項 亰 示 備  $\mathcal{O}$ が が 規 同 及 さ び 定 項 れ 運 に  $\mathcal{O}$ た 営に 亰 ょ 認 ŧ を る 定 0 を受け 公示 . つ 11 で いて う。 あ が る 0) さ た 場 基 ŧ で れ 合 たも あ 準 に  $\mathcal{O}$ 限 る で 場 当 あ る。  $\mathcal{O}$ 合 該 で る に 認 あ 場 限 定 る 合 る。 こども 場 又 認 合 は 定 こど 同 に 限 項 袁 る。  $\mathcal{O}$ ŧ が 幼 規 袁

--= 略

2 5 略

特 定子ども 子 育 7 支援 施 設 等 0 基 (準)

第 Ŧī. 十 八 条の 兀 特 定 子ども · 子 育 て 支援 提 供 者 は 次  $\mathcal{O}$ 各 号 に 掲 げ る子 ど ŧ 子 育 7 支援 施 設 等  $\mathcal{O}$ 区 分 に 応 じ、 当 該 各 号 に 定 8 る

準 を 遵 守 L な け れ ば なら らない。

条 ょ 例 0 方 認 定こど ŋ で 条 公 共 例 都 定 寸 道  $\Diamond$ で 府 る 定 体 Ł 県 要  $\emptyset$ と 遠  $\mathcal{O}$ 件 る 共 条 要 同 認 例 当 件 L に定こども園 して設立 で定 該 当 認定 め 該 る設 こども 認 する公立 定 法 こども 備 第三 園 及 大学 び 条 が 運 同 遠 第 が 営 法 項 に  $\mathcal{O}$ 同 人 項 認 項 が 0  $\mathcal{O}$ 定を受け 規 1  $\mathcal{O}$ 設 認 置 て 定 一するも  $\mathcal{O}$ 定 に 基 を受け ょ たもの ŋ 準  $\overline{\mathcal{O}}$ 都 たも 当 を 道 である 除く。 該 府 認 0) 県 で 定 こ こど 場 あ 指 合に る 定 Ł 場 0 都 いては、 限 亰 合 市 る。 に限 が 等 幼 所 る。 保 在 当 又 連 認 は 該 定こど 携 型 指 認 定 認 定こども 同 都 定 条 ŧ こど 第 市 遠 等。 園法 ŧ 項 都 遠  $\mathcal{O}$ 以 道 下この 規 で 第 府 十三 あ 定 県 る に が 場 条 ょ 号 単 第 ŋ に 合 独 都 お で 限 項 道 V 又 る。 て は  $\mathcal{O}$ 府 同じ 規 県 他  $\mathcal{O}$ 定 0

幼 稚 亰 設 置 基 準 幼 稚 遠 に係 る £ 6  $\mathcal{O}$ に 限 る

三 特 別 支 援 学 校 設 置 基 準 特 別 支 援 学 校 に 係 るも  $\mathcal{O}$ に 限 る。

第 第 七 七 条 条 第 第 十 十 項 項 第 第 五. 兀 一号に 号に 掲 掲 げ げ る施 る 事 業 設 同 同 号 号  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 内 内 閣 閣 府令 府 令 で で 定 定  $\Diamond$  $\Diamond$ る基 る 基準

Ŧī. 兀

六 第 七 条 第 + 項 第 六 号 に 掲げ る 事 業 児 童 福 祉 法 第三十 兀 条 0 十三 0 内 閣 府 令で定 8 る 基 準 第 Ŧī. + 八 条 . (T) 九 第 項 1Z お 7

準

時 預 か ŋ 事 業 基 準 とい う。

七 第 七 条 第 十 項 第 七 号に に掲げ る事 業 同 号 0) 内 閣 府 令 で 定

め

る

基準

八 第 七 条 第 十 項 第 八 号 に 掲げ る 事 業 同 号  $\mathcal{O}$ 内 閣 府 令 で 定 8 る 基

2 3 略

勧 告、 命令等

五. 子 + 育 八 て 条 支  $\mathcal{O}$ 援 九 提 供 市 者 町 に 村 対 長 L は 期 特 定子 限 を تنط 定 め ŧ て、 子 当 育 該 て 各 支 援 号 に 提 定 供 者  $\Diamond$ る が 措 置 次 をとる  $\mathcal{O}$ 各 号 ベ に きことを 掲 げ る場 勧 合 告 に す 該 ることが 当 「すると で 認 き  $\Diamond$ ると き は 該 定子

- 第 七 第 + 項 各 号 第 号 か 5 第 号 ま で 及 び 第 六 号 を 除 < 以 下こ  $\mathcal{O}$ 号 12 お 11 て 同 じ。 に 掲 げ る 施 設 又 は 事 業 0 区 分 応じ
- 当 運 営 該 を 各 して 号 0) 内 な 閣 11 府 場 令 合 で 定 当 め る基 該 基 準 準 に を 遵守 従 0 て す ること。 施 設 等 利 用 費 0) 支 介給に 係 る 施 設 又は 事 業とし て 適 正 な特 定 子 سلح ŧ 子 育 て 支 援 施 設 等  $\mathcal{O}$
- る 施 第 設 五. 又 + は 八 事 条 業 0 として 兀 第 適 項 正 0 な 内 特 閣 定 府 ~子ども 令 で 定 8 子 る 育て 特 定子ど 支 援 施 ŧ 設 子 等  $\mathcal{O}$ 育 て支援 運 営 を L 施 て 設 等 11 な  $\mathcal{O}$ 運 11 場 営 合 に 関 する 該 基 基 準 準 に を 従 遵 守 0 す て ること 施 設 等 利 用 費 0 支 給 に 係
- 第 五. + 八 条  $\mathcal{O}$ 六 第 項に規 定 す る便 宜  $\mathcal{O}$ 提 供 を 施 設 等 利 用 費 0 支 給 に 係 る 施 設 又は 事 業と て 適 正 に 行 0 て 11 な 7 場 合 該 便

# 2~6 (略)

宜

0

提

供

を

適

正

に

行

うこと。

(確認の取消し等)

Ŧī. + + 第 八 条 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 確 認 市 を 町 取 村 ŋ 長 は、 消 し、 次 又 0 各号 は 期 間 0 を 11 定 ず  $\emptyset$ れ て カゝ そ に  $\mathcal{O}$ 該 当 確 「する 認  $\mathcal{O}$ 場 全 合に 部 若 L お < 11 は て は、 部 当  $\mathcal{O}$ 効 該 特 力 を停 定 子 ども 止 すること 子育 が て 支援 で `きる。 施 設 等 に 係 る 条

- 定 子 ども 子 , 育 て 支援 提 供 者 が 第 五. +八 条  $\mathcal{O}$ = 第一 項  $\mathcal{O}$ 規定 に 違 反 L たと認  $\Diamond$ 5 れ ると
- 市 定 用 項 所 を 設 等 費 各 特 置 又 行 0) 号 定 子 に は 市 定 11 支 ども 給 掲 0 児 都 長 童 市 又 に げ لح 相 等 は 係 る 子ども す 談 所 届 子 る ·育て る 在 施 所 出 認定 設又 設 を 支援提 受け 置 子 は が 市 こども 育 認 た 事  $\mathcal{O}$ で支援 都  $\otimes$ 区 業 供 とし たと 遠 道 者 域 に 内 府 (認 て適 県 に 施 お 設 お 知 1 定 こど 7 事 等 1 正 て 行 な  $\mathcal{O}$ 指 子 ŧ 行 わ 区 تلح 分に わ れ 定 遠 る第 都 Ł れ 0) . る同 応じ、 設置 市等 七 子 育て 項 条 所 者 第 第 在 当 及 六 支 該 び + 届 各号に 号 出 第七 項 援 文は 保育 第 施 五. 設 条 第 号 施 等 定 第 七 に 設  $\mathcal{O}$  $\otimes$ + 뭉 掲 運 る 項 に に げ 営をすることが 認 第 0 る事 い 八号に掲げ 掲 可 げ ては 若 る事 業 L くは に 当 業 0 該 に る事業を 1 指 認 定 定 0 7 で き は 都 を受け、 1 なく て 当 市 行う は 該 等 当 指 又 な 者 該 は 又 定 0 は を 都 児 指 た 除 届 定 市 童 کے 当 く。 都 等 相 出 市  $\mathcal{O}$ 談 該 を 等 長 所 認 行 لح 設 可 が 又 0 は 置 若 L た 児 市 施 前 童 指 0 設 条 長 等 相 定 は 第 利 談 都 لح 認
- 係 特 定子 る 行 施 う 7 設 者 又 に ŧ は 限 る。 事 子 ·育て 業 たとし 支援 が て そ 適 提 供 れ 正 ぞ 者 な ħ 特 (第 定 同 項 子 七 بنح 第 条 ŧ 兀 第 号、 + • 子 項 第四 第 育 7 五 号、 支 뭉 援 に 第 掲 施 設 七 げ 号 等 る 又  $\mathcal{O}$ 施 は 運 設 営 第  $\mathcal{O}$ を 八 設 す 号 置 る 者  $\mathcal{O}$ こと 内 又 は 閣 が 同 府 項 で 令 き 第 で なく 定 五. め 号、 る基 な 0 第 たと 準 七 号 に き。 従 若 0 7 < 施 は 設 第 等 八 号 利 用 掲 費 げ  $\mathcal{O}$ 支 る 給 事

兀

定

に 従っつ 7 施 設 等 利 用 費 0) 支給 に 係 がる施 設 又 は 事 業とし て 適 正 な特定子ども 子育て支援 施 設 等 0) 運 営 をすることが できなくな

たとき

五. 命ぜられてこれに従わず、 定子ども • 子 育て支援 提 又は 供 者 虚偽 が 0) 第 報 Ŧī. 告 十 をし 八 条 たとき。 0 八 第 項 0) 規 定に ょ ŋ 報 告 若 L < は 帳 簿 書 類 そ 0) 他 0) 物 件  $\mathcal{O}$ 提 出 若 < は 提 示

に よる検査を 定により 定子ども 出 拒 頭 ・子育て支援提供者又は特 み、 を求められてこれ 妨げ、 若しくは忌避 に応ぜ ず、 定 L たとき。 子ども・ 同 項の ただし、 規定による質問に 子育て支援 当該職員が を提供 対 する施設若しくは その L て 答弁せず、 行為をした場合にお 若 事 i 業 米所の職 くは 1 虚 て、 偽 員 が、 0) そ 答 弁を 0) 第 行為 五. 十 を 八 防 又 条 止 は (T) す 同 八 **るため、** 項 第 0 規 項 定  $\mathcal{O}$ 

該 特定子ども・子育て支援提供 公者が 7相当 0) 注 意及び監督を尽くしたときを除

七

特

定

子ども

子育て支援提供

者

が

不

正

 $\mathcal{O}$ 

手

段により第三十条の

+

第

項

0)

確認を受けたとき。

不

当

な行為を

L

たとき。

八 令 で定めるも 前 各号 に 掲 0) げ る場 又はこれ 合 0) らの ほ か、 法 律に基づく命令若しくは処分に違反 特 定子ども 子 育て支援提供者が、 こ の L たと 法 き。 律そ 0 他 玉 民の 福祉若しく は 学校教 育 に 関 す る 法 律 で 政

九 前 各号に掲げ る場 合の ほ か、 特定子ども・ 子育て支援提供 者が、 教育 保 育その他 の子ども・ 子育て支援に 関 L 不 正 又 は 著 L <

十 が 0 あるとき 政令で定め 特定子ども る 使 子育て支援提供 用 人のうちに過去五年 者が 法 人で 以 内 あ る に 場 教 合に 育 保 お 育そ **,** \ て、 (T) 当該法 他の子ども 人の 役員若しくは 子育て支援 その に 関 長又は L 不 正 又は そ  $\mathcal{O}$ 著 事

支援に関 特定子ども L 不 正 又は著しく不当な行為をし 子 育て支援提供 者が 法 人で た者であるとき。 ない 場 合に お い て、 そ の管 理 者 が 過去 五. 年 以 内 教 育 保 育その 他 の子ども・ 子育

2 (略)

〇 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)(抄)

第 この法 で、 学 校とは 幼 稚 園 小学校、 中学校、 義 務 教 育学校、 高 等 学 校、 中 等 教 育学校、 特 別 支援学校、 大学 及 び 高等

門学校とする。

〇 地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)(抄)

業

所を管

る者そ

しく不

当

な理

行す

為を

たの

者 他

### 指 定 都 市 $\mathcal{O}$ 権 能

又 は 百 Ŧ. + = れ に基 条 処理す づく  $\mathcal{O}$ + 政 九 令 の政 政令で指: 定めるところ 定する人口 より 五. 処 十 理 万 することとされ 以 上  $\mathcal{O}$ 市 以 下 て いるも 指 定 都  $\bigcirc$ 市  $\mathcal{O}$ という。 全 部 文は 部は、 で 次に掲げる  $\Diamond$ る る事務  $\mathcal{O}$ うちち を、 政 都 令 道 で 府 定 県 んめると が 法 律

児 童 福 祉 に 関 ける事 務 ころによ

b,

ることができる。

七六六五五五四三二 民 生委員に 関 する事務

身 体 障 害 者  $\mathcal{O}$ 福 祉に 関する事

生 活 保護 に 関 する事 務

行 旅 社会人 人 及 祉び 行 旅 派死亡人の! 取 扱 に 関 す る 事

の 三 の <u>ニ</u> 知的 障 福 害 |者の 事 業に 福祉 関 する事 に関する事 務 務

母 子 家 庭及 び 父子 家庭並 び に 寡 婦  $\mathcal{O}$ 福 祉 に 関 す る事

務

の 二 老人福 祉 に 関 でする事 務

母 子

保健に関

する事務

の 二 介護! 自保立険 に 関 民する事 務

障 害 者  $\mathcal{O}$ 支援に関 はする事 務

八 七

八の二 生活 木 窮 者 0 自立支援に 関する 事 務

食品衛生に 関 す る事 務務

の 二 医 療に 関 する事

九 九

+精 神 保 健 及  $\mathcal{C}_{\mathcal{C}}$ 精 神 障 <u>'</u>害者  $\mathcal{O}$ 福 祉 に 関する 事

+結 核  $\mathcal{O}$ 予 防 12 関する事

の 二 難 病 0) 患 者 に対する医療等に 関 す る 事

務

土 地 区 画 整 理 事 業に関 する事 務

屋 外広 告 物  $\mathcal{O}$ 規 制 に 関 ける事

略

2

### 中 核 市 $\mathcal{O}$ 権 能

第一 L ょ 7 ŋ 百 効 指 Ŧī. 処 率 +定 理 的 都 な事 市 条 の 二 が 務 処 + そ 理 が  $\mathcal{O}$ す 他 ることが できる。 政  $\mathcal{O}$ 中 令 核 で で 指 市 きる事 に 定 お す る 1 て 務 人 処  $\Box$  $\mathcal{O}$ 理 う ち、 す + ることが 万 都 以 道 F. 府  $\mathcal{O}$ 適 県 市 当 が で そ 以 な 0) 下 11 区 事 域 中 務 に 核 以 わ 市 外 た ŋ と  $\mathcal{O}$ 事 V \_\_ う。 体 務 で政 的 に 令 処 は で定め 理 第二 す ること る 百 ŧ 五. 十 二 0) が を、 中 条 核 政 市  $\mathcal{O}$ 令 が + で 処 九 定 理 第 め す るところ ることに 項 0 規 定 比 12

2 略

ょ

り、

す

ること

### 総 務 省 関 係

 $\bigcirc$ 法 住 律 民 第 基 本 台 七 帳 法 第二十 昭 和 兀 十二年 七 に ょ 法 る改 律 第 正 八 十 後 号 抄 (デ ジ タ ル 社 会  $\mathcal{O}$ 形 成 を 义 る た め 0 関 係 法 律  $\mathcal{O}$ 整 備 に 関 す る 法 律 令 和

玉  $\mathcal{O}$ 機 関 等  $\mathcal{O}$ 本 人 確 認 情 報  $\mathcal{O}$ 提 供 年

+

号)

条

第三十 号に きる 令 て で 場 定 つ 条 11 合  $\Diamond$  $\mathcal{O}$ 11 な るところ に て 11 九 限 は Ł ŋ 0) 機 当 構 提 該 以 に は 供 別 ょ 下 り、 す 表 别 Ś 表第 機 第 第三十 Ł 構 0)  $\mathcal{O}$ 保 存 0) と 上 一欄に す 本 条 上 うる。 欄 人  $\mathcal{O}$ に 掲 確 七 認 掲 げ 第 情 げ る 報 項 玉 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 玉 機 と 規 0 関 定 機 11 に う。 又 関 は ょ 又 ŋ は 法  $\mathcal{O}$ 機 法 人 が う 構 人 É が 番 カコ 号 保 住 5 利 民 存 同 用 票 す 表 法 る  $\mathcal{O}$ コ 1 本 下 第 九 欄 F. 人 条 以 確 に 外 認 掲 第  $\mathcal{O}$ 情 げ 項 t 報 る で 事 0)  $\mathcal{O}$ あ 務 規 を 定 提 0  $\mathcal{O}$ に て 処 供 同 す 理 ょ ŋ る 項 に 個 ŧ  $\mathcal{O}$ 関  $\mathcal{O}$ 規 人 L とす 定に 番 求 号 8 る。 を ょ が 利 る あ 用 た 保 0 す だ 存 た ること لح 期 L 間 き 個 が は が 経 人 番 で 過 政

通 知 都 道 府 県 0) 区 域 内  $\mathcal{O}$ 市 町 村 0 執 行 機 関  $\sim$ 0) 本 人 確 認 情 報 0 提 供

ただ 三十 規  $\mathcal{O}$ 機 規 関 定 に に 条 定 し 0 に 対 ょ ŋ ょ 第 L +ŋ 通 個 号 機 知 機 人 に 構 L 構 番 掲 保 た は 뭉 げ 存 都 を る 次 本 道 場 利 人 府 0 合に 確 用 県 各 することがで 知 号 認 情 あ 事  $\mathcal{O}$ つて 報 が 11 統 ず は、 第 括 n す カコ き 号 に 個 る る 都 人 及 該 場 番 び 道 当 合 第 号 府 す に に 県 る 限 0 号 場 り、 以 11 に 合 て 掲 に 下 げ 提 は、 は 「通 供 る 当 場 政令 す 知 合に る 都 該 で ŧ 市 道 0) 町 あ 府 定 県 と 村 0  $\emptyset$ す て るところに 長 は、 とい そ る 0 . う。 他 住 民  $\mathcal{O}$ 票 ょ 市 0) り、 町 コ 区 村 ] ド 域  $\mathcal{O}$ 本 を 内 人 執 行 除  $\mathcal{O}$ 確 機 く。 市 認 関 町 情 が 村 報 を 番  $\mathcal{O}$ を 提 号 市 第 利 供 町 用 す 村 + 法 る 長 条 ŧ そ 0 第 九  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 七 لح 他 条 第 す 第  $\mathcal{O}$ Ź。 執 項 項 行 0

- $\mathcal{O}$ 処 通 理 知 に 都 関 道 L 府 求 県  $\mathcal{O}$ 8 区 が 域 あ 内 0 た  $\mathcal{O}$ と 市 き。 町 村  $\mathcal{O}$ 市 町 村 長 そ 0 他  $\mathcal{O}$ 執 行 機 関 で あ 0 て 別 表 第二 0 上 欄 に 掲 げ る ŧ  $\mathcal{O}$ か 6 同 表 0 下 欄 に 掲 げ る 事 務
- 通 知 都 道 府 県 0) 区 域 内  $\mathcal{O}$ 市 町 村  $\mathcal{O}$ 市 町 村 長 そ 0 他 0 執 行 機 関 か 6 番 号 利 用 法 第 九条第二 項 0 規 定 に 基 づ き 条 例 で 定 8 る 事 務 0 処

理に関し求めがあつたとき。

通 知 都 渞 府 県  $\mathcal{O}$ 区 域 内  $\mathcal{O}$ 市 町 村  $\mathcal{O}$ 市 町 村 長 カコ 6 住 民 基 本 台 帳 12 関 す る 事 務  $\mathcal{O}$ 処 理 に 関 L 求 8 が あ 0 た き

2 信 す 務 前 る 省 項 令 第 で 定 ょ 8 号 0 る に て لح 係 こころ 行 る Š 部 É に 分 0 ょ に とす り、 限 る。 5 る。 機 構 ただ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 使 規 Ļ 用 定 に に 特 係 ょ 別 る る  $\mathcal{O}$ 電 通 求 子 知 8 計 都 が 算 道 あ 機 府 0 か 県 た 5  $\mathcal{O}$ ح. 電 区 き 気 域 は 通 内 信  $\mathcal{O}$ 市 口 線  $\mathcal{O}$ 町 限 村 を ŋ 通  $\mathcal{O}$ で じ 市 な て 町 当 村 該 長 市 町  $\mathcal{O}$ 機 村 構 長 0 保 使 存 用 本 に 人 係 確 る 認 電 情 子 報 計  $\mathcal{O}$ 算 提 機 供 に は 送

通 知 都 道 府 県 以 外  $\mathcal{O}$ 都 道 府 県 0 執 行 機 関  $\sim$  $\mathcal{O}$ 本 人 確 認 情 報  $\mathcal{O}$ 提 供

関 提 府 + が 供 県 番 す 知 条 る 事 号  $\mathcal{O}$ そ 利 £ 十 用  $\mathcal{O}$ 0 法 と 他 第 す 機  $\mathcal{O}$ 九 る 執 構 条 行 は 第 た 機 だだ 関 次 Ĺ 項 0 各  $\mathcal{O}$ 対 Ļ 号 規 第 定 0) に 号 機 11 に ず 構 ょ 掲 保 ŋ れ 個 げ 存 か 人 る 本 に 場 番 該 人 合 確 当 号 す を に 認 利 あ 情 る 用 場 0 報 て 合 す 第 る に は は لح 個 号 が 及 人 政 番 で び 令 きる 号 第 で に 定 場 号 0  $\Diamond$ に 合 11 る ところ 7 掲 に は 限 げ り、 る 場 当 に 提 該 合 ょ に 供 都 ŋ す 道 あ る 府 0 通 ŧ 県 て 知  $\mathcal{O}$ 知 は 都 لح 事 道 す そ 住 府 る。  $\mathcal{O}$ 民 県 他 票 以  $\mathcal{O}$ コ 外 都  $\mathcal{O}$ 道 K 都 府 を 道 県 除 府  $\mathcal{O}$ 県 執  $\mathcal{O}$ 行 都 を 機 道

- 務  $\mathcal{O}$ 通 処 知 理 都 に 道 関 府 L 県 求 以 外  $\Diamond$ が  $\mathcal{O}$ あ 都 0 道 た 府 と 県 き。 0 都 道 府 県 知 事 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 執 行 機 関 で あ 0 て 別 表 第 三 0 上 欄 に 掲 げ る ŧ  $\mathcal{O}$ か ら 同 表 0 下 欄 に 掲 げ る 事
- 処 理 通 に 知 関 都 L 道 求 府  $\Diamond$ 県 が 以 外 あ  $\mathcal{O}$ 0 た 都 と 道 き。 府 県  $\mathcal{O}$ 都 道 府 県 知 事 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 執 行 機 関 カコ 6 番 号 利 用 法 第 九 条 第 項 0 規 定 に 基 づ き 条 例 で 定 8 る 事 務 1
- 2 に 総 送 前 務 信 省 項 通 す 令 知 るこ 第 で 都 定 道 と  $\otimes$ 뭉 府 に る に 県 ょ と 係 以 こころ つ 外 る て 部  $\mathcal{O}$ 行 に 分 都 う ょ に 道 り、 ŧ 限 府 る。  $\mathcal{O}$ 県 とす 機 0 構 都 る。  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 道 使 規 府 ただ 県 用 定 に に 知 係 ょ 事 L る る カュ 特 電 通 5 别 子 知 第  $\mathcal{O}$ 都 計 + 求 算 道  $\Diamond$ 機 府 条 が 県 カコ 0 以 あ 6 十二 電 外 0 た 気  $\mathcal{O}$ لح 通 都 第 き 信 道 は 項 府 口 線 県  $\mathcal{O}$ を  $\mathcal{O}$ 規  $\mathcal{O}$ 通 都 定 限 U 道 12 ŋ 7 府 ょ 当 で 県 る 事 な 該 知 都 事 務 渞 0  $\mathcal{O}$ 処 府 県 機 理 知 構 に 事 保 関  $\mathcal{O}$ 存 l 使 本 求 用 人 8 に 確 が 認 係 あ 情 る 0 電 た 報 子  $\mathcal{O}$ 提 き 計 供 算 は

通 知 都 道 府 県 以 外  $\mathcal{O}$ 都 道 府 県  $\mathcal{O}$ 区 域 内  $\mathcal{O}$ 市 町 村  $\mathcal{O}$ 執 行 機 関  $\sim$  $\mathcal{O}$ 本 人 確 認 情 報  $\mathcal{O}$ 提 供

執 を 除 + 行  $\mathcal{O}$ 機 市 条 町  $\mathcal{O}$ 関 が 村 + 番 を 0 号 提 市 利 供 町 機 用 す 村 構 法 る 長 は そ ŧ 第 九 0  $\mathcal{O}$ 次 条 他  $\mathcal{O}$ す 第 各 0 る。 号 執 項 行  $\mathcal{O}$ ただ 機  $\mathcal{O}$ V 関 ず 規 定 Ļ れ に に 対 カコ ょ 第 L に 1) 該 個 号 機 当 構 す 人 に 番 掲 保 る 묽 げ 存 場 を る 本 合 場 利 12 人 用 合 確 は す 認 ること あ 情 政 令 0 報 て で が は 第 定 で  $\Diamond$ き 号 個 る ところ る 人 及 場 番 び 第二 合 号 に に に 限 0 号 ょ り、 V り に て 掲 提 は げ 涌 供 る 知 す 当 場 都 該 合 る 道 ŧ 市 に 府  $\mathcal{O}$ 町 あ 県 لح 村 以 0 す 長 7 外 る そ 0 は 0 都 他 住 道 0 民 府 票 市 県 町  $\mathcal{O}$ 村 Ì 区 0 K 域

府 県 通 以 知 外 都  $\mathcal{O}$ 道 都 府 県 道 以 府 県 外 0  $\mathcal{O}$ 都 都 道 道 府 府 県 県 知  $\mathcal{O}$ 事 区 を 域 経 内  $\mathcal{O}$ て 同 市 表 町 0 村 下 0 欄 市 町 に 掲 村 げ 長 そ る 事  $\mathcal{O}$ 務 他  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 処 執 理 行 機 に 関 関 で 求 あ  $\otimes$ 0 が 7 別 あ 0 表 た 第 兀  $\mathcal{O}$ 上 欄 に 掲 げ る ŧ  $\mathcal{O}$ か 6 涌 知 都 道

- 定 8 通 る 知 事 都 務 道  $\mathcal{O}$ 府 処 県 理 以 に 外 関 0 L 都 求 道 8 府 が 県 あ  $\mathcal{O}$ 0 区 た 域 と 内 き 0 市 町 村 0 市 町 村 長 そ 0 他 0 執 行 機 関 カコ 6 番 号 利 用 法 第 九 条 第 項 0 規 定 に 基 づ き 条 例 で
- 関 通 す 知 る 都 事 道 務 府 0 県 処 以 外 理 に  $\mathcal{O}$ 関 都 道 L 求 府  $\otimes$ 県 が  $\mathcal{O}$ あ 区 0 域 た 内 と  $\mathcal{O}$ き 市 町 村  $\mathcal{O}$ 市 町 村 長 か 5 通 知 都 道 府 県 以 外  $\mathcal{O}$ 都 道 府 県 0 都 道 府 県 知 事 を 経 て 住 民 基 本 台 帳
- 2 電 情 子 報 前 計  $\mathcal{O}$ 項 提 算 機に 供 第 は、 号 送 信 総 に す 務 係 ることによつて行うも 省 る 令 部 で 分 定 に 8 限 る。 る とこ ろ  $\mathcal{O}$ に 規 0) ょ 定 り、 と に す ょ る。 機 る 構 通 た  $\mathcal{O}$ 知 だ 使 都 用 道 L に 府 特 係 県 以 别 る 電 0 外 求 子 0 8 計 都 が 算 道 機 あ 府 0 か 県 た 5 0 電 لح 区 き 域 気 は 通 内  $\mathcal{O}$ 信 口 市  $\mathcal{O}$ 線 町 限 を 村 ŋ 通  $\mathcal{O}$ で じ 市 な て 町 当 村 該 長 市 町  $\mathcal{O}$ 村 機 構 長 0 保 使 存 用 本 に 人 係 確 る 認

(本人確認情報の利用)

二項 三十 次 項  $\mathcal{O}$ に 条 規  $\mathcal{O}$ お 定 11 +に て 五. ょ 同 ľ ŋ 都 個 道 人 府 番 を 県 号を 利 知 用 事 利 す は 用 ること す 次 ることが  $\mathcal{O}$ が 各号 で き  $\mathcal{O}$ る。 で 1 き ず る場 ただ れ か Ĺ 合 に に 該 限 当 個 す り 人 る 番 場 利 号 用 に 合 す 0 に *\*\ ること は て は 都 が 道 で 当 府 きる 該 県 知 都 t 道 事 0 保 府 とす 県 存 知 本 事 人 が 確 番 認 号 情 利 報 用 法 住 第 民 九 票 コ 条 1 第 ド 項 を 又 除 < は 第

- 一 別表第五に掲げる事務を遂行するとき。
- 二 条例で定める事務を遂行するとき。
- $\equiv$ 本 人 確 認 情 報  $\mathcal{O}$ 利 用 に 0 き当 該 本 人 確 認 情 報 に 係 る 本 人 が 同 意 L た 事 務 を 遂 行 す ると
- 四 統計資料の作成を行うとき。
- 2 情 掲 ょ ŋ 報 げ 都 を 個 る 道 提 人 場 府 番 県 供 合 号 す に 知 を る あ 事 利 ŧ 0 は 用 て  $\mathcal{O}$ す لح は 次 ることが す 条  $\mathcal{O}$ る。 例 各 号 で ただ 定  $\mathcal{O}$ できる  $\Diamond$ 11 るところ ず n 場 個 カコ 合 人 に に 番 に 該 限 当 号 ょ り、 り、 に す る 0 場 提 1 都 供 7 道 合 す は 府 に る 県 は ŧ 当 知  $\mathcal{O}$ 該 事 第 لح 都 以 す 号 道 外 うる。 府  $\mathcal{O}$ に 県 当 掲 0) 該 げ 執 都 る 場 行 道 合 機 府 関 県 に が 0) あ 番 執 0 て 号 行 利 機 は 用 関 政 法 に 令 第 対 で Ļ 定 九 条 8 第 都 る ところ 道 項 府 又 県 は 知 に 事 ょ 第 り、 保 項 存 0 本 第 規 号 確 定 に 認
- X が 都 道 あ 0 府 た 県 لح 知 き 事 以 外  $\mathcal{O}$ 当 該 都 道 府 県 0 執 行 機 関 で あ 0 7 別 表 第 六 0) 上 欄 に 掲 げ る ŧ 0 か 5 同 表  $\mathcal{O}$ 下 欄 に 掲 げ る 事 務 0 処 理 に 関 L 求
- 六 律 平 都 構 +成 道 は +府 兀 機 県 第 年 構 知 + 法 保 事 六 存 以 律 外 条 第 本  $\mathcal{O}$ 百 人  $\mathcal{O}$ + 確 当 五. 兀 +認 該 第 情 都 号) 二項 報 道 府 個 第 県 第十八 八 人  $\mathcal{O}$ 番 条 執 뭉 行 条 第 を 機 第 除 関 +兀 で 項 あ 条、 及 0 を、 て び 第 第 + 条 五 例 電 -条、 項 子 で ·署 定 第 名 8 第 二十七 十三 等 る に ŧ 条 係  $\mathcal{O}$ 条、 る カコ 地 第 5 第三十 条 + 方 五. 公 例 共 で 条 · 条、 第 寸 定 8 体 第三十 項 情 る 事 報 第 務 ス 十 0 条 六 テ 処 条  $\Delta$ 理 第 の機 に 七 構 関 + 0 兀 第 認 求 条 +証 8 第 六 業 が 務 条 あ 項 に  $\mathcal{O}$ 0 たと 関 +第三十 す き。 る + 法

3

五. 条  $\mathcal{O}$ 七、 第 三 + 五. 条  $\mathcal{O}$ + 五. 条 0 + 兀 第 並 び に 第 + 七 条 第 三 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 事 務 に 利 用 す るこ が で

機 構 項は に 規 機 定 構 す 保 る 存 機 本 構 人 確 処 理 認 事 情 務 報  $\mathcal{O}$ を、 う É 番 総 뭉 務 利 省 用 令 法 で 第 定八項  $\Diamond$ 条 る第 Ł の項 に 及 び 利 用 第 す + ること 六 条  $\mathcal{O}$ が で  $\mathcal{O}$ き 規 さる。 定 に ょ る 事 務 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 番 号 利 用 法 第 + 八 条

本 人 確 認 情 報 等  $\mathcal{O}$ 提 供 に 関 す る 手 数 料

は 法 条 人 又  $\mathcal{O}$ は 十三 デ ジ タ ル 機 庁 構 かは 6 第 三十 総 務 大 条 臣 O0 九 認 又 は 可 を 第 受 三 け +7 条 定  $\mathcal{O}$ 8 九 る  $\mathcal{O}$ 額 第  $\mathcal{O}$ 手 項 数 料 に を 規 徴 定 収 す る す ることが 求 8 を 行 で Š きる。 別 表 第  $\mathcal{O}$ 上 欄 掲 げ る 玉 0 機 関 若 L

受 領 者 等 に ょ る 本 人 確 認 情 報 等  $\mathcal{O}$ 安 全 確 保

三十 に 機 提 理  $\mathcal{O}$ 関 供  $\mathcal{O}$ 規 若 た た 定 を 条 受け の 二 に 8 0 L 7 に ょ <  $\overline{+}$ た 必 は ŋ は 要 提 法 市 八 な 受 供 町 人 措 領 を 又 村 第 置 者 受 は 長 三 は け そ + を 第 講 た  $\mathcal{O}$ 条  $\overline{+}$ 受 ľ 本 他  $\mathcal{O}$ 領 な 人 条  $\mathcal{O}$ 九 け 確  $\mathcal{O}$ L 市 第三十 た れ 認 九 町 ば 本 情  $\mathcal{O}$ 村 人 な 報  $\mathcal{O}$ 確 5 執 又  $\mathcal{O}$ 条 な 認 は 規 行  $\mathcal{O}$ 情 11 住 定機 + 報 民 に 関 か 等 票 ょ 5 第三  $\mathcal{O}$ コ ŋ 都 漏 Ì 住 道  $\overline{+}$ え F. 民 府 票 県 条 11 以 コ 知  $\mathcal{O}$ 滅 事 + 下 Ì そ ド 兀 失 及 受  $\mathcal{O}$ ま  $\mathcal{O}$ 領 で び 提 他 ĺ 毀 供  $\mathcal{O}$ 若 損 た を 都 L 本 受 道 <  $\mathcal{O}$ 人 け は 防 府 確 たデジ 止 県 第 三 そ 認  $\mathcal{O}$ +  $\mathcal{O}$ 情 執 報 タ 条 他 行 等 ル 0 機  $\mathcal{O}$ 当 関 + 庁 と 該 若 五. 。 以 受 11 L 第 う。 領 < 下 項 L は 受 た 別  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 領 本 表 規 者」 電 定 人 第 確 子 12 認 計 と  $\mathcal{O}$ ょ 情 算 V 上 ŋ う。 機 欄 本 報 に 等 処 人 理  $\mathcal{O}$ 掲 確 げ 築 が 滴 認 切 を る 情 な 行 れ 玉 報 う 5  $\mathcal{O}$ 0

2 が 受 前 託 項  $\mathcal{O}$ し た 規 業 定 務 は を 行 受 う 領 場 者 合 か に 5 つい 受 領 て L 準 た 用 本 す 人 る 確 認 情 報 等  $\mathcal{O}$ 電 子 計 算 機 処 理 等  $\mathcal{O}$ 委 託 以 上  $\mathcal{O}$ 段 階 に わ た る 委 託 を 含 む を 受 け た 者

本 人 確 認 情 報 等  $\mathcal{O}$ 電 子 計 算機 処 理 等 に 従 事 す る 受 領 者  $\mathcal{O}$ 職 員 等  $\mathcal{O}$ 秘 密 保 持 義 務

第 関 道 は す 府 都 る 県 道 条  $\mathcal{O}$ 秘 府  $\mathcal{O}$ 三 密 職 県 +を 員 知 漏 又 事 第三 5 は そ L 職  $\mathcal{O}$ 他 + 7 員 は で 条  $\mathcal{O}$ あ な 都  $\mathcal{O}$ 5 0 道 + た な 府 か 者 県 5 第三 は  $\mathcal{O}$ 執 +そ 行  $\mathcal{O}$ 機 条 事 関  $\mathcal{O}$ 務 が +に 提 兀 関 ま 供 L を で 受 7 又 知 け は ŋ た 第 得 本 三 +た 人 本 確 条 認 人  $\mathcal{O}$ 確 情 + 認 報 Ŧī. 情  $\mathcal{O}$ 第 電 報 項 に 子 関 計  $\mathcal{O}$ す 算 規 る 機 定 秘 処 に 理 密 ょ n 又 等 に は 市 関 本 町 す 人 村 確 る 長 認 事 そ 情 務  $\mathcal{O}$ 報 に 他  $\mathcal{O}$ 従  $\mathcal{O}$ 電 事 市 子 す 町 計 る 村 市 算 0 機 町 執 処 村 行 玾 又 は 関 に 都 又

人  $\mathcal{O}$ 役 確 第 員 認 認 +若 情 情 報 報 条 筡 < 等  $\mathcal{O}$ に は  $\mathcal{O}$ 九 関 職 電 又 員 は す 子 る 若 計 第 秘 L 算 十 機 密 < は 又 処 条 は 理  $\mathcal{O}$ れ 等 本 九 に 5  $\mathcal{O}$ 人  $\mathcal{O}$ 関 確 認 職 す  $\mathcal{O}$ る 情 に 規 事 定 報 あ 等 9 務 に のた に ょ 電 者 従 ŋ 子 又 事 別 計 は す 表 算 デ る 第 機 37 百 処 タ 欄  $\mathcal{O}$ 理 ル 上 等 庁 掲 欄 げ に  $\mathcal{O}$ に 職 関 る 掲 員 す 玉 げ る 若  $\mathcal{O}$ る 秘 機 玉 L < 関 密  $\mathcal{O}$ は 機 を  $\mathcal{O}$ 関 漏 職 職 5 員 員 若 で 若 L L あ < て L は 0 は は た 法 な 者 5 職 人 な は 員 又 で 1 は そ あ デ ジ 0  $\mathcal{O}$ 事 た タ 務 者 ル に 庁 関 同 が 欄 提 し 7 供 掲 を 知 げ 受 1) 得 る け 法 た た 本 人 本

3

領

者

か

6

受

領

L た

本

人

確

認

情

報

等

0

電

子

計

算

機

処

理

等

 $\mathcal{O}$ 

委

託

以

上

0)

段

階

に

わ

た

る

委

託

を含

む。

を

受け

た者

若

L

<

は

そ

0

2

等の電子計算機処理等に関する秘密を漏らしてはならない。 員若しくは職員又はこれらの者であつた者は、その委託された業務に関して知り得た本人確認情報等に関する秘密又は本人確認情報

別表第一(第三十条の九、 第三十条の二十三、第三十条の二十八、第三十条の三十関係)

の市町村長その他の執行機関提供を受ける通知都道府県の区域内の市町村	別表第二(第三十条の十関係)	三十二~百二十三 (略)	三十一 法務省 二 で こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	一~三十 (略)	提供を受ける国の機関又は法人
事		(略)	の受記、所有権の保存若しくは移転のの登記、所有権の保存若しくは移転のの登記、所有権の保存若しくは移転のの登記、所有権の保存若しくは移転のの登記、所有権の保存若しくはというの登記法(平成十六年法律第百二十	(略)	事
務			令で定めるもの 中三号)による不動産の表題登記(同法第十三号)による不動産の表題では の登記、 表題部所有者についての更において同じ。)の氏名若しくは名称若し くは更正の登記、 表題部所有者についての更 ので定めるもの		務

別

別表第四(第三十条の十二関係)

お道府県知事その お道 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	八 二 二 一 府 県 知 号 げ る 通
十七(略)	対   対   行   機   以   関   の
(略)	で総務省令で定めるもの 条の三の三第一項の認定又は同 物の処理及び清掃に関する法律 事
務	の二第一項の登録に関する事務第九条の二の四第一項若しくは
(略)	おつて総務省令で定めるもの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	あつて総務省令で定めるもの十五条の三の三第一項の認定又は同法第二十条の二第一項の登録に関する事務都道府県知事(廃棄物の処理及び清掃に関する法律による同法第九条の二の四第一項若しくは

例であつて総務省令で定めるもの、一般定により同項の政令で定める市の長が行う伝第二十条の二第一項の登録に関する事務のによる同法第九条の二の四第一項若しくは第	こととされたものの実施に関する事務うち、同法第二十四条の二第一項の規十五条の三の三第一項の認定又は同法廃棄物の処理及び清掃に関する法律に	十四条の二第一項の政令で定める市の長十 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第二
	(略)	一〜九(略)
務	事	区域内の市町村の市町村長その他の執行機関提供を受ける通知都道府県以外の都道府県の

別表第五 (第三十条の十五関係)

一~三十二(略

三十三 廃棄物の処 十条の二第一 項 0 登 理及び清掃に関する法律による同法第九条の 一録に関する事務であ つて 総務省令で定め るも 二の四  $\mathcal{O}$ 第 項 若しくは第十五条の三の三第 項 0) 認 定 又 は 同 法第二

三十四 (略)

森林法(昭和二十六年法律第二百四十九号)(抄)

(林地台帳の作成)

第百  $\mathcal{O}$ 条から 九十 第百 条の一 九 兀 + 市 条の六までにおい 町村は、 その 所 掌事 て同じ。 務 を 的 )の土地ごとに次に掲げる事 確に行うため、 筆の森林 (地域森林計 項を記載 L た林地台帳を作成するものとする。 画 0 対象となつている民有林 に限る。 以下こ

- 一 その森林の土地の所有者の氏名又は名称及び住所
- 二 その森林の土地の所在、地番、地目及び面積

三

その

森林

 $\mathcal{O}$ 

土

地

0

境界に関する測量の実施状況

四 その他農林水産省令で定める事項

2 · 3 (略)

○ 農地法(昭和二十七年法律第二百二十九号)(抄

(利用意向調査)

第三十二 行うものとする。 その者。 省令で定めるところにより、 条 以 下 農業委員会は、 「所 有者等」という。 第三十 その · 条 の 農 地 に 規定  $\mathcal{O}$ 対 所 Ļ 有 に 者 ょ る そ (そ 0) 利 農 0 用 農 地 状  $\mathcal{O}$ 地 況 農 に 調 業 0 查 上 11  $\mathcal{O}$ て 結  $\mathcal{O}$ 果、 利 所 用 有 0 権 次 意 以 0 向 外 各  $\mathcal{O}$ 号 に 権原 0) 0 7, V ず て に . 基 づ 0) れ 調 カコ き使用る 査 に 該 以 当す 下 及 る び 利 収 農 益をする者 用 地 意 が 向 あ 調 ると 査 が き لح は、 あ V ) る 場合に 、 う。 農林 水 を は 産

現に 耕 作  $\mathcal{O}$ 目 的 12 供され て おら ず、 か つ、 引 き 続 き 耕 作 0) 目 的 に 供 さ れ な 11 と 見 込 ま れ る農 地

その 農業上  $\mathcal{O}$ 利 用  $\mathcal{O}$ 程 度が その 周 辺の 地 域 に お け る 農 地  $\mathcal{O}$ 利 用 0 程 度 に 比 著しく劣つていると 認 め 5 れる農 地 前 号に 掲 げ る

農地を除く。)

6

(略)

第三十三 で定める農地 条 農業 が あ 委員会は、 るとき は、 耕 そ 作 0) 0) 農 事 業に 地 0) 所 従 事 有 する 者 等 者が不在 に 対 Ļ 利 と 用 な り、 意 向 又 は 調 査 を 不 行 在となることが うものとする。 確 実 んと認  $\Diamond$ 5 れ こるも 0 とし 7 農 林 水 産 省 令

2 · 3 (略)

(措置命令)

第 場 合 兀 以 積 下こ そ + に 0) は、 他  $\mathcal{O}$ 条 <u>)</u>政令 条に 市 必 要な限 お で 町 定 11 村 て め 長 る事 は、 度 支 E 事由によ お 障 第三十二条第 0) 1 除去等 て、 り、 当 当該  $\dot{O}$ 該 農地 措 農 置 項 地 各  $\mathcal{O}$ とい  $\mathcal{O}$ 뭉 所 周 有  $\mathcal{O}$ う。 者 辺 11 等  $\mathcal{O}$ ず に 地 れ かに を 対 域 講 Ļ に 該当 ず お べ 期 け 別限を定 る営農条件に す きことを命ずることが る農  $\otimes$ 地 て、 に お 著 そ ける病  $\mathcal{O}$ しい支障 支障 害 できる。  $\mathcal{O}$ 虫 が 除  $\mathcal{O}$ 去又 生じ、 発生、 は 又 は 発 土 生 石 生ず そ  $\mathcal{O}$ 防 0) るおそ 他 止 0) た れ  $\emptyset$ れ に に が 類 必 あ す 要 ると認 る な措 ŧ  $\mathcal{O}$ 置  $\Diamond$ 0 る 堆

2~5 (略)

(農地台帳の作成)

第 地ごとに次に 五. 一条の二 掲 げ 農 業委員 る事 ず項を記 会は、 録 その L た農地 所 掌事 台帳 務 を を 作 的 確 成するものとする。 に 行 う た め、 前 条 0) 規 定 ょ る農 地 関 る 情 報 0) 整 理 0) 環 とし て、 筆

0

- そ 0 農 地 0 所 有 者 0 氏 名 又 は 名 称 及 び 住 所
- そ 0) 農 地  $\mathcal{O}$ 所 在 地 番 作 地 目 及 CK 面 積
- 三 る 場 そ 条 第 合に 0) 農 あ 地 項 0 に に て 地 お は 上 11 権 これ て 読 永 4 ら 小 替  $\mathcal{O}$ 「えて 権 権 利 準  $\mathcal{O}$ 質 用 権 種 類 す Ź 及 使 第  $\mathcal{U}$ 用 三 存 貸 +続 借 九 期 に 条 間 ょ 第 並 る 権  $\mathcal{C}_{\mathcal{C}}$ にこ 項 利  $\mathcal{O}$ 裁 賃 れ 定 ら 借 に  $\mathcal{O}$ 権 お 権 又 1 利 は を そ て 有 定  $\mathcal{O}$ めら する者 他  $\mathcal{O}$ れ 使 た補  $\mathcal{O}$ 用 氏 及 償 名 び 金を含 文は 収 益 を目 名 む 称 及 的 لح び す 0) 住 額 所 る 並 権 び 利 に が 借 設 賃 定 等 z れ 第 7 兀 11

兀 そ 0) 他 農 林 水 産 省令で定  $\Diamond$ る事 項

2 4 略

 $\bigcirc$ 廃 棄 物  $\mathcal{O}$ 処 理 及 び 清 掃 関 す る 法 律 昭 和 兀 + 五. 年 法 律 第 百 三十七 号) 抄

変 更 0) 許 可 等

第 七 の 二 略

2 略

3 を廃 け 出 止 般 な け 廃 したとき 棄 れ ば 物 な 収 5 集 な 又 運 は 搬 住所そ 業者 文は  $\mathcal{O}$ 他 般 環 境 廃 省令で定 棄 物 処 分  $\Diamond$ 業 る 者 事 は、 項 を変 そ  $\mathcal{O}$ 更 L 般 たとき 廃 棄 物 は  $\mathcal{O}$ 収 環 集 若 境 省令で定めるところに くは 運 搬 若 < は 処 ょ 分 り、 0 事 そ 業  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 旨 全 を 部 市 若 町 < 村 長 は に 届 部

4 5 略

般 廃 棄 物 処 理 施 設  $\mathcal{O}$ 許 可

第八条 二条第 ようと は、 す 該 Ś 号に 般廃 者 般 規 棄 (第 廃 定 物 棄 六 す 処 物 条 る 理 の 二 施設 処 浄 理 化槽を除 施 第 (ごみ 設 を設 項 0) 処 置しようとす 規 理 定に 以下 施 設 同 ょ で ľ り 政 令 る で 般 地を管 及 定 廃 棄 び 8 物 る 轄 を 般 ŧ す 処 廃  $\mathcal{O}$ る 分 棄 都 す 以 物 Ś  $\mathcal{O}$ 下 道 た 最 府 単 県  $\otimes$ 終 に 知 に 処 分場 事 般 4  $\mathcal{O}$ 廃棄 で政令で定め 処 許 理 可 物 を 施 受け 設」 処 理 とい 施 な 心設を 設 いるもの け . う。 れ ば なら を 置 し 1 う。 な ようとす L 尿 以 処 下 理 る 同 施 市 U 設 町 浄化 村 を設置し を 除 槽 法

2 6 略

変 更  $\mathcal{O}$ 許 可 等

第 九 は 環 境 第 省 八 令 条 で 第 定 めるところにより、 項  $\mathcal{O}$ 許 可 を受け た者 は、 都 道 府 当 県 該 知 許 事 可  $\mathcal{O}$ に 許 係 可 る を 同 受け 条 第 なけ 項 れ 第 ば 兀 なら 号 か な 5 第 七 ただし、 号 ま でに その 掲 げ 変更が る 事 項 環  $\mathcal{O}$ 境省令 変 更 を で L 定 ょ  $\otimes$ j る軽微 すると

な

あ ると き 0 ŋ で

- 2 略
- 3 は、 る事 ŧ 遅 を除く。 項 八 滞なく、 条第 そ 0) 他 環 項 境  $\mathcal{O}$ 0 廃 省 許 旨 止 令で定める事 可 を受け を都 したとき、 道 た者 府 県 は、 若しくは 知 項 事に届 に 変 第 更 が 項 け 出 般 あ た だ な 廃 9 たとき、 け 棄 L 物処 書 ればなら  $\mathcal{O}$ 理 環 又 は 施 境 な 設 省 を 令で 当 休 該 止 許 定 Ļ 可  $\emptyset$ に る 若しく 係 軽 る 微 な変 は 般 更 休 廃 を 止 棄 物 L L た たとき、 処 当 理 該 施 設 般 若 しく 廃 般 棄 物 廃 は 棄 同 処 理 物 条 施  $\mathcal{O}$ 第 設 最 を 終 項 再 処 分場 開 号 で あ 掲

る

げ

4 ( 7 略

第

口 収の 機 能 を 有 す Ś 般 廃 棄 物 処 理 施 設 に 係 る 特 例

が ている者は、 を 九 熱を できる。 条 0) 得ることに  $\mathcal{O}$ 兀 環境省令で定めるところにより、 第 利 八 用 条 第 することをい 項  $\mathcal{O}$ 許 可 う。 に 係 る 一 以 下 般 同 r. 次 廃 0) 棄 各 物 処 뭉  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 機 理 能 11 施 ず を 設 有するも で れ にも あ 0 適合し て  $\mathcal{O}$ 熱 口 以 ていることにつ 収 下この 廃 棄 条 物 に で お あ V 11 0 て、 て て 索熱 燃 都 焼 道 口  $\mathcal{O}$ 府 収 用 県 施 設」 供 知 することが 事  $\mathcal{O}$ کے 認 11 う。 定 を受けること できる を設 ŧ

当 該 熱 口 収 施 設 が 環境省令で定め る技術 上  $\mathcal{O}$ 基 準 に 適 合 L て 1 ること。

申 請 者 0 能 力 が 熱回 収 を的 確 に、 か つ、 継 続して行うに 足 りるものとして 環境省令で 定  $\Diamond$ る基 準 に 適 合す Ź Ł  $\mathcal{O}$ で

- 2 6 略
- 般 廃 棄 物 処 理 施 設  $\mathcal{O}$ 譲受け 等)

第 廃 九 な 棄 物 0) 処 五. 理 施 第 八条 設 を 譲 第 ŋ 一受け 項  $\mathcal{O}$ 許 又 は 可 を受けた者 借り 一受け ようと 第三 す 項 る者 及び 次条第 は 環 境省令で定めるところに 項 に お い て 許 可 施 設 ょ 設 り、 置 者」 都 とい 道 府 う。 県 知 事 か  $\mathcal{O}$ 許 ら 可 当 を 該 受 許 け 可 な け 係 れ る ば な

2 3

5

合 併 及び 分 割

施 九 条 0 お 設 · う。 六 1 置 7 者 当 等 許 該 で で 可 合 あ あ 施 併 る る 設 又 法 法 設 は 人の合 置 人 分割 が 者 文は 存 に 続 併 っいい 第九 するときを  $\mathcal{O}$ 場 て都道・ 合 条の三 許 府 除 0) 可 く。 県 三 施 第 知 設 事 設 置 又 項  $\mathcal{O}$ 認 は 者  $\mathcal{O}$ 可 分 等 規 を受けたときは 割 で 定 に  $\mathcal{O}$ あ よる! 場 る 法 合 人と 届 (当該 出 許 を 許 可 し 合 施 た 可 者 併 に 設 係 設置者 後 。 以 存続 る 下この がする法 · 等 で 般 廃 な 棄 項 人若 物 及 処 法 び しくは 理 人 次 が 施 条 合 に 設 合併 併 を お 承 す る に 継 て ょ さ 場 ŋ せ 合 許 設 る 可 立 場 お 施 さ 合 設 て、 れ 設 に 限 た 置 る。 法 可

は 分 割 に ょ ŋ 当 該 般 廃 棄 物 処 理 施設 を 承 継 L た 法 人 は、 許 可 施 設 設 置 者 等  $\mathcal{O}$ 地 位 を 承 !する。

2 略)

第 九 0) 七 略

2 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定に ょ ŋ 許 可 施設設置 者 等  $\dot{O}$ 地 位 を 承 継 た相 続 は 相 続 0) 日 から三十 日 以 内 環境省令で定めるところに より、 そ

0 旨 を 都 道 府 県 知 事 に 届 け 出 なけ れ ば なら な

般 廃 棄 物  $\mathcal{O}$ 再 生 利 利用に係 る 特 例)

第 九条 0 八 環境 省 令 で 定める一 般 廃 棄 物  $\mathcal{O}$ 再 生 利 用を行 V ) 又 は 行おうとする者 は、 環 境 省 令 で 定めるところによ り、 次 0 各 0

ず れ ŧ 合 L て ることに て、

当

該

再

生

利

用

 $\mathcal{O}$ 

内

[容が、

生

活

環境の

保

全

上

支

障の

な

١,

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

として環境省令で定める基

準

に

適合すること。

に 適 V つい 環境大 臣  $\mathcal{O}$ 認定を受けることができる。

当 該 再生 利 用 を 行い、 又は行 おうとする者 が 環境省令で定  $\Diamond$ る基準に 適合すること。

三 前 号に規 定 す る者が設置 又 人は設置 L ようとす んる当 該 再 生 利 用 0 用 に 供 す る施設が 環境 省令で 定 め る基準 に 適 合 すること。

7 (略)

8 第 項の認定を受けた者 は、 第二項 第 号に 掲 げ る事 項  $\mathcal{O}$ 変 更又は 第六 項 ただし書の環境 省令で定  $\Diamond$ る 軽 微 な変更 を L たとき

環境 省 令で定 めるところによ かり、 遅 滞なく、 そ 0) 旨 1を環境 大 臣 に 届 け 出 な け れ ば なら な

9 10 (略)

ることが

できる。

般 廃 棄 物  $\mathcal{O}$ 広 域 的 処 理に係 る 特 例

第 九条 とする者を含む。 0) 九 環境省令で は 定める一 環境省令 般 で定めるところ 廃 棄物  $\mathcal{O}$ 広 域 的 に な により、 処 理を 次 行 0) V, 各 号の 又は 行 11 ず おうとする者 れにも適合していることについ 当 該 処 理を他 人に 委 託 環境 て行 大 臣  $\mathcal{O}$ 又は 定を受け 行 おう

当 該 処 理の 内容 が、 般 廃 棄 物 0 減 量 そ  $\mathcal{O}$ 他 その 適 正 な 処 理  $\mathcal{O}$ 確 保に資するもの として環境省 · 令 で 定め る基準 に 適 合すること。

Ľ, 当 該 処 が 理 環 境 を 省 行 令で V) 定め 又は行 る基 おうとする者 準 に 適合すること。 (そ 0) 委 託 にを受け て 当 該 処 理 を 行 い 又は行おうとする者 を含 む 次 項 第 号 て

前 号 に 規 定 す る 者が 環境省令で定める基準 に 適合する 施 設 を有すること。

2 5 略

- 6 定 第 るところに 項 0) 認 定 より、 を受け た者は、 環 绿烷大臣 当 0) 認 該 定 認 足を受け 定に 係 な る 処 け れ 理 ば  $\mathcal{O}$ 内 な 5 容 文は な \ \ \ 第二項第二号に ただ し、 そ 0) 変 掲 だげる事 更 が 環境 · 項 の 省 令 変更をしようとするときは、 で定  $\otimes$ る 軽 微 な変更で あ るときは、 境 省 令 で
- 7 (略)

 $\mathcal{O}$ 

限

ŋ

で

な

- 8 環 境 省 項 令で定 0 認 めるところにより、 定 を受けた者は、 第二項 遅滞なく、 第一 号に そ 0) 掲 旨 げ る事 を環境 項 大臣 0 変 更 に 文は 届 け 第六項 出 なけ れ ただし書 ば ならな の環 境 合で 定 め る軽 微な変更を たとき
- 9~11 (略)

(一般廃棄物の無害化処理に係る特例)

第

状に とし 九 ていることに 条 す て  $\mathcal{O}$ る処理 環 + 境 省 石 0 を 令 綿 *(* \ **,** \ で が て、 う。 定 含 め ま 以下同 るも 環境大臣 れ てい  $\mathcal{O}$ ľ る 一 0) 0) 高 )を行 般 認定を受けることができる。 度 放廃棄物 な技 \<u>'</u> 術 そ を 又は 用  $\mathcal{O}$ 11 他 た無害 行おうとする者  $\mathcal{O}$ 人 0 化 健 処 康 理 又 は 石は、 (廃棄物 生活 環境省令で定めるところにより、 環 境に を 人  $\mathcal{O}$ 係 健康又は る被害を生ずるおそ 生活 .環境に れ 係 る が 次の 被 あ 害が る 各号 性 生ず 状 0) を 1 る 有 ず お す そ る れ に n Ł が 般 な 廃 合 棄 11 性 物

当 該 無害 化 処 理 0 内 容 が、 当 該一 般廃棄 物 0 迅 速かつ安全 一な処 理 0 確 保 に 資 するも 0 <u>ک</u> ل て環境省令 で定め る基 準 に 適 合 するこ

- 当 該 無 害 化 処 理 を行 V. 又 は 行 おうとする者 が 環境 省令 で 定め る基 準 に 適 合すること。
- 三 前 号 に 規 定 す る 者 が ?設置 又 は 設 置 L ようと す んる当 該 無 害 化 処 理 0) 用 に 供 する施設 が 環境省 令 で 定 め る 基 準 に 適 合 うすること。
- 2~5 (略)
- 6 ろによ 第 り、 項 0 認 遅 滞 定 なく、 を受け た者 その旨 は、 [を環境 第二 大臣 項 第 に 号に 届 け 出 掲 な げ け る事 れ ば 項 な そ 5  $\mathcal{O}$ な 他 環境 省 令 で 定 め る事 項 0) 変更をしたとき は、 環 境 省 令 で 定めるとこ
- ~ 9 (略)

事

認

定

を受けることができる

二以 上 0 事 業者 に よる産業廃 棄 物  $\mathcal{O}$ 処 理 に 係 る 特 例

第十二条の 業者 は は 処 七 分 共 同 を 二以 行 お て うとする区 上 環 0) 境 事 事業者が 省令 · で 定 域 それ 運 め 搬 るところ 5 0) 0) みを 産 業 行 に 廃 う場 ょ 棄 り、 物 合 0) にあ 収 次 の各 集、 つ 7 号 運 0 は 搬 又 1 は ず 産 業 れ 処 にも 廃 分 を一 棄 適 物 合してい 体として実施しようとする場 0) 積 卸 しを行う区域 ることについて、 に限 る。 当 一合に 該 産業 を管 は 轄 廃 す 棄 当 る 物 該 都  $\mathcal{O}$ 以 道 収 集、 上 府 県 0 知 事 運

- そ 当  $\mathcal{O}$ 該 他  $\mathcal{O}$ 以 当 上 該 0) 事 以 業 上 者  $\mathcal{O}$ 0 事 1 業者 ず れ が か 体 0) 的 事 業 な 経 者 営 が を 当 該二 行 う 以 ŧ 0 上 として環境 0) 事 業者 のうち 省 <sup>1</sup>令で 他 定める基準  $\mathcal{O}$ 全ての 事 業者 に 適 合すること。 0 発 行 済 株 式  $\mathcal{O}$ 総 数 を 保 有 7 、るこ
- 行 うことが 当 該二 以 で 上 きる事業者として環境省令で 0) 事 業 不者の うち、 そ ħ 6  $\mathcal{O}$ 産 定 業 め 廃 る基準 棄 物  $\mathcal{O}$ に 収 集、 適 合すること。 運 搬又は処 分 を行う者 が、 産 業 廃 棄 物 0 適 正 な 収 集、 運 搬 又 は 処 分

### 2 6 略

7 都 道 第 府 県 項 知  $\mathcal{O}$ 認 事 0) 定 を受 認 定を受けなけ け た /2 は、 第二 れ ば ならな 項 各 号に 1 掲 ただし、 げ る 事 項 その変更 0) 変 更 をしようとするときは、 が 環境省令で定める軽 微 共 な 同 変更であるときは、 て、 環 境 省 令で定 めるところ 限 りでな により、

8

略

9 ょ ŋ 第 項 遅 滞 0) なく、 認 定 を受けた者は、 そ 0) 旨を都 道 第 府 七 県 項 知 べただ 事 に 届 L 書 け 出  $\mathcal{O}$ な 環 け 境 省令 れ ば なら で 定 な  $\Diamond$ , v る軽 微 な 変更 をしたときは 共 同 L て、 環 境 省令 で 定 め るところに

### 10 11 略

産 業 廃 棄物 処 理 業

第

三項 + な 0 を業として行う者そ みを業として 兀 及 条 び ただし、 第 産業・ + 五. 廃 行う場 事 条 棄 業  $\mathcal{O}$ 物 0) 者 兀 場合にあ 他 特 0) 自 別管 環境 兀 らその 第三項 つては、 省 理 令で定め 産 産 に 業 業廃 廃 お 産業廃 棄 Ś 棄物 物 T 者 同 を U. に を 棄 除 ¿ ° 運 0 物 11 搬  $\mathcal{O}$ はする場 積 以下こ て  $\mathcal{O}$ は、 卸 収 L 集 ح 合に を行う区域に限 又 0 0) は 条 限 限りでな 運 か る。 5 搬を業として行おうとする者は、 第十 兀 る。 専 条 5 の三の三まで、 再 生 を管轄する都道 利 用 0) 目 的 第 + となる 府 五. 県 当 条 産 知 該 0 業 事 業 兀 廃 を  $\mathcal{O}$ 0 許可 棄 行 物 おうとす を受け 0 第 み + 0 五. 収 な る 条 け 集 0 区 又 れ 兀 域 ば は 0 な 運 運 搬 5 第 搬

その 前 更 項 新を受け 0) 許 可 は、 な け 五. 年を下ら れ ば、 その な 期 11 間 期 間  $\mathcal{O}$ 経過 で あ に つ よっ て 当 て、 該 許 その 可 に 効力を失う。 係る事業の実 施 に 関 す る能 力及 び 実 績を勘 案 L て 政 令で 定 め る 期 間ごとに

### 3 5 略

Š

2

6 \ \ ° 産 者 ただし、 業 こその 廃 棄 他 物 環 事 0 境 業 処 省 者 分 令で定める者 を業として行 (自らその産 業廃 に おうとする者 0 V 棄 て 物 は、 を 処 この は、 分 す る場合に 当 限 「該業を りで な 限る。 行 おうとする 専 ら 区 再 域 を管轄 生 利 用 0) す る 目 都 的 道 لح な 府 る 県 産 知 業 事 廃  $\mathcal{O}$ 棄 許 物 可 0 を 受け 4 0 処 な 分 け を れ 業とし ば な 5 な

7 そ 更 項 新 0) を受け 許 可 は な け 五 年 れ んば、 を下 その 6 な 期 間 期 間 0) 経 で 過 あ に 0 よっ て 当 て、 該 許 その効力を失う。 可 に 係 る事 業 0 実 施 に 関 する能 力 及び 実 績 を勘 案 て 政 令で 定  $\Diamond$ る 期 須間ごとに

### 8~17(略)

(変更の許可等)

第 + ようと 几 条 0) す る と 産 き 業 は 廃 棄 都 物 収 道 府 集 県 運 知 搬 事 業 者 0) 許 又 は 可 を 産 受 業 け 廃 な 棄 け 物 れ 処 ば 分 な 業 5 者 は、 な そ ただ  $\mathcal{O}$ 産 L 業 廃 そ 棄 物 0) 変更が  $\mathcal{O}$ 収 集 事 若 業 L Š 0 は 部 運 0 搬 廃 又 は 止 で 処 あ 分 ると  $\mathcal{O}$ 事 き 業 は  $\mathcal{O}$ 範 用  $\mathcal{O}$ を 限 変 更 n

### 2 (略)

ない

3 て、 あ L 第 あ 前 る る < 条 五. は 第 同 七 0 0 項 条の二 第 条第 チ 五. は は 又は 項 뭉 第 三項 同 第 兀 号 十 第 1 第 1 兀 + 号 中 条 兀 前 口 項 前 第 条 か 条 カゝ 第五 条第五 五. 第 5 5 般 廃棄 項第 F 第 五 項 項 ま Ŧ. で又 項 一号 第二号口」 第 物 項 第四 まで *(*) 兀 ハ 号 は イス 号 IJ لح 0) と、 あ か 規 1 と、 は る に 5 定 は、 チ 係 ル  $\mathcal{O}$ るも に 同 ま は 号 市 係 で 産 ヌ 0 町 る 産 業 同 ŧ に 村 廃 業 とあ 限 長」 廃  $\mathcal{O}$ 号 棄 る。 を IJ 棄 物 とあ る 除 物 カコ 収 <  $\mathcal{O}$ *の* 5 集 \_ る ル は 運 と、 操業者 と 読 までに 0 又は 同号 は み替 =掲 都 第 市 及 えるも 道 +げ 町 び ٤ 府 兀 る 村 産 条第 者 長」 業廃 県 知 にあ 0 とす とあ 同 事 棄物 五. つて 뭉 項 Ź。 ル ٤, 第二 る 処 分業 は 0) 号 と 同 は 不者に あ 条第 ハ 同 都 か る 号 0 Ŧī. 5 1 道 0 は 項 ホ 又 府 11 は 中 ま 県 て チ 同 準 で 知 号 事 前 用 とあ す ホ」 前 条 と る。 第 条 と Ŧī. 第 る 項 五. 同  $\mathcal{O}$ 第 項 は 条 0 同 四 第 第 場 一号イ」 号 第 兀 兀 合 ÿ 号 項 + に 1 兀 中 お لح لح 若 条

# 4 · 5 (略)

(特別管理産業廃棄物処理業)

第 2 + う 場 前 L 兀 合 条 項 に  $\mathcal{O}$ 0 事 兀 許 業 あ 可 者 0 は、 て 特 自 は 別 五. 5 管 年 そ 特 理 ーを下ら 0) 別 産 特 業廃 管 別 理 な 管 産 棄 理 物 1 業 期 産 廃  $\mathcal{O}$ 間 業廃 収 棄 で 物 集 あ 又 棄  $\mathcal{O}$ つて は 物 積 を 卸 運 当 運 L 搬 搬す 該 を を 業とし 許 行 る場 可 う に 区 合に て 係 域 る事 行 に 限 限 おうとする者 · 業 の る。 る。 実 そ 施 を に  $\mathcal{O}$ 管 関 他 轄 は す 環 す 1る サ る能 境省令で定 当 都 該 力及 業を行 道 府 び 県 8 実 知 おうとする 入績を勘 る者 事  $\mathcal{O}$ に 許 案 0 可 71 区 L を て 受 7 域 政 は、 け 令 運 な で け 搬 定  $\mathcal{O}$ れ  $\mathcal{O}$  $\Diamond$ 限 ば 4 る ŋ を な 期 で 業として 5 間ごとに な な 行 た

# 3~5 (略)

限

で

な

そ

0)

更

新を受

け

な

け

れ

ば、

そ

0)

期

間

0)

経

過

に

ょ

0

て、

その

効

力

を失う。

6 ば な 特 5 別 管 な 理 産 た 業 だ 廃 Ļ 棄 物 事 0 業者 処 分を業として行 自 5 その 特 おうとする者 別 管 理 産 業 廃 棄 は 物 当 を 該 処 業を 分する場 行 おうとする区域 合 に 限 る。 その を管 轄する 他 環境 省 都 令 道 で 府 定 県  $\otimes$ 知 る 事 者  $\mathcal{O}$ に 許 0 可 を 11 受け て は な け 0 れ

### 7 前 項 0) 許 可 は、 五. 年 を下ら な 1 期 間 で あ つ 7 当 該 許 可 に係る事 · 業 の 実 施 に 関 する能力及び 実績を勘 案し て 政令で定 め る 期 須間ごとに

0 更 新 を 受 け な け れ ば そ  $\mathcal{O}$ 期 間  $\mathcal{O}$ 経 過 に ょ 0 て、 そ  $\mathcal{O}$ 効 力 を

変 更  $\mathcal{O}$ 許 可

第 + は 処 几 分 条  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 事 五. 業  $\mathcal{O}$ 特 範 別 井 管 を 理 変 産 更しようとす 業廃 棄 物 収 集 ると 運 搬 き 業 は 者 又 都 は 道 特 府 别 県 管 知 理 事 産  $\mathcal{O}$ 業 廃 許 可 棄 を 物 受け 処 分 な 業 け 者 は、 れ ば なら そ  $\mathcal{O}$ な 特 別 管 ただし、 理 産 業 廃 そ 棄 0) 物 変  $\mathcal{O}$ 更 収 が 集 事 若 業 L < は 部 運  $\mathcal{O}$ 搬 廃 又

2

で

あ

ると

き

は

0)

限りでな

3 事 뭉 前 لح ホ 条 前  $\mathcal{O}$ と 場 第 あ 条 七 条の二 と、 合に 五 第 る 項 五.  $\mathcal{O}$ 同 第 項 は 条 お 同 兀 第 第 1 第 て、 号 号 兀 第 兀 ij イ 号 +項 項 イ 四 中 同 カゝ とあ لح 若しくはチ又は第十 条 第 条第三 5 あ 前 第 五項 条第 る る 五. 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 項 (第二号 五. 中 ま は は 項 で 「第 同 第 0 号 + 匹 般 規 イ 兀 イ 号 定 廃 **(**前 は、 兀 条 口 棄 前 第 条 条 カュ 物 条第五 第 第  $\bigcirc$ 五. 5 特 項 五. 五. 1 別 第二 لح 項 管 項 ま 項第四 第一 第四 あ で 理 号 又 る 産 ハ 号 号 は  $\mathcal{O}$ 業 号 口 1 IJ 廃 は と、 ・又はチ \_ 1 か 棄 と、 特 に 5 物 係るも 別 収 ル E 同 ま 管 集 市 号 係 で 理 運 ヌ」  $\mathcal{O}$ 町 る 産 搬 に 村 ŧ 同 業 業 限 長」 لح 号リ 廃 者  $\mathcal{O}$ ある る。 を 棄 及 とあ 除 か 物 び *の* 0) < 5 特 \_ は る ル 別 と読 までに と  $\mathcal{O}$ 管 同 又は第十四 は 理 み 号 産 替 都 市 =掲 業 えるも 道 げ 町 廃 と、 府 る 棄 村 県 条 者 長」 物 第  $\mathcal{O}$ 知 処 に とする。 事 لح 同 五. あ 分 業 号 項 0 あ と 第二 て ル る 者 は  $\mathcal{O}$ に لح 同 号 は 0 あ 条 同 11 第 都 る か 号 て 五. 5 0 1 進 道 は 項 ホ 又 府 用 中 ま は 県 す 同 で チ 知 る

4 5 略

産 業 廃 棄 物 処 理 施 設

第

ŧ + を受け 0) 五. を 条 な 1 け う。 産業 れ ば 以 廃 な 下 棄 6 同 物 じ。 な 処 理 施 設 設 置 廃 しようとす プラス チ ツ る者 ク 類 は 処 理 当 施 該 設 産 業 産 廃 業 廃 棄 物 棄 処 物 理  $\mathcal{O}$ 施 最 設 終 を設置 処 分場 そ ょ  $\mathcal{O}$ うと 他  $\mathcal{O}$ す 産 Ś 業 地 廃 を 棄 管 物 轄  $\mathcal{O}$ す 処 る 理 都 施 道 設 府 で 県 政 知 令 事 で  $\mathcal{O}$ 定 許 8 可

2 6 略

変 更 0 許 可 等

+ う 五. す 条 ると 0 微 な 変 き 0) 更 は 六 で あ 環 産 るときは 業 境 省 廃 合で定 棄 物 処 この め 理 るところに 施 限 設  $\mathcal{O}$ で 設 な 置 ょ 者 り は 都 当 道 該 府 許 県 可 知 に 事 係 る  $\mathcal{O}$ 第 許 可 十 を 五. 受 条第二 け な 項第四 け れ ば なら 号 か 5 な 第七号までに ただ 掲 そ 0) げ 変 る 更 事 が 項 環 0) 境 変 省令で 更 L 定

2 略

3 と、 号 第 項 施 لح 又 1 兀 設 た 号 だ あ は 該 九 第 第 لح 許 る L 口 条 七  $\mathcal{O}$ あ 般 書 + か 可 第 は 兀 条 5 る 廃 に 条 第 1 0 棄 係 لح 項 同 第 Ŧī. ま は 物 る あ カゝ 号 五. 項 で 処 る 5 = \_ 項 第 又 当 理 般  $\mathcal{O}$ 第 第 匹 は 施 は 廃 該 七 と、 二号 뭉 IJ 産 設 棄 項 業廃 第 カ を イ 物 ま . П \_ 又 ら 処 +で لح 同 は 理 五. ル 棄 0) と チに 号 ま 物 あ 施 条 規 で ル 処 る 設」  $\mathcal{O}$ 定 0 同 係 理 は、 同 لح るも لح 0 条 施 は あ 第 号 設 あ 六 産 る IJ 産 第 七  $\mathcal{O}$ る 業 と、  $\mathcal{O}$ 項 を か 業  $\mathcal{O}$ 廃 は 中 除 5 廃 は 項 棄 ル 棄 た 物 だ 物 当 ま 同 第 処 でに 뭉 七 般 処 該 L 理 書」 ホ 条 又 廃 理 産 施 第 は 掲 棄 施 業 設 と 五. げ ٢, 第 物 設 廃 0 る者 項 + を 設  $\mathcal{O}$ 棄 兀 物 第 置 と とあ 兀 同 条 に 処 同 者 뭉 号 第 あ 理 条 に IJ 1 0 る 同 施 第 0 五. 項 て  $\mathcal{O}$ 設 7 条 第二 と とある は 第 は 項 て あ ٤, 準 兀 第 号 同 産 る 項 用  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 号 業 及 뭉 す ハ Ź。 か 廃 1 び は は لح 又 棄 第 般 5 「第 同 ホ は 物 五. あ 廃 +まで チ」 *(*) る 0) 号 項 棄 匝 中 場 イ 物  $\mathcal{O}$ と、 لح  $\bigcirc$ 合 条 は 当 第 第 第 あ に 七 と 七 五. る 同 該 第 お 条 +条 項  $\mathcal{O}$ 条 許 あ 1 第 第 第 第 て、 は 可 る 五. 五 Ŧī. 六 に  $\mathcal{O}$ 条 号 項 項 第 項 係 は 第 同 第 第 + 中 る 条 兀 兀 兀 産 項 第 と、 号 号 条 第 般 業 第 第 七 廃 廃 項 1 イ 号 中 五. に 棄 若 条 棄 į 同 第 係 項 物 物 第二 号 < لح る 五. 処 第  $\mathcal{O}$ ヌ は 項 理

熱 回 収  $\mathcal{O}$ 機 能 を 有 す る産 業廃 棄 物 処 理 施 設 に 係 る 特 例 0

に

限

る。

と

読

4

替

えるも

 $\mathcal{O}$ 

とす

る。

+ 府 収 県 施 五. 設 条 知 0 事  $\equiv$ と  $\mathcal{O}$ *O* 認 11 · う。 定 三 を 受 第 け を +ることが 設 五 置 条 第 L 7 項 できる。 11 る 0) 者 許 は、 可 に 係 環 境 る 省 産 令で 業 廃 棄 定 8 物 処 るところ 理 施 設 に で ょ あ ŋ 0 7 次 熱 口  $\mathcal{O}$ 各 収 号  $\mathcal{O}$ 機  $\mathcal{O}$ V 能 ず を れ 有 に す っるも Ł 適 合  $\mathcal{O}$ L 以 て 下こ 1 ること 0) 条 に に 0 お 1 11 て て 都 熱 道 口

当 該 熱 口 収 施 設 が 環 境省令で定め る技 術 上  $\mathcal{O}$ 基 準 に 適 合 L て 1 ること。

申 請 者 0 能 力 が 熱 口 収 を的 確 に、 か 0 継 続 7 行 Š に 足 ŋ る ŧ 0) とし て 環 境 省 令 で 定 8 る 基 準 に 適 合 す る ŧ 0 で あ る

2 6 (略

準

用

第 設 第 に 五 + 項 条 0 中  $\mathcal{O}$ Ŧī. V 条 7 兀 の 二 第 準 八 用 第 第 条 す 九 第 る 条 項 0 項」 兀 0 0 読 لح 場 規 み替 あ 合 定 に る は こえる  $\mathcal{O}$ お 産 11 業 は 廃 て、 ŧ 第 0 棄 第 と +物 す 処 五. 九 る 条 条 理 第  $\mathcal{O}$ 施 兀 設 項」 中  $\mathcal{O}$ 設 と、 置 般 者 に 同 廃 棄 0 条 第 物 1 て、 処 項 理 及 施 第 び 設 九 条 第 لح 九  $\mathcal{O}$ 条 あ 五. 0 る か 六  $\mathcal{O}$ 5 第 第 は 九 項 産 条 中 業  $\mathcal{O}$ 廃 七 第 棄 ま 八 物 で 条 処  $\mathcal{O}$ 規  $\mathcal{O}$ 理 施 定 第 設 は 産 と 項 業 廃 لح 第 棄 あ 九 物 る 条 処  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 理 は 五. 施

産業廃棄物の再生利用に係る特例)

第

号 0 五. 条 11 ず  $\mathcal{O}$ n 兀 に  $\mathcal{O}$ Ł 適 合し 環 境 7 省 いることについ 令 で 定  $\Diamond$ る 産 業 て、 廃 棄 環 物 境  $\mathcal{O}$ 大 再 臣 生  $\mathcal{O}$ 利 認 用 定 を を 行 受け 1 ることが 又 は 行 お できる。 5 する 者 は 環 境 省 令 で 定めるところ ょ ŋ 次 0

- 当 該 再 生 利 用 0 内 容 が、 生 活 環 境  $\mathcal{O}$ 保 全 上 支 障 0) な 1 Ł  $\mathcal{O}$ لح L 7 環 境 省 令 で 定  $\emptyset$ る 基 準 に 適 合 す ること。
- 当 該 再 生 利 用 を 行 11 又 は 行 お うと す る 者 が 環 境 省 令 で 定 8 る 基 準 に 適 合 すること。
- 三 前 号 に 規 定 す る 者 が 設 置 し、 又 は 設 置 し ょ う لح す る 当 該 再 生 利 用 0) 用 に 供 す る 施 設 が 環 境 省 令 で 定 め る 基 準 に 適 合 す ること。

### 2 (略

3

三号」 + 七 理  $\mathcal{O}$ 第 0 7 施 は 六 項 第 号 項、 て、 لح 項 設 0) 九 لح あ 第 規 条 0 第十 + 読 と る لح 変 定 同 0 4 あ  $\mathcal{O}$ あ 兀 更 条 は 八 替 る は 五. る 条 0) 第 第 える 0 項  $\mathcal{O}$ 第 認 九  $\mathcal{O}$ 三 は 産 及 は 定 項 項 項 ほ 業 び 項 に 0) に 0 第十七 第 規定 廃 産 若 お 規 か 0 十五 棄 業廃 しく V 定 11 ے 物 て準 て は は 項」 は れ 条 処 棄 第 読 第 分業  $\mathcal{O}$ 物 用 5 第 み 六項 と、 0) 兀 す 項 替 項 処 者」 る。 規定 の 二 理  $\mathcal{O}$ え  $\mathcal{O}$ 認 施 又 7 認 と、 準 第二 設」 は  $\sum_{i}$ に 定 定 関 般 に 第  $\mathcal{O}$ 用 に と 項 場 L 廃 +0 す 0 第二 必 棄 五. 合 11 る 11 て、 要 般 物 同 条 に て、 同 な 号 条第 廃 第 収 お 条 集運 棄 技 1 同 第 同 物 条第 と、 項 て、 術 Ŧī. 六 条 的 処 搬 項 項 第 と、 業 同 読 同 理 中 +0) 兀 者」 替え 条 項 変 条 施 項 第七 第七 設 第 更 0) か とあ 四 は、 規 0 6 とあ 項 般 認 条 項 定 第 る 政 中 第 廃 中 は 定 六 令 る  $\mathcal{O}$ 十 棄 第 に 項 第 で  $\mathcal{O}$ は 三 物 第 0 ま 項、 定 は の 七 項 1 で 条第 産 て、  $\Diamond$ 項 0 0 産 る。 業廃 とあ 第 第 認 規 業 +定 同 定 号」 項 五. 廃 棄 る 及 条 は 物 0) 若 び 第 棄 項 第 لح 物 収 及 八 は L くは び あ 項 項 処 集  $\mathcal{O}$ 産 運 る 理 第  $\mathcal{O}$ 項 0 十六 規  $\mathcal{O}$ 施 搬 業 第 に 認 は 設 業 廃 六 定 定 お 者 項 項 棄 は を 11 と 第 受 物 又 て 第 と、 + と け の は 読 あ 五. 同 第 4 項 た ٤, 替 条 条 る 八  $\mathcal{O}$ 者 0 第 0 条 え 認 に 兀 六 般 は 第 て 0 定  $\neg$ 項 準 を 0 廃 11 項」 中 棄 第 用 受 般 て、 +け 廃 す 第 物 第二 لح る 処 兀 同 棄 た 項 分 条 物 あ 同 者 条 第 項 業 第 処 に る 条 第

# 産業廃棄物の広域的処理に係る特例)

第

を受け + 行 おう 五 条 ることが لح  $\mathcal{O}$ す 兀 る者  $\mathcal{O}$  $\Xi$ で を きる 含 環 境 む 省 合で定 は 環 め る産 境 省令で 業 廃 定 棄  $\otimes$ 物 るところ  $\mathcal{O}$ 広 域 的 に な ょ 処 り 理 を 次 行  $\mathcal{O}$ 11 各 号 又  $\mathcal{O}$ は 行 11 ず おうとする者 れ にも 適合して (当 1 該 ること 処 理 を に 他 人に 0 11 て、 委 託 環 L て 境 大 行 臣 0 又 認 は 定

- r. 当 該 該 処 処 が 環 理 理 境 を  $\mathcal{O}$ 省 行 内 令 容 で が 定 又 は 産 8 る基 行 業 廃 お 準 う 棄 لح に 物 適合 す  $\mathcal{O}$ る者 減 す 量 るこ そ (そ  $\mathcal{O}$ 0) 他 委 そ 託  $\mathcal{O}$ を受け 適 正 な て 処 当 理 該  $\mathcal{O}$ 処 確 理 保 を に 行 資 す 1) る £ 又 は 0) とし 行 お う て 環境 ع す る者 省 令 を含 で 定め む る 基 次 準 項 第 に 適 号 合 12 す ること。 お て
- Ξ 前 号 に 規 定 す る 者 が 環 境 省 令 で 定 8 る 基 準 に 適 合 す る 施 設 を 有 すること

### 2 (略)

3 該 定 九 条 係 0 る 九 処 第 理 を 項 業として行  $\mathcal{O}$ 規 定 は 第 ごう者 項 0) ( 前 認 項 定 第 に 0 号 1 に て、 規 定 同 す 条 える者 第 兀 で 項 ある者に 及 び 第 五. 限 項 る。  $\mathcal{O}$ 規 定 を含 は 第 む 項 0 に 認 つ 定 を受 11 て、 け 同 た 者 条 第 六 そ 項 0 0) 委 規 託 定 は 第 け 7

項

لح 項 は る 第 認 及 あ 廃 並 0 定 てド 認 び 第 項 及 る 棄 は 第 定 に + 又 び 九  $\mathcal{O}$ 物 を は 受 は 処 第 兀 産 項 分 + 条 業 第  $\mathcal{O}$ 0 け 第 業 兀 第 廃 六 項 規 た + 者 条 + 棄 項 に 定 者 又 0) 物 お 五. は に は 七 項 لح 条 又 11 第 0 は 特 あ  $\mathcal{O}$ て 11 と、 読 て、 兀 别 第 項 特 る 管  $\mathcal{O}$ + 別  $\mathcal{O}$ 4  $\mathcal{O}$ =替 認 理 五. 管 は 同 第 項 理 産 え 定 条 第 業 般 及 産 7 を 第 準 項 廃 廃 び 業 + 受 七 第 廃 匹 け 第 棄 棄 用 項 + 物 物 棄 条 す た 0 号 収 収 七 物 第 る 者 規 集 集 項 同 に 定 ٤, لح 運 運 並 項 条 0 は 読 搬 搬 び 若 第 11 に 同 4 業 業 L 六 て 0 替 者 者 第 条 < 項 項 若 又 +第 は  $\mathcal{O}$ 同 え に る は 兀 第 L 五. 変 条 お 六 更 ほ < 条 項 第 11 0) 中 項 + は 般  $\mathcal{O}$ 7 カュ  $\equiv$ 特 廃 又 認 項 読 别 は 棄  $\mathcal{O}$ 第 定  $\mathcal{O}$ 4 三 管 れ 物 七 第 に 規 替 5 理 処 又 条 十 0 定 え  $\mathcal{O}$ 産 分 は 第 兀 V は て 規 業 第 + 条 準 業 7 第 者 準 廃 定 +  $\mathcal{O}$ 用 棄 兀 項 兀 項 に 用 す 関 と る 物 条 第 す  $\mathcal{O}$ る。 処 あ 0 第 認 同 L + 項 必 分 る 兀 定 条 業 要 0) 第 五 若 に 第 者」 + な 項 0) つ 六 は L くは 技 及 場 11 項 と 項、 産 て、 術 び 合 0 的 業 第 に 変 第 廃 第 六 更 読 同 + お 同 項」 六 替 条 棄 十 条 11 0 第 物 第 項 認 え 五. て、 と、 六 収 は 項 十 定 項 集 第 同 に 七 政 中 運 第 条 項 0 令 搬 + 条 第  $\mathcal{O}$ 1 第 業 七 般 兀 規 7 で  $\mathcal{O}$ 者 項 定 Ŧī. 項 定 廃 項 及 中 8 若 棄 は 同 لح る 第 び L 物 第 条 あ 第 第 第 と + る 七 項 は 八 あ 産 八 0 条  $\mathcal{O}$ 項

産 業 廃 棄 物  $\mathcal{O}$ 無 害 化 処 理 に 係 る 特 例

り、 + 廃 棄 五. 物 条 次 لح  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 各 L 兀 무 て 0  $\mathcal{O}$ 環 兀 1 境 ず 省 石 n 令 綿 で に が 定 Ł 含 適 8 ま る 合 れ ŧ L て て  $\mathcal{O}$ 1 る産 11  $\mathcal{O}$ ること 高 業 度 な 廃 に 技 棄 0 術 物 1 を そ て、 用  $\mathcal{O}$ 11 他 環 た  $\mathcal{O}$ 境 無 人 害 大  $\mathcal{O}$ 臣 化 健  $\mathcal{O}$ 処 康 認 理 又 定 を は を 行 生 受 11 活 け 環 又 る 境 は に لح 行 係 が お る . う 被 で 'きる。 لح 害 す を 生ず る 者 る は お そ 環 境 れ 省 が 令 あ で る 定 性  $\emptyset$ 状 るところ を 有 す る に 産 ょ 業

当 該 無 害 化 処 理  $\mathcal{O}$ 内 容 が 当 該 産 業 廃 棄 物  $\mathcal{O}$ 迅 速 か 0 安 全 な 処 理  $\mathcal{O}$ 確 保 に 資するも  $\mathcal{O}$ とし て 環 境 省 令 で 定 8 る 基 準 に 適 合 す るこ

当 該 無 害 化 処 理 を 行 又 は 行 おうとす る 者 が 環 境 省 令 で 定 8 る 基 潍 に 適 合 す ること。

前 号 に 規 定 す る 者 が 設 置 Ļ 又 は 設 置 し ょ う لح す る 当 該 無 害 化 処 理  $\mathcal{O}$ 用 に 供 す る 施 設 が 環 境 省 令 で 定 8 る 基 準 に 適 合 す るこ

2 (略)

3

ま

第には

施 八 係 で 条 0 八 般 る 条 第 規 廃 施 項 5 棄 設  $\mathcal{O}$ 定  $\mathcal{O}$ 物 項 認 は 兀 同  $\mathcal{O}$ と 定 第  $\mathcal{O}$ 条 لح に 規 第 لح あ 0 項 定 当 あ る 11 0 五. は 認 項 る  $\mathcal{O}$ 該 て 第 中 は 準  $\mathcal{O}$ 定 般 は 用 を 項 第 第 す 受 廃  $\mathcal{O}$ る。 七 け 産 +棄 認 兀 定 条 業 物 た 第 者 廃 を 条 処 受け 十三 第 理  $\mathcal{O}$ に 棄 場 物 施 0 項 若 項 合 V た 設 L 若 者 に て、 第 < L لح お に + < あ 同 は 11 0 五. 特 は る て、 条 V て、 項 别 第  $\mathcal{O}$ 第 及 管 六 は 第 七 項 第 75 理 八 項 当 第 若 条 及 産 九 該 業  $\mathcal{O}$ び 条 L 六 第 < 兀 廃 施  $\mathcal{O}$ 項」 設 棄 は 中 九 +物 第 項 第 当 لح ٤,  $\mathcal{O}$ 十 並 三 あ 兀 該 び 項 と 条 許 に る 第  $\mathcal{O}$ 第 規 0  $\mathcal{O}$ 九 可 兀 定 は 条 に + 第 0 係 五. は 第 般 + る 条 第 項 第 + 廃 第 匹 兀 若 般 項 棄 条 物 L 項 廃 項  $\mathcal{O}$ 第 処 < 中 棄 本 認 は 十 二 文 定 玾 物 第 処 及 に 施 第 項 六 理 び 設 七 0 項 条 施 1 第 第 لح 兀 又 第 て、 設 十 は あ 項 五. る 第 項 لح か 同 項  $\mathcal{O}$ +若 あ 6 条 及 Ŧī. る 第 第 は 六 几 び 条 0 項 産 第 は 項 第 は ま + 業 か 第 当 七 廃 項 六 で 5 項 項 棄 該  $\mathcal{O}$ 第 と 又 認 規 六 又 物 は は 処 定 定 項

み り、 て 境 几 六 収 替 大 は 項 集 0) + 「える 臣 兀 中 運 兀 及 び 第 は 第 搬 条 ほ 第 業  $\mathcal{O}$ 市 項」 か 項 者 兀 と、 町 0 項 若 第 لح += 村 申 第 L 長」 れ 請 < 5 書) 第二 号 は 項 同 0) とあるの 条第四 産 規定 とあ \_ 項 業廃 とあ 第 + に 項 る 五. 棄 号 関 る 中  $\mathcal{O}$ 物 は 項 0) は 処 及 都 分業者 لح 都 は び 必 第 第十 要な あ 道 道 書 府 る +府 技 県 類  $\mathcal{O}$ 県 五. 又 八 条は 項」 知 術 及 は と、 的 び 事  $\mathcal{O}$ 特 と 第 読 市 は 四別 +町 同 替  $\mathcal{O}$ 管 え 村 条 五. 産 兀 玾 は  $\mathcal{O}$ 第 条 業 第 産 長」 五.  $\mathcal{O}$ 廃 般 業 政 項 兀 棄 項 廃 廃 と、 令 中 物  $\mathcal{O}$ 第 棄 棄 処 で 兀 物 物 뭉 都 定 同 第 理 収 収 条第 施  $\emptyset$ 道 集 集 る と 項 府 設 運 運 六 県 第 搬 搬 項 知 政 第 業 業 介令で 号」 中 事 + 者 者 五. 若 又 と、 定 当 と 条 L は あ 第 該 8 < るも は 般 都 る 書 0) 項 道 特 廃 類 は  $\mathcal{O}$ 府 本 別 棄 に限 県 文 管 物 同 環境 知 中 理 処 項ただ 事 る。 分 産 大臣」 前 業 こに لح 者」 項」 廃 あ L 棄 と、 書 لح لح 物 る 0 あ  $\mathcal{O}$ に 11 あ 処 て は 規 る 分 る 市 定 0 業 0 環 町 す لح は 者 は 境 る 村 あ と、 大 場 第 る 産  $\mathcal{O}$ 臣」 合 長 + 0 業 に は 五. 戸 廃 لح と あ 条 条 棄 読 あ 0 第 環  $\mathcal{O}$ 

有害使用済機器の保管等)

この 器 そ 5 正 0 0 で か 七 ない じ 届 保 条 条 管 及 0) け  $\otimes$ を び 保 出 第 た 環 行 管 三十 又は 事 境 うこと 使 項 省 用 -条第六 令で を 処 を 変 が 終 分 (更しようとするときも、 定めるところ で が 了 、号に きる 行 Ĺ わ ŧ お 収 れ た場  $\mathcal{O}$ 11 集 さ と て 合に に L 「有害 れ ょ て た 環境 り、 機 人 使  $\mathcal{O}$ 器 そ 省 用 健 同  $\mathcal{O}$ 令 済 康 廃 様とす 旨を当 で 機 棄 又 定め 器 は 物 生 を うる。 とい 該業 る者 活 除 環 う。 を を 境 除 に 行 保る被 <  $\mathcal{O}$ おうとす 0) うち、 保管 次 項 害 る に 又 を そ 区 お は 生  $\mathcal{O}$ 域 処 ず 11 るお を管 分を業とし て 部 が 有 そ 轄 原 す 害 れ 材 る 使 が 料 都 て 用 あ لح 行 る 道 済 おうと 機 7 府 Ł 器 県  $\mathcal{O}$ 相 保 とし 知 当 事 管 す 程 等 に る T 度 業 者 政 届  $\mathcal{O}$ け 者 令 価 適 出 で 値 な と 正 定 を け 11 な  $\Diamond$ 有 う。 有 る n ば 害 ŧ なら 使 か  $\mathcal{O}$ 用 は **(**以 な 済

2~6 (略)

廃棄物再生事業者)

事 · 条 の 業 て 行う 場 0 ĺ 所 在 足 廃 地 ŋ 棄 を る 物 管 ŧ  $\mathcal{O}$ 0) 再 轄 計する として環境 生を業とし 都 道 府 て 営 県 省令で 知 事 W 定  $\mathcal{O}$ で 登  $\Diamond$ 11 録 る る 基 を 者 受 準 は け に ること 適 そ 合  $\mathcal{O}$ 事 す ると が 業 で 0 、きる。 こきは、 用 に 供 環 す 境 る 省 施 令で定 設 及 び  $\Diamond$ 申 るところ 請 者  $\mathcal{O}$ 能 に 力 ょ が り、 そ 0 そ 事 0) 業 事 を 業 的 場 確 に に か 0 当 継

2~4 (略)

政令で定める市の長による事務の処理)

第 <u>二</u> 十 行 Š 兀 条 0) す ること 0) 法 が 律 できる。  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ ŋ 都 道 府 県 知 事  $\mathcal{O}$ 権 限 12 属 す る 事 務 0 部 は 政 令 で 定 め るところ に ょ り、 政 令 で 定 8 る 市 0 長

2 · 3 (略)

あ機下適

 $\bigcirc$ 不 動 産 登 記 法 伞 成 十六年 法 律第百二十三号)

抄

(定義)

第二条 この法 律 に お 1 て、 次 の各号に掲げ る 用 語 0) 意義 は、 それぞれ当該各号に定めるところによる。

5 九 略

表題部 所 有者 所 有 権 0) 登 記 が ない 不 動 産 0) 登記 記 録 0) 表 題 部 に、 所 有者として記 録 されている者をいう。

+ 十九 略

二 十 表題 登 記 表示に 関 する 登 記 0) うち、 当 該 不 動 産 に つ V) て 表題 部 に 最 初 に される登 記 をい

う。

兀 略

地 巡等)

第十四 条 登記 所 に は、 地 义 及び 建 物 所 在図 を備 え付けるものとする。

2 6 (略)

へ 登 記 官による調 査

第二十 する場合にお 九 条 登記官は、 て、 必 要があると認めるとき 表示に関する登記に 0 は 1 て 第十八条 当 該不 動 産  $\mathcal{O}$ 規  $\mathcal{O}$ 表示 定により申 に 関 す る 請 事 が 項 あった場合及び でを調査 することができる。 前 条の 規定により 職 権 で 登 記 しようと

2 略

(筆界 特定 0) 申 請

第百三十一条 土 地 0) 所 有権登記 名義人等 は、 筆界特定登記官 に 対 Ļ 当該土地とこれに隣接する他の土地との筆界に 0 1 て、 筆界

定の 申 請 をすることができる。

2 5 (略)

(筆界 特 定 0 申 請 0) 通 知

第百三十三条 その旨を次に 筆界 掲 特 げ 定 る者 の 申請があったときは、 以 下 関 係 人 とい 筆 . う。 界特定登記 に 通 言官は、 知 し なけ 遅滞なく、 れ ば なら ない。 法務省令で定めるところにより、 ただし、 前条第一 項 0) 規 流定に その ょ ŋ 旨 当 を公告 該 申 . 請 Ļ を却 か

下すべき場合 対 象土 地 は、  $\mathcal{O}$ 所 有 権 0) !登記名義人等であって筆界特定の 限りでない。 申

請

人以

外

0

Ł

ے

- 二 関係土地の所有権登記名義人等
- 2 (略)

(測量及び実地調査)

第 百三 0 申 請 十六条 人及び 関 筆 係 界 人に 調査 1委員 通知して、 は、 対 これ 象土 に立ち 地  $\mathcal{O}$ 測 会う機 量 又 は 会を与えなけ 実 地 調 査 を行うときは、 ればならない。 あ 5 か じ め、 その 旨並 びにその 日 時 及 び 場 所 を筆界 特

定

2 (略)

(意見聴取等の期日)

第 又 は 百四 するまで 資 + 料 条  $\mathcal{O}$ (電 間 筆 に、 磁 界 的 特 記 筆 定 録 界 0 がを含 特定 申 請 の申 む。 が あったときは、 請 を提出、 人及び関係 する機会を与えなけ 人に対し、 筆界特定登記 あ ら 官 は、 カュ れ ば じ なら  $\otimes$ 第百三十三条第 期 月及び な V) 場 所 を通 項本文の規定による公告をした時 知 L て、 対 象 土地 0) 筆 一界に 0 1 て、 から 意見を述 筆界特 定 を

2 ~ 6 (略)

(筆界特定の通知等)

第

筆界 百 務省令で 兀 特 + 定書が電 兀 条 定  $\emptyset$ 筆 るところにより、 磁的記録をもって作 界 特定登記官は、 筆界特定を 筆 成されているときは、 界特定をし L た旨を公告 たときは、 į 法 遅 務 滞 なく、 省令で定 カゝ ~つ、 筆界 関 める方法) 係 人に 特 定 0 通 知 申 に L 請 より な 人に け 当該 対 れ し、 ば 筆界 ならな 筆 界 特定 特 書 定 0 書  $\mathcal{O}$ 内容を通 写 しを交付する方法 知するとともに、

- 2 (略
- $\bigcirc$ 令 和 農 兀 地 年 中 法 間 律 管 第 理 五. 事 + 業 - 六 号 ) 0 推進に関する法律 第二条による改正 平 成二 後 十 ·五年法律第百 号) (抄) 農業経営基 盤強化 促 進 法 等 0) 部 を改正 する法 律

(不確知共有者の探索の要請)

- 第二十二条の二 (略)
- 2 不 確 業委員会は、 知 共 有 者  $\mathcal{O}$ 探 索を 前 項 で行うも 0) 規定による要請 0 とする。 を受け た場 合 に は、 相 当 な努力 が 払 わ れ たと認  $\Diamond$ 5 れ るも 0) لح L て政令で定める方法に ょ り、
- 〇 森林経営管理法(平成三十年法律第三十五号)(抄)

# (経営管理権集積計画の作成)

第 兀 実 情 条 そ  $\mathcal{O}$ 市 他 町  $\mathcal{O}$ 村 事 は 情 を そ 勘  $\mathcal{O}$ 区 案 域 L 方に て、 当 存 する 該 森 森 林 林 0 経  $\mathcal{O}$ 全 営 管 部 理 又 権 は を当 部 該 に 市 0 町 11 て、 村 に 当 集 積 該 す 森 ることが 林 に 0 V て 必 要 0 カュ 経 営 0 適当で 管 理  $\mathcal{O}$ あ 状 ると 況 認 当  $\emptyset$ 該 る 森 場 林 合 0 に 存 は、 す Ź 地 経 域 営

# 2~5 (略)

理

権

集

積

計

画

を

定

め

るものとす

ź。

(経営管理意向調査)

第 条第 条第 Ŧī. 条 項 項 市 第 0) 町 規 村 号に 定 は に お ょ 経 営管理 11 る て 申 出 経 権 営管 係るもの 集 積 理 計 意 画 を除 を 向 調 定 查」 <  $\emptyset$ る と 場 に 対 合に 1 う。 し、 は を 当 農 該 林 行 う 集 水 ŧ 積 産 計 省  $\mathcal{O}$ 令で と 画 す 対 象森 る 定 め 林 るところに つ V て 0) ょ ŋ 経 営 管 集 理 積  $\mathcal{O}$ 計 意 画 向 対 象 に 関 森 す 林 る  $\mathcal{O}$ 調 森 査 林 所 第 有 兀 者 次

(不明森林共有者の探索)

る。 有 該 全 森 条 部 者 林 が  $\mathcal{O}$ 以 下この 当 所 市 有 町 部 該 を 者 経 村 で 営 確 款 は 確 管 知 に 知 理 す お 経 営管理 することが 権集積計 ることがで V) て 同 ľ 権 画 集 ) を きない で に 積 きない 同 計 意して 定める場 画 もの ( 存 ŧ  $\mathcal{O}$ 11 続 以 合に 以 るとき 期 下 間 おい 下 が は、 共 示不 Ŧī. 有 て、 十 明 相 者 年 集 森 当 不 を 林 な 明 積 超 努力が払わ 森 共 計 え (有者) 林 画 な 対 11 という。 象森 経 という。 営 れ 林 管 たと認  $\mathcal{O}$ 理 うちに、 権 が  $\mathcal{O}$ めら 設 0) あ 探索を り、 定 れ 数 を るもの 人の 市 カゝ 行うも つ、 町 共 村 有に属 として 当 が ラけ 該 0) とす 森 、政令で 林 する森林で ることを内 所 有者 定  $\otimes$ で る方 知 あ 容 れ 0 لح てその 法 て す に る 1 る ょ Ł 森 ŋ Ł  $\mathcal{O}$ 0 林 に 0) 所 当 限

(不明森林所有者の探索)

という。 る森 有 +者 林に 兀 以 条 あ 下 が 0 市 不 あ て 町 明 る は 村 森 لح は きは 林 そ 経営管 所 0) 森林 有 者」 相 当 所 理 とい な 有 権 者の全 努 集 . う。 力が 積 計 払 部。 画  $\mathcal{O}$ わ を 探 れ 次 定 たと 条 索  $\otimes$ 第二 を る 行う 認 場 号  $\Diamond$ 合 ŧ 5 に に 0 れ お お るもの とする。 11 11 て、 て 同 とし ľ 集 積 7 計 政 を 画 令 確 対 で 知 象 定める方法 することが 森 林 0) うち でき に に、 により、 そ な 11  $\mathcal{O}$ £ 確 森 林 知  $\mathcal{O}$ す 以 所 ることが 有 下 者 所 数 で 有 人 きな 者 0 不 共 明 有 森 森 林 林 属 所 す

経営管理実施権配分計画の作成)

三十 定 五.  $\Diamond$ 条 るところ 市 町 村 に は ょ ŋ 経 営管理権を有する森 経 営 管 理 実 施 権 配 林 分 計 に つい 画 を て、 定 8 る 民 Ł 間 事 0) とする 業者に 経 営 管 理 実 施 権 0) 設 定 足を行 おうと す んる場 合 に は 農 林 水 産

# 2 · 3 (略)

(災害等防止措置命令)

兀 ず に は ま + 森 掲 れ 林 きこと 期 げ る 0 限 条 る 森 事 間 を 林 を 伐 定 態 市 等 命  $\emptyset$  $\mathcal{O}$ 森 町 0) ず て、 発 林 村 実 ることが 生 法 0 第二 施 当 を 長 防 は、 該 0 事 + 促 止 できる。 態 五. 進 するため 伐 に  $\mathcal{O}$ 条 採 発 生 関 又 又 す は は る特別 0) ただし、 に 保 第 防 必 <u>二</u> 十 育 要 止 が 措 0) か 五. 実 当 施 置 た 9 条 法 該  $\Diamond$ 適  $\mathcal{O}$ さ 当 森 に れ 平 林 伐 で  $\mathcal{O}$ て -成二十 採 に あ 規 お 又は ると 定に 0 5 ず、 V て、 保 認 ょ 年 育 法  $\Diamond$ ŋ カゝ る つ、 律 経  $\mathcal{O}$ 指 営管 実施 場 第三十二 定 合 さ 引 理 そ に れ き 権  $\mathcal{O}$ は た 続 号) 他 保 が き 設 そ 安 伐 必 要な措 定さ 林 第十七  $\mathcal{O}$ 採 を除 又は 必 れ 要 条 て 置  $\mathcal{O}$ 保 第 11 限 育 。 以 る場 度に 以 が 下こ 項 下 実 0 合 施 お 災 規  $\mathcal{O}$ 又 11 さ は て、 定 害 章 れ 同 等 0) に な 適 法 当 防 お 11 用 第 該 止 1 が +措 森 T 同 あ 条 置 林 が る  $\mathcal{O}$ 0) じ 確 場 九 لح 森 実 合 林 で 第 1 · う。 は に 所 あ 項 ると 有 お 若 け 者 を 0 L に る 見 < 限 講 次 対 込

当 該 森 林 0 周 辺 0 地 域 に お 1 て 土 砂  $\mathcal{O}$ 流 出 又 は 崩 壊 そ  $\mathcal{O}$ 他 0 災 害 を 発 生 さ せること。

ŋ

で

な

- 当 該 森 林  $\mathcal{O}$ 現 に 有 す Ź 水 害  $\mathcal{O}$ 涵が防 止  $\mathcal{O}$ 機 能 に 依 存 す る 地 域 に お 1 て 水 害 を 発 生させること。
- 三 当 該 森 林 0) 現 に 有 す っる水 源 0) 養  $\mathcal{O}$ 機 能 に 依 存 す る 地 域 に お 1 て 水  $\mathcal{O}$ 確 保 に 著 支障 を及ぼ

兀 当 該 森 林 0 周 辺 0 地 域 に お 1 て 環 境 を 著 L < 悪 化 させ ること。

2 略

 $\bigcirc$ 関 す 所 る 有 特 者 別 不 措 明 置 土 法 地  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 利 部 用 を改 0 円 正 滑 する法 化 等 に 関 律 す **令** る 和 特 兀 別 年 措 置 法 律 法 第三 平 + 成三 八 号) + 年 第 法 律 条 第 兀 に よる改 + 九 号) 正 後 (抄) 所 有 者 不 明 土 地  $\mathcal{O}$ 利 用 0 円 滑 化

特 定 所 有 者 不 明 土 地  $\sim$ 0) <u>\( \) \( \) \( \) \( \)</u> 入 ŋ 等)

第 ただ ところ 六 必 第 要 項 0 に に 限 地 度 ょ 地 お 域 ŋ 域 に 11 福 福 お て 利 当 利 1 同 増 て、 該 増 ľ 進 進 事 土 事 当 業 地 業を を 又は 該 0 土 実 所 当該 実 在 地 施 施 又 地 し 出地に は を L ようとす 管 ょ 工 轄 うとす 作 する 物 あ に、 る る 都 る 簡 者 自 道 者 易 は、 府 が 5 建 <u>\f</u> 県 玉 そ 築 ち入り、 知 及 物  $\mathcal{O}$ 事 び 等 準 地 そ 備  $\mathcal{O}$ 0) 許 方 0 公 又 他 可 た は 共 を  $\mathcal{O}$ 8 そ 寸 工 受 他 け  $\mathcal{O}$ 体 作 人 た 以 命 物  $\mathcal{O}$ 場 外 じ に 土 合  $\mathcal{O}$ た 立 地 者若 者 5 に ( 特 入 限 で る。 って測 あ L 定 る < 所 は لح 有 き 者 委 量 文は 任 は 不 明 L た者 調 あ 土 5 査 地 に か を に じ 立 行 限 5  $\emptyset$ う る。 入ら 必 玉 要 次 土 せ が 条 交通 ること あ 第 る 省 項 令 が き 及 で で は び きる。 定 第 そ  $\Diamond$ 八 0 条

障 害 物 0 伐 採 等

第

七

な

11 必 ようとす 要 前 が 条 あ  $\mathcal{O}$ 0 規 るときは て 定 に ょ 障 害と ŋ 他 国 な 人 土 る  $\mathcal{O}$ 交通省令で 植 土 物 地 又 又 は は 工 垣 定 作  $\emptyset$ 柵 物 るところに に そ 立  $\mathcal{O}$ 他 5  $\mathcal{O}$ 入 工 0 て ょ 作 ŋ 測 物 当 量 該 以 又 障 は 下 害 調 物 障 査  $\mathcal{O}$ 害 を 物 行 所 在 Š لح 者 地 を管 1 は う。 轄 そ す 0) る都 測 0 伐 量 又 道 採 府 又 は 県 は 調 知 査 除 を 事 去 0 行 うに 許 以 可 下 を受け 当 伐 た 採 り、 等 B لح 伐 む 採 1 を . う。

有 ることが 者 で 知 れ て で きる。 1 る ŧ 0 の を 場 11 う。 合に 以 お į, 下 同 て、 ľ 都 道 に 府 対 県 し、 知 事 は、 意 見 許 を 可 述 べ を与えようとするとき る 機 숲 を 与 え な け れ さは、 ば な 5 あ な 5 カコ ľ め 当 該 障 害 物 0) 確 知 所 有 者

2 3 略

裁 定 申

第 権 あ 条 利 る 特 以 定 地 域 下 所 有 福 土 者 利 地 不 増 使 明 進 用 土 事 権 地 業を実施 等」 を使 とい 用 L する者 · う。 よう とす 以  $\mathcal{O}$ 取 る 下 得 と に き 事 は、 業 0 者」 11 当 て لح の裁定を申請 該 特 Į, う。 定 所 有 者 は、 す 不 明 ること 当 土 該 地 事 こができ 業  $\mathcal{O}$ 水を実施 所 在 地 でする を 管 区 轄 域 す る 以 都 下 道 府 県 事 業区 知 事 に 域 対 う。 次に 掲 内 げ 12 る

当 該 特 定 所 有 者 不 明 土地  $\mathcal{O}$ 使 用 権 以 下 土 地 使 用 権 とい . う。

七 行 号に 当 つ て 該 ŧ お 特 な 定 て お 所 そ 有 物  $\mathcal{O}$ 者 件 所 不 所有権」 明 有 者 土 地  $\mathcal{O}$ 全 に とい 部 あ 又 る う。 所 は 有 部 者 又 は を 不 確 明 そ 知 物 す  $\mathcal{O}$ 件 使 ることが 相 用 権 当 な 同 で 努力が払わ きな 項 第八 11 、号に 物 件 れ たと お を 11 1 · う。 認 て  $\Diamond$ 物 第 5 三項 件 れ 使 る 第二 用 ŧ 権」 (T) 号 として にお という。 政 11 令で て 同 定め ľ, る方 0) 所 法 に 有 ょ 権 ŋ 次 探 項 索 第

2 5 略

土 地 等 使 用 権  $\mathcal{O}$ 存 続 期 間  $\mathcal{O}$ 延 長

第

た土 七 て + て 8 は、  $\mathcal{O}$ 月 5 九 裁 地 前 れ 条 定 当 か 使 た 土 5 用 該 第 申 兀 権 延 地 十 請 月 0) 長 等 五. す 前 目 後 使 条 ることが ま 的  $\mathcal{O}$ 用  $\mathcal{O}$ で لح 存 規 権 定 0) な 続  $\mathcal{O}$ 間 期 存 に 0 間。 て できる。 に、 ょ 続 V 期 ŋ 第三項 る土 当 間 土 該 地 (第 使 地 使 用 及び を 兀 用 権 11 項 権 う。 設 第 に 等 定 お を +土 以 11 取 兀 地 下 7 得 条に 準  $\mathcal{O}$ 同 L た事 U. 所 用 する第 在 お  $\smile$ 地 11 業 て同 を 者  $\mathcal{O}$ 管轄する 全部又 + ľ 五条 以 下 は 0 を 規 都 使 道 部 延 定 用 府 を 長 に 権 使用 して 県知事に より土地 者」 使用 とい しようとす う。 対 権 等 使 設 用 定 るとき 土 は、 土地等使 権 地  $\mathcal{O}$ 存 第 ( 第 は、 続 +用 +期 当 間 五. 条 権 該 条 が  $\mathcal{O}$ 第 存 存  $\mathcal{O}$ 延 続 続 規 長 項 期 期 定 さ  $\mathcal{O}$ 間 間 に 裁 れ ょ 0 0 た 定 満 ŋ 場 に 延 長に 合 取 了 お 得  $\mathcal{O}$ さ 日 あ て 0 れ 0 つ 定

4 略

を

権 利  $\mathcal{O}$ 譲 渡

併

せ

7

譲

ŋ

渡

さ

な

け

れ

ば

なら

な

事

る

第二十一 0 業 承 認 条  $\mathcal{O}$ 全 を 受 部 使 を け 用 な 権 土 け 者 ħ 地 は 使 ば 用 な 5 権 地 等 な 使 \ \ \  $\mathcal{O}$ 用 権 部 等 0) を 0 場 譲 全 ŋ 合 部 渡 に 又 そうとするときは お は 11 て、 部 を 当 譲 該 ŋ 使 渡そうとするときは、 用 そ 権  $\mathcal{O}$ 者 は、 実 施 す 土 る 地 事 使 業 用 玉 0) 権 うち 等 土 一交通  $\mathcal{O}$ 当 全 該 部 省 を 令で定め 土 譲 地 使 り 渡 用 そうとすると るところに 権 等  $\mathcal{O}$ 部 に り、 対 き は 応 そ す 都 る  $\mathcal{O}$ 道 実 部 府 施 分 県 す 知

#### 2 3

裁 定 申 請 略

第 使 格 者 保 留 用 不 事 明 さ 業 L 七 土 ょ れ 条 うとする 地 て 0 0 1 起 て、 所 た 業 在 特 者 地 定 لح そ を 所 き 土  $\mathcal{O}$ 管 有 は 起 地 轄 者 業 収 同 地 す 不 用 明 る 法 法 (同 都 土 第 第 地 道 法 八 +府 に 第 条 六 県 第 あ + 条 七 知 0 て 事 第 条 項 は に 第 に 項 対 規 Ļ 同  $\mathcal{O}$ 項 定 規 法 す 第 第三 特 定 る 号 定 に 起 所 + ょ に 業 有 兀 る 規 者 告 者 条 定 を す 不 0 示 11 Ź 三 明 う。 が 土  $\mathcal{O}$ あ 起 地 規 0 業 以 定 た 地 下  $\mathcal{O}$ 収 に 日 を 同 よる告 じ。 用 11 . う。 同 又 は 法 使 示 第 は 用 が 三 内 + に に あ 同 0 0 あ 法 た 条 11 る 第 月) て  $\mathcal{O}$ 特 規 0 定 裁 か 定 所 条 定 5 に 有  $\mathcal{O}$ を 事 ょ 者 申 り 年 不 業 請 以 収 明  $\mathcal{O}$ す 内 用 土 認 るこ に、 又 地 定 は を を لح 当 収 受 使 該 用 が 用 け 特 で 0 た き 丰 定 収 る 続 又 所 用 は 有 が 適

### 3 略

う。 第 同 知 + 事 兀 法 + に 第 七 内 対 五. 条 に 条 L + あ 第 九 施 特 る 条 行 定 特 項 第 者 所 定 及 所 び 項 都 有 第 五 者 有 か 市 者 不 5 計 十八 明 第 不 画 明 兀 法 土 条第二号に 地 土 項 地 昭  $\mathcal{O}$ ま 収 を で 和 収 兀 用  $\mathcal{O}$ 十三 用 又 認 Ļ は お 可 年 使 1 又 用 又 て は法 は 同 に 承 律 ľ, 認 0 使 第 1 用 を 百 号) て L 受 に  $\mathcal{O}$ ょ け う 第 裁 0 た لح 匹 定 都 11 を申 す て、 市 条 るとき 計 第 そ 請 画 + す  $\mathcal{O}$ 事 六 ること は 事 業 項 業 に 当 同 規 地 が 該 法 定 同 でき 特 第 す る 定 法 兀 る。 第六十 所 施 条 第 有 行 者 + 者 -条第二 不 五 を 明 項 1 う。 土 に 項 地 規 第三 定  $\mathcal{O}$ 第 す 所 号に 項 る 在 地 都 に 規 を 市 お 管 定 計 い 轄 す 画 る 事 す 同 事 る 業 じ 業 を 地 道 11 う。 を 府 は 県 V

#### 2 4 略

勧 告

第三十 とが 態 適 確 実  $\mathcal{O}$ で 八 で 発 で き 生 あ あ 条 る ると  $\mathcal{O}$ る 防 と 市 止 認 見 町  $\mathcal{O}$  $\Diamond$ 込 村 た る ま 長 場 8 れ は 一合に に る ŧ 必 所 要 は  $\mathcal{O}$ 有 な 者 以 そ 措 不 明 置  $\mathcal{O}$ 下 必 土 次 要 管 地  $\mathcal{O}$ 条 理  $\mathcal{O}$ 限 及 う 不 ち、 び 度 全 に 第 所 兀 お 有 所 + 11 者 有 て、 条 不 者 第 明 に 当 土 ょ 項 該 地 る 管 に 管 理 お と 理 不 が 1 V う。 て 全 実 所 施 災 さ 有 害 者 に れ 等 不 ょ て 明 防 る お , 6 土 次 止 ず、 措 地 に 掲 置  $\mathcal{O}$ 確 げ か لح 知 る つ、 事 1 所 う。 有者 態 引  $\mathcal{O}$ き に 発 続 を 対 生 き 管 講 を Ĺ ず 理 防 期 ベ 止 が きこと 限 す 実 を る 施 定 た さ を  $\otimes$ 8 れ て、 勧 に な 告 必 するこ 当 要 こと 該 カコ が 0

当 当 該 該 管 管 理 理 不 不 全 全 所 所 有 有 者 者 不 不 明 明 土 土 地 地 に  $\mathcal{O}$ 周 お け 辺  $\mathcal{O}$ る 土 地 域 砂 に  $\mathcal{O}$ お 流 1 出 7 又 は 環 境 崩 を 壊 そ 著  $\mathcal{O}$ L < 他 悪  $\mathcal{O}$ 化 事 象 さ せ に ょ る ŋ そ 0 周 辺  $\mathcal{O}$ 土 地 に お 11 7 災 害 を 発 生 さ せること。

### 略

第 兀 . う。 条 は 玉 0) 所 行 政 有 者 機 不 関 明  $\mathcal{O}$ 土 長 地 又 に は 0 地 き、 方 公 そ 共  $\mathcal{O}$ 寸 適 体 切  $\mathcal{O}$ な 長 管 理 次  $\mathcal{O}$ 項 た 及  $\otimes$ び 特 第 に 五 必 項 要 並 が び あ に る 次 لح 条 認めるとき 第 項 及 び は 第 Ŧī. 家 項 庭 に 裁 お 判 1 所 て に 対 玉  $\mathcal{O}$ L 行 民 政 法 機 関 阴 治二十 長

求 九 を す 法 る こと 第 八 が + で 九 号) き 五. 条 第 項 0 規 定 に ょ る 命 令 又 は 同 法 第 九 百 五. 十 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 相 続 財 産  $\mathcal{O}$ 清 算 人 0 選 任 0 請

- 2 玉 百 0 六 行 + 政 兀 機 条 関 0)  $\mathcal{O}$ 長 第 築 は 項 0) 所 規 有 定 者 に 不 ょ 明 る 土 命 地 令 に  $\mathcal{O}$ 0 請 き、 求 そ を す  $\mathcal{O}$ る 適 切 لح な が 管 で 理 き 0 る た 8 特 に 必 要 が あ る لح 認  $\Diamond$ る لح き は 地 方 裁 判 所 対 L 民 法
- 3 に 対 市 町 L 村 民 長 法 は 第 管 百 理 六 不 + 全 兀 所 条 有 0) 者 九 不 明 第 土 項 地  $\mathcal{O}$ に 規 9 定 き に 次 ょ る に 掲 命 令 げ る  $\mathcal{O}$ 事 請 求 態 を 0 す 発 るこ 生 を لح 防 が 止 で す き る る。 た  $\otimes$ 特 12 必 要 が あ る لح 認  $\otimes$ る き は 地 方 裁 判 所
- 当 該 管 理 不 全 所 有 者 不 明 土 地 に お け る 土 砂  $\mathcal{O}$ 流 出 又 は 崩 壊 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 事 象 に ょ ŋ É 0 周 辺  $\mathcal{O}$ 土 地 に お 11 て 災 害 を 発 生 さ せ ること。

### 4 (略)

当

該

管

理

不

全

所

有

者

不

明

土

地

 $\mathcal{O}$ 

周

辺

0

地

域

に

お

11

7

環

境

を

著

L

<

悪

化

さ

せ

ること

5 る 第 建 国 物  $\mathcal{O}$ 項 に 行 又 0 政 は き 機 第 関 そ  $\mathcal{O}$ 百 長  $\mathcal{O}$ 六 谪 筡 +切 は 兀 な 条 管 第  $\mathcal{O}$ 理 + $\mathcal{O}$ 項 兀 た め 市 第 特 町 項 に 村  $\mathcal{O}$ 必 長 規 要 に 定 が あ に あ 0 ると ょ て る は 命 認 令  $\Diamond$ 前 ると 0) 請 項 き 求 を は  $\mathcal{O}$ す 規 え る こ 地 定 方 に لح 裁 ょ が 判 る で 請 所 き に 求 る。 対 を す L る 場 当 該 合 請 に 求 お لح V 併 て、 せ 当 て 民 該 法 請 第 求 に 百 係 六 る + 土 兀 地 条 に あ

そ 勧 兀 省  $\mathcal{O}$ L  $\mathcal{O}$ 規 告 所 0 + で 保 定 に 有 実 係 施 条 定 有 に 権 そ 8 す ょ る  $\mathcal{O}$ る る る 土  $\mathcal{O}$ 準 都 Ł 土 請 地 他 備 道  $\mathcal{O}$ 地 求  $\mathcal{O}$ 0  $\mathcal{O}$ 府 を 土 権 た 県 所 を 行 地 8 知 1 利 有 う。 者等 当 事 う を 所 É 及 有 有 該 以 関 8 者 す 地 び る者 下こ 当 等 域 市 連 情 該 を 福 町 0) 報 請 知 を 利 村 V) る必 条に 増 長 求 主 う。 は、 に 進 要 お 地 係 事 所 る が 以 地 11 業 あ 域 7 有 土 下 等 同 者 地 る 同 を 福 لح r. 等 実 利 じ  $\mathcal{O}$ き غ 土 施 増 思 地 又 L 進 を、 料 所 は を ょ 事 業、 うと さ 有 前 知 そ 者 条 る れ る 等 第 必 す  $\mathcal{O}$ 収 者に 保 要 る 用 を 項 が 区 有 知 適 関 域 に る か あ 格 当 す 必 5 る 内 事 た る 要 第 لح  $\mathcal{O}$ 業 つ 情 が き、 土 又 三 て 項 は 報 あ 地 特 ま 第 都  $\mathcal{O}$ る  $\mathcal{O}$ うち とき で若 三十 定 土 市 さ 地 計 そ は 八 n L 所 画  $\mathcal{O}$ 条 事 た 有 第 利 当 は 業 者 者 第 用  $\mathcal{O}$ 該 等 以 氏 項  $\mathcal{O}$ 土 五 主 項 目 名 地  $\mathcal{O}$ 下 的 又 所 規 地 第 は 定 以 有 又 地 兀 者 に 外 名 は 域 等 当 0 称、 項 ょ 福 目  $\mathcal{O}$ に る 該 利 的 住 探 係 勧 土 増 0 所 索 る 告 地 進 そ に 部 を 事 た に  $\mathcal{O}$ 必 業 8 分 行 あ う 等 他 要 を る た な 除 内 玉 物 لح 部 土 限 8 件 当 交 度 に VV 通 で 利 該 う

告 5 若 都 す 行 道 土 う る は 府 た 地 第 区 県 所 五. 8 域 知 項 当 内 事 有 者 該 0) 及 等 第 勧 土 び 関 告 兀 地 市 項 連 に 町 0 係 情 に +村 報 係 地 長 る 土  $\mathcal{O}$ る 所 は 地 提 部 有 供  $\mathcal{O}$ 者 地 分 を 土 等 0 域 地 求 除 を 福 ¿,  $\otimes$ 知 利 所 が る 増 有 必 あ 者 進  $\mathcal{O}$ 等 要 事 0 た 規 を が 業 定 知 あ 等 ると き に る を は ょ 必 実 る 要 施 当 て、 請 が L ょ 該 あ 求 うと 当 土 るとし を 地 該 行 す 所 う 市 て、 有 た 町 る 者 8 村 者 当 又 等 長 カュ 該 以 は 0 6 探 玉 外 そ 請 索 求  $\mathcal{O}$ 0 0 に 行 市 準 に 必 係 政 町 備 要 機 村 る  $\mathcal{O}$ な 土 関 長 た 限 地  $\mathcal{O}$ か 8 当 度  $\mathcal{O}$ 長 5 等 第 土 該 地 か 地 当 5 域 所 前 八 福 該 有 地 者 条 条 利 域 等 第 第 増 福 を 進 利 知 項 項 事 増 0 る カン 進 5 規 必 筡 定 事 要 第 を 業 に が 実 等 あ 項 ょ 施 を る る ま L 実 で 勧 ょ

2

用

す

る

が

で

き

る

施 L ょ j とする 者 当 該 市 町 村 長 又 は 当 該 玉 0 行 政 機 関 0 長 等 に 対 L 土 地 所 有 者 等 関 連 情 報 を 提 供 す る Ł とする。

3~5 (略)

第 Ļ をそ 兀 間 れ 区 に 7 域 + 0) 内 兀 わ 11 か つ、 た 所 な 0) 条 土 有 ŋ と 権 相 当 地 登 0 続 認 該 に 記 登 登 8 土 つ 官 ると きそ 記 地 は 記 等 に に きは、 付 がされて . つ  $\overline{\mathcal{O}}$ 起 きその 所 業者 記することが 有 当 権 そ 所 7 該  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ない 土 有 登 他 地 記 権  $\mathcal{O}$ できる。 土  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 名 公 地 登 義 共 所 人に で 記 有  $\mathcal{O}$ あ 権 名 利 る旨その  $\mathcal{O}$ 義 係 益 登 لح 人 る 0) な 記 死 亡 死亡 る事 名 他当 義  $\mathcal{O}$ 人と 後 事 業 該 + 実 を 探 な 0) 年 実 索の ŋ 有 以 施 得 無を L ようと る者 結果を 調 年以 を 査 す 確 探 L 内に る者 認 索 た 場合に するため L た上、 お か 11 5 て政 お  $\mathcal{O}$ に 職 V 求 介令で て、 必 権  $\otimes$ で、 要 に 定め な 応じ、 当 事 所 該 項として法 有 る 土 期 当 権 地 0) 間 該 が を 特 登 事 超 業 記 定 務省 えて 名 登 を 義 記 実 令 人 相 未 施 で 0) 続 Ť L 定 死 土 登 ようと め 亡 記 地 る 後 等 に Ł が す 長 該 期 さ 当 る

2~4 (略

 $\bigcirc$ 表 題 部 所 有 者 不 明 土 地 0) 登 記 及 び 管 理 0 適 正 化 に 関 する 法 律 **令** 和 元 年 法 律 第十五 号) 抄

(所有者等の探索の開始)

第三条 る他 きは て、 0) 表 当 登 記 職 題 該 権 部 表 官 は、 で 所 題 有 部 そ 者 所 表 不 有 題 0 明 者 部 所 土 有 不 所 明 者 地 有 等  $\mathcal{O}$ 者 土 分  $\mathcal{O}$ 地 不 布 探  $\mathcal{O}$ 明 状況 索 利 土 を 用 地 そ 行  $\mathcal{O}$ 第 う  $\mathcal{O}$ 現 ŧ 他 十 況  $\mathcal{O}$ 0) 五. と 事 当 条 情を考 す 該 第 ź。 表題 項 慮 部 第 兀 所 L 号に て、 有 者 不 定 表 題 明  $\Diamond$ 部 土 る 地 登 所 記 有  $\mathcal{O}$ 者 周 が あ 不 辺 るも 明  $\mathcal{O}$ 地 土 0) 地 域  $\mathcal{O}$ を 0) 除 自 登 記 然 <\_ 的  $\mathcal{O}$ 適 社 以 숲 下 正 的 化 諸 0 を 条 章 図 件 に る 必 及 お 要 び 11 が 当 て 該 同 あ じ。 地 る ع 域 認 に に 8 お

2 (略)

 $\bigcirc$ 地 方 独 立 行 政 法 人 法 平 成 + 五. 年 法 律 第百 + -八号) 抄

第 + 価 委員 条 会 設 立 以 下 寸 体 に、 評 価 委 地 員 方 会 独 立 とい 行 政 . う。 法 人に関 を はする事 置 務 を処理 さ せるため、 当 該 設立団 体 0 長 0 附 属 機関とし て、 地 方 独 立 行 政 法 人

2~4 (略)

(中期目標)

第二十五条 (略)

2 期 目 標 に お 1 7 は、 次 に 掲 げ る事 項に 0 1 て 具 体的 に定 め るものとする。

る

けっ

中 期 目 標  $\mathcal{O}$ 期 間 前 項  $\mathcal{O}$ 期 間 0 範 拼 内 で 設 立 寸 体  $\mathcal{O}$ 長 が 定 8 る 期 間 を 1 う。 下 同

5 Ŧī. 略

3 略

中 期 計 画

該 計 中 画 期 六 を 変 目 更 標 l を 地 ようと 達 方 成 独 す 立 するとき る 行 た 政 法 80  $\mathcal{O}$ 人 t, は 計 画 同 前 **(**以 様とす 条 第 下 項 る 中 期  $\mathcal{O}$ 計 指 画 示 を受けたときは、 という。 を作 成 中 Ĺ 期 目 設 標 に <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 基 寸 体 づ き、 0) 長 設 0) <u>\f</u> 認 可 寸 を受け 体  $\mathcal{O}$ 規 な 則 け で 定めるところ れ ばならな ょ 当 該 中 期 当

- 2 中 期 計 画 お 1 て には、 次に · 掲 げ る事項を定  $\Diamond$ る £  $\mathcal{O}$
- 住 民 に 対 L て 提 供 いするサ 1 ピ こスその 他  $\mathcal{O}$ 業 務  $\mathcal{O}$ 質 とす  $\mathcal{O}$ 向 る。 上 に 関 す る目 標 を 達 成 す るた め とる

措

業 務 運 営  $\mathcal{O}$ 改 善 元 び 効 率 化 に 関 民する目 標 を 達 成するため とる べ き 措 置

三 予 算 人 件 費 0 見 積 ŋ を含 む。 収 支 計 画 及 び 資 金 計 画

兀 短 期 借 入 金  $\mathcal{O}$ 限 度 額

画

兀

0)

出

資等

に

係

る不

要

財

産

又

は

出

資

等

に

係

る不

要

財

産

と

な

ることが

見

込

ま

れる

財

産

が

あ

る場場

る合に

は

当

該

財

産

0

処 分に

関

いする

五.

前

号

に

規

定

す

る

財

産

以

外

 $\mathcal{O}$ 

重

要

な

財

産

を

譲

渡

Ĺ

又

は

担

保

に

供

L

ようとするとき

は

そ

0

計

画

六 項

剰 余 金  $\mathcal{O}$ 使 途

七 そ 0) 他 設 <u>\\ \</u> 寸 体 0 規 則 で 定 8 る 業 務 運 営 に 関 す る 事

3 4 略

年

度

計

画

七 条 地 方 独 立 行 政 法 人は、 毎 事 業 年 度  $\mathcal{O}$ 開 始 前 に、 前 条 第 項 0) 認 可 を受けた中 期 計 画 同 項 後 段  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 変 更 0 認 可 を

業年 受け たと 度 0) き 業務 こは、 運 営 当 に 該 関 変 はする計 更 後  $\mathcal{O}$ 画 中 期 以 計 下この 画 以 条 下 及 び 認 第二十 可 中 期 九 計 条に 画 と お V) 11 う。 て 年 度 に 基づ 計 画 き、 と *(* ) 設 う。 1 寸 体 を  $\mathcal{O}$ 定 規 め、 則 で 当 定 該  $\Diamond$ 年 るところ 度 計 画 を に 設 ょ り、 <u>\forall .</u> 寸 体 そ 0  $\mathcal{O}$ 長 事

に 届 け 出 るとと ŧ に、 公 表 L な け れ ば なら な 11 当 該 年 度 計 画 を 変更 L たと きも、 同 様 とする。

2

0 は 地 方 独 そ 立  $\mathcal{O}$ 行 成 政  $\frac{1}{\sqrt{1}}$ 法 後 人  $\mathcal{O}$ 最 最 初  $\mathcal{O}$ 初 中  $\mathcal{O}$ 期 事 計 業 画 年 に 度 0 0) 年 11 て 度 前 計 条 画 第 に 0 項 1  $\mathcal{O}$ 7 認 は 可 を 前 受け 項 中 た 後 毎 遅 事 滞 業 なく、 年 度 0 そ 開 の」とする。 始 前 前 条 第 項  $\mathcal{O}$ 認 可 を け た لح あ る

各 事 業 年 度 に 係 る 業 務 0 実 績 等 に 関 す る 評 価 等

各 + 号 に 八 定 条 8 る 地 事 方 項 独 に 立 行 0 11 政 て、 法 人 設 は <u>\f\</u> 寸 毎 事 体 業  $\mathcal{O}$ 長 年 度  $\mathcal{O}$ 評  $\mathcal{O}$ 価 終 を 了 後、 受 け 当 な け 該 事 n 業 ば 年 な 度 b な が 11 次 0 各 号 に 掲 げ る 事 業 年 度  $\mathcal{O}$ い ず れ に 該 当 す る カ に 応 ľ 当 該

- 次 号 及 び 第 号 に 掲 げ る 事 業 年 度 以 外  $\mathcal{O}$ 事 業 年 度 当 該 事 業 年 度に お け る 業 務  $\mathcal{O}$ 実
- 中 中 期 期 目 標 0 期 間  $\mathcal{O}$ お 最 後 0 事 業 0) 年 実 度 績  $\mathcal{O}$ 直 前  $\mathcal{O}$ 事 業 年 度 当 該 事 業 年 度 に お け る 業 務  $\mathcal{O}$ 実 績 及 び 中 期 目 標 0 期 間 0 終 了 時 12 見 込 ま n

績

中 期 目 標  $\mathcal{O}$ 期 間 0 最 後  $\mathcal{O}$ 事 業 年 度 当 該 事 業 年 度 に お け る 業 務  $\mathcal{O}$ 実 績 及 び 中 期 目 標  $\mathcal{O}$ 期 間 に お け る 業 務  $\mathcal{O}$ 実

る

目

標

0

期

間

に

け

る

業

務

- 2 に、 に 地 提 同 方 出 項 独 す ると 立 第 行 と 号 政 ŧ 法 に、 第 人 は 号 公 表 又 前 は L 項 な 0) 第 け 評 号 れ 価 に ば を 受 定 な 5  $\Diamond$ け な る ょ 事 う 11 と 項 す 及 る と び 当 該 き 事 は 項 に 設 <u>\f\</u> 0 11 寸 て 体 自  $\mathcal{O}$ 5 規 評 則 価 で 定 を 行  $\otimes$ る 0 た こころ 結 果 に を 明 ょ り、 5 か 各 に 事 L 業 た 報 年 告 度 書 0 を 終 設 了 立 後 寸 月 体  $\mathcal{O}$ 以 長 内
- 3 に 及 び お 第 分 11 て、 析 項 を 0 行 同 評 1 項 価 各 は そ 号  $\mathcal{O}$ に 同 結 規 項 果 定 第 を考 す る当 号、 慮 第二 該 L て 事 業 号 行 年 わ 又 は な 度 け に 第 れ お 三 ば け 号 る業 な に 5 定 な 務  $\Diamond$ \ \ \  $\mathcal{O}$ る 実 事 績 項 に に 関 0 す VI る て 評 総 価 合 は 的 な 当 評 該 定 事 を 付 業 年 L て、 度 に お 行 け わ る な 中 け 期 n 計 ば 画 な  $\mathcal{O}$ 5 実 な 施 1 状 況  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 調 場 査 合
- 4 を 行 設 j <u>\f\</u> لح 寸 き 体 は  $\mathcal{O}$ 長 あ は 6 か 第 じ め、 項 第 評 号 価 委 に 員 規 定 会  $\mathcal{O}$ す 意 る 中 見 を 期 聴 目 カコ 標 な  $\mathcal{O}$ け 期 間 れ ば  $\mathcal{O}$ な 終 6 了 な 時 に 見 込 ま れ る 中 期 目 標  $\mathcal{O}$ 期 間 に お け る 業 務  $\mathcal{O}$ 実 績 に 関 す る 評 価
- 5 設 <u>\f</u> 寸 体  $\mathcal{O}$ 長 は 第 項  $\mathcal{O}$ 評 価 を 行 0 たと き は 遅 滞 な <当 該 地 方 独 立 行 政 法 人 に 対 L て、 そ  $\mathcal{O}$ 評 価  $\mathcal{O}$ 結 果 を 通 知 L 公 表 す る
- 6  $\mathcal{O}$ 必 設 要 <u>\f</u> な 寸 措 体 置  $\mathcal{O}$ を 長 講 は ず ることを 第 項  $\mathcal{O}$ 命 評 ず 価 ること  $\mathcal{O}$ 結 果に が で 基 き づ き 必 要 が あ る لح 認 8 る と き は 当 該 地 方 独 立 行 政 法 人 に 対 業 務 運 営 0 改 善 そ  $\mathcal{O}$ 他

評 価  $\mathcal{O}$ 結 果  $\mathcal{O}$ 取 扱 V 等)

لح

Ł

に

議

会

に

報

告

L

な

け

れ

ば

な

5

な

第二 Ł に、 九 毎 条 年 度 地 方 当 独 該 立 行 評 政 価 法  $\mathcal{O}$ 結 人 は、 果 0 反 前 映 条 第 状 況 項 を 公  $\mathcal{O}$ 表 評 L 価 な  $\mathcal{O}$ け 結 果 れ を、 ば な 中 5 な 期 計 画 及 び 年 度 計 画 並 び に 業 務 運 営  $\mathcal{O}$ 改 善 に 適 切 に 反 映 さ せ

中 期 目 標  $\mathcal{O}$ 期 間  $\mathcal{O}$ 終 了 時  $\mathcal{O}$ 検 討

第

に 関 す 設 る 立 評 寸 体 価 を  $\mathcal{O}$ 長 行 は 0 た ときは 第 二 十 八 中 条 期 第 目 項 標  $\mathcal{O}$ 第 期 間 号 0 に 終 規 了 定 す 時 る ま で 中 に 期 目 当 標 該  $\mathcal{O}$ 地 期 間 方 独  $\mathcal{O}$ 立 終 行 了 政 時 法 に 見 人  $\mathcal{O}$ 込 業 ま 務 n  $\mathcal{O}$ る 継 中 続 期 目 又 は 標 組 0 織 期 間  $\mathcal{O}$ 存 に 続 お  $\mathcal{O}$ け 必 る 要 性 務

 $\mathcal{O}$ 他 そ 0 業  $\mathcal{O}$ 務 及 び る 組 織 0 全 般 に わ た る 検 討 を 行 1 そ  $\mathcal{O}$ 結 果 に 基づ き、 業 務  $\mathcal{O}$ 廃 止 若 L < は 移 管 又 は 組 織  $\mathcal{O}$ 廃 止 そ 0 他 0 所 要 0 措 置

- 2 設 立. 寸 体  $\mathcal{O}$ 長 は 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 検 討 を 行 う に 当 た 0 て は 評 価 委 員 会  $\mathcal{O}$ 意 見 を 聴 か な け n ば な 5 な
- 3 設 寸. 寸 体 0 長 は 第 項 0) 検 討 0) 結果及 び 同 項 0) 規 定 に ょ ŋ 講 ず á 措 置 0) 内 容を公 表 L な け れ ば な 5 な

名 称  $\mathcal{O}$ 特 例

を

講

ず

る

ŧ

لح

す

第 六 規 + 定 八 に 条 カ カコ わ 般 5 地 ず 方 独 そ 立 0) 行 名 政 称 法 中 人で第二十 に、 地 方独 条 立 行 第 政 法 号 に掲げ 人という文字に代えて、 る業 務 を行 うも 0) 公立大学法 以 下 公公 人とい 立 大学 法 う文字を 人 とい 用 う。 1 な け れ は、 ば な 第 兀 5 条 な 第 項

2 略

中 期 目 標 等  $\mathcal{O}$ 特 例

2

第 七 あ 十 る 八 条  $\mathcal{O}$ は 公立 六 大学 年 間 法 と、 人に関 同 条第二 する第二十 項 第 Ŧī. 号 条 中 第 前 項 及 項  $\mathcal{O}$ び 期 第 間  $\mathcal{O}$ 項 範 0) 开 規 内 定 で 0) 設 適 立 用 寸 に 体 0 11  $\mathcal{O}$ 長 て が は 定  $\Diamond$ 同 る 条 第 とあ 項 る 中  $\mathcal{O}$  $\equiv$ は 年 前 以 項 上  $\mathcal{O}$ 五. 年 لح 以 す 下 る 0 期 間

研 す Ź。 究 公 並 立 大学法 び に 組 人に 織 及 び 係 る中 運 営 期 0 状 目 況 標 に に 0 お 1 71 て て自 は、 6 行 前 5 項 点  $\mathcal{O}$ 検及 規 定 び に 評 ょ ŋ 価 読 並 び 4 に当 替 えら 該 状 れ 況 た第二十五 に 係 る情 報 条第二項 0 提供 各号に に関 す る事 掲 げ 項 る 事 に 0 項 1  $\mathcal{O}$ て ほ 定 か め る 教 育 ŧ 及 0 لح び

3 見 を 設 聴 立 き 寸 体 当  $\mathcal{O}$ 該 長 意 は 見 に 公 配 <u>\frac{1}{1}</u> 大学法 慮 心しなけ 人に れ ば 係 ふる中 なら な 期 目 1 標 を 定 め、 又 は れ を 変更 L ようとするとき は、 あ 5 カコ じ め 当 該 公 立 大学 法 人 0 意

4 会 0) 設 意 立 見を 寸 体 聴  $\mathcal{O}$ カゝ 長 な は け n 公 ば <u>\frac{1}{2}</u> 大学法 な 5 な 人に 係 る中 期 計 画 に 0 11 て、 第二 + 六 条 第 項  $\mathcal{O}$ 認 可 を ようとするとき は、 あ 5 カコ ľ め、 評 価 委 員

5 8 る 事 <u>\\</u> 大学 項」 とす 法 人に る。 関 す る第二十 六条第三 項  $\mathcal{O}$ 規 定  $\mathcal{O}$ 適 用 に 0 1 7 は、 同 項 中 事 項」 とあ る 0) は、 事 項 及 び 第七 + 八 条 第二 項 に 定

各 事 業 年 度に 係 る 業務 0) 実 績 等 に 関 す る 評 価 等  $\mathcal{O}$ 特 例

第 公 各 七 立. + 大学 に 八 条の二 定  $\Diamond$ 法 人に る 事 は 項 公 に 立 大学法 0 適 用 V て、 L 人は な V ) 評 価 委 毎 員 事 業 숲 年 0 評 度 価  $\mathcal{O}$ を 終 受 了 け 後 な け 当 れ 該 ば 事 業 な 年 5 度 な が 11 次 0) 各  $\mathcal{O}$ 場 号 合 に に 掲 げ お る事 1 て、 業年 第二十 度 0) 八 11 条 ず れ か に 5 該 第 当す 三十 条 る ま か で に 応じ 0 規 定 当 は 該

次 八号及び 第 号 に 掲 げる事業年 度 以 外 0 事 業 年 度 当 該 事 業 年 - 度に お け る 業務 0) 実

績

- 期 中 目 期 標 目  $\mathcal{O}$ 標 期  $\mathcal{O}$ 間 期 間 に お 0 け 最 る業 後 0 務 事  $\mathcal{O}$ 業 実 年 績 度 0 前 Z 事 業 年 度 当 該 事 業 年 度 に お け る 業 務 0 実 績 及 び 中 期 Ħ 標  $\mathcal{O}$ 期 間 0 終 了 時 に 見 认 ま れ る
- 中 期 目 標  $\mathcal{O}$ 期 間  $\mathcal{O}$ 最 後  $\mathcal{O}$ 事 業 年 度 当 該 事 業 年 度 に お け る 業 務 0 実 績 及 び 中 期 目 標  $\mathcal{O}$ 期 間 お け る 業 務 0 実
- 2 同 項 公 第 <u>\f\</u> 大学 号、 法 第 人 は 表 号 又 前 は 項 第  $\mathcal{O}$ れ 評 号に ば 価 を受け 定め V る ようと 事 項 す 及 び る لح 当 き 該 事 は 項 設 に 立 0 寸 11 て 体 自  $\mathcal{O}$ 6 規 評 則 価 で 定 を 行  $\otimes$ る 0 ところ た 結 果 に を 明 ょ 5 り、 か に 各 L 事 た 業 報 年 告 度 書  $\mathcal{O}$ を 終 評 了 後 価 委 員 月 会 以 内 提 に 出

す

る

لح

ŧ

に、

公

L

な

け

な

6

な

- 3 に 及 び お 分 1 析 て、 項 0) を 行 同 評 1 項 価 各 は そ 号  $\mathcal{O}$ に 同 結 規 項 第 果 定する当 を考 号、 慮 第二 該 L て 事 業年 行 号 又 わ な 度 は け に 第 お れ 三 ば け 号 る業 な に b 定 な 務 8 る 11  $\mathcal{O}$ 実 事 績 項 に 関 0 す 11 る て 評 総 価 合 的 は な 評 当 該 定 事 を 付 業 年 L て、 度 に お 行 け わ な る 中 け 期 れ 計 ば 画 な 0 5 実 な 施 11 状 況  $\mathcal{O}$ 0 調 場 查 合
- 4 が で 評 きる 場 価 合に 委 員 お 会 1 は て、 第 評 項 価 委  $\mathcal{O}$ 員 評 会は 価 を 行 必 0 たとき 要 が あ る は と 認 遅 滞 8 るとき な < は 当 該 当 公 <u>\</u> 該 公立 大 学 大学 法 人 法 12 人に 対 L て、 対 į そ 業 0) 務 評 運 価 営  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 結 改 果 善 を そ 通 0 知 他 L 0) な 勧 け 告 れ を ば す な ること 6 な 11
- 5 は、 そ 価 委  $\mathcal{O}$ 通 員 知 숲 は、 に 係 る 前 事 項 項  $\mathcal{O}$ 規 及 定 び に そ  $\mathcal{O}$ ょ 勧 る 告 通  $\mathcal{O}$ 知 内 を 容) 行 0 た を 設 と き <u>\f\</u> は、 寸 体 遅  $\mathcal{O}$ 長に 滞 な 報告 く そ す るととも  $\mathcal{O}$ 通 知 に に、 係 る 公 事 表 項 L 同 な け 項 れ 後 ば 段 な  $\mathcal{O}$ 規 6 定 な に Ţ る 勧 告 を た 場 合
- 6 設 立 寸 体 0 長 は 前 項 0 規 定 に ょ る報告 を 受 け たとき 法は そ 0) 旨 を議 会に 報 告 な け れ ば な 5 な V
- 7 第 +九 条  $\mathcal{O}$ 規 定 は 第 項 0 評 価 を 受け た 公 立 大学 人 に 0 11 7 準 用 す る

認 証 評 価 機 関  $\mathcal{O}$ 評 価  $\mathcal{O}$ 活 用

中

期

目

標

0

期

間

0

終

了

時

 $\mathcal{O}$ 

検

討

 $\mathcal{O}$ 

特

例

第 七 和 お け + +る 九 業 条 年 務 法  $\mathcal{O}$ 評 律 実 価 第 績 委 又 員 + は 会 が 六 同 号) 項 公立大学 第 三号に 第 百 法 九 に規定す 条 人に 第 0 る 項 11 中 に て 規 期 前 定 目 条 す 標 第 る  $\mathcal{O}$ 認 期 項 間 証 第 評 に 号に 価 お け 機 る業 関 規  $\mathcal{O}$ 定 教 務 す 育  $\mathcal{O}$ る 及 実 中 績 び 期 研 に 目 関 究 標 0 す  $\mathcal{O}$ 状 る 期 況 評 間 に 価  $\mathcal{O}$ 0 を 終 行 1 了 うに 7 時  $\mathcal{O}$ に 評 当 見 た 価 込 を 0 ま 踏 7 れ ま は る え る 学 期 校 目 とと 教 標 育 0 す 法 期 る。 間 昭 に

に 七 ま + づ 見 九 条 込 当 ま  $\mathcal{O}$ 所 該 n 要 公 る 0) 立 中 設 措 大 期 立 学 置 目 寸 標 を 法 体 講 0  $\mathcal{O}$ ず  $\mathcal{O}$ 期 長 る 業 間 は t 務 に 0) を お 評 とする。 継 け 価 る業 委 続 さ 員 せ 務 会 が る  $\mathcal{O}$ 必 実 公 績 立 要 大学 E 性 関 組 す 法 る 人に 織 評 0 0 在 価 ŋ V を て 方 行 そ 0 第  $\mathcal{O}$ た 七 他 と + き 八 そ は 条  $\mathcal{O}$ 組 0) 当 織 第 及 該 び 公 <u>\frac{1}{2}</u> 項 業 大学法 務 第 0 号 全 人に に 般 に 規 わ 係 定 たる す る 中 る 検 期 中 討 目 期 を 標 目 標 行  $\mathcal{O}$ 期 0 11 間 期 そ 間  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 終  $\mathcal{O}$ 結 了 終 果 時 了

#### 2 3

略

吸 収 合 併 消 滅 法 人 0 最 終 年 度 0 業 務  $\mathcal{O}$ 実 績 等 に 関 す る 評 価 等

#### 第 百 九 略

- 2 て、 八 0 条 吸 提 同 第 収 出 及 項 合 第 び 項 併 公 0 消 表 뭉 規 滅 は に 定 法 定 に 人 当  $\otimes$ ょ る 公立 該 る 事 評 吸 収 項 価 大 学 に 合 は 併 法 0 7 当 存 人 て、 続 該 及 法 吸 び 吸 収 人 申 が 収 合 請 合 行 併 等 う 併 消 関 Ł 存 滅 係 続 法  $\mathcal{O}$ 事 と 法 人 務 す 人  $\mathcal{O}$ 処 رِّ چ が 効 理 受 力 法 け 発 人 るも 生 を 日 除  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ < . と 前 す 以 H る。 を 下 含 ح 0 ts 0 中 項 場 期 に 合 目 お に 標 11 お  $\mathcal{O}$ 7 11 期 同 て、 間 が 同 同 条  $\mathcal{O}$ 日 第二 に 業 お 務 項 1  $\mathcal{O}$ 0 7 実 規 終 績 定 了 関 12 L た す る る 報 0) 第 告 二 十
- 3 前 項  $\mathcal{O}$ 場 合 に る お V て、 第二十 八 条第 五. 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る通 知 及 び 同 条 第 六 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 命 令 は、 当 該 吸 収 合 併 存 続 法 妆 L 7 な
- 規 用 定 す 前 れ る。 に ょ 項 る  $\mathcal{O}$ 通  $\mathcal{O}$ 規 知 場 定 ルは、 及 合 び 12 同 お 公 条第六 <u>\frac{1}{1}</u> 1 て、 大学 第 項 法 0) 人 項 規 で 定 中 あ に る 同 吸 ょ る 項 収 第三 命 合 令 併 号」 消 لح 滅 あ لح 法 る あ 人  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ る は  $\mathcal{O}$ 業 は 務 第七  $\mathcal{O}$ 第七: 実 績 + 八 +に 条 八 関  $\mathcal{O}$ 条 す る  $\mathcal{O}$ 第 第 第 兀 七 項 十 項 八  $\mathcal{O}$ 第三 規 条 定に 0) 号」 ょ 第 ٤, る 通 項 知 前  $\mathcal{O}$ 及 項 規 び 中 定 勧 に 告 第 ょ る لح +評 八 読 価 条 4 第 0 え Ŧī. る 項 て  $\mathcal{O}$ 準

#### 5 5 12 略

 $\mathcal{O}$ 

とす

る。

4

さ

る

b

 $\mathcal{O}$ 

と

す

新 設 合 併 消 滅 法 人 0 最 終 事 業 年 度  $\mathcal{O}$ 業 務  $\mathcal{O}$ 実 績 等 に 関 す る 評 価

#### 第 百 +条 略

- 2 て、 八  $\mathcal{O}$ 条第 新 提 同 設 出 項 及 合 び 第 項 併 公  $\mathcal{O}$ 消 号 表 規 滅 は に 定 法 定 に 人 当 ょ  $\otimes$ る る評 公 該 事 <u>\f\</u> 新 大学 項 設 価 に 合 は 併 0 法 7 当 設 人 て、 及 <u>V</u> 該 法 新 び 人 が 新 設 申 設 合 請 行う 合 併 等 併 消 関 Ł 係 設 滅 事  $\mathcal{O}$ 立 法 لح 法 人 務 す 人  $\mathcal{O}$ 処 رِّ چ が 効 理 受 力 法 け 発 人 るも 生 を 日 除 く。  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ と 前 す 以 日 る。 を 下 含 0) む  $\mathcal{O}$ 中 項 場 期 に 合 目 お 12 標  $\mathcal{O}$ お 7 1 期 同 て、 間 が 同 同 条 日  $\mathcal{O}$ 業 第 に お 務 項 11  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 7 実 規 終 績 了 定 関 た ょ す る ŧ る 報  $\mathcal{O}$ 第 告 書
- 3 さ れ 前 る 項  $\mathcal{O}$ ŧ 場 0 合 す に る お 1 て、 第二十 八 条 第 五 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に よる 通 知 及 び 同 条 第 六 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 命 令 は、 当 該 新 設 合 併 設 <u>\f</u> 法 に 対 L て
- 規 用 定 前 る。 に 項 ょ ح る  $\mathcal{O}$ 通  $\mathcal{O}$ 規 知 場 定 及 合 は び に 同 お 公 条第六 立 11 大学 て、 項 第 法 0) 人 項 で 規 定に 中 あ る よる 同 新 項 設 第三 命 合 令」 併 号」 消 لح 滅 あ لح 法 る あ 人  $\mathcal{O}$ る  $\mathcal{O}$ は 業  $\mathcal{O}$ 務 は 第七  $\mathcal{O}$ 第 実 + 七 績 八 十 に 条 八 関  $\mathcal{O}$ 条 す る  $\mathcal{O}$ 第 第 第 七 兀 項 +の項 八 第三 規 条 定に (T) 号」 よる 第 ٢, 項 通 知  $\mathcal{O}$ 前 規 及 項 中 定 び 勧 に 第二 告 ょ る +評 読 八 価 条 4 に 替 第 0 こえる 五. 11 項 て 0 進

4

のとする。

5~12 (略)

○ 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)

沙

第百九条 (略)

2 け た者 大学 在 L は、 ない場 ( 以 下 前 合 項 そ 認 0) 0) 証 措 他 評 置 特 価 に 別 機 加 関 え、 0 事 とい 当 由 該 が . う。 大学 あ る場 0 合 による評 教 で 育 あ 研 0 究 て、 価 等  $\mathcal{O}$ 议 文 部 総 下 合 科 的 学 認 な状況に 大臣 証 評 0 価 定 0  $\emptyset$ と V て、 る 11 . う。 措 置を講じ 政 令で定 を受け てい め るものとする。 る期間ごとに、 るときは、 ただ 文部 0) 限 ŋ Ļ 科 で 学 大臣 認 な 証 評 0 認 価 機 証 関 を が 受

③ ~ ⑦ (略)

法務省関係)

第十 は 当 直 該 条 系 記 籍 卑 戸 法 載 庽 籍に が第二十 昭 は、 記 和二十二年法律第二百二十四号) 載さ そ 0) 匹 戸 条第二項の規定によ れ ている者 籍 0 謄 本若 (その L < 、は抄 戸 つて 籍 から 本 訂 又 正された場 は 除 かれ 抄 戸 籍 た 者 に 戸 記 載 合 籍 (その に 法 L た おけるその 0 事 者に 項 部を改 に 係 る全 関 す 者 正 る を 部 す る法律 証 除  $\mathcal{O}$ <\_ 記 明 書 載 が **令** 以 を含 市 下 町 和 む。 村 元 戸 年 長 **-**法律第 籍謄  $\mathcal{O}$ 過 又 は 本 誤 · 等 」 そ に + 0) ょ 七 と 配偶 号) 0 てさ 1 によ う。 者、 れ 直 た る 0) 系尊属若 t 改 交付 0) 正 で あ 0 しく つて、 請 求

② (略)

を

すること

が

で

きる

3 第一 項 0) 請 求を ようとする者 は、 郵 便 そ 0) 他 0) 法 務 省令で定め る方法 に ょ り、 戸 籍 謄 本 等 Ö 送 付 を 求めることが で ·きる。

男十条の二 (略)

交付 拠となる法令 前  $\mathcal{O}$ 項 0) 請 規定に 求をすることができる。 0) 条 か 項 か 並 わ び 5 ず、 に 戸 籍 玉 又 0) この は 記 載 地 場合に 方公共 事 項  $\mathcal{O}$ 利 お団 用 11 体 て、  $\mathcal{O}$ 0) 機 目 的 当 関 は、 を 該 明 請 5 法 求  $\mathcal{O}$ 令 か  $\mathcal{O}$ に 任に当たる権限を有する職 定 し める事 てこ れ をし 務 を遂行するため な け れ ば な 5 員 に必 は、 な 1 そ 要が  $\mathcal{O}$ 官 あ る場 職、 合 当 該 に 事 は 務 戸 0 籍 種 類 謄 及 本 等 び 根  $\mathcal{O}$ 

③~⑥ (略)

第十条の 対 三 運 転 免 第 許 十 証 条 を 第 提示する方法その 項 又 は 前 条 第 他 項  $\mathcal{O}$ か 法 ら 務 第 省 五. 令で定 項 ま で める方法により、  $\mathcal{O}$ 請 求 を す んる場 合 当 に 該 お 請求 11 て、 0 任 現 に当たつて に 請 求  $\mathcal{O}$ 任 1 に当 る者 た を 0 特 て 定 1 す る るた 者 は め に 市 必要な 町 村

氏

そ 0 他  $\mathcal{O}$ 法 務 省 令 で 定 8 る 事 項 を 明 6 カン に L な け れ ば な 5 な

当 任 る 該 に 前 当 請 限 項 た 求  $\mathcal{O}$ を る  $\mathcal{O}$ 有 場 £ 任 す 合  $\mathcal{O}$ に る に で 当 職 お あ た 員 11 ることを明 て、 0 て 以 1 下 現 る に 者  $\mathcal{O}$ 請 5 は 項 求 か 及  $\mathcal{O}$ に 市 び 任 す 町 次 に る 当 村 条 書 長 に た に お 0 を 対 て 11 提 て い 供 る L 法 請 者 な 務 求 が け 省 者 令 当 れ ば で と 該 な 定 請 11 う。 5  $\Diamond$ 求 な る を V 方 す 法  $\mathcal{O}$ る 者 代 に よ理 り、 前 人 で 条 請 あ 第 求 る لح 項 者 きそ 0)  $\mathcal{O}$ 依 請 頼  $\mathcal{O}$ 求 又 他 に は 請 あ 法 求 0 て 者 令 لح 0 は 規 異 定 な 当 に る 該 者 請 ょ ŋ で 求 当 あ 0 ると 該 任 請 に き 当 求 た

+ = 以 条  $\mathcal{O}$ 下 除 籍 第 謄 + 本 条 等 か 5 لح 第 VI + う。 条 0 兀 0) ま で 交 付  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 請 定面 んは、 求 を す 除 る か 場 れ 合 た に 戸 準 籍 用 0 謄 す る。 本若 L < は 抄 本 又 は 除 か れ た 戸 籍 に 記 載 た 事 項 に 関 す る 証

ょ 置 子 百 定 を 計 め 0 + る て 含 算 八 ŧ 取 機 条 む  $\mathcal{O}$ ŋ に 扱 以 磁 法 係 う 下 気 務 ŧ 同 デ 大 る ľ 戸  $\mathcal{O}$ イ 臣 ス 籍 لح  $\mathcal{O}$ 事 す ク 指 る。 と市 務 定す  $\widehat{\mathcal{L}}$ に ただ 0 町 れ る に 市 1 村 潍 て 長 町 は、 0) ず 村 る方 使 電 長 ムは、 用 子  $\mathcal{O}$ 情 に 法 限 報 係に 法 ŋ 処 る ょ 務 り 一 で 理 電 省 令 な 組 子 織 計 定 で に 算  $\mathcal{O}$ 定 機 事  $\Diamond$ ょ لح る 項 0 を ところに て を 取 電 確 ŋ 実に 気 扱 通 うこ 信 記 ょ 口 ŋ 録 لح 線 戸 す ること 籍 が で 接 事 相 当 続 務 が で を L た で 電 な きる 電 子 11 戸 子 情 情 物 籍 報 又は を 報 処 含 処 理 除 理 む 組 組 か 織 織 以 れ 法 た を 下 戸 11 同 務 う。 ľ. 籍 大 臣 以 0 L 7 及 使 下 法 同 てド 用 務 に 出 省 係 令 力 る で に 装 電

#### 2 略

第 百 + 九 前 条 第 項  $\mathcal{O}$ 場 合に お 11 T は、 戸 籍 は、 磁 気 デ イ ス ク に 記 録 し、 ح れ を ŧ 0 て 調 製 す

第 百 戸 籍 前  $\mathcal{O}$ + を 項 蓄 0) 条 に 積 場  $\mathcal{O}$ お L 合 1 て に て 第 除 お 準 百 籍 1 用 簿 + て لح は、 九 す ,る場合 す 条 る  $\mathcal{O}$ 磁 気デ 規 を含 定 に イ む。 ょ ス ク ŋ を 次 戸 項 籍 £ 及 又 0 び は て 次 除 調 条 カュ 製 さ n 第 た れ 戸 た 項 戸 籍 を が 籍 除 磁 を く。 蓄 気 デ 積 イ L に ス て お ク 戸 を 籍 1 ŧ 簿 て 同 0 て U 調 製 磁  $\mathcal{O}$ さ 気 デ 請 れ 求 て イ は ス 11 ク る と を 11 き ず ŧ は、 れ 0  $\mathcal{O}$ て 指 第 調 定 + 製 条 さ 市 町 第 れ 村 項 長 除 カュ 第 第 れ 百 + た

第三 て 項 項  $\mathcal{O}$ 及 規 る び 者 第 定 十 に と 条 ょ あ  $\mathcal{O}$ ŋ 三 す る 第 る 0 第 は 項 + 条  $\mathcal{O}$ 当 第 規 該 定 請 は 項 求 適  $\mathcal{O}$ 請 を 用 す 求 せ ず、 る 本 者」 同 籍 村 とす 条 地 長 第  $\mathcal{O}$ ź 市 項 町 中 村 長 以 現 外 に 請  $\mathcal{O}$ 求 指  $\mathcal{O}$ 定 任 市 町 に 当 村 た 長 つて に 対 L 11 てす る者」 Ś لح ŧ あ  $\mathcal{O}$ り、 に 限 及 る。 び 当 に 該 0 請 11 て 求 0 は 任 同 に 条

(2)

条

第

項

 $\mathcal{O}$ 

規

定

に

ょ

る指

定

を受け

Ć

1

る

市

町

を

V

う。

以

下

同

ľ,

に

対

して

ŧ

す

ることが

で

き

百 て さ が  $\mathcal{O}$ れ で 三 た き 戸 な 籍 前 1 条 に 第 方 記 式 録 で作 項 さ n  $\mathcal{O}$ 規 ら た 事 れ 定 に る 項 記 ょ  $\mathcal{O}$ り 録 全 部 す で 又 る あ 第 0 は て、 +部 条 電 を 第 子 証 計 明 項 算 L  $\mathcal{O}$ 機 た 請 に 電 求 磁 ょ は る 的 情 記 戸 報 録 籍 処 電 理 電 子 0 子 証 用 的 明 方 書 に 供 式 第 さ れ 磁 百 る 気 + 的 ŧ 九 0 方 条 と 式  $\mathcal{O}$ L 規 そ て 定  $\mathcal{O}$ 法 他に 務 人 ょ 省  $\mathcal{O}$ n 令 知 磁 で 覚 気 定 に デ 8 ょ イ る 0 ス て ク Ł 0 は を を 認 Ł 識 0

- う。 以 記 下 録 さ 同 ľ, れ た 事 項 を  $\mathcal{O}$ 1 う。 全 部 以 又 は 下 同 ľ 部 を 証 又 明 L は た 除 電 籍 磁 電 的 子 記 証 録 明 書 を 11 う。 第 百 + 下 九 同 条 ľ  $\mathcal{O}$ 規 定 に に 0 ょ 11 ŋ て 磁 もす 気デ ること イ ス クを が t で き 0 7 調 製 さ れ た 除 カ n た 戸
- 2 同 別 法 ľ 務 前 号 省 項 令 0) 当 規 で 又 は 定 該 定 8 除 請 に る 籍 求 ょ ŧ 電 に ŋ 0) 子 係 す る第 を る戸 証 明 11 、 う。 書 籍 + 提 電 条 供 子 第 以 用 下 証 \_\_\_ 同 識 明 項 書を ľ 别  $\mathcal{O}$ 請 符 識 号 求 を 別 が (当 す 発 あ 行 該 ることが 0 する たと 請 求 ŧ に き 0) 係 できるように は と る す 除 指 る。 籍 定 電 市以 町 子 証 付 村 明 さ 長 れる 書 は を 符号で 識 当 別 該 すること 請 求 あ をし つ て、 た者 が できるように 法 務 に 省 対 令 で 定 戸 付 8 籍 さ る 電 れ Ł 子 る  $\mathcal{O}$ 証 符 を 明 号 書 11 う。 で 提 あ 供 以 用 0 下 識
- 3 と 戸 に 供 き 籍 規 用 指 定 識 電 定 は す 别 子 市 る 符 法 証 町 号 務 明 行 村 に 省 書 政 長 対 令 提 機 は 応 で 供 関 す 定 用 等 行 る除 っそ  $\otimes$ 政 識 るところ 機 别 0) 関 籍 符 他 電 号 0 等 子 又 法 (情 に は 証 務 弱省令で・ 明 ょ 除 報 書 ŋ 籍 通 を 信 電 提 当 子 定 技 証 供 該  $\Diamond$ 術 戸 明 を す る 者を 活用した行 る 籍 書 提 ŧ 電  $\mathcal{O}$ 子 供 11 とす う。 証 用 明 識 書 る 别 政 提 符  $\mathcal{O}$ か . 号 を , 5 推 供 用 進 等 識 示 法 別 し 務 に 省令 符 て 関 号 戸 す る法 籍 で定めるところに に 対 電 応 子 律 する戸 証 伞 明 書 成 又 籍 + は 匹 電 子 除 ょ 年 り、 証 籍 法 明 電 律 書 子 第 前 証 項 百 又 明 は  $\mathcal{O}$ 五. 当 書 規 十 該  $\mathcal{O}$ 定 号) 除 提 籍 供 ょ を ŋ 第三 電 求 子 発 8 行 条 証 第二 5 さ 明 書 れ れ た 提 た
- 4 11 に 請 て 規 求 第 定 は  $\mathcal{O}$ す 項 任 る に 同  $\mathcal{O}$ 当 条 行 規 た 第 政 定 0 機 に て 項 関 ょ 及 等 ŋ 1 び に す る 者」 んる第 第十条の 提供 とあ す + る 条 第 る 0) 第二項 は、 項 لح  $\mathcal{O}$ Ļ 請  $\mathcal{O}$ 当 規 求 該 定 同 に 請 は 項 0 求 適  $\mathcal{O}$ 11 て を 用 請 は、 す せ 求 ず、 る 本 者」 同 同 項 籍 条第 とする。 地 中  $\mathcal{O}$ 市 交 項 町 付 中 村 長 と 現 以 あ 外 る に 請  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ んは、 指 求  $\mathcal{O}$ 定 市 任 第 に 町 百二十 当 村 た 長 に 0 て 対 条 0) L 1 る者」 てす 第三 Ź لح Ł 項 あ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ŋ に 規 限 定 る。 に 及 び ょ ŋ に 当 同 該 0 項

# 国土交通省関係)

 $\bigcirc$ る 法 建 律 築 等 基  $\mathcal{O}$ 準 法 部 を 昭 和二 改 正 す + る法 五. 年 律 法 律 令令 第二 和 兀 百 年 号) 法 律 第六 抄 + 九 号) 脱 炭 第 素 兀 社 条 会  $\mathcal{O}$ 附 実 則 現 第 に 資 条 す るた 第四号  $\emptyset$ に  $\mathcal{O}$ 掲 建 げ 築 る 物 規  $\mathcal{O}$ 定 工 に ネ 限 ル ギ る に 消 ょ る 性 改 能 正  $\mathcal{O}$ 後 向 <u>F</u>. 関 す

第二 0 法 律 に お 11 7 次  $\mathcal{O}$ 各 号 に 掲 げ る 用 語  $\mathcal{O}$ 意 義 は、 当 該 各 号 に 定  $\otimes$ る ところに ょ

# ~十二 (略)

用

語

 $\mathcal{O}$ 

定

義

建 築 建 築 物 を 新 築 増 築 改 築 又 は 移 転 す ることを 11 う。

大 規 規 模 模  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 模 修 繕 様 建 築 建 築 物 物  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 主 要 主 要 構 構 造 造 部 部  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 種 種 以 以 上 上 に に 0 0 1 7 1 て 行う 行 う 過 過 半 半  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 修 模 繕 様 を 替 う。 を

# 十六~三

五. を 1 う。 定 ただし、 行 政 庁 第九十 建 築主事 七 条の二 を置 一く市 第 町 項 村 又  $\mathcal{O}$ は 区 第 域 九 に + 0 V 七 て 条 は 0) 当 第 該 市 項 町 0) 村 規  $\mathcal{O}$ 定 長 に をい ょ V) ŋ 建 その 築 主 事 他 を  $\mathcal{O}$ 置 市 < 町 市 村 町  $\mathcal{O}$ 区 村  $\mathcal{O}$ 域 X に 域 0 内 11 0) て 政 は 令で 都 道 定 府 県 8 る 知

適 用  $\mathcal{O}$ 除外

建

築

物に

つ

1

て

は

都

道

府

県

知事とする。

### 第三条 略

2 L  $\langle$ 7 は、 は 0) 模 法 様替 律又はこ 当 該 建  $\mathcal{O}$ 築 工 物 事 れ 中 に 基づく命令若しく 0) 建 建築物若しくはその 築 物  $\mathcal{O}$ 敷 地 又 は 建 は 築 条 敷 物 例 若 地  $\mathcal{O}$ がこ 規 L 定 < は れ 0 そ 5 施  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 行 敷 規 又 地 定 は に  $\mathcal{O}$ 適 部 適 用 分に 合 0) 際 せ ず、 現に 対 L て 存する建 又はこれらの は 当 築物 該 規 規定に 岩し 定 は < 適 適 は 用 合 そ L L 0) な な 敷 地 V 部 又 分 は を 現 有 に す 建 る 場 合 修 繕 お 若

#### 3 略

#### 建 築主 事)

5

せ

るために、

建

な

け

第 兀 条 政 令で指定する人口二十五 築主事を置 カゝ 万以 れ Ĺ ば なら  $\mathcal{O}$ 市 は、 な \ \ \ そ 0) 長の指 揮 : 監督  $\mathcal{O}$ 下 に、 第六条第 項 0) 規 況定に よる 確 認 関 する 事 務 を か さど

- 2 市 町 村 前 項 0) 市を除る は、 その 長  $\mathcal{O}$ 指 揮 監 督  $\mathcal{O}$ 下 に、 第六 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 確 認 に 関 す る 事 務 を 0 か さ تلح 5 せ こるた め
- 建 主 事 を置 くことができる。

3

市

町

村

は

前

項

0)

規

定により

建

築

主

事

を

置

こうとする場

合

に

お

1

て

は

あ

5

か

ľ

め、

そ

0)

設

置

に

0

11 て、

都

道

府

県

知

事

に

協

議

L

な

公示

か

つ、

れ

を

都

道

府県

知

事

に

通

知

L

な

け

れ

ば

な

5

な

- 4 け 市 れ ば 町 村 な 5 が 前 な 項 0) 規 定に より協 議 L て 建 築 主 事 を 置 くとき は、 当 該 市 町 村 0 長 は 建 築主 事 が 置 か れ る 日 0 三 + 日 前 ま で そ 0 旨
- 5 以 下 道 いめに、 建 府 築主 県 は、 建 事 築 を 都 主 置 道 事 < 府 市 を 県 置 町 知 村 事 カン なけ  $\mathcal{O}$ とい 指 れ 揮 . う。 ば 監 なら 督 0 な  $\mathcal{O}$ 下 V ) に、 区 域 外 第 に お 項 文は け る 第二 建 築 物 項 に  $\mathcal{O}$ 規 係 る 定 第 に 六 ょ 条第 つて 建 項 築 0 主 規 事 · を置 定 に ょ 1 る た 市 確 認 町 に 村 関 はする 第 九 事 + 務 七 を 0 0 一を カコ さどら 除
- 6 れ れ 項、 市 町 第二 村 0 長 項 又 及 は び 前 都 道 項 府  $\mathcal{O}$ 建 県 築 知 主 事 事 が 命ず は る。 。 市 町 村 又 は 都 道 府 県 0 職 員 で 第 七 +七 条 0) 五. + 八 第 項 0 登 録 を 受 ゖ た 者 0) う É か 5 そ
- 7 定 行 政 庁 は そ 0 所 轄 区 域 を分けて、 その 区 域 を所管する建 築主事を 指定することができる。

に

#### 建 築 基 準 適 合 判 定 資 格 者 検 定

第 五. る た 条 め に 建 必 築 要 基 な 準 知 適 識 合 及 判 び 定 資 経 格 験 に 者 検 0 1 定 は、 T 行 う。 建 築 士 0 設 計 に 係 る 建 築 物 が 第 六 条 第 項 0 建 築 基 準 関 係 規 定 に 適 合 す る カ どう カ を 判 定 す

- 2 築 基 準 適 合 判 定 資 格 者 検 定 は 玉 土 交 通 大 臣 が 行
- 3 これ 建 に 築 類 基 j 準 る 適 業 合 務 判 で 定 政 資 令で定 格 者 検  $\otimes$ 定 る は ŧ 0) に関 級 建 築 L て、 士 試 験 以に合格 年 以 上 0) L 実 た 務 者 で、 0 経 建 験 を 築 有 行 す 政 るも 又 は 第 0) 七 で な + け 七 条の れ ば 受け 八 ること 第 項 が  $\mathcal{O}$ で 確 き 認 な 検 查 0) 務  $\mathcal{O}$ 他
- 4 L 建 築 次条 基 1 準 第 適 合 項 判 0 定 指 資 格者検定に 定 建 築基 準 関 適 成する事 合判 定 資 務 格 を 者 0 検 かさどら 定 機 関 が せ る 同 ため 項 0 に、 建 築 基 玉 準 土 交 適 通 合 判 省 に 定 資 格 建 築 者 基 検 準 定 事 適 務 合 判 を 定 行 う 資 場 格 者 合 に 検 お 定 ١, 委 員 て は を 置  $\mathcal{O}$ 限 た
- 5 建 築 基 準 適 合 判 定 資 格 者 検 定 委 員 は、 建 築 及 び 行 政 に 関 L 学 識 経 験 0) あ る 者  $\mathcal{O}$ うち カコ 6 玉 土交 通 大 臣 が 命 ず る。

で

な

- 6 消 玉 土 ·交通· 又 は そ 大臣  $\mathcal{O}$ 建 は 築 基 不 準 正 適 0) 手段に、 合 判 定資 よって 格 者 検 建 定 築 を受け 基 準 適 ることを 合 判 定 資 俗者 禁 止 |検定 す ることが を受け、 で きる。 又は受け ょ うとし た者に 対 L て は 合 格 0 決 定 を 取 n
- 7 定 資 国 格 土 者検 交 通 定 大 を 臣 は、 受けることが 前 項 文は できな 次 条 第二 1 項 Ł の規  $\mathcal{O}$ とすることができる。 定 に による処 分を受け た者に 対 し、 情状に ょ り、 年 以 内  $\mathcal{O}$ 期 間 を 定  $\emptyset$ て 建 築 基 進 適 合 判
- 8 項 は 前 各 頃に 政 令で 定 定  $\emptyset$  $\otimes$ る る。 ŧ 0) を 除 < ほ か、 建 築基 準 適 合 判 定資 格 者 検 定 0 手 続 及 び 基 準 そ 0 他 建 築 基 準 適 合 判 定 資 格 者 検 定 に 関 L 必 要 な

建 築 基 準 適 合 判 定 資 格 者 検 定 事 務 を行う 者  $\mathcal{O}$ 指 定

第 五. 適 条 の 二 と 判 V 定 , う。 資 格 玉 者 土 交通 を 検 行 定 わ 機 大 関 せ 臣 は、 ることが と 第七十 1 う。 で 、きる。 Ė に、 条の二 建 築 か 5 基 第七 準 適 合 + 判 七 定 条 資 0) 格 五. まで 者 検  $\mathcal{O}$ 定  $\mathcal{O}$ 規 実 定 施  $\mathcal{O}$ 定 に 関  $\otimes$ する事 るところに 務 **(以** により 下 指 建 定 す 築 基 る 準 者 適 合 以 判 下 定 指 資 格 定 建 築 定 基

- 2 定 建 築 基 準 適 合 判 定資格 1者検定 機 関 は、 前 条 第六 項 に 規 定 す る 国 土 交 通 大 臣  $\mathcal{O}$ 職 権 を 行うことが できる。
- 3 玉 土 交 通大 臣 は 第 項 0 規 定に よる 指 定 を L た لح き は 建 築 基 準 適 合 判 定 資 格 者 検 定 事 務 を 行 わ な V ŧ  $\mathcal{O}$ とする

検 手 数 料

第

ろに 五. より、 0) 三 実 建 費 築 を 基 勘 準 案し 適 合 て政令で定め 判 定 資 格 者 検 る額 定 を受け 0) 受 検 ょ 手 う 数料 ع す á を、 者 玉 市 指 町 定 村 建 又 築 は 基 都 準 道 適 府 合 県 判  $\mathcal{O}$ 定 職 資格 員 で 者 あ 1検定 る 者 機 を 関 除 が 行う 建 は、 築基 政 準 令 適 で 合 定 1判定 8 るとこ 資

検 定 を 受 け ようと す んる者 に あ 0 て は、 指 定 建 築 基 準 適 合 判 定 資 格 者 検 定 機 関 に 納 8 な け れ ば な 5 な

2 収 前 項 す  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ ŋ 指 定 建 築 基 準 適 合 判 定 資 格 者 検 定 機 関 に 納  $\otimes$ 5 れ た 受 検 手 数 料 は 当 該 指 定 建 築 基 準 適 合 判 定 資 格 者 検 定 機 関 0

造 計 算 適 合 判 定 資 格 者 検 定

第 Ŧī. 条 0 兀 略

略

5 11 7 準 五. 用 条 する。 第 Ŧī. 項 0) 0) 規 場 定 合に は 構 お 造 11 計 算 適 同 合 判 条 第 定 資 七 格 項 中 者 検 定 次 条 委 第 員 に 項 同 لح 条 あ 第 六 る  $\mathcal{O}$ 項 は カゝ 5 第 第 八 項 Ŧī. ま 条 0) で 0 五 第 規 定 項 は に 構 お 造 計 11 T 算 準 適 用 合 す 判 る 定 第 資 格 五 者 条 0 検 定 に 第 0

構 造 計 算 適 合 判 定 資 格 者 検 定 事 務 を 行 Š 者  $\mathcal{O}$ 指 定 等 項

لح

読

4

替

え

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

とする。

Ŧ. 定  $\mathcal{O}$ 規 条 0 実 定  $\mathcal{O}$ 施  $\mathcal{O}$ Ŧī. に 定 関  $\otimes$ 玉 す るところ 土 る 交 事 通 務 大 に 臣 により 以 は、 下 指 第 構 七 定 す + 造 る 計 七 者 算 条 0) 適 合 +判 下 七 定 0) 資 指 格 定 第 構 者 検 造 項 定 計 及 事 算 び 務」 適 同 合 条 لح 第二 判 定 11 . う。 資 項 格 に 者 お を 検 11 行 定 て わ機 準 せ 関 用 す る こと とい る 第 七 が う。 で + き 七 に、 る 条 0) 構 三 造 か 計 6 算 第 七 適 + 合 判 七 定 条 資 0 格 五. 者 ま 検 で

2 る ŧ 第 判 第 0) 五. 定 五. لح 条 項 資 条 す 中 格  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ る 五. 者 第 前 検 第 条 定 項 第 事 項 六 務 及 項 に、 び 第 とあ 第 第 五. 五. Ŧī. 条 条 0) 条 る 0 0) 0 は 第二 第 第 第 項 項 項 五  $\mathcal{O}$ 中 条 規  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 定 者 兀 定 は 第 は 指 市 五. 構 定 町 項 造 構 村 に 計 造 お 算 計 又 1 は 適 算 7 合 適 都 潍 道 判 合 用 府 定 判 県 す 資 定  $\mathcal{O}$ る 格 資 第 者 格 職 五. 検 者 員 条 検 定 で あ 第 定 に る者 六 0 機 項」 V 関 に、 を て と、 準 除 申す く。 第 同 五. رِّ چ 条 条 第 0) と 三 あ 項 第三  $\mathcal{O}$ 場 る 中  $\mathcal{O}$ 合 項 は 第 に  $\mathcal{O}$ お 規 者 項 定 11 て は لح لح 構 読 あ 第 浩 る Ŧī. 計  $\mathcal{O}$ 条 算 え は 0 適

建 築 物  $\mathcal{O}$ 建 築 等 12 関 す る 申 請 及 び 確 認

第

準

又

六 後 関 に 条 に 係 建 お よう 0 建 築 規 11 定 築 設 て て 備 第 主 に す は、 確 関  $\mathcal{O}$ る 号 認 す 法 場 か 第 る 合 5 律 0 申 法 並 又 第 号 は 請 律 び カ 書を提 号 に b 並 第 兀 ま 第 び 号に でに れ に 号 出 に 基づ n 掲 掲 ま でに げ げ て に 建 < 基 る る 築 づ 建 規 掲 命 げ 主 < 築 令 模 事 命 及 物  $\mathcal{O}$ る 0) 令 び を Ł 建 条 建 築 確 及  $\mathcal{O}$ とな 築 認 び 例 物 を受け 条  $\mathcal{O}$ L を ようと る場 例 規 建 定  $\mathcal{O}$ 築 合を含 規 L 以 する場合 確 定 ようとす で 下 認 む。 済 政 証 令 建 で 築 に る  $\mathcal{O}$ 定 基 お 場 交 付 ۲ 合 進  $\otimes$ 11 を受け る 法 て れ 増 は ŧ 令 5  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 築 な 規 当 を 建 L け 11 定 該 築 ょ う。 ふうと 工 物 れ لح ば 事  $\mathcal{O}$ こす に な 以 11 大 う。 規 る 5 着 下 手 模 場 な 同 r. す  $\mathcal{O}$ 合 そ る 修 前 当 0) 繕 お 該 に 他 に、 若 確 適 建 7 認 合 築 そ は を す 物 0) は 受 計 る  $\mathcal{O}$ 建 大 け t 敷 規 築 画 た が  $\mathcal{O}$ 地 模 物 で 建 建  $\mathcal{O}$ が あ 増 築 構 築 模 る 造 基 様

様 れ  $\mathcal{O}$ 増 5 計 す 0 築 画 建 L  $\mathcal{O}$ ょ 築 変 う 物 更  $\mathcal{O}$ لح 大 す 国 規 る 土 模 場 交 合に 通 0 修 省 繕 お 令 若 1 で て 定 L は、 め < る は 大規 建 軽 築 微 模 物 な 変 0 が 更 模 増 築 を 様 後 除 替 < を に お L ようと V を て 第 L す て、 る 묽 第 場 カン 合 5 又 第 号 は  $\equiv$ カゝ 号 第 ら までに 第三号 兀 号 に 掲 掲 ま げ げ で に る る 建 規 掲 築 模 げ 物  $\mathcal{O}$ る 建 を ŧ 建  $\mathcal{O}$ 築 築 لح 物 な を L ょ る 建 う 場 築 と 合 す を ょ る 含 j 場 む する場 合 合 司

木 別 造 表  $\mathcal{O}$ 第 建 築 (V) 物 欄 で三 12 掲 以 げ 上 る 用 0 階 途 数 に を 供 する 有 特 殊 又 は 建 延 築 べ 物 で、 面 積 そ が  $\mathcal{O}$ Ŧī. 百 用 平 途 方 12 供 メ 1 す  $\vdash$ る ル 部 分 高  $\mathcal{O}$ さが 床 面 + 積 三  $\mathcal{O}$ メ 合 計 ] 1 が 一 百 百 ル 若 平 L < 方 メ は 軒  $\mathcal{O}$ 1 高 ル さ を が 超 え 九 る メ ŧ  $\vdash$ 0 ル を

三 超 え 木 造 る 以 ŧ 外 0 建 築 物 でニ 以 上 0) 階 数 を 有 し、 又 は 延 ベ 面 積 が 百 亚 方 メ  $\vdash$ ル を 超 え る t  $\mathcal{O}$ 

兀 け 定 意 る す 見 前 建 る を 号 区 築 聴 物 域 V に を て 掲 除 指 げ 定 る す 建 る 築 区 物 内 又は 域 を 除 を 除 都 < ほ 道 か 府 県 若 都 知 事 し 市 < が 計 関 は 画 係 景 区 観 市 域 町 法 若 村 L 平  $\mathcal{O}$ < 意 成 は 見 +準 六 を 都 年 聴 市 法 11 計 て 律 画 そ 第 X 域  $\mathcal{O}$ 百 区 + 号) 域 1 ず 0) 第 全 れ 部 七 ŧ 若 +都 兀 道 L < 条 府 県 は 第 知 部 項 事  $\mathcal{O}$ が に 準 都 0 1 景 道 て 観 府 指 地 県 定 区 都 す 市 市 る 計 区 町 画 域 村 審 内 長 議 に が 会 お 指  $\mathcal{O}$ 

2 移 転 前 に 項 係  $\mathcal{O}$ 規 る 部 定 分 は、 0 床 防 面 火 地 積  $\mathcal{O}$ 域 合 及 計 び が 準 防 十 平 火 地 方 X 域 外  $\vdash$ に ル お 以 11 内で 7 建 あるときに 築 物 を 増 築 Ĺ 0 11  $\mathcal{T}$ 改 は 築 適 用 又 L は な 移 転 L ょ うとす る 場 合 で、 そ 0) 増 築、 改 築 又 は

3 るこ 建 と 築 が 主 で 事 き は な V 第 項  $\mathcal{O}$ 申 請 書 が 提 出 さ れ た 場 合 に お 1 て、 そ 0 計 画 が 次 0) 各 号 0) 1 ず れ か に 該 当 す る لح き は 当 該 申 請 書 を 受 理 す

法 第三 建 築 条 士 か 二 法 第三 第 条 項 第 0 規 項 定に 第 基づ 条 <  $\mathcal{O}$ 条例 第  $\mathcal{O}$ 規 項 定 第三 に 違 反 条 す 0) うると 第 項、 第 + 条 0) 第 項 若 < は 第 + 条 0) =第 項 0 規 定 又 は 同

構 構 造 造 関 係 設 規 計 定 に 級 適 建 合 築 す 士 んことを 以 外  $\mathcal{O}$ 構 級 造 建 設 築 士 計 が 級 建 建 築 築 士 法 士 第二十 が 確 認 条 L の 二 た 構 造 第 設 計 項 に  $\mathcal{O}$ ょ 建 るも 築 物 0)  $\mathcal{O}$ で 構 な 造 1 設 と 計 き。 を 行 0 た 場 合 に お 1 て、 当 該 建 築 物 が

三 設 備 設 備 関 係 設 規 計 定 に 級 適 建 合 築 す 土 ること 以 外  $\mathcal{O}$ を 設 級 備 建 設 築 士 計 が 級 建 建 築 築 士 士 法 第二 が 確 + 認 条 L た  $\mathcal{O}$ 設 第 備 設 計 項  $\mathcal{O}$ に 建 ょ るも 築 物 0) 0 で 設 な 備 V 設 لح 計 を 行 0 た 場 合 に お 11 て、 当 該 建 築 物 が

合 + す 建 五. る 日 築 主 か 以 どう 内 事 に は カコ を 同 第 審 項 第 項 査 兀  $\mathcal{O}$ 号 申 審 に 請 係 書 査 を  $\mathcal{O}$ る ŧ 受 結 果に 理  $\mathcal{O}$ に L た場 基 あ づ 0 て 1 合 て は に 建 そ お 築  $\mathcal{O}$ 1 基 受 7 準 理 は 関 L 係 た 同 規 項 日 定 第 か 6 に 号 適 七 合 日 カュ す 以 5 ることを確 内 第 に 号 申 ま でに 請 認 に 係 係 L る たとき る ŧ, 建 築  $\mathcal{O}$ は 物 に 0 あ 当 計 0 て 該 画 申 が は 請 建 そ 者 築  $\mathcal{O}$ に 基 受 準 理 確 認 関 L た 済 係 規 証 日 を 定 カン 交 に 5 付 適

4

な け れ ば な 6 な い

- 5 建 築 建 主 築 主 カ 6 事 同 は 条 第 前 七 項 項  $\mathcal{O}$ 場  $\mathcal{O}$ 適 合 に 合 判 お 定 11 て、 通 知 書 申 又 請 は に そ 係  $\mathcal{O}$ る 建 写 L 築  $\mathcal{O}$ 物 提  $\mathcal{O}$ 出 計 を 画 受 が け 第 た 六 場 条 合  $\mathcal{O}$ に Ξ 限 第 り、 項 第 0 構 項 造  $\mathcal{O}$ 計 規 算 適 定 に 合 ょ 性 る 判 定 確 認 を 要 を す す るこ る ŧ لح 0 が で で あ きる。 る き は
- 6 認 適 定 0 合 済 8 建 場 す る 証 築 基 主 合 る を に 準 交 か 事 どう お 付 に は 11 す 従 て ること か 第 0 は を た 兀 審 構 項 そ ができな 造 査  $\mathcal{O}$ 11 場 0 計 す る場 旨 算 合 で 及 申 び 合 同 1 そ そ 合 号 請 0) 理  $\mathcal{O}$ 1 に 的 に 延 他 係 玉 規 長 な る 理 土 定 建 す る 由 交 す 築 通 る 期 が 物 方 間 あ 省  $\mathcal{O}$ 令で 法 並 るとき 計 てバ に 画 に 定 ょ が は、 そ 8 る 第 ŧ 六  $\mathcal{O}$ る 場  $\mathcal{O}$ 期 条 +合 の に 間 ょ に を Ŧī. 限 延 日 0 第 る。 て 長  $\mathcal{O}$ す 範 確 項 る 囲 か  $\mathcal{O}$ に 理 内  $\otimes$ 特 に お 5 由 定 れ を お 1 構 て、 る安 記 造 11 て、 計 載 第 全 算 L 性 兀 基 た 第 兀 項 を 準 诵 有 知 項  $\mathcal{O}$ ( 第 書  $\mathcal{O}$ 期 す ることに + 期 間 を 間 内 同 に 条 を 項 当 0 延 第 係 期 長 該 間 す 申 る 項 るこ 内 請 部 第 者 分 لح に 号 当 に 限 該 第 が 1 る。 申 で 0 きる。 政 請 項  $\mathcal{O}$ 令 者 に 確 で
- 8 7 関 間 第 係 建 前 規 築 項 定 項 主 に 0 事 0 確 規 適 は 認 定 合 済 に す 第 ょ る 兀 証 ŋ か 項 0 んどうか 第 交 0) 付 兀 場 を受け 項 合 を に  $\mathcal{O}$ 決 期 お 定 た 間 11 後 す を て、 延 ること で な 長 申 け し 請 た 場 れ が に ば で 係 合に き る な 同 建 項 あ V 築 0 0 正 物 建 て 当  $\mathcal{O}$ は、 築 な 計 理 物 画 当 0 由 が 建 該 が 建 築 延 あ 築 長 る 基 大 後 と 準 規  $\mathcal{O}$ き 関 模 は 期 係 間)  $\mathcal{O}$ 規 そ 修 定 内 繕  $\mathcal{O}$ に 又 に 旨 適 は 当 及 合 大規 該 び L 申 そ な 模 請  $\mathcal{O}$ 1  $\mathcal{O}$ 者 理 لح 模 に 由 様 交 を を 付 記 替 認 0 L 載  $\emptyset$ 工 な L た 事 け た لح は れ 通 き、 ば 知 す 書 又 な ること 5 を は な 同 建 項 築 が  $\mathcal{O}$ 基 で 期
- 9 玉 第 土 交 項 通 0 大 規 臣 定 等 に  $\mathcal{O}$ ょ 指 る 定 確 を受け 認 0 申 た者 請 書、 に ょ 同 る 項 確  $\mathcal{O}$ 認 確 認 済 証 並 び に 第 六 項 及 び 第 七 項  $\mathcal{O}$ 通 知 書 0 様 式 は、 玉 土 交 通 省 令 で 定 8 る

き

な

交

付

L

な

け

れ

ば

な

5

な

- 第 す 六 定 知 条 に る ょ 事 ŧ 0) る が  $\mathcal{O}$ 確 指 で 認 定 あ 前 ٤, るこ L 条 た 第 当 者 لح 該 に 項  $\mathcal{O}$ 各号 確 確 0 認 V 認 て、 に を受け、 済 掲 証 第 げ は 同 七 る 項 玉 + 建 土  $\mathcal{O}$ 七 築 交 確 条 物 通 認  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 省 済 十 計 証 令 八 画 と で か 4 定 5 前 な  $\Diamond$ 第 条 るところ 七 第 + 項 七 条の 各 に 号 二十 ょ 0 ŋ VI 確 ず 認 ま れ で カコ 済  $\mathcal{O}$ 証 に 規 該  $\mathcal{O}$ 交 定 当 付  $\mathcal{O}$ す を受け 定 る  $\otimes$ ŧ るところに  $\mathcal{O}$ たときは を 除 ょ 当 ŋ が 該 玉 建 確 土 築 認 交 基 は 通 準 関 前 大 臣 係 条 第 又 規 は 定 項 都  $\mathcal{O}$ 道 適 規 府 合
- 2 7 知 は 前 事 玉 項 が 土  $\mathcal{O}$ す 交 規 る 通 定 Ł 大 に  $\mathcal{O}$ 臣 ょ لح が る す 指 る 定 0 は 都 道 以 府 県 上  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 都 区 域 道 に 府 お 県  $\mathcal{O}$ 11 区 て 同 域 項 に  $\mathcal{O}$ お 規 11 定 て に 同 項 ょ る 0 確 規 認 定  $\mathcal{O}$ に 業 ょ 務 る を 確 行 認 お  $\mathcal{O}$ う 業 務 す を る 行 者 おう を لح 指 す 定 す る 者 る 場 を 合 指 に 定 あ す 0 る て 場 は 合 都 に 道 あ 府 0
- 3 項 構 造 項 計  $\mathcal{O}$ 算 規 適 定 合 に ょ 性 判 る 定を要するもの 指 定 を受け た 者 で は あ る 同 と 項 き  $\mathcal{O}$ は 規 定 建 に 築 ょ 主 る カュ 確 5 認 同  $\mathcal{O}$ 申 条 第 請 七 を 項 受 け 0 適 た 場 合 判 合 定 に 通 お 知 11 書 て、 又 は 申 そ 請 0) に 写 係 し る 0 建 提 築 出 物 を 0 受 計 け 画 が 場 次 合 条 に 第

- 第 項 0 規 定 に ょ る 確 認 を す ること が で き
- 4 き 関 係 第 は 規 玉 項 定 土 に  $\mathcal{O}$ 交 適 規 通 合 定 省 L に な ょ 令 で る 11 定 こと 指 8 定 るところ を を 受け 認  $\Diamond$ た た 者 に لح き、 ょ は り、 又 同 そ は項  $\mathcal{O}$ 建  $\mathcal{O}$ 築 規 旨 定 及 基 てバ 淮 に そ ょ 関  $\mathcal{O}$ 係 る 理 規 確 由 定 認 を に 0 記 適 申 載 合 請 L す を た る 受 け 通 カコ ど 知 た 書 う 場 を当 か 合 に を 該 決 お 申 定 V す 請 て、 者に ること 申 交 請 が 付 に L で 係 き な る け な 建 れ 築 11 ば 正 物 な 当  $\mathcal{O}$ な 5 計 理 な 画 由 が が 建 築 あ る 基 進
- 5 玉 土 交 土 通 交 項 省 通 令 省  $\mathcal{O}$ で 令 規 定 で 定 8 定 に る 8 ょ 書 る る ところ 指 類 を 定 を受け 添 え に て、 ょ ŋ た 者 は れ 確 を 認 特 審 同 定 査 項 行 報  $\mathcal{O}$ 確 政 告 庁 書 認 に を 済 提 作 証 出 成 又 は L L な 前 当 け 項 該 れ  $\mathcal{O}$ ば 確 通 な 認 知 5 済 書 な  $\mathcal{O}$ 証 交 11 又 付 は 当 を 該 し た 通 لح 知 き 書 a は、 0 交 付 玉 に 土 交 係 る 通 建 省 築 令 物 で  $\mathcal{O}$ 定 計 8 る 画 期 に 関 間 す 内 る に 玉
- 6 建 に そ 築 基 0) 定 準 旨 行 を 関 政 通 係 庁 知 規 は L 定 な に 前 適 け 項 合 0 れ ば 規 L 定に な な 5 1 な と ょ 認 る 11  $\otimes$ 確 るとき 認  $\mathcal{O}$ 審 場 査 合 は 報 に 告 当 お 書 11 該  $\mathcal{O}$ て、 建 提 築 出 当 を 物 受 該  $\mathcal{O}$ 建 け 確 た 認 築 場 済 主 証 及 合 は  $\mathcal{U}$ に 当 お そ 該 11 て、  $\mathcal{O}$ 確 効 認 力 済 第 を 証 失 項 を う。 交  $\mathcal{O}$ 付 確 認 l た 済 同 証 項  $\mathcal{O}$ 交  $\mathcal{O}$ 規 付 定 を 受 に ょ け る た 指 建 定 築 を 物 受  $\mathcal{O}$ け 計 た 画 者 が
- 7 前 項 0) 場 合 に お 11 て、 特 定 行 政 庁 は、 必 要 に 応 じ 第 九 条 第 項 又は 第 + 項 0 命 令 そ 0) 他  $\mathcal{O}$ 措 置 を 講 ず る ŧ 0 と す る

第

造

計

算

適

合

性

判

定

六 カン に に 合 同 す 定 を 算 又 す じ。 基 は 条 ょ る  $\otimes$ 同 け 当 か る 準 同  $\mathcal{O}$ る る 項 تلح 基 項 第 ŧ 該 か な う ど を 準 造 0 建 V と 第 計 又 に 築 5 要 カ 建 11 号 建 う。 算 は ょ 物 か す  $\mathcal{O}$ 特 築 뭉 イ 築 に 特 0 0 る 確 定 物 1 又 主 0 関 7 判 ŧ) 認 構 は は 定 計 に に 規 確 定  $\mathcal{O}$ 造 又 第 す 増 画 審 0 は 定するプ で 査 11 第 る 改 が を 計 か 第三条 号  $\Diamond$ あ て 六 高 築 特 11 算 基 う。 ると 第 第 度 構 5 定 イ 条  $\mathcal{O}$ 構 六 準 八  $\mathcal{O}$ 第 造 れ き 条 第 口 専 計 る 造 以 に + 政 には、 令で 安 六 グ 門 計 下 第 相 項 算 項 ラ 的 基 全 算 同 兀 当 条  $\mathcal{O}$ 性 構 す 準 基 ľ, 項  $\Delta$ 定 場 知  $\mathcal{O}$ (第 に に る 識 を 準 造 七 8 合 確 有 計 規 基 八 ょ る に 及 第 第 算 準 +び 認 す  $\mathcal{O}$ 定 る 基 お 技 る 申 適 す لح 項 六 Ł 準 審 11 + 請 合 る 条 て、 術 査 L  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ に لح 審 を が 条 書 性 て 政  $\mathcal{O}$ に 従 に 有 比 第 を 判 査 政 令 九 ょ 申 0 す 係 提 定 又 令 7 第 た 較 0 請 る者 は で て 的 る 項 定 構 に 出 (当 定 部 第 前 項 造 係 容  $\otimes$ 確 L 易 て 該 に る か 計 る 分 条 8 号 L 都 建 第 建 に る 範 お  $\mathcal{O}$  $\emptyset$ 算 7 う 道 で、 築 で 1 築 ŧ 井 11 5 5 国 き  $\mathcal{O}$ 府 物 項  $\mathcal{O}$ 内 て n 物 土 る 確 政 県  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ に に 準 る 同  $\mathcal{O}$ 交 ŧ 認 知 計 規 限 お 用 安 項 計 令 通 事 定 す 全 第 で 画  $\mathcal{O}$ 審 る。 1 画 に 性 省令で定 لح 定 が る 査  $\mathcal{O}$ て が 場 L 8 構 特 ょ 以 増 号 第 が を る イに 7 比 る 造 定 下 築 合 有 若 + 政 基 構 確 を す 較 計  $\otimes$ 認 特 含 る 規 令 的 準 算 造 し 条 こと < る 容 に 計  $\mathcal{O}$ 定 定 第 で 適 む 要 定 易 た 増 従 合 算 は す んる方 に 8 件  $\otimes$ に 性 基 改 改 項 0 を で 判 係 る 潍  $\mathcal{O}$ 築 築  $\mathcal{O}$ 第 き 備 構 定 又 審 構 を 規 る 法 ŧ る 造 は 造 す 定 部 若 号 え を 査  $\mathcal{O}$ る 計 受 特 を 計 る 若 ŧ に 分 に L 者 け < 定 場 限  $\mathcal{O}$ 算 11 算 ょ に し う。 ŋ لح で る。 で な 増 基 合 限 は < あ け る。 同 改 準 に 第 プ は る 7 号 れ 築 以 お 口 第 建 に 政 イ ば 構 下 と け + 以 グ 築 令 造 る 条 下 ラ 号 適 な  $\mathcal{O}$ う。 主 で 規 計 同 0  $\Delta$ に 合 5 定 事 定 項 項 特 12 定 算 規 す な す 基 に が る 8 定 定 ょ  $\mathcal{O}$ 8 潍 に 第 か る る な 政  $\mathcal{O}$ る る 六 ŧ 方 に ŧ た い 適 令 適 造 基 う だ 法 適 7 合 で 用 計

七 第 十 兀 七 項 12 条  $\mathcal{O}$ 規 定 + す 兀 る 第 審 查 項 を す  $\mathcal{O}$ 確 る 場 認 検 合 査 又 は 員 に 前 前 条 第 条 第 \_\_ 項 項  $\mathcal{O}$ 規 規 定 定 に に ょ ょ る る 指 定 確 認 を 受  $\mathcal{O}$ た け  $\otimes$ た 者  $\mathcal{O}$ 審 が 査 当 を 該 さ 玉 せ 土 る 交 場 通 合 省 令 は で 定  $\mathcal{O}$ 8 限 る 要 ŋ 件 で な を 備 え あ る

- 2 に 適 0 都 性 道 11 て 判 府 当 定 県 に 該 知 関 都 事 す 道 は る 府 事 県 前 に 務 項 置 に  $\mathcal{O}$ 従 カコ 申 事 れ 請 さ た 書 せ 建 を て 築主 受 理 は な 事 L 5 が た な 第 場 六 合 条 に 第 おの 11 て、 項 0 規 申 定 請 に に ょ 係 る る 確 建 認 築 物 を す  $\mathcal{O}$ る 計 لح 画 き が は 建 築 基 当 準 該 建 関 築 係 主 規 事 定 を に 当 適 該 合 申 す 請 る に ŧ 係  $\mathcal{O}$ で る 構 あ るこ 造 計
- 3 (略)

4 判 定 都 0 道 結 府 果 県 を 知 記 事 載 は L た 第 通 項 知 書  $\mathcal{O}$ を 申 当 請 該 書 申 を 受 請 理 者 L に 交 た 付 場 合 な に け お n 11 て ば な は 5 そ な  $\mathcal{O}$ 受 理 L た 日 カ 5 十 兀 日 以 内 に、 当 該 申 請 に 係 る 構 造 計 算 適 合

5 · 6 (略)

7 書 لح 定 き 合 又 構 建 は は は 造 築 そ 計 主 0 第 算 は 写 0 六 基 限 L 条 準 第 ŋ を 第 又 兀 で 提 は 項 な 項 出 特  $\mathcal{O}$ 又 定 規 11 L は な 増 定 け 前 改 に れ 条 築 ょ 第 構 ば ŋ な 造 同 5 項 計 項 な  $\mathcal{O}$ 算  $\mathcal{O}$ 規 11 基 通 定 準 知 た に に 書 だ ょ 適  $\mathcal{O}$ L る 交 合 確 す 付 当 認 る を 該 を ŧ 受 建 す  $\mathcal{O}$ け 築 る で た 場 物 建 あ ると 築 合  $\mathcal{O}$ 主 計 に 画 事 判 お に 又 定 VI て、 係 は さ n る 同 当 第 項 た 六 旨  $\mathcal{O}$ 該 条 規 が 通 第 定 記 知 七 に 載 書 項 ょ さ が る 又 れ 適 は 指 た 合 定 前 通 圳 条 を 知 定 受 第 書 通 け 兀 を 知 書 項 た 11 者 う。  $\mathcal{O}$ 当 通 に、 知 以 該 書 当 下 建 該 築  $\mathcal{O}$ 同 交 谪 じ 物 付 合 0 を 判 計 受 定 で 画 け 诵 あ が た 知 る 特

- 8  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 適 期 建 合 間 築 判 主 定 同 は 通 条 知 第 前 書 六 項 項  $\mathcal{O}$ 又 場 は  $\mathcal{O}$ 規 合に そ 定 0 写 に お L ょ 11 ŋ て、 を 当 同 該 建 条 第 建 築 築 兀 物 項 主  $\mathcal{O}$ 事  $\mathcal{O}$ 計 期 に 画 提 間 が 出 が 第 L 延 六 な 長 条 け さ 第 れ れ た 項 ば 場 な  $\mathcal{O}$ 合 6 規 に な 定 11 あ に 0 ょ て る は 建 築 当 主 該 事 延  $\mathcal{O}$ 長 確 後 認 に  $\mathcal{O}$ 期 係 る 間 Ł  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 末 で 日 あ ると  $\mathcal{O}$ 三 日 き は 前 ま で 同 条 第 兀 前
- 9 (略)

建築物の建築に関する確認の特例

第 で 対 六 す 条 定  $\Diamond$ る  $\mathcal{O}$ る 第 兀 ŧ 六 0 条 第 を 及 V び 号 11 第 若 六 L 条 < 建 築 は  $\mathcal{O}$ 基 第 準  $\mathcal{O}$ 号 法 規 12 令 定 0)  $\mathcal{O}$ 掲 げ 規 適 定 用 る 建  $\mathcal{O}$ に う 9 築 ち 物 11 政 7  $\mathcal{O}$ 令 は 建 で 定 第 8 六 大 る 規 条 規 模 第 定  $\mathcal{O}$ を 項 修 除 中 繕 <\_ 。 若 政 L 令 < 以 下この で は 定 大 規  $\Diamond$ 条 る 模 及 ŧ 0 び 模  $\mathcal{O}$ 次 を 様 条に 替 11 う。 又 は お 11 以 第 て 下 同 号 同 じ じ に 掲 لح لح げ あ る 建 る 築  $\mathcal{O}$ 物 は 政 築 令

- 第 六 + 八 条  $\mathcal{O}$ +第 項  $\mathcal{O}$ 認 定 を 受 け た型 式 次 号 に お 11 て 認 定 型 式 と 1 う。 に 適 合 す る 建 築 材 料 を 用 11 る 建 築
- 認 定 型 式 に 適 合 す る 建 築 物  $\mathcal{O}$ 部 分 を 有 す る 建 築
- 三 第 六 条 第 項 第 兀 号 に 掲 げ る 建 築 物 で 建 築 士 0) 設 計 に 係 る

ŧ

項項

2 لح  $\mathcal{O}$ 技 前 L 術 項 て 水  $\mathcal{O}$ ŧ 準 規 建 定 築 建 に 物 築 ょ 物 ŋ  $\mathcal{O}$ 安 読  $\mathcal{O}$ 敷 全 4 替 上 地 え 防 構 て 火 造 適 上 及 用 z 及 び 用 U れ 衛 途 る 生 そ 第  $\mathcal{O}$ 六 上 支 他 条 障  $\mathcal{O}$ 第 事 が な 情 項 を に 11 勘 規 لح 認 案 定 L す  $\otimes$ て、 る 5 政 れ る 建 令 規 築  $\mathcal{O}$ 定 士 Ď を 及 5 定 び 建 建  $\otimes$ 築 基 る 築 ŧ 物 準 法 0)  $\mathcal{O}$ 区 令 لح 分に す 0 る。 規 応 定 じ、 を 定 建 8 築 る 主 t 事  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ に 審 お 査 11 て を 要 は L 建 な 1 築 士

(建築物に関する完了検査)

第 七 な け 条 れ ば 建 な 築 5 主 は、 な 第 六 条 第 項 0) 規 定 に ょ る 工 事 を 完 了 L た لح き は 玉 土 交 通 省 令 で 定 め るところ に ょ り、 建 築 主 事  $\mathcal{O}$ 検 査 を 申 請 L

- 2 5 な 前 項 0) ただ 規 定 L に ょ 申 る 申 請 を 請 は、 L な か 第 つたことに 六 条 第 項 0  $\mathcal{O}$ 1 規 て 定 玉 に 土 ょ 交通 る 工 省 事 令 が で 完 定 了 8 L る た Þ 日 む か を ら 得 兀 な 日 1 以 理 内 由 に が 建 あ 築 るとき 主 事 に は 到 達 す るよ 0 限 ŋ う に、 で な L な け れ ば な
- 3 前 項 た だ L 書 0) 場 合 に お け る検 査  $\mathcal{O}$ 申 請 は、 そ  $\mathcal{O}$ 理 由 が Þ W だ 日 カコ 5 兀 日 以 内 に 建 築 主 事 に 到 達 す る ょ う に L な け ħ ば な 5 な 職 1
- 4 員 が 建 建 以 築 築 下こ 基 主 準 事 関  $\mathcal{O}$ が 係 章 第 規 に 定 お 項 に 1 0 規 適 て 定 合 して 建 に 築主 ょ る 11 るか 申 事 · 等 \_ 請 ?どう を 受 と **(**) 理 か う。 を L 検 た 場 査 は、 し 合 な に け そ お  $\mathcal{O}$ れ 11 ば 申 て は、 請 な を 5 受 な 建 理 築 L 主 た 事 又 日 は カコ そ 5 七  $\mathcal{O}$ 委 日 以 任 内 を に、 受 ゖ た当 当 該 該 工 事 市 に 町 村 係 る 若 建 L 築 < 物 は 及 都 び 道 そ 府  $\mathcal{O}$ 県 敷  $\mathcal{O}$
- 5 8 たと 建 築 き 主 事 は 等 は、 玉 土 交 前 通 項 省令で定  $\mathcal{O}$ 規 定に  $\Diamond$ ょ る るところ 検査 を に L ょ た り、 場 合に 当 該 お 建 11 て、 築 物 当  $\mathcal{O}$ 該 建 建 築 築 主 に 物 及 対 び L そ て 検  $\mathcal{O}$ 査 敷 済 地 証 が 建 を 交 築 基 付 準 L な 関 け 係 規 れ 定 ば に な 6 適 な 合 L て 11 ること を 認

国土交通大臣等の指定を受けた者による完了検査)

第 定 が 七 条 適 第 0) 六 合 L 条 て 第 第 11 七 る 項 + か 0) 七 どう 規 条 定に 0 +か 凣 ょ  $\mathcal{O}$ か 検 る 查 工 5 を引き 第 事 七 0) 十七 完了 受け  $\mathcal{O}$ 条  $\mathcal{O}$ た 日 場 か 合 +5 兀 に お 日 ま 11 が で て、 経  $\mathcal{O}$ 過 規 当 定 す る 該  $\mathcal{O}$ 日 定 検 ま 査  $\otimes$ で  $\mathcal{O}$ る ところ 引 に、 受 け 当 に に 該 係 工 ょ 事 ŋ る 工 玉 に 事 係 土 が る 交 完了 建 通 築 大 L 物 臣 たと 及 又 び は きに そ 都  $\mathcal{O}$ 道 0 敷 府 1 地 県 て が 知 は 建 事 が 築 基 前 指 準 条 定 第 関 L 係 た 項 規 者

2 (略)

カゝ

5

第

項

ま

で

0)

規

定

は

適

用

L

な

4

な

3 0 旨 第 を 項 証 す  $\mathcal{O}$ る 規 書 定 面 に ょ を 建 る 築主 指 定 を受け に 交付 するとと た 者 は、 ŧ 同 に、 項  $\mathcal{O}$ そ 規 0) 定 旨 に を ょ 建 る 築 検 主 査 事  $\mathcal{O}$ に 引 通 受 知 け L を な 行 け 0 たとき n ば な は、 5 な 11 玉 土 交 通 省 令 で 定 8 るとこ ろ ょ そ

 $\mathcal{O}$ 規 定 に 項 ょ  $\mathcal{O}$ る 規 工 定 事 に が ょ 完 る 指 了 定 た日 を受け 又 た者 は 当 は 該 検 査 同  $\mathcal{O}$ 項 引  $\mathcal{O}$ 受 規 け 定 に を 行 ょ る 0 た 検 査 日 0)  $\mathcal{O}$ 引 1 受 ず れ け を か 遅 行 9 た 日 とき か 5 は 七 日 当 以 内 該 に、 検 査 第  $\mathcal{O}$ 引 受 項 け  $\mathcal{O}$ 検 を 査 行 を 0 L た 第 な 六 け 条 れ 第 ば な 項

地

- 5 き は 第 玉 項 土  $\mathcal{O}$ 交 規 は 通 定 省 に 令 ょ で る 指 定 め 定を受け るところ た者 に により、 は、 同 当 項 該 0) 建 検 築 查 物 を  $\mathcal{O}$ L 建 た 建 築 主 築 に 物 及 対 し び て そ 検 0 査 敷 済 地 証 が を 建 交付 築 基 準 L な 関 け 係 規 れ ば 定 に な 5 適 合 な 11 て  $\mathcal{O}$ る 場 合 に を 認 お 8 て、
- 6 に ょ 第 ŋ 項 0) 完 了 規 検 定 査 に 報 ょ 告 る 1書を作 指定 を受け 成 L た 者 同 項 は、 0 検 同 査 項 を  $\mathcal{O}$ į 検 た 査 た建築物 を L たときは、 及びその 敷 玉 地 土 に 交 関 通 する国・ 省令で・ 定 土 一交通  $\otimes$ る 省令で定 期 間 内 に、  $\Diamond$ る 玉 書 土 類を添り 交 通 省 え 令 で 定 これを特 8 るところ

#### 7 略

行

政

庁

に

提

出

L

な

け

れ

ばならな

当

該

検

査

済

証

前

条

第

五

項

 $\mathcal{O}$ 

検

査

済

証

لح

4

な

建 築物 に 関 す る 中 間 検

第 七 合 条 0) お 三 て、 建 当 築 該 主 特 は 定 工 第六条第 程 に 係 る工 項 事  $\mathcal{O}$ を 規 終 定 に え た ょ る 工 と き は、 事 が そ 次 0)  $\mathcal{O}$ 都 各 度、 号 o玉 V ず 土 交 れ 通 か 省 に <u>|</u>令で 該 当 定 す る めるところ 工 程 以 に 下 ょ り、 特 定 建 工 築 程 主 事 と 0) 1 う。 検 査 を 申 を 含 請 L む な

数 が 三以 上 で あ る 共 同 住 宅 0) 床 及 び は ŋ に 鉄 筋 を 配 置 す る 工 事  $\mathcal{O}$ 工 程  $\mathcal{O}$ う 5 政令で定 85 る 工 け

れ

ば

な

5

- 期 間 前 又 号 に は 掲 建 築 げ 物 る  $\mathcal{O}$ ŧ 構  $\mathcal{O}$ 造、 0 ほ 用 か、 途 若 特 L 定 くは 行 政 庁 規 模 が を 限 そ  $\mathcal{O}$ 0 て 地 指 方 定  $\mathcal{O}$ す 建 築 る 工 物 程 0 建 築 0 動 向 又 は 工事に 関 する状 況 そ  $\mathcal{O}$ 他 0 事 情 を 勘 案 て、 区 域
- 2 前 申 項 0 請 規 を L 定 な に か ょ 0 る たことに 申 請 は、 つい 特 定 て国 工 程 土 に 交 係 通 る 工 省 事 令 で を 定 終  $\otimes$ え る た B 日 む か を 5 得 兀 な 日 以 11 理 内 由 に が 建 築主 あ るときは 事 に 到 達 この するように、 限 り で な L な け れ ば な 5 な た だ
- 3 前 項 た だ L 書 0) 場 合に におけ る 検 査  $\mathcal{O}$ 申 請 は、 そ  $\mathcal{O}$ 理 由 が Þ  $\lambda$ だ 日 か 5 兀 日 以 内 に 建 築 主 事 に 到 達 する よう に、 L な け れ ば な 5 な
- 4 に 係 建 っつい る工 築主 事 て、 事 中 が 検  $\mathcal{O}$ 第 査 建 前 築 項 物 0) に 施 等 規 定による申 エ さ 建 れ 築、 た エ 大規 事 請 でに係 を受 模  $\mathcal{O}$ 修 る 理 建 繕 L 築 又 た は 場 物 合 0) 大 規 部 に 分 模 お 及  $\mathcal{O}$ 1 び 模 て そ 様 は 0 替 敷  $\mathcal{O}$ 建 地 工 築 が 事 主 建 中 事 築  $\mathcal{O}$ 等 基 建 は 準 築 関 物 そ 係 及 0) 規 び 申 その 定 請 を受 に 適 敷 理 合する 地 を L た 1 う。 か 日 どう カゝ 5 以 兀 か 下 この を 日 検 以 査 章 内 に、 に L な お け 当 い て n 該 同 ば 申 じ。 請 な
- 5 玉 土 建 交 築 通 主 省 事 令 等 で は 定  $\otimes$ 前 るところに 項 0 規 定に ょ よる検 9, 査を 当 該 建 L た場 築 主 合に に 対 L お て当 11 て、 該 工 特 定 事 中 工 程  $\mathcal{O}$ に 建 係 築 物 る 中 等 間 が 検 建 査 築 基 合 準 格 関 証 を 係 交付 規 定 に L な 適 け 合すること n ば な 6 な を 認 8 た とき は
- 6

な

7 建 主 事 等 又 は 前 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定による指 定 を受けた者 は 第 兀 項 0 規 定 に よる検 査 に お 1 て 建 築 基 準 関 係 規 定 に 適 合することを

る  $\mathcal{O}$ 認 規 検 8 査 定 5 に れ す ょ た ること る 工 検 事 査 中 を 0 に 要 お 建 L 11 築 物 な て 等に 建 築 つい 基 準 て、 関 係 規 第 定 七 に 条 第 適 合す 兀 項、 ることを 前 条 第 認 項、  $\otimes$ 5 れ 第 た 兀 建 項 築 又 物 は 次  $\mathcal{O}$ 部 条 第 分 及 項 び 0) そ 0) 規 定 敷 地 に に ょ る 0 検 11 査をする て は とき れ 5  $\mathcal{O}$ 規 第 定 に 兀 ょ 項

### 8 (略)

国 土 交 通 大 臣 等 0) 指 定を受け た者 に よる 中 間 検 査

七 係 定 項 規 工 条 定に ま 程 0) に で 兀  $\mathcal{O}$ 適 係 規 合 る 第 定 す 工 六 は る 事 条 カゝ を 第 どう 終 適 用 え 項 か た後 L 0 規 な  $\mathcal{O}$ V , 検  $\mathcal{O}$ 定 查 に 工 を 事 ょ る工 当 中 該  $\mathcal{O}$ 事 工 建 が 事 築 物 特 を 等 終 定 に え 工 た 程 0 日 V を て、 含 か む 5 兀 検 場 合に 日 査 前 が に 経 お 過 施 1 て、 工さ す る 日 第 れ た工事 までに 七 条 の 二 に 引 き受 係 第 る け 建 項 たときに 築  $\mathcal{O}$ 物 規  $\mathcal{O}$ 定 部 に よる 0 分 及び **(** ) 指 7 そ は 定 0 を 前 敷 地 け 条 第 が た 建 項 築 が 基 当 カン 5 準 該 関 第

- 2 に ょ り、 七 条 その  $\mathcal{O}$ 旨 第 を 証 項 す  $\mathcal{O}$ ん書面 規 定 に を ょ 建 る 築主に交付 指 定を受け す た るとと 者 は ŧ 前 に、 項 0) そ 規  $\mathcal{O}$ 定 旨 に よる を 建 築 検 主 査 事  $\mathcal{O}$ に 引 受け 通 知 L を な 行 け 0 た n にとき ば な は、 5 な 玉 土 交 通 省 令 で 定 8 るところ
- 3 準 関 係 七 規 条 定に 0) 適 第 合 す 項 ることを認 0) 規 定に による指  $\emptyset$ たとき 定を受け は 玉 た 者 土 は、 一交通 省 第 令 で 項 定  $\mathcal{O}$ め 検 るところに 査 を L た場 ょ 合 り、 に お 当 11 て、 該 建 特 築 主 定 に 工 程 対 L に て当 係 る 工 該 特 事 中 定 工  $\mathcal{O}$ 程 建 に 築 物 係 等 る 中 が 間 建 検 築 基 査

# 4·5 (略)

合

格

証

を交付

L

な

け

れ

ば

なら

な

6

定めるところ れを特定 第 七 条 の 二 行 政 に 第 庁 ょ り、 に 項 提 0 規 出 中 定 L 間 に な 検 よる指 け 査 れ 報 ば 告 ·書を なら 定を受け 作 な 成 l た 者 は、 同 項  $\mathcal{O}$ 第 検 項 査 を  $\mathcal{O}$ L 検 査 た を 工 事 L たとき 中  $\mathcal{O}$ 建 は 築 物 玉 等 土 に 交通 関 す る国 省令で 土 定 交 通  $\otimes$ る 省 令で 期 間 定 内 に、  $\Diamond$ る 書 玉 類 土 を 交 诵 添 えて、 省 令 で

### 7 (略)

(建築物に関する検査の特例)

第

理 七 る 建 者 げ 条 る 築 に  $\mathcal{O}$ 条 基 ょ 建 第 五. 準 兀 0 築 て 関 項 物 第 係 及 設 0 六 規 び 計 建 条 第 义 築  $\mathcal{O}$ 定 兀 五. 書 0 第 項  $\mathcal{O}$ 工 لح 事 中 第七 お 項 同 第一 建 ŋ 条の . 号 に に 築 基 実 号 掲げる 入施さ. 若 準 第 関 Š れ 係 たこと 建 項 規 は 定 築 第 第 物 五. لح がの 号 項 あ 確 建 に 及 認 る 築 掲 び  $\mathcal{O}$ さ 0) げ 第 はれ 工 る 七 事 た 建 ŧ 前 に 項 築  $\mathcal{O}$ あ 条 物 第 に 第 0 0 É 七 限 建 条 項 る は、 築  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 国 大 定 に 土 第 規 対 交通 兀 に 模 する ょ 項 0) ŋ 省 修 読 第 令 第 五 七 で 4 若 定め 項 替 条 こえて 及び か < 5 るところ は 第 前 適 大 七 用 条 規 項 さ ま 模 で に 並 れ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ び る ょ 模 第 規 に ŋ 様 前 六 定 建 替 条 条  $\mathcal{O}$ 築 又 第 第 適 士 は で 用 同 に 項 項 あ 項 る 0 第 規 第 工 て 定 は

基 び 関 第 係 七 規 項 定 中 建 す 築 ź。 基 潍 関 係 規 定 لح あ る  $\mathcal{O}$ は 第 六 条  $\mathcal{O}$ 四 第 項 0 規 定 に ょ ŋ 読 4 替 え 7 適 用 さ れ る 第 六 条 第 項 に 規 定 す る 建 築

検 査 済 証  $\mathcal{O}$ 交 付 を 受 け るま で  $\mathcal{O}$ 建 築 物  $\mathcal{O}$ 使 用 制 限

لح

第 ただ 関 消 七 当 V 該 す 火 建 条 し、 る 栓 新 築 0) 築に 物 六 工 う。 事 次 ス を プリ  $\mathcal{O}$ 係 除 第 各 六条 る 政 く。 号 建 を 令 含  $\mathcal{O}$ 築 で ク 第 物 む 定 ラ 0) V もの ず 又 め ] 増 項 る軽 は そ 築、 れ 第 当 をする場 0) か 号 該 易 に 他 改 築、 な 該 避  $\mathcal{O}$ か 当す 6 難 工 消 ※合に 施 事 移 火 第 一設等に を る場 設 転 一号 お 除 備 合 1 く。 ま 大 に 関 て 排 規 で す は は 以 煙 模  $\mathcal{O}$ る 下 設  $\mathcal{O}$ 建 工 検 当 備 修 築 事 査 該  $\mathcal{O}$ 繕 物 項、 済 に 建 非 若 を 証 係 築 常 新 L くは る 第十 0) 物 用 築 交 建  $\mathcal{O}$ 0) す 付 築 建 八 る 照 大 とを受け 場 物 築主 条第二十 規 明 若 装 模 合 し は 置  $\mathcal{O}$ 又 る <模 は 前 は 第 兀 様 非 七 項 建 常 替 に n 条第 お 築 及 用  $\mathcal{O}$ 5 物 び 工 1  $\mathcal{O}$ 0) 昇 て  $\mathcal{O}$ 五. 第 事 建 で、 Ŕ 部 項 九 降 築 0 分 + 機 物 を 若 仮 検 条 廊 査 使 0 下、 共 に、 三に 用 < 同 済 Ļ 階 当 証 は 住 該 お 防 段 0 宅 V 建 又 交 火 以 は 付 区 築 て 出 外 使 物 を 画 入 0 受 又 用 避 で П 住 け は さ 難 政 そ 宅 建 せ た 施 令  $\mathcal{O}$ 及 築 て 後 設 で 他 び で 等 居 は 定 物  $\mathcal{O}$ な な に 避  $\mathcal{O}$ 8 室 け 関 5 る 部 を な n す ŧ 施 有 分 を ば る  $\mathcal{O}$ 設 L 工 に 使 な

特 定 行 政 庁 が、 安 全上、 防 火上 及 U 避 難 上 支 障 が な 11 と 認  $\otimes$ たと き。

用

又

は

使

用

さ

せ

ることが

で

'きる。

- が 定 建  $\Diamond$ 築 主 る 基 事 準 又 に は 適 第 合して 七 条の二 1 第 ることを認め 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に た と ょ る 指 定を受け た 者 が、 安全 上 防 火上 及 び 避 難 上 支 障 が な 1 ŧ 0 لح L て 玉 土 交 通 大 臣
- け 七 日 第 を 七 を 行 経 0 条 た 過 第 L 場 た 合 項 لح に 0) き あ 規 定 0 によ て は る申 当 請 該 が 検 受理 査  $\mathcal{O}$ さ 引 受 れ け た 日 に 係 第 る 工 七 事 条 が  $\mathcal{O}$ 完了 第 L 項 た 日  $\mathcal{O}$ 又 規 は 定 当 に よる指 該 検 査 定  $\mathcal{O}$ 引 を 受け 受 け た者 を 行 が 0 た 同 項 日  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 11 規 ず 定 れ に ょ か 遅 る 検 11 日 査 引 カコ 受 6
- 2 略

3 玉 る 土 類 交 七 を 通 条 省  $\mathcal{O}$ 添 え 令 て、 で 第 定  $\otimes$ 項 るところに n  $\mathcal{O}$ 規 を特定行 %定によ る 政 ょ **9** 指 庁 定を受け に 提 仮 使 出 用 L た な 認 者 け 定 れ 報 は 告 ば 書 な 第 5 を 作 項 な 第二 成 号 同  $\mathcal{O}$ 規 号  $\mathcal{O}$ 定 規 に 定 ょ る認定 に よる認 を 定 L を たときは、 L た建 築 物 玉 に 土 関 交 通 す á 省令 玉 土 で 交 定 通  $\Diamond$ 省 る 令 期 間 で 定 内

#### 4 略

違 反 建 築 物 に 対 す る 措 置

第 て 九 は 当 該 定 建 行 築 政 物 庁 は 0 建 築主 建 築基 当 準 該 法 建 令 築  $\mathcal{O}$ 物 規 に 定 関 又 す は る 工  $\mathcal{O}$ 事 法  $\mathcal{O}$ 律 請  $\mathcal{O}$ 規 負 定 人 請 基 負 づ < 工 事 許  $\mathcal{O}$ 可 下 に 付 請 人を含 た 条 む 件 違 若 反 L < た 建 は 現 築 場 物 管 又 理 は 者 建 又 築 は 物 当  $\mathcal{O}$ 該 建 地 築 に 物 **^** 若 1

該 建 築 は 物 建  $\mathcal{O}$ 築 除 物 却 0 敷 移 地 転 0 所 改 有 者 築 増 管 理 築 者 若 が 修 繕 L < 模 は 様 占 有 替 者 使 に 用 対 禁 L て、 止 当 使 用 該 制 工 限 事 そ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 施 他 工  $\sum_{}$ 0 れ 停 5 止 0) を 規 命 Ü 定 又 は 又 条 は 件 相 に 当 対 す 0 る 猶 違 予 反 期 を 限 是 を 正 付 す け て、 る た 当 8

#### 2 9 略

に

必

要

な

措

置

を

لح

ることを命

ず

ること

で

き

る

10  $\mathcal{O}$ 替 に 工 事 対 手  $\mathcal{O}$ 続 L  $\mathcal{O}$ 工 定 に て、 施 事 行 ょ 中 工 政 当  $\mathcal{O}$ 5 0 庁 該 停 な 建 は 工 止 1 築 で、 事 を 物 建 に に 命 築 ず 当 基 係 0 **、ることが** 該 V 準 る 作 て 建 法 は、 業 築 令  $\mathcal{O}$ 物 0) 停 で  $\mathcal{O}$ 緊 規 きる。 急 定 止 建 築 を  $\mathcal{O}$ 又 主 は 命 必 ず 又 要  $\sum_{}$ は が る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 場 当 あ 法 لح 合 該 9 律 て が に 工  $\mathcal{O}$ できる。 お 事 第 規 11  $\mathcal{O}$ 定 て、 請 に 項 基 負 か づ ら 人 < 第 n **(**請 六 許 5 項  $\mathcal{O}$ 負 可 者 工 ま に が 事 で 付 当 に  $\mathcal{O}$ L 定 た 該 下 条件 請  $\Diamond$ 工 事 る 人 を 12 0) 手 含 現 続 違 場 に む 反 に ょ す ること ること 11 な 若 L 11 が と < が き 明 で は は 現 き 6 場 な カコ 当 管 11 な 該 理 場 工 者 合 事 に に に 対 限 修 従 ŋ 繕 L て、 事 又 す は る 当 れ 模 5 者 該 様

#### 11 12 略

13 11 て は、 定 行 標 政 識 庁  $\mathcal{O}$ は 設 置 第 そ 項  $\mathcal{O}$ 他 又 は 国 土 第 + 交 通 項 省  $\mathcal{O}$ -令 規 定 定 に  $\otimes$ ょ る る 方 命 法 令 に を ょ L り、 た場 そ 合 0 建 旨 を 築 監 公 示 視 し 員 な が け 第 れ + ば 項 な  $\mathcal{O}$ 5 規 定に な ょ る 命 令 を た 場 合 を 含 む に お

#### 14 15 略

建 築 監 視 員

第 び 九 第 条 + 0) 項 に 規 特 定 定 す 行 る 政 特 庁 定 は 行 政 政 令 で  $\mathcal{O}$ 権 定 限 め を るところ 行 な わ せ に ること ょ り、 が 当 で 該 きる 市 町 村 又 は 都 道 府 県 0) 職 員 0 Š 5 か 6 建 築 監 視 員 を 命 じ 前 条 第 七 項 及

著 L < 保 安 上 危 険 な 建 築 物 等 庁  $\mathcal{O}$ 所 有 者 等 に 対 す る 勧 告 及 び 命 **令**)

当 他 修 項 該 条  $\mathcal{O}$ 建 劣  $\mathcal{O}$ 規 化 特 模 築 定 様 物 が 定 進 替 又 に 行 み、 は ょ 政 使 そ ŋ 庁 用  $\mathcal{O}$ そ 次 は 中 敷  $\mathcal{O}$ 章 ま 第六 止 地  $\mathcal{O}$ ま 規 0 条 放 定 使 所 第一 又は 用 有 置 者、 す 制 これ 項 限 れ そ 管 ば 第 理 著 に 0 号に 基 他 者 L 保 又 < づ 安 は < 保 掲 上 占 安 命 げ 又 有 上 令 る 若 建 は 者 危 Ĺ 衛 に 険 築 生 対 لح < 物 上 な は そ L て、 ŋ , 必 条  $\mathcal{O}$ 要 他 例 な 相 又  $\mathcal{O}$ 政 措 は 当 規 令 著 置  $\mathcal{O}$ 定 で を 猶 し  $\mathcal{O}$ 定 とることを 予 < 適  $\Diamond$ 期 衛 用 る 限 生 を 建 受け を 上 築 付 有 物 勧 け 害 な  $\mathcal{O}$ て、 告 1 لح 敷 す な ŧ 地 る 当  $\mathcal{O}$ る こことが お 該 に 構 そ 建 限 造 る。 築 又 れ で 物 は が き  $\mathcal{O}$ あ 建 ると 除 に 築 却、 設 0 認 11 備 移 8 て、 る 11 転 場 損 ず 傷、 改 合 n に 築 ₽ お 腐 第 食そ 増 て 条 は  $\mathcal{O}$ 

認 前 特 8 項 る 定 لح 0 行 き 規 政 定 は 庁 に は ょ そ る  $\mathcal{O}$ 前 場 者 項 合  $\mathcal{O}$ に 対 勧 0 Ĺ ほ 告 か、 を 受け 相 特 当 定 0 た 者 猶 行 が 政 予 庁 期 正 限 当 は を な 建 付 理 築 け 由 物 て、 が  $\mathcal{O}$ な くて 敷 そ 地  $\mathcal{O}$ そ 勧 0) 構 告 勧 造 に 又 係 告 は る に 建 措 係 置 築 る 設 をと 措 備 置 ること を  $\widehat{V}$ とら ずれ を な ŧ 命 か ず 第三条 0 ること た場 第 合 が に 項 で お ·きる。 0 11 規 て、 定 に 特 ょ に ŋ 必 次 要 章 が  $\mathcal{O}$ あ 規 る لح 定

3

2

ると る。  $\mathcal{O}$ は 除 却 認  $\otimes$ れ 移 る に 転 場 基 合 づ 改 に < 築 お 命 11 令 若 増 て は 築 < 修 当 は 繕 該 条 建 例 模 築  $\mathcal{O}$ 物 様 規 替、 又 定 は  $\mathcal{O}$ 使 そ 適 用 の用 禁 敷 を 受 地 止  $\mathcal{O}$ H 使 所 な 用 有 11 者 制 ŧ 限  $\mathcal{O}$ 管 そ に 理 限 0 る。 者 他 保 又 安 は 上 占 が 有 又 著 は 者 < 衛 に 生 対 保 上 し 安 て、 上 必 要 危 な 相 険 措 当 で 置  $\mathcal{O}$ あ ý, を 猶 لح 予 ること 期 又 限 は を 著 を į 付 命 け < て、 ず 衛 ることが 生 当 上 該 有 建 害 で 築 で 物 き あ

#### 4 略

章  $\mathcal{O}$ 規 定 に 適 合 L な い 建 築 物 対 す る 置

第 く支障 場合 き + 又 る。 な は を 占 含 が れ 有 あ ば  $\mathcal{O}$ 者 む 特 ると な 場 に 定 合 対 行 な に L 認 0) 政 お て  $\Diamond$ 規 庁 V る 定 は 場 に 相 7 は 合 建 当 ょ ŋ  $\mathcal{O}$ に 築 当 猶 お 第 物 該 予 1  $\mathcal{O}$ 章 建 期 7 敷 限 は  $\mathcal{O}$ 地、 築 物 を 規 当  $\mathcal{O}$ 付 定 構 所 け 該 又 造 は 在 て、 建 築 建 地 当 物れ 築  $\mathcal{O}$ 該 市  $\mathcal{O}$ に 設 町 建 所 基 備 村 築 在 づ 又 物 地 は は 0  $\mathcal{O}$ 命 用 当 除 市 令 途 却、 若 該 町 村 命 L 11 < 令 移  $\mathcal{O}$ ず に 転 議は れ 基 会 条 Ł づ 修  $\mathcal{O}$ 例 第 同 繕  $\mathcal{O}$ 措 意 規 条 置 を 模 定 得 に 様 0) た場 替、 適 項 ょ 0 用 て通常 合に を受 使 第 用 八 け 限 禁 + り、 生 止 な 六 ず 又 条 1 べ 当 は ŧ  $\mathcal{O}$ き 使 該  $\mathcal{O}$ 九 損 用 建 に 第 害 制 築 限 る。 を 限 物 項 時 を  $\mathcal{O}$ に 価 命 所 お ず に 有 が V ることが ょ 者、 公 て 益 潍 て 管 上 用 補 理 著 す 者 で L

#### 2 略

け

5

報 告、 検 査 等

第

十二条

略

を

求

8

る

こと

が

で

き

る。

5 は は 施 建 特 工 築 定 設  $\mathcal{O}$ 行 状 備 政 庁、 況 そ 又  $\mathcal{O}$ は 他 建 建 築  $\mathcal{O}$ 建 主 築 物 築 事 物 0 又 敷  $\mathcal{O}$ は 地 部 建 分 築 監 構 以 造 視 若 下 員 は、 L < 建 は 築 次 建 材 に 築 料揭 等」 設 げ 備 る と 者 に 関 11 に う。 す 対 る L 調 て、  $\mathcal{O}$ 査 受 建 以 取 築 若 物 下 L  $\mathcal{O}$ 建 < 敷 築物 は 地 引 渡 構 に 関 造 L す  $\mathcal{O}$ る 状 建 況、 調 築 設 查 建 備 と 築 若 物 11 L う。 に 関 は す 用  $\mathcal{O}$ る 途 状 工 事 況 建  $\mathcal{O}$ 築 関 計 材 画 す 料 る 若 若 L 報 L < 告

施 建 工 者 築 又 物 は 若 建 L 築 <物 は に 建 関 築 す 物 る  $\mathcal{O}$ 調 敷 查 地 を  $\mathcal{O}$ L 所 た 有 者、 者 管 理 者 若 < は 占 有 者、 建 築 主 設 計 者 建 築 材 料 等 を 製 造 L た 者、 工 事 監 理 者 工 事

第 七 + 七 条  $\mathcal{O}$ +第 項 0) 指 定 確 認 検 査 機 関

第 七 + 七 条  $\mathcal{O}$ 三 + 五.  $\mathcal{O}$ 五 第 項  $\mathcal{O}$ 指 定 構 造 計 算 適 合 性 判 定 関

6

定 行 政 庁 又 は 建 築 主 事 に あ 0 て は 第六 条 第 兀 項 第 六 条  $\mathcal{O}$ 第六 項 第 七 第 兀 項 第 七 条 0 第 兀 項 第 九 条 第 項 第 + 項

視 他 者 若 員 < 物 に 建 件 築 あ は 主 第十三 つて 0) 提 出 設 は 計 第 項 求 者 九 条 第 ることが 第 + 建 築材 十 条 項 第 料  $\mathcal{O}$ できる。 等 規 項 を 定 カゝ 製  $\mathcal{O}$ 5 造 施 第 行に 三項 L た 者 必 ま で、 要 工 な 事 限 前 度に 監 条 理 第 お 者 項 11 て、 工 又 は 事 施 当 第 該 工 九 者 建 + 又 築 条 は 物  $\mathcal{O}$ 若 建 築 第 L 物 < 項 に は 関 建 0 す 築 規 物 る 定 調  $\mathcal{O}$ 0 査 敷 施 を 地 行 L  $\mathcal{O}$ に た 所 必 者 有 要 に な 者 対 限 管 Ĺ 度 理 に 帳 者 お 簿、 若 V て、 L < 書 類 は 建 そ 占 築 有 監 0

0

を

め

7 築 居 た 査  $\mathcal{O}$ に 第 六 製 物 お 条 に L 建 立 造 に い 項 0) 築 又 主 5 関 工 若 に て、 は 第六 す 事 関 入 事 L Š る 監 係 る 当 第 又 場 理 は が 調 該 九 項 は 合 者 試 あ 查 建 + 特 に 験 る を 築 条 第 定 か 二 お Ļ 物 Ū 物 七 工 行 件 た 条 事 政 1 て 又は 者 第 第 施 庁 建 は 設 築 0 工  $\mathcal{O}$ 兀 点 項、 営 者 物 項 建 計 命 築物 若 図 業 0) あ 0) 令 しくは [書そ 若し 所 5 敷 規 第 地、 若 定 七 か Š 0 じ 事 条 L 0 Š め、 施 建 務 建 他  $\mathcal{O}$ は 三 築 は 建 所 築 行 建 そ 物 建 築 そ 材 第 築 に  $\mathcal{O}$ に 築 物  $\mathcal{O}$ 料 必 兀 主 居 関 他 等 要 項 事 物 に な 住 す  $\mathcal{O}$ 関  $\mathcal{O}$ を 0) る調 限 製 第 者 敷 す 事 委 業場 度に  $\mathcal{O}$ 地 る 造 九 任 承 查 工 L 条  $\mathcal{O}$ を に た 第 受 諾 を 所 事 お 者 け を L 有 に <u>\( \) \( \) \( \) \( \)</u> 11 した者に 得 者、 て、 項、 た当 関 5 0 なけ 入り、 係 工 場、 管 建 第 が 該 れ 対 理 あ 築 + 市 ば L 者 る 建 営 監 項 町 な 必 若 物 築 業 視 若 村 所 5 要 L 件 物 員 L 若 へな事 くは Š な に しく 若 事 あ 建 は 1 し つては 項 < 占 築 務 第 は 所、 に 有 は 物 + 都 者、 Ė 建 0  $\mathcal{O}$ 道 項 11 築 敷 倉 第 府 庫 九 て 建 物 地 県 質問 そ 築 条 第 に 0 関 0) 第 建 + 職 主 す 築 他 +条 す 員 設 設 ることが る  $\mathcal{O}$ 項 第 に 計 調 事 備  $\mathcal{O}$ あ 者、 業 規 項 査 0 場 定 に 建 か 7 で 建 関 築  $\mathcal{O}$ 6 は きる。 築 係 材 建 施 第 第 材 が 料 築 六 行 I. に 料 項 条 あ 等 る 建 事 必 ま ただし 第 5で、 を製 場 築 要 兀 物 件 材 又 な 項 造 を 料 は 限 前 住 L 検 築 建 度 条 第

8 建 築 特 設 定 備 行 又 政 は 庁 用 は 途 に 確 関 認 その する台 他 帳  $\mathcal{O}$ を 建 整 築 基 備 準 法 令 か つ、  $\mathcal{O}$ 規 当 定 に 該 台 ょ 帳 る 処 (当 分 該 並 び 処 分 に 第 及 び 当 項 該 及 び 報 第三 告 に 項 関 す  $\mathcal{O}$ る 規 書 定 に 類 で ょ 玉 る 報 土 告 交 通 に 省 係 令 る で 建 定 築 め 物 る  $\mathcal{O}$ Ł 敷 0 地 を 含 構 む 造

9 略

保

存

L

な

け

れ

ば

な

5

な

身 分 証 明 書  $\mathcal{O}$ 携 帯

第

十三条 項 に 条 お 第 11 て 七 建 準 項 築 用  $\mathcal{O}$ 主 事、 す 規 る 定 場 に 建 合を含 ょ 築 監 0 7 視 建 員 む 若 築 物、 L 0) < 規 建 は 定 築 特 に 物 定 ょ  $\mathcal{O}$ 行 る 敷 政 権 地 庁 限 若  $\mathcal{O}$ を 命 行 < 令 使 は 若 す 建 L る < 築 場 は 工 合 事 建 場 に 築 お に 主 1 立 事 て 5  $\mathcal{O}$ は 入 委 任 る場 そ を受け 0 合 身 又 は た 分 当 を 建 該 示 築 す 監 市 証 視 町 明 員 村 書 が 若 第 を 携 九 帯 条 は  $\mathcal{O}$ 都 道 関 府 第 係 県 者 九 0 に + 職 提 条 員 第三 が 示 第

2 略

な

け

れ

ば

な

5

な

届 出 及 び 統 計

第 + 五. 建 築 主 が 建 築 物を建 ようとする場 合 又 は 建 築 物 0 除 却 0 工 事 を 施 工 す る者 が 建 築物 を 除 却 L ようとする場 合に お 7

は

分 れ  $\mathcal{O}$ 床 5 面  $\mathcal{O}$ 積 者  $\mathcal{O}$ は 合 建 計 築 が + 主 亚 事 方 を X 経 1 由 1 L て、 ル 以 そ 内 0 で あ 旨 る を 場 都 合 道 に 府 お 県 知 11 て 事 に は 届 け  $\mathcal{O}$ 出 限 な ŋ け で れ な ば 11 な 5 な 1 た だ 当 該 建 築 物 又 は 当 該 工 事 に 係 る 部

2~5 (略)

特定行政庁等に対する指示等)

第 L 道 必 な 府 七 措 要 県 条 置 が 若 を あ L 玉 Š ると 命 土 ず は 交 べ 認 市 通 きことを指 8 町 大 るとき 村 臣 0 は 建 は 築 都 主 示 道 することが 当 事 府 が 該 県 都 若 道 れ L < 府 5 で 県 は  $\mathcal{O}$ き 規 知 市 る。 事 定 町 又 村 に は 基  $\mathcal{O}$ 市 づ 建 町 < 築 村 処 主 0) 分 事 長 を  $\mathcal{O}$ に 怠 処 対 0 分 7 L が て、 ک V る 0) 期 場 法 限 合 律 を定 に 若 į お <  $\emptyset$ 11 て、 て、 は 玉 都 れ 道  $\mathcal{O}$ 12 利 府 基 県 害 づ < 又 に は 重 命 大 市 令 な 町  $\mathcal{O}$ 村 関 規 0 係 定 建 が 12 築 違 あ 主 る 反 建 事 L に 築 妆 物 又 に は L 必 関 都

- 2 で 認 れ **`**きる。  $\Diamond$ 5 玉 ると 土  $\mathcal{O}$ 交 規 き 定 通 は に 大 基 臣 当 づ は 該 < 処 都 都 分を 道 道 府 府 県 怠 県 知 0  $\mathcal{O}$ 事 て 建 11 に 築 対 る場 主 事 L て、 合  $\mathcal{O}$ 処 に 期 お 分 がこ 限 11 て、 を 0) 定 ح 8 法 て、 れ 律 5 若 都 に L < ょ 道 はこ ŋ 府 多 県 数  $\mathcal{O}$ れ 建  $\mathcal{O}$ に 築 者 基 主 づ  $\mathcal{O}$ 事 生 < 命 に 命 文は 対 令  $\mathcal{O}$ L 身 規 必 要 体 定 な に に 措置 重 違 大 反 な Ļ を 命 危 ず 害 又 が べ は きこと 発 都 生 道 す 府 を る 県 指 お  $\mathcal{O}$ そ 示 建 す 築 n ること が 主 あ 事 が る لح が
- 4 3  $\mathcal{O}$ る 規 国 き 土 定 道 交 は に 府 通 基 県 づく 大 当 知 臣 該 事 は 市 処 は 町 分 村 を 市 前 怠 項  $\mathcal{O}$ 町 長  $\mathcal{O}$ 村 0 Ź 場 に  $\mathcal{O}$ 対 建 合 1 に L る 築 て、 場 主 お 合に 事 11 期 て  $\mathcal{O}$ 限 都 お 処 を 道 11 分 て、 定 府 が 県  $\Diamond$ ح て、 ح 知 0 事 れ 法 が 市 5 律 そ 町 に 若  $\mathcal{O}$ 村 ょ L す 0 ŋ < ベ 建 多 は き 築 数 指 主  $\mathcal{O}$ n 示 事 者 に を に  $\mathcal{O}$ 基 対 生 づ L 命 < な し 文 必 11 命 とき は 要 令 な措 身  $\mathcal{O}$ は 体 規 置 に 定 に 自 重 を 大 5 命 違 ずべ な 同 反 項 危 し、 きこ  $\mathcal{O}$ 害 又 指 が 示 لح 発 は を を 生 市 す 指 す 町 ること 示 る 村 す お  $\mathcal{O}$ る そ 建 が 築 れ で لح 主 が きる。 が あ 事 ると できる が 認 n 6
- 6 町 村 都  $\mathcal{O}$ 道 長 府  $\mathcal{O}$ 県 命 又 令 は に 市 従 町 わ 村 な 0 け 建 れ 築 ば 主 な 事 5 は、 な 11 正 当 な 理 由 が な V 限 り、 第 項 か 5 第 兀 項 まで 0) 規 定 に ょ る 指 示

に

基

づ

<

都

道

府

県

知

事

又

は

市

5

略

- 7 場 得 < 合 玉 た 都 又 土 交 上 道 は で、 府 都 通 県 道 大 自 知 府 臣 事 県 は 5 当 若 若 該 都 L L < < 指 道 は は 府 示 に 市 市 県 係 知 町 町 事 る 村 村 若 必 0  $\mathcal{O}$ 要 長 建 L < な 0 築 措 命 主 は 置 令 事 市 が を に 町 لح 従 正 村 当 ること わ  $\mathcal{O}$ な 長 な 理 が が 場 由 正 で 合 が 当 きる に な な お 理 由 11 て 所 が は 定 な <  $\mathcal{O}$ 正 期 当 限 所 な ま 定 で 理  $\mathcal{O}$ に、 由 期 が 限 第 な ま で 1 こと に、 項  $\mathcal{O}$ に 規 第 定 0 に 項 1 ょ て  $\mathcal{O}$ 社 る 規 |会資 国 定 土 12 本 交 ょ 整 通 る 大 指 備 臣 審 示 12  $\mathcal{O}$ 議 指 従 会 示 わ に 確 な 認 基 11
- 8~12 (略)

玉 都 道 府 県 又 は 建 築主事 を 置 市 町 村  $\mathcal{O}$ 建 築 物 に 対 す る 確 認 検 査 又 は 是 正 措 置 に 関 す る 手 続

0

特

例

ろ + 九 条 八 ょ  $\mathcal{O}$ 条 ま 玉 で 都 第 道 十 府 県 条 及 又 は び 第 建 九 築 主 +条 事 0) を 置  $\mathcal{O}$ < 規 市 定町 は 村  $\mathcal{O}$ 適 建 用 築 物 1 な 及 び 11 建 築  $\mathcal{O}$ 物 場  $\mathcal{O}$ 合 敷 に 地 お に 11 0 て 1 は て は 次 項 第 六 か 5 条 カコ 第 5 +第 七 五. 項 条 ま  $\mathcal{O}$ 六 で  $\mathcal{O}$ ま 規 で、 定 に 第 定 九 8 条 る カン 5 第

2 け は 又 れ 建 は ば 六 築 主 移 な 条 転 5 事 第 に な を 係 置 項 る < 0) 部 た 市 規 だ 分 町 定 L  $\mathcal{O}$ 村 に 床 ょ で あ 防 面 つ 7 る 積 火 地 場 0) 建 合 域 合 築 に 計 及 し、 び お が 潍 +V 又 て 平 防 は 方 火 は 大 メ 地 規 ] 域 当 模 外 1 該  $\mathcal{O}$ ル に 玉 修 以  $\mathcal{O}$ お 繕 内 機 11 若 で 7 関 L 建 あ  $\mathcal{O}$ る場 築 長 は 等 物 大 合 を は 規 に 増 模 限 築 当  $\mathcal{O}$ L 該 模 る。 工 様 事 改 替 に 築 に を Ļ 着 お L 手 ょ 11 うと す て 又 る は は 前 す 移 転 に、 る  $\mathcal{O}$ L 建 よう そ 限 築 ŋ 0 物 لح で 計  $\mathcal{O}$ な す 画 建 る を 築 場 建 主 合 築 が 主 玉 当 事 に 該 都 増 涌 道 築 知 府 L 県 な 改 又

3 る 規 す 係 建 規 定 建 る こと 定。 築 築 第 主 物 を 事 六 以  $\mathcal{O}$ 認 下 建 条 は  $\otimes$ 築  $\mathcal{O}$ た  $\mathcal{O}$ に 兀 前 لح 項 第 項 0 き 0) 及 V は 項 通 U 7 第 第 诵 知 当 を 十 知 受け 兀 該 を 号 受け 若 通 項 た場 に 知 L を お < た 場 は 合 L 11 た 合 て 第 に 一号 玉 同 に お  $\mathcal{O}$ じ あ 1 機 に て 0 関 て 掲 は に げ 0 は 第 長 適 る 等 合 同 建 六 に す 築 条 項 対 物 第 る  $\mathcal{O}$ 兀 か 規  $\mathcal{O}$ L て تلح 定 建 項 う 築 に 確 に 認 か ょ 定 済 を ŋ 大  $\emptyset$ 証 審 読 規 る 査 模 期 を 4 交 替 間 L  $\mathcal{O}$ 付 修 内 え に、 審 て L 繕 な 適 若 査 け 用 当  $\mathcal{O}$ L n 結 さ < 該 ば 果に は れ 通 大規 な る 知 b 第 に 基 模 な づ 六 係 1 条  $\mathcal{O}$ VI る 第 模 て、 建 築 様 建 項 替 物 築 に 又  $\mathcal{O}$ 基 規 は 計 準 定 同 画 関 す 項 が 係 る 第 建 規 建 築 뭉 定 基 築 に に 基 潍 準 掲 関 適 関 合 げ 係

建 と 容 造 を 合 易 計 求 す 築 玉 L 主 7 に 算 8 る  $\mathcal{O}$ 事 政 で で な 機 か どう 令 け が き 同 関 前 で る 号 れ  $\mathcal{O}$ 1 項 定 Ł ば か 長 に  $\otimes$  $\mathcal{O}$ に な  $\mathcal{O}$ 等 規 る と 規 5 前 は 定 L 定 な 項 Ł 第二 す て す に 0) 1 る審 Ś . 規 政 に 方 ただ 項 限 定 令 る。 で 法 す  $\mathcal{O}$ 査 定 Ļ に る 場 を す め ょ 審 合 る に に る る 当 査 場 適 ŧ 該 を お ŧ 合 建 要 合  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 11 て、 は す に 築 す に る 限 ょ 物 る ے る。 0 0) ŧ 同 か  $\mathcal{O}$ ど て 計  $\mathcal{O}$ 項 う 限 確 画 で  $\mathcal{O}$ ŋ か 又 カュ が あ 通 ると で を は  $\Diamond$ 特 知 定 な 第 特 6 に 六 き 15 定 構 係 れ 条 造 る 増 る は、 計 建 0) 安 改 全 当 築 築 算 第 構 基 性 該 物 造 を 準 建  $\mathcal{O}$ 項 計 有 築 計 第 算 す 物 た 画 ただし 基 ることに が  $\mathcal{O}$ +準 計 特 書 条 画 定 同 第 0) 構 を 玉 項 係 造 都 項 土 に る 計 道 交 規 部 第 府 算 通 定 基 県 分 号 省 す 準  $\mathcal{O}$ 知 うち 令 る 事 又 イ 審  $\mathcal{O}$ に は で 定 査 前 政 通 特  $\otimes$ が 項 令 知 定 に で る 比 L 増 要 較 規 定 改 件 的 定 8 構 築 を 容 す る 造 構 備 易 る 基 計 造 に 潍 審 算 計 え 杳 る で に 適 算 者 き 基 が 従 合 る で 比 性 潍 0 t た 判 に あ 較 る 0 的 構 定 適

に 0 都 道 11 て 府 当 県 該 知 都 事 道 は 府 県 前 に 項 置  $\mathcal{O}$ 通 か れ 知 を受 た 建 け 築 主 た場 事 が 合 第 に お 三 項 11 て、 に 規 定 当 す 該 る 通 審 知 査 12 を 係 す る ると 建 築 き 物 は  $\mathcal{O}$ 計 当 画 が 該 建 建 築 築 基 主 事 進 を 関 当 係 規 該 定 通 知 に に 適 係 合 る す 構 る 造 Ł 計  $\mathcal{O}$ で 算 谪 あ 合 る 性 لح 圳

6 (略)

定

関

す

る

事

務

に

従

事

さ

せ

て

は

な

5

な

5

7 判 定 0 道 結 府 果 県 を 知 記 事 載 は L た 第 兀 通 知 項 書  $\mathcal{O}$ を 通 当 知 該 を 通 受 け 知 を た 場 L た 合 玉 に 0 お 機 関 7  $\mathcal{O}$ は 長 等 そ に 0 交 通 付 知 L を な 受 け け た れ ば 日 な か 6 6 な 兀 日 以 内 当 該 通 知 係 る 浩 適 合 性

- 8 9 略
- 10 画 第 玉 係 項  $\mathcal{O}$ る  $\mathcal{O}$ 機 第 規 関 +定  $\mathcal{O}$ 兀 に 長 項 ょ 等  $\mathcal{O}$ る は 诵 審 第 知 査 書 を 七 す  $\mathcal{O}$ 項 交付 る  $\mathcal{O}$ 建 規 を 築 定 受け 主 に 事 ょ た場 に、 n 同 合 当 項 は 該  $\mathcal{O}$ 適 通 合 知  $\mathcal{O}$ 判 書 限 定  $\mathcal{O}$ ŋ 通 交 で 知 付 書 を な 受 又 け は そ た 0 場 写 合 に L を お 提 1 て、 出 L 当 な 該 け れ 通 ば 知 な 書 が b な 適 合 11 判 た 定 だ 通 し 知 書 当 で 該 あ 建 る ع 築 物 き  $\mathcal{O}$ は 計
- 11 延 長 玉 後  $\mathcal{O}$ 機  $\mathcal{O}$ 期 関 間  $\mathcal{O}$ 長  $\mathcal{O}$ 等 末 は 日 0 前 =項 日  $\mathcal{O}$ 場 前 合 ま に で に、 お 1 て、 前 項  $\mathcal{O}$ 第 適 三 合 項 判  $\mathcal{O}$ 定 期 通 間 知 第 書 十三 又 は そ 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 写 規 L 定 を に 当 ょ 該 ŋ 第 建 築 項 主 事  $\mathcal{O}$ に 期 提 間 出 が L 延 な 長 け さ れ れ ば た な 場 5 合 な に あ 0 7 は 当 該
- 12 当 該 建 通 築 主 知 を 事 L は た 国 第 0 三 項 機 関  $\mathcal{O}$ 場  $\mathcal{O}$ 長 合 等 に か お 11 5 第 て、 + 第二 項  $\mathcal{O}$ 適 項  $\mathcal{O}$ 合 判 通 定 知 通 に 係 知 書 る 建 又 は 築 そ 物 0  $\mathcal{O}$ 写 計 L 画 が 0 第 提 兀 出 を 項 受  $\mathcal{O}$ け 構 造 た 場 計 合 算 適 に 限 合 り、 性 判 第 定 を 項 要 0 す 確 る 認 ŧ  $\mathcal{O}$ 済 で 証 を あ 交 るとき 付 す は

لح

が

で

きる

- 13 どう る。 項 に  $\mathcal{O}$ 従 建 L た 確 か 築 0 た 玉 認 を 主  $\mathcal{O}$ 場 済 審  $\mathcal{O}$ 構 事 機 合 証 査 造 は 関 に を す 計 0) お 交 る 第 算 長 付 場 で 1 Ξ す 合 同 項 等 7 え る こ に そ は 号  $\mathcal{O}$ 交 0 1 場 と 付 そ に 他 合 が L  $\mathcal{O}$ 規 玉 な で 第 旨 土 定 す け 及 き 交 な る方 れ び 通 項 ば そ V 省  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 令 な 合 法 通 5 延 理 で に 知 な 長 的 定 ょ に 1 す な  $\emptyset$ る 係 る 理 る Ł る 場 期 由  $\mathcal{O}$ 建 間 が 合 に 築 あ に ょ 物 並 び る 限 0  $\mathcal{O}$ لح に る て 計 そ き 確 画  $\overline{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ は か が に  $\Diamond$ 期 特 間 お 6 定 +を 11 れ 構 て、 延 五 造 る 長 安 計 日 す 第 全  $\mathcal{O}$ 算 性 る 範 基 項 理 囲 を 準 内  $\mathcal{O}$ 有 由 に 期 す 第 を ることに 記 お 間 内 + 載 11 て、 に L 条 . 当 た 第 同 通 該 係 知 項 通 る 項 書  $\mathcal{O}$ 知 部 第 を 期 を 分 묽 同 間 に L 項 を た 限 1  $\mathcal{O}$ 延 玉 る。  $\mathcal{O}$ 期 長  $\mathcal{O}$ 政 間 す 機 令 関 内 る に で に  $\mathcal{O}$ 適 定 当 長 合  $\otimes$ が 等 す 該 る る で に 通 基 知 き 同 か
- 14 第 建 交 築 建 付 項 基 築 準 主 0) l な 関 期 事 け 間 係 は n 規 ば 前 定 第 な 項 に 三 適 項 5  $\mathcal{O}$ な 規 合  $\mathcal{O}$ 場 す V 定 に る 合 か に ょ どう ŋ お 第 11 カゝ て、 項 を 0 決 第 期 定 間 す 項 るこ を  $\bigcirc$ 延 通 لح 長 知 が に た で 係 場 き る 合 な 建 に 築 11 正 あ 物 当 0  $\mathcal{O}$ な て 計 は 理 画 由 が 当 が 建 該 あ 築 延 る 基 長 لح 潍 き 後 関  $\mathcal{O}$ は 係 期 規 そ 間 定 0) に 内 旨 適 及 合 に 当  $\mathcal{U}$ L 該 そ な 通  $\mathcal{O}$ 11 こと 知 理 を 由 を を た 記 認 国 載  $\otimes$ た 0 L 機 た き、 関 诵  $\mathcal{O}$ 知 長 書 又 を は
- 15 が 項 で  $\mathcal{O}$ き 通 な 知 11 に 係 る 建 築 物  $\mathcal{O}$ 建 築、 大 規 模  $\mathcal{O}$ 修 繕 又 は 大 規 模  $\mathcal{O}$ 模 様 替  $\mathcal{O}$ 工 事 は 第 項  $\mathcal{O}$ 確 認 済 証  $\mathcal{O}$ 交 付 を 受 け た 後 で な け れ ば す

るこ

لح

- 16 に 通 玉 知 0 機 L な 関 け 0 れ 長 ば 等 な は 5 な 当 該 Т. 事 を 完了 た 場 合 に お 1 7 は そ 0 旨 を、 工 事 が 完 了 L た 日 か ら 兀 日 以 内 に 到 達 す る ょ j E 建 築 主 事
- 17 建 建 物 築 及 主 び 事 そ が  $\mathcal{O}$ 前 敷 項 地  $\mathcal{O}$ 規 が 定 建 築 に 基 ょ 準 る 関 通 係 知 規 を 受 定 け (第 た 場 七 条 合 0) に Ŧī. お に V 規 7 定 は す 建 る 建 築 築 主 物 事  $\mathcal{O}$ 等 建 は 築 そ 大  $\mathcal{O}$ 規 通 模 知  $\mathcal{O}$ を 受 修 繕 け た 又 は 日 大 カ 規 5 模 七  $\mathcal{O}$ 日 模 以 様 内 に、 替  $\mathcal{O}$ そ 工 事  $\mathcal{O}$ に 通 0 知 1 て 係 涌 る

知  $\mathcal{O}$ を 条 受 け に た お 場 て 合 同 に ľ あ 0 7 は、 に 適 合 第 六 L て 条 11  $\mathcal{O}$ る 兀 カュ 第 う 項 カコ 0) を 規 検 定 査 に ょ L n な け 読 れ 4 ば 替 な え て 5 な 適 用 V さ れ る 第 六 条 第 項 に 規 定 す る 建 築 基 潍 関 係 規 定 以 下

- 18 8 た 建 築 き 主 は 事 等 玉 は 0 機 前 関 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 長 規 等に 定 に 対 ょ L る て 検 検 査 査 を 済 L 証 た 場 を 交 合 付 に L お な 11 け て、 れ ば 当 な 該 6 建 な 築 11 物 及 び そ 0 敷 地 が 建 築 基 進 関 係 規 定 に 適 合 L 7 ること を 認
- 19 0 日 国 カコ  $\mathcal{O}$ 機 ら 兀 関 日 0 以 長 内 等 に は 到 達 当 する 該 工事 ように、 が 特 定 建 工 築 程 主 を 事 含 に む 場 通 合 知 L に な お け 11 て、 れ ば 当 な 該 5 な 特 \ \ \ 定 工 程 係 る 工 事 を 終 え たとき は そ 0 都 度、 そ 0 남 を、 そ
- 20 工 事 建 中 築 主 0 建 事 築 が 物 前 等 項 に 0) 規 0 定によ V て、 る 検 通 査 前 知 を に 受け 施 工 さ た 場 れ 合 た 工 に 事 お に 1 て 係 る は 建 築 建 物 築 主 0 部 事 分 等 及 は び そ そ 0 0 敷 通 地 知 が を 受 建 け 築 基 た 進 日 関 カコ 係 5 規 兀 定 日 以 適 内 合 に、 す る 当 か 該 通 Š 知 カン に を 係 検 る
- 21 玉 土 建 交通 築 主 事 省 令 等 で は 定 め 前 るところに 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ ょ り、 る 検 玉 査  $\mathcal{O}$ を 機 L 関 た 場  $\mathcal{O}$ 長 合 等 に に お 対 11 て、 L て 当 工 該 事 特 中 定  $\mathcal{O}$ 工 建 程 築 物 に 係 等 る中 が 建 間 築 基 検 査 準 関 合 格 係 規 証 を 定 交 に 付 適 合 l な す け ること れ ば な を 認 5 な 8 たと き は

22

略

査し

な

け

n

ば

な

5

な

V

- 23 + 築 七 建 物 項 築 又 主 0 は 事 部 第二 分 等 及 は、 び + そ 項 第 0)  $\mathcal{O}$ 敷 規定 + 地 項 に に 0 0 ょ 規 ١ ر る 定 ては、 検 に 査 ょ を る す 検 れ る 査 と 5 に  $\mathcal{O}$ き お 規 は 11 定 て に 同 建 ょ 項 築 る 基  $\mathcal{O}$ 検 規 準 查 定 関 一をすること に 係 よる 規 定 検 に 査 適 を に 合 要 お することを L 1 な て 建 築 基 認 8 準 関 5 係 n 規 た 定 工 に 事 中 適 合 0 す 建 ること 築 物 等 を に 認 0  $\Diamond$ い 6 て、 れ 第 た
- 24 け L 11 を < 7 る 除 第 は、 前 は 六 建 条 に 第 お 築 第 11 物 + 0 て  $\mathcal{O}$ 八 増 項 ŧ 部 項 築 第 分 0 を 検 号 仮 改 に、 使 築 査 カ b 用 済 し、 当 証 移 第 三号 該 0 転 交付 又 建 大規 は 築 ま を受 物 使 で 用 模  $\mathcal{O}$ 又 け は さ  $\mathcal{O}$ 建 建 せ た 修 築 築 後 物 繕 を 物 は で 若  $\mathcal{O}$ な な 新 L 部 5 け < 築 す 分を な n は Ś ば 大 1 使 規 場 用 ただ 当 模 合 該 0) 又 Ļ L 新 模 は 築に 又 様 は 次 替 れ 使  $\mathcal{O}$ 係  $\mathcal{O}$ 5 用 各 工  $\mathcal{O}$ る さ 号 建 事 建 築 せ  $\mathcal{O}$ 築 で 避 1 物 物 ることが 又は ず 難 (共 施 n 同 カ 当 設 で に 等 該 住 きる。 に 該 避 宅 当 難 関 以 す 施 す 外 る 設 る  $\mathcal{O}$ 場 等 工 住 合 に 事 宅 関 12 を 及 含 び は す る む 居 検 工 Ł 室 査 事  $\mathcal{O}$ を 済 に を 有 係 す 証 L る る な 0 交 建 場 付 築 合 建 を 物 に 築 若 お 物
- 特 定 行 政 庁 が 安 全上、 防 火 上 又 は 避 難 上 支 障 が な 1 と 認 め たと き
- 第 建 築 六 主 項 事 が、  $\mathcal{O}$ 規 定 安 全上、 に ょ る 防 通 火 知 上 を L 及 び た 日 避 難 カ 6 上 七 支 障 日 を が 経 な 過 11 ŧ た 0 き。 L て 国 土 交 通 大 臣 が 定 8 る 基 準 に 適 合 L 7 1 ること を 認 8 た にとき。
- 25 (略)

指 定 構 造 計 算 適 合 性 判 定 機 関 に ょ る 構 造 計 算 適 合 性 丰川 定 0 実 施

第十 又 は 八 都 条 道  $\mathcal{O}$ 府 県 知 都 事 道 が 府 指 県 知 定する者 事 は、 に、 第七 第六 + 七 条 条 0  $\mathcal{O}$ 三十 三 第 五. の二か 項 及び 前 5 第 条 七 第 匹 + 七 項 条  $\mathcal{O}$ が 三 構 造 計 + 算 Ŧī. 適 0) Ŧī. 合 性 ま 判 で 0) 定 0) 規 定 全 部  $\mathcal{O}$ 定 又 は  $\Diamond$ るところに 部 を行 わ せ ょ ること ŋ 玉 土 が 交通 できる 大 臣

2~4 (略)

(確認審査等に関する指針笠

第十八条の三(略

2 (略)

3 確 認 審 査 等 は 前 項 0 規定に ょ ŋ 公表さ れ た 第 項 0 指 針 に 従 0 T 行 わ な け れ ば な 5 な

(構造耐力)

第 て、 条 次 の 建 各 築 号 物 に は 掲 げ 自 る 重 建 築 積 物 載  $\mathcal{O}$ 荷 区 重 分に応じ、 積 雪 荷 重 そ れ 風 ぞ 圧、 れ 当 土 該 圧 各 及 号 び に 水 定 圧  $\otimes$ 並 る び 基 に 準 地 震そ に 適 0) 合 「する 他  $\mathcal{O}$ ŧ 震 動  $\mathcal{O}$ で 及 な び け 衝 れ 擊 に ば 対 な して安く 5 な 全 な 構 造  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ と

そ ること。 高さが 0) 他 0 政令 六十 の場 で メ 定 合 1 め に 1 る基 お ル いて、 を超える建 準 に その 従つた構造計 築物 構造方法 当 は、 算 該 に 建 築物 荷 よつて安全性 重 並及び の安全上 外 力に が 必要な構 によって 確 か め 5 建 造 れ 築 方 物 たものとし 法  $\mathcal{O}$ に 各 関 して政 部 分に連 て国 令で定める技 続的 土交通大臣 的に生ず る力 0 術 認 的 及び 基準 定を受け 変 に 形 適 た を 合 ŧ 把 す 握 0 る で すること Ł あるこ 0 で あ

限 を 超 る。 えるる 超 高 さが えるも 鉄 筋 六 次に コン  $\mathcal{O}$ 十 に メ クリ 掲 限 ] げ る。 1 る基 Ì ル 以 1 又 は 準 造 下 0) 又 0) は 同 建 11 ず 鉄 項 築 ħ 第三 物のうち、 骨 かに 鉄 一号に 筋 適 コ 合 ン 掲 第六 クリ す げ る る Ł 建 条 築 ので  $\vdash$ 第 造 物 あ 項  $\mathcal{O}$ ること。 建 地 第二号に 築物そ 階 を除く 掲 0 階 他 げ 数 る れ が 建 兀 築物 5 以上であ  $\mathcal{O}$ 建築物 (高 さが る鉄 に 準 十三メ ず 骨造 うるも ]  $\mathcal{O}$ 建  $\mathcal{O}$  $\vdash$ とし 築 ル 物、 又 て は 政 高 軒 令 さ 0 が 二 で 高 定 さ め +が メ る 九 ] 建 メ 1 ル 物 1 を ル

玉 地 震力に 土交通 該 建 大 ょ 築 臣 0 物 が て  $\mathcal{O}$ 定 建 安 め 築 全上必要な た方 物  $\mathcal{O}$ 地 法 に 上 部 構 ょ るも 造 分 方法 0 各  $\mathcal{O}$ 階 に 又 は に 関 して 生ずる水平 玉 土 一交通 政 令で 大臣 方 定 0 向  $\Diamond$ る 認  $\mathcal{O}$ 技術 変 定を受け 死を 的 把 基 た 握 準 プ することその に 口 適 グラムに 合すること。 ょ 他 よるもの  $\mathcal{O}$ この場合 政 令で に 定 ょ つ  $\Diamond$ に て る お 基 確 1 準 て、 カコ 8 に ら 従 そ れ 0 0) た構 構 る 安 造 全性 造 方 計 法 は、 : 算で、 を

ロ 前号に定める基準に適合すること。

高 さ が 六 十 メ を ] 石  $\vdash$ 造 ル 以 れ 下  $\mathcal{O}$ ん が 建 造 築 物 のうち、 コ ン ク IJ 第 六 1 ブ 条 口 第 ツ ク 項 第 造 号又は 無 筋 コ ン 第 ク 三 IJ 号 ] に  $\vdash$ 掲 造 げ その る 建 他これ 築 物 そ らに  $\mathcal{O}$ 他 類す そ 0) る 主 構 要 造 構 とし 造 部 た 建 床、 築 物 屋 で 根 高 及

が 十三メ 1 ル 又 は  $\mathcal{O}$ 高 さ が 九 メ  $\vdash$ ル を 超 え る ŧ 0) 前 号 に 掲 げ る 建 築 物 を除 次 に 掲 げ る 基 準  $\mathcal{O}$ 1 ず れ か に 適 合 す る

ŧ イ 0) で 当 あること。 該 建 築 物  $\mathcal{O}$ 安 全上 一必要な 構 造 方 法 に 関 L 7 政 令で 定  $\emptyset$ る 技 術 的 基 準 に 適 合すること。 この 場 合 に お 11 て、 そ 0) 構 造 方 は、

構 玉 す ること。 土 造 交通 耐 力 上 大 臣 主 が 要 定 な部分ごとに応力度が めた方法によるもの 又 は 許 容 玉 応 力 土 ·交通· 度を超り 大臣 えないことを  $\mathcal{O}$ 認定を受け 確 たプ かめ 口 ることその グラムによるもの 他 0 政令で に よって 定  $\otimes$ る 確か 基 準 め に b 従 れ 0 る安全性を有 た構造計算で

口 前二 一号に 定 め る 基 準  $\mathcal{O}$ 11 ず れ カコ に 適 合 すること。

## 四 (略)

2 築 物 前 0) 項 当 に 該 規 建 定 築 す 物 る 0) 基 部 準  $\mathcal{O}$ 分 は 適 用 同 上 項 0) 0) 規 建 築物 定  $\mathcal{O}$ 適 で 用 あ に 0 7 0 ŧ 1 て 別 は  $\mathcal{O}$ 建 そ 築 物 れ . ぞ とみなすことが れ 別 0) 建 築 物とみなす。 できる部 分とし て政 令 で 定 め る部 分 が 以 上 あ る

### (便所)

7三十一条 (略)

屎し に関 尿净 便 所 :化槽 して政令 カュ 5 (その 排 出 で す 定 構 る め 造 汚 る技術 が :物を下水道 汚物 的 処 基 理 準 法 性 に 第二条第六号に 能 適合す 当 該 る 汚 ŧ 物 0) を で、 衛生上支障 規定する終 玉 土 交 通 末処理場を有 が 大臣 な 11 ように が 定  $\otimes$ た 処 する公共下水 構 理するた 造方法 め を 用 に 道 V 屎し以 尿净 外に るも 0) 化 放 槽に 流 又 は L 玉 必 ようとす 要とさ 土 交通 大 れ る 臣 る 場 合に 性 0 能を 認 定を お 受け う。 て は

(建築協定の認可の申請)

た

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

に

限る。

を

設

け

なけ

れ

ば

なら

な

第七十条 (略)

# 2 · 3 (略)

0 所 在 地 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 市 町 定 村 に 0) ょ つて 長 を 経 建築協 由 L なけ 定書 を提出、 れ ば なら する な 場合に お 1 て、 当 該建築協 定 区 域が建築主 事 を置 く市 町 村 0) 区 域 外 に あ るときは、 そ

(申請に係る建築協定の公告)

第

七 + + 条 日 以 市 上 町  $\mathcal{O}$ 村 相  $\mathcal{O}$ 当 長 は  $\mathcal{O}$ 期間 前 条第一 を定めて、 項 又 これ は 第 を 兀 関 項 係  $\mathcal{O}$ 規定による 人 0) 縦 覧 に 建 供 いさな 築協 け 定 れ 書 ば  $\mathcal{O}$ な 提 5 出 があ な った 場 合に お 15 て は 遅 滞 な く そ 0) 旨 を 公 告

公開による意見の聴取)

七 + 市 町 村 0) 長 は、 前 条 0 縦 覧 期 間  $\mathcal{O}$ 満 了 後、 関 係 人 0) 出 頭を・ 求 め 7 公 開による意見 0 聴取 を 行 わ な け れ ば な 5 な

2 1 聴 て意見があるとき 取 建  $\mathcal{O}$ 築 主 記 録 事 を を 添 置 え < て、 市 こは、 町 都 村 その意見を付さなけ 道 以 府 外 県  $\mathcal{O}$ 知 市 事 町 に送 村 の 付 長 良は、 L れ な ば け 前 なら ħ 項 ば  $\mathcal{O}$ な なら 意 見 な  $\mathcal{O}$ 聴 取 をした後、 0) 場合に お 遅 滞なく、 11 て、 当 当 該 市 該 町 建 築協 村 0) 長 定 は、 書 を、 当 該 同 建 項 築  $\mathcal{O}$ 協 規 定 定 書 に ょ 0) る 内 容 意 見 に 0) 0

建 築 協 定  $\mathcal{O}$ 認可

第 七 十三条 略

2 略

3

を当 項 市 0) 村 規  $\mathcal{O}$ 定 事 に 務 ょ 所 る認可をし E えて、 た市 般 町 0 村 縦 0 覧 長 に 又 供 は さ 前 な 項 け 0 れ 規定によつて建 ば な な 築協 定書の 写 0) 送付 を受けた 市 町 村 0 長 は、 そ 0 建 築 協 定

5

建 築 該 協 定 町 備

七 + 兀 条  $\mathcal{O}$ 変更) 略

第

2 前 兀 条  $\mathcal{O}$ 規 定 は、 前 項 0 認 可 0 手 · 続 に 進用 す る。

建 築 協 定  $\mathcal{O}$ 認 可 等 0) 公 告  $\mathcal{O}$ あ つ た日 以 後建 築協 定に加 わる手続等)

第 七 + Ŧī. 条の二 略

2 3 略

4

第七十三条 第二 項 及 び 第三 項 0) 規 定 は、 第 項 又 は 第二 項 0 規 定に よる 意 思 0 表 示 が あ 0 た 場 合 に 準 用

す

る。

5 略

建 築協定  $\mathcal{O}$ 設 定 0) 則

第 七 + 六条の三 略

2 3 略

4 第七 + 条第 兀 項 及び 第七十一 条 から 第七 十三 条 ま で 0 規 定 は 第二 項  $\mathcal{O}$ 認 可  $\mathcal{O}$ 手 続 に 準 用 でする。

5 (略)

6

を有する建 七 十四四 築協 条 及 定 び とな 第 七 十六条の規定 0 た建築協 定の は、 変更又 前 項 は  $\mathcal{O}$ 規 廃 止 定により に 0 1 て 第 準 七 十三条第二 用する。 項  $\mathcal{O}$ 規 流定に ょ る認 可 0 公告 0) あ 0 た 建 築 協 定 لح 同 0 効 力

指 定)

む。 七 項 す 合 0 る を + 規 場 含 七 合を 0) 定 む 条 に 検  $\mathcal{O}$ よる 査 含 以 + 下こ 並 む。 八 び 確 定 に 認 以  $\mathcal{O}$ 第 第 又 下 項 六 七 は に 条 条 第七  $_{\mathcal{O}}$ の 二 お の 項 11 確 六第一 条の二 て に 第 同 認 お じ。 11 項 査」 て同 項 第 第 第二号 項 又 は U 八 及び V +  $\smile$ 第 七 ( 第 第  $\mathcal{O}$ 七 条 八 七 規 条 第 定に +条  $\mathcal{O}$ 業務 項、 七  $\mathcal{O}$ 条 兀 ょ 第  $\mathcal{O}$ 第 る 第 行 兀 指 項 八 又 おうとす 項 + 定 第 は 七 以 第 第 八 条 八十 八十 + 下 0 七 兀 八 七  $\mathcal{O}$ 条 又 条 条 節  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は 第 兀  $\mathcal{O}$ 第 に 兀 お 又 八 十八 項 又は は 1 若 て 第 l 第 単 八 くは 第一 十八 行 八 に 十八 「指 第二 条第 項 条 定 若 項 第 L に لح 項 < 項 若 お 11 は う。 第二 しく に 11 て お 準 項 11 は 用 て は、 第 に す 準 お る 用 第 項 1 場 す 六 に 7 合を含む る場合を含 条 お 準 の 11 用 て す 第一 準 る 用

2 に お 前 項 て  $\mathcal{O}$ 申 業 請 は、 務 区 域 玉 土 とい |交通省令で定めるところ 、 う。 を定めてし な に け ょ れ り、 ば な 6 玉 土交通 な 省令で 定め る 区 分に 従 V) 確 認 検 査 0 業 務 を行 Š 区 域 낈 下こ 0

#### 3 略

0

規

定

に

ょ

る

認

以

下

検

と

う。

0

を

る

者

申

請

に

より

う。

指 定 0) 基 準)

第 七 7 + は 七 ならな 条の二十 玉 土 一交通 大臣 又 は 都 道 府 県 知 事 は 指 定  $\mathcal{O}$ 申 請 が 次 に 掲 げ る 基準 に 適 合 L 7 ると 認 め るときで な け れ ば 指 定 を

及 び 数に応じ て 玉 土交通 省令で 定 8 る 数 以 上 で あ ること。

第

七

+

七

条

か 二

+

兀

第

項

 $\mathcal{O}$ 

確

認

検

査

員

(常

勤

 $\mathcal{O}$ 

職

員

で

あ

る者

に

限

る。

 $\mathcal{O}$ 

数

が、

確

認

検

査

を

行

おう

لح

す

Ź

建

築

物

0

種

類

規

模

兀 略

#### Ŧ. 法 人 に あ 0

む。 に 支障 以 を及ぼ 下こ  $\mathcal{O}$ す 号 て お に は そ お 役 れ 員 11 7 が 同 な 法 ľ 1 人 0 ŧ  $\smile$ 0) 種 であること。  $\mathcal{O}$ 類 構 に応じて 成 が、 玉 法 人以 土 立交通省? 外 0) 者 令 に で 定 あ ·  $\otimes$ る構 て は そ 成  $\mathcal{O}$ 員 者 又 及び は 職 員 そ 0) (第 職 七 員 + $\mathcal{O}$ Ė 構 条の二 成 が、 + 確 兀 認 検 第 査 0 項 業  $\mathcal{O}$ 務 確 認 0 検 公 正 查 員 な を 実 含 施

#### 六~ 八 略

指 定 0) 公 示等

第 七 + 名 称 七 条の 及 び 住 所 +指 玉 定 土 0 一交通 区 分、 大臣 業 務 又 区 は 域 都 並 道 び 府 に 県 確 知 事 認 は、 検 査  $\mathcal{O}$ 指 業 定 務 を を行う事 たとき 務 は、 所 指  $\mathcal{O}$ 所 定を受け 在 地 を 公公示 た 者 L **(以** なけ 下 れ ば 指 な 定 5 確 な 認 検 査 関

2 す る 日 定 確  $\mathcal{O}$ 認 週 検 間 査 前 機 ま 関 で は に、 そ そ 0)  $\mathcal{O}$ 名 指 称 若 定 をし < た国 は 住 土 所 交 又 通 は 大 確 臣 認 又 検 は 査 都  $\mathcal{O}$ 業 道 永務を行 府 県 知 事 う 事 以 務 下 所 0) 0) 所 節 在 地 に お を 変 更 て L 国 ょ うと 土 交 通 す 大臣 るとき 等」 は、 という。 変 更しようと にそ

0

旨

を

届

け

出

な

け

れ

ば

ならな

3 玉 土 交 通 大 臣 等 は 前 項 0 規 定 に よる 届 出 が あ 0 たときは、 その 旨 を 公 示 L な け れ ば な 5

(業務区域の変更)

第 七 + 七 条の二十二 指 定 確 認 検 查 機 関 は、 業 務 区 域 を 増 加 L ようとするとき は 玉 土 一交通 大臣 等 0 認 可 を受け な け れ ば な 5 な

2 指 定 確認検 査 機 関 は 業務 区 域 を 減 少 ĺ たと き は 玉 土交通省令で定めるところに ょ り、 その 旨 -を 国 土 交通 大 臣 等 に 届 け 出 な け れ

ばならない。

3 · 4 (略)

(確認検査員)

第 七 + 七 条の二十 兀 指 定 確 認 検 查 機 関 は、 確 認 検 査を行うときは、 確 認 検 査 員 に 確 認 検 查 を 実 入施させ な け れ ば な 5 な

2 確 認 検 査員 は、 第 七 + 七 条 0 五. +八 第 項  $\mathcal{O}$ 登 録 を受けた者 0 うち カュ 6 選 任 L な け れ ば なら な

3 指 定 確 認 検 査 機 関 は 確 認 検 査 員 んを選 任 し、 又 は 解 任 L たとき は、 玉 土 交通 省令で定めるところに ょ り、 そ  $\mathcal{O}$ 旨 を 玉 土 交 涌 大

臣

に届け出なければならない。

4 指 定 玉 確 土 認 交 通 検 大臣 査 機 関 等 に は 対 確認 L そ 検 0 査 確 員 認 0 能検査員<sup>、</sup> 在任に より を 解 任 指 すべ 定 確 きことを命 認 検 查 機 関 ずること が 第 七 + が 七 条の二十 できる。 第 五. 号 に 掲 げる基 準 に 適合 L な くなっ たときは

(秘密保持義務等)

第 検 七 查 + 七 員 を 条の二十 含 む。 次 五. 項 に 指 お 定 確 11 て 認 検 同 C C 査 機 関 並 (そ び に 0)  $\sum_{}$ 者 れ が 5 法  $\mathcal{O}$ 人である場 者 で あ 0 た 合にあ 者は 0 て 確 は、 認 検 その役 査  $\mathcal{O}$ 業務 員。 に 関 次 項 L E て 知 お ŋ いて 得 同 た ľ 秘 密 を 及 漏 5 び そ L (T) 職 又 は 員 盗 確 用 認

てはならない。

2

指 定 確認 検 査 機 関 及 び そ 0) 職 員 で 確 認 検 査  $\mathcal{O}$ 業 務 に 従 事 す る ŧ  $\mathcal{O}$ は 刑 法 そ  $\mathcal{O}$ 他 0 罰 則 0) 適 用 に 0 い て は、 法 令 に ょ ŋ 公 務 に 従

する職員とみなす。

(確認検査の義務)

第 七 + 七 条 水の二十 六 指 定 確認 検 査 機 関 は、 確 認 検 査 一を行 うべ きことを求  $\Diamond$ 5 れ たとき は、 正 当 な 理 由 が あ る 場 合 を 除 き、 遅 滞 なく、

確認検査を行わなければならない。

(確認検査業務規程)

第 七  $\otimes$ 玉 七 条 土 水の二十 交 通 大臣 七 等  $\mathcal{O}$ 指 定 認 確 可を受け 認 検 査 なけ 関 れば は、 なら 確 認 な 検 査  $\mathcal{O}$ 業 れ 務 を変更しようとするときも に 関 す る 規 程 以 下 この 節 に 同 お 様とする。 7 確 認 検 査 業 務 規 程 を定

- 2 確 認 検 査 業 務 規 程 で 定めるべ き事 項 は、 玉 土 交通 省令で定 め る。
- 3 玉 土 交 検 査業: 通 大 務 臣 規 等 程 は 第 くすべ 項  $\mathcal{O}$ きことを命 認 可 をし た 確 認 検 查 業務規 ができる。 程 が 確 認 検 査 0) 公 正 カコ 0 適 確 な 実 施 上 不 適当 لح な 0 たと認 め るとき には、 そ

指 定 区 分等の 掲 示  $\mathcal{O}$ 

確

認

を

変

更

ず

ること

第 七 事 項 + を、 七 条 その の二十八 事 務 所 に 指 お 定 確 いて公衆に 認 検 查 機 見やす 関 は、 V 玉 ように 土 交 通 省令で定 掲示し なけ めるところによ れ ばならない。 り、 指 定 0) 区 分、 業 務 区 域 そ 0) 他 国土交通 省令で 定 め る

帳 簿 0) 備 付 け 等

第 七 る ŧ + 七  $\mathcal{O}$ を 条の二十 記載 L た 九 帳 簿 指 を 定 備え付 2確認 検 け、 查 機 これを保 関 は、 玉 存 土 し 交 なけ 通 省令で定めるところに れば なら ない ょ ŋ 確 認 検 査 0) 業 務に 関 す る 事 項 で 玉 土 交 通 省 令 で 定

2 前 項 に 定  $\emptyset$ る ŧ 0)  $\mathcal{O}$ ほ か、 指 定 確 認検査 機 関 は 玉 土 交通 省令で定めるところ に ょ り、 確 認 検 査 0 業 務 に 関 する 書 類 で 玉 土 交 通 省

書 類  $\mathcal{O}$ 閲覧 令

で定め

るも

0)

を

保

存し

なけ

れ

ば

なら

な

第七 \ \ \ を備 + え 七 条の二十 置 き、 第 六 九 条  $\mathcal{O}$ 0 第 指 定 項 確  $\mathcal{O}$ 認 規 検 定によ 査 機関 は、 る 確 認 玉 土交通省令で定めるところ を受けようとする者そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ に 関 ょ b, 係 者 確  $\mathcal{O}$ 求 認 検  $\Diamond$ 査 に 応じ、  $\overline{\mathcal{O}}$ 業務 を行う事 れ を 閲 覧さ 務所 せ に な 次 E け 掲 n げ ば る な 5 書 類 な

当 該 指 定 確 認 検 査 機 関  $\mathcal{O}$ 業務 0 実 績 を 記 載 L た 書 類

確 認 検 査 員  $\mathcal{O}$ 氏 名 及 び 略 歴 を 記 載 L た書 類

三 あ 確 0 認 検 て は、 査 0) そ 業  $\mathcal{O}$ 務 内 に 容を記 関 し生じた損害を賠 載 L た 書類 償 す る た め に 必 要な 金 額 影を担 保 す るため 0 保 険 契 約 0 締 結 そ 0 他 0 措置 を 講 ľ 7 る場合

兀 そ 0 他 指 定 確 認 検 査 機 関 0 業務 及び 財 務 に 関 はする書 類 で 玉 土交通 省 令 で 定 8 るも 0

監 督 命 令)

第 七 係 + る 指 七 条の三十 定 確 認 検 査 機 玉 関 土 一交通 に 対 大臣 等は、 確 認 検 確認 査  $\mathcal{O}$ 業 検 務 査 に 0) 関 業 務 監  $\mathcal{O}$ 督 公 正 上 必 か 要 0 な 適 確 命 令をすることができる な 実 施 を 確保するため必 要 が あ ると 認 め るとき は そ 0) 指 定

略)

2

報 告、 検 查等

# 第七十七条の三十一(略)

2 は 実 施 帳 特 簿、 を 定 確 行 書 類 保 政 す 庁 は、 そ る 0) た 他 8 そ 0) 必 0) 要が 物 指 件 揮 を検 あると認 監 督 査 0) させ、 下に 8 ると あ る 又 は き 建 関 築 は 主 係 者に そ 事 が  $\mathcal{O}$ 質 職 第 問 員 六 さ に、 条 せ 第 ることがで 指 定 項  $\mathcal{O}$ 確 規 認 検 定 きる 査 に 機 ょ る 関 確 0) 事 認 務 をする 所 に <u>\</u> 権 5 限 を 入 り、 有 す る 確 建 認 築 検 物 査  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 業 確 認 務 0 検 查 状 況 0 若 適 L 正 < な

## 3~5 (略)

(確認検査の業務の休廃止等)

第 七 定 8 + るところに 七 条の三十 ょ 兀 り、 指 定 あ 確認 5 か ľ 検 め、 查 機 その 関 は、 旨 を 確 認 玉 土 検 交 査 通  $\mathcal{O}$ 業 大 臣 務 等  $\mathcal{O}$ に 全 部 届 又 け 出 は な け 部 を れ 休 ば な 止 Ļ 5 な 又 は 廃 止 L ようとす るとき は 玉 土 交 通 省 令

#### 2 3 (略)

(指定の取消し等)

第七十七条の三十五 (略)

定 め 玉 て 土 一交通 確 認 大臣 検 査  $\mathcal{O}$ 等 業 は 務 その指 0 全部 若 定 に L < 係 は る 指 部 定 確  $\mathcal{O}$ 停 認 止 検 を 查 命 機 関 ず ることが が 次 0 各号の で きる。 11 ず れ カゝ に 該当するときは、 その 指 定 を 取 ŋ 消 l 又 は 期 間 を

項 て は お 第六条 準 第 0) 七 八 条 規 条 用 7 のニ 準用 す 第 定 項 Ź の 二 に に  $\overline{+}$ 場合 違 項 お す 反 兀 に 11 る 第 L 第 を含む。 お て 場 匹 たとき。 準 合 項 11 1を含 若 項 用する場 7 から 準 しくは 用 む。 する場合を含 第三項まで、 合を含む。 第十八条の三 第 五 第七 項  $\widehat{\Xi}$ 条 む。 の 二 第七十七条の二十六、 れ 第三 5 第三 第七  $\mathcal{O}$ ` 項、 規定を第 条の 一項から 第七条 第七 兀 十七 第二  $\mathcal{O}$ 第六項まで 八 六第三 十七条第 項、 条の二十一 第七十七条の二十八から第 項 第三項 これ 第 項、 第二 八十 若 しく 5 第 項 七 0) 八 、は第六項 規定 条 +第七  $\mathcal{O}$ 七 を第八 兀 条 又は 十七条の二十二  $\mathcal{O}$ 兀 これ 第八 七 + 又 七 十七条の二 は らの 十八 条 第 0) 八 条第一 規 兀 + 第 定 又 八 + を は 条 第 九 項 項 第 第 若 若 の 二 八 八 + L +項 一まで < < 七 八 若 は は 条 条 L 又 第 第 0 第 < は 兀 は 項 又 項 前 項 第 は 若 に į 第 お 第 第 項 七 八 < 11 12

## 一 (略)

三 第 七十 七 条 0) + 兀 第 兀 項、 第 七 + 七 条 0) + 七 第三 項 又 は 第七 + 七 条 0) 三 +第 項 0) 規 定に ょ る 命 令 に 違 反 L た

## 四 (略)

五. 確 認 確 認 検 査 検  $\mathcal{O}$ 査 業  $\mathcal{O}$ 務 業 に 務 関 に 関 著しく不適当な行為をし L 著 しく不 適当な 行 為 をし たとき。 たとき、 又 は そ 0) 業 務 に 従 事 す る確 認 検 ||査員 若 < は 法 人に あ つ 7 は そ 0 役 員

が

#### 六 略

3 構 略 造 計 算 適 合 性 判

定業務規

程

第 算適 七 十七 合性 条の三十 判 定 務 五. 規  $\mathcal{O}$ 程」 + という。) 指 定構造 を定め、 計 算適合: 性 玉 土交通大臣 判 定 機 関 は 等 構  $\mathcal{O}$ 認可 造 計 を受け 算 適合 なけ 性 判 定の ればならない。 業務に関 す る規 これを変更しようとするときも 程 以 下この 節 に お V 7 造 同 様 計

とする。

2 3 略

**登** 

第 七 + 七 条の Ŧī. 十 八 建 築基準 適 合判定資格 者 検定に合格 した者 名は、 国 土 交通 大 臣 の登録を受けることが できる。

載 してするも 0 する。 2

前

項

 $\mathcal{O}$ 

登

録

は、

玉

土

交

通

大臣

が

建

築基準

適

合

判

定資格

者

登

録

簿

氏

名

生

年

月

月

住

正所その

他

0) 国

土交通省令で定

め

る

事

項

を

登

欠格 条項)

第七 + 七条の五 + 九 次 0 各 뭉 0 1 ず れかに該当 する者 は、 前 条 第 項 0) 登 録 を受けることができな

未 成 年

を受けること 禁錮以上 0 が 刑 なく に 処 な せら った られ、 日 か 又 5 は 起算 建 築基 して 準 Ŧī. 法 年 令 を  $\mathcal{O}$ 規定若 経 過 し しく な 1 は 者 建 築 士 法 0) 規 定 に ょ ŋ 刑 に 処 せ 5 れ、 そ 0) 執 行 を終 わ り、 又 は 執 行

三 第七十七 条  $\mathcal{O}$ 六 十二第 経過しない 一項 第四号又は 第二 項 第三 号 カゝ ら 第五 号まで  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ ŋ 前 条 第 項  $\mathcal{O}$ 登 録 を 消 除 さ れ そ 0 消 除 0 日 カゝ

第 項 第 号  $\mathcal{O}$ 規 定に により前 条第一 項 の 登 録 を 消 除さ れ、 まだその 期間 が 経 過しない 者

Ŧī. 建 築士 法 第七 条 第 四 |号に該当する者 兀

第

七 算

+

七

条

0)

六十二第二項第三号か

`ら第

五号までの

規定

に

ょ

ŋ

確

認

検

査

 $\mathcal{O}$ 

業務を行うことを禁止

一され、

そ

0)

禁

止

 $\mathcal{O}$ 

期

間

中

に

同

条

5

起

して五年

を

者

六 公 務員 で 懲 戒 免 職 0 処分を受け、その処 分 0) 日 から 起算 して三年を 経 過 L な V 者

第七  $\otimes$ + る 七 条の  $\mathcal{O}$ に 0 五. 十 て 九 は  $\mathcal{O}$ 第七 玉 十七条の 土交通大臣 五十八 は、 第 心 身 項  $\mathcal{O}$ 0) 故 **戸**障に、 登 録 をし より ないことができる。 確 認 検 査 一の業務 を 適 !正に行うことができない 者として国 土 交通省令で定

(変更の 登 録

第七 定 資 + 格 七 者 条 0 と 六 + 11 う。 第 七 は、 + 録 七 を申 当該 条の 請 登 Ŧī. L 録 な + 歌を受け け 凣 第 れば て 項 な ら 11 0) る事 な 登 V) 録 項 を受けて で 国 土 交通 V · る者 過省令で・ (次条及 定  $\otimes$ る び ŧ 第七十七条の 0) に 変更 が 六 あ 十二第二項 0 たと き は に お 玉 土 交 て 通 省 建 築 令 基 で 潍 定 め 適 ると 合 判

死亡 等 0) 届 出 ころ

ょ

ŋ

変

更

0)

登

七  $\mathcal{O}$ 定 旨 資 + を 格 七 条 届 者 . の が け 出 当 六 な 該 +け 各 号に れ ればなら 建 該当するに 築基準 な 適 合 至つ 判 定資格 た日 者 第 が 次 号  $\mathcal{O}$ 各 0) 号 場合に  $\mathcal{O}$ 11 ず あ · れ て か に該 は、 そ 当するときは、 0 事 事実を知 つた 当 月) 該 各号に定 から三十 め る 日 以 者 は、 内 に、 当 玉 該 土 建 交通大臣 築 基 準 適 に 合 そ 判

- 死亡したと き 相 続
- 第 七 + 七 条 0) 五. + 九 第二号、 第 五 一号又は 第 六 号に 該当 するに至 つたとき 本人
- 三 に 至ったとき 心 身 0) 故 障 に 本 ょ 人又はその法定代理 ŋ 確認検 査  $\mathcal{O}$ 業務を 人若 適 正 L に < 行うことが は 同 居  $\mathcal{O}$ 親 で き 族 な 1 場 合に 該 当するも 0) 7 玉 土 交通 省 I 令 で 定  $\emptyset$ る 場 合 該 当

登 録  $\mathcal{O}$ 消 除等

七 + 七 条の 六十二 玉 1土交通-大臣 は、 次  $\mathcal{O}$ 各 뭉  $\mathcal{O}$ 7 ず れ かに 掲 げる場合 は、 第 七十七 条の 五. + 八 第 項 0 登 一録を消 除 L な け れ ば な 5

な

- 本人 から 登 録 0) 消 除 0 申 請 が あ 0 たと
- 前 条 第 三 号 に 係 る 部 分を除 *\right\cdots* 次号に お 1 7 同 じ。  $\overline{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 規 定に よる 届 出 が あ つたとき。
- 三 前 条 0) 規 定 に ょ る届出がなくて同 · 条 第 号 又 は 第二 号 に 該 当 す る事 実 が 判 明 したとき。

不 正 な手段に ょ ŋ 登録を受けたと

兀

Ŧī. 第 五. 条 第 六 項 又 は 第五 条の二第二項の 規 定 に ょ り、 建 築 基 準 適 合 判 定資格 者 検 定  $\mathcal{O}$ 合格 0 決定を取 ŋ 消 されたと

- 2 うことを禁 玉 土 交 通 止 大 Ļ 臣 は 又 は 建 その 築基 登録 準 適 を消除 合判 定資格 すること 者 が が 次 できる。  $\mathcal{O}$ 各号  $\mathcal{O}$ 1 ず れ カコ に 該当 すると き は 年 以 内  $\mathcal{O}$ 期 間 を 定 8 て 確 認検 査 0) 業務を行
- 前 条 (第三号に 係 る 部 分に限る。 次号に お **(**) て 同じ。 0) 規 定に ょ る 届 出 が あ 0 たとき。
- 前 条 0) 規 定 に ょ る 届 出 が なくて同 条第三号 に 該当する 事 実 が 判 明 L た لح 」 き。
- $\equiv$ 第 + 八 条 の 三 第三 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に違 反し て、 確 認 審 査等 を 実 施 L たとき。

違

反したとき。

す

る

五. 確 認 検 査 0 業 務 に 関 L 著 į く不 適 当 な 行 為 を たと

道

知

事

経

3 玉 土 府 交 県 通 大 臣  $\mathcal{O}$ は 前 由 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 処 分 を L た き は 玉 土 交 通 省 令 で 定  $\Diamond$ るところ に ょ り、 そ 0) 旨 を 公 告 な け n ば な 5 な 11

第 七 交 + 通 七 大 条 臣  $\mathcal{O}$ 六  $\mathcal{O}$ 十 書 類 第  $\mathcal{O}$ 提 七 出 + は 七 条 住 0) 所 五. 地 +又 八 は 第 勤 務 項 地  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 登 都 録 道  $\mathcal{O}$ 申 府 県 請 知 事 登 を 録 経 証 由  $\mathcal{O}$ し 交 て 付 行 わ 訂 な 正 け 再 n ば 交 付 な 5 及 な び V 返 納 そ 0 他 0 同 項 0 登 録 12 関 す る 玉

2 登 録 知 証 事  $\mathcal{O}$ 交 経 付 及 び 再 交 付 そ  $\mathcal{O}$ 他 0 第 七 + 七 条 0) 五. + 八 第 項 0 登 録 に 関 す る 国 土 交 通 大 臣 0 書 類 0 交 付 は 住 所 地 又 は 勤 務 地 0

玉 土 交 通 省 令 0 委 任 道

府

県

を

由

L

7

行

う

ŧ

0

とす

第 七 付 +七 訂 条 正 0) 再 六 交 + 付 兀 及 び 第 七 返 + 納 そ 七 0) 条  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 五 + 同 八 項 0 か 5 登 録 前 条 に ま 関 す で に る 事 規 定 項 す は る 玉 Ł 土  $\mathcal{O}$ 交  $\mathcal{O}$ 通 ほ 省 カュ 令 で 第 定 七 8 + る。 七 条 0) 五. +八 第 項  $\mathcal{O}$ 登 録  $\mathcal{O}$ 申 請 登 録 証  $\mathcal{D}$ 交

手 数 料

2

る

第 七 七 定  $\Diamond$ +  $\mathcal{O}$ + 職 七 七 者 条 条 員 (T) で は  $\mathcal{O}$ 六 あ 六 玉 十 る +土 六 者 Ŧī. 交 を 通 除 構 第 < o 大 造 七 臣 計 + 0 算 七 は、 登 適 条 録 合 0) を 判 政 五. 受けるこ 定 令 + 資格 で 八 定 第 8 者 لح 検 る 項 とこ が 定 0) に できる。 登 . 合 ろ 録 に 格 又 ょ は L り、 た 登 者 録 又 実 証 費 は  $\mathcal{O}$ を 訂 れ 勘 正 لح 案 若 同 L L < 等 て 政 以 は 上 令 再 交付 で  $\mathcal{O}$ 定 知  $\Diamond$ 識  $\mathcal{O}$ る 申 及 額 び 請  $\mathcal{O}$ 経 を 手 L 験 を 数 ようと 料 有 す を す る 国 者と る に 納 者 L 8 て な 市 玉 け 町 村 土 n 交 ば 又 は 诵 な 省 5 都 令 な 道 で 府

 $\mathcal{O}$ 項 に 都 に 第  $\mathcal{O}$ 第 道 七 は 係 第 定 場 七 る 七 五. 府 第 +  $\mathcal{O}$ 号 合 +部 県 8  $\mathcal{O}$ て 五. 中 に 七 分 七 職 十 確 条 お 条 に 条 員 五 認  $\mathcal{O}$ 確 1  $\mathcal{O}$ 限  $\mathcal{O}$ て、  $\mathcal{O}$ 検 兀 認 六 る Ŧī. で +第 検 + + あ 査 第 八 五. 査 る 者を 一第二項 第二 第 لح 七 項 並 لح  $\overline{+}$ あ に び あ 項 除 項 七 る お に 0) る 条 第 1 及 لح  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ び 七 第 は て 第三 七 準 は 五. + 定 Ė ++用 とあ Ė 8 構 九 項 確 す 条 Ś て 第 認 造  $\mathcal{O}$ 条 同 兀 る 構 第 計 六  $\mathcal{O}$ 検 号、 0 査 造 五. 算 条 十 五. 第二 +は 業 計 条 適 三 九、 第 合 第 務 算 か 者 六 性 七 項 規 適 5 第 程 合 項 判 + に 前 性 又 定 七 係 条 七 読 لح 判 は 条 +る ま ٤,  $\mathcal{O}$ 部 で 4 定 第 七 あ 替える 五. る Ŧī. 分 0) 条 と、 É + 規  $\mathcal{O}$ 条 同  $\mathcal{O}$ 条 九 限 は 0 定 Ŧī. の 二 、 Ł 同 五. 第 る は +  $\mathcal{O}$ 構 項 第 前 九 と 造 第 項 項  $\mathcal{O}$ す 計 兀 項 第 第  $\mathcal{O}$ 0 七 規 号 に 算 五. 登 適 中 お 号 +定 録 第 七 中 は に 七 合 1 第 条 + 性 て 前 第 七 準  $\mathcal{O}$ 七 判 項 第 六 定 + 用 五  $\mathcal{O}$ 七 条 + t (T) す 条 登 +第 録 Ė 六 務 条 る を受け の二十 关 + 規 第 第 条 三号 項 五.  $\mathcal{O}$ 程 条 又 六 第 ٤, は 七  $\mathcal{O}$ 及 て + び 項 第 第 11 第 第 前 五. る 第 及 項」 者 条 条 七 七 び 項」 中  $\mathcal{O}$ + に + 第 と 七 0 七 と、 第二 者 あ 条 項 11 条  $\mathcal{O}$ て る 0 市 六 準 同 項 六 同  $\mathcal{O}$ + は 条 用 町 + 条 لح 村 第 す 第 第二 る。 第 あ 又 並 は る 項 び 項

建 審 査 会

政 七 庁 +  $\mathcal{O}$ 八 諮 条 問 に 応  $\mathcal{O}$ じ 法 て 律 に 規 定 0 法 す る 律 同  $\mathcal{O}$ 意 施 及 行 び に 関 第 す 九 る + 重 四 要 条 事 第 項 を 項 調 前 段 査 審 0 審 議 さ 査 せ 請 る 求 た に 対  $\otimes$ に す Ź 裁 建 決 築 に 主 事 0 を 1 置 7 <  $\mathcal{O}$ 議 市 町 決 を 村 及 行 び わ 都 せ 道 る 府 لح 県 لح に、 t 建 築 特 審 定 査 行

## 2 (略)

置

(既存の建築物に対する制限の緩和)

項  $\mathcal{O}$ 関 八 部 又 改 五. 十 第 第 第 出  $\mathcal{O}$ は 項 条 兀 に に す 八 分 五 五. 入 + る 口 条 に に 改 か 0) + + + お 係 六 そ + る 0) 限 築 八 八 11 技 お 条 大 5 兀 る。 条 て 後 条 規 第  $\mathcal{O}$ 条 条 部 術  $\mathcal{O}$ 11 0 分に 0  $\mathcal{O}$ 模 七 第 第 第 的 他 て 七 以 建 規  $\mathcal{O}$ 項 第 防 基  $\mathcal{O}$ 同 同 U 下 築 定 修 ま 項 項 項 火 限 準 避 条 第 物  $\mathcal{O}$ 繕 項 カコ 壁 る。 難 第  $\equiv$ で لح 適 又 b 等 施 条  $\mathcal{O}$ 又 カコ 第 第 0 第二 条 用 は は 5 五 五 第 12 号 0) 構 設 11 規定 を受け 大規 関 う。 及び 及 に 造 第 第 + 十 + する 第三十 兀 お 六 九 五. 項 方  $\equiv$ び 項 排 法 模 +条 項 第 に 11 条 第一 二号 より 第 第 て  $\mathcal{O}$ 八 ま 技 並 煙 が な ま で、 - 六条 条第 で、 八 同 政 11 模 術 び 設 原備に関 第二十 ľ 項 項 に 令 建 様 的 に + 第六十分 掲げる で 築 替 若 第 六 基 第 同 しく 準 定 物 項 第 条 五. 以  $\overline{+}$ 若 条、  $\mathcal{O}$  $\otimes$ に 五. 十 条 す  $\mathcal{O}$ 条は と 規 る +る 基 0 下 L \_\_\_  $\mathcal{O}$ 五. 九 条、 < 第 V) 防 第二 定 基 11  $\mathcal{O}$ 六 条 技 準 第  $^{\sim}$ う。 =条 第 に 準  $\mathcal{T}$  $\mathcal{O}$ 火  $\bigcirc$ 術 に は 項、 当 壁 条 第 敷 十 項 カコ に 第 第 的 係 及 カコ 適 該 五. 及 地 基 る に 項、 に 政 項 + わ 合 び 項 第 び 内 準 部 お 5 す 令 次 若 六 係 防  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 分 1 · 条 に ず、 うち る で 規 +第 条 る に 第一 し 火 避 て 場 定 < 第 区 限 定 五. 部 難 準 条 する。 上及 第 十二条 合 は 分に  $\otimes$ お + 政  $\mathcal{O}$ 画 用 -項 、 政令で定 第二 六 る に 適  $\mathcal{O}$ す れ 11 項若 限 条 設 5 限 範 て 用  $\mathcal{U}$ る の 二 第 項 第二  $\mathcal{O}$ る。 开 を る。 置 消 場 規 内 増 受 L 及 火  $\otimes$ 第三十条、 合 第 定 に 築 け 第 < 項 び 上 る 項 を 等」 · は 第 に 六 若 構 必 Ł 含 お な は + 要な 造 0) む。 お 11 項 第 第二十三 11 L 四 と に関 7 < 適 11 建 (次項 条、 項 十三条 増 は 用 て 11 築 第 通 第三十四 以 う。 は 物 五. 第 す 路 L 築 下 んる技 及び 一条、 第六 文 第 七 な に +に  $\overline{\phantom{a}}$ 六 第 関 0 七 項 0) 第 は ٧V 十 二 第二十 をする場 +改 条 術 す 第 条第二項 条、 る 築を 的 条 て  $\mathcal{O}$ 第 項 八 条 条、 の 二 兀 +第 政 五. 基 技 次 す 令 第 準 術 七 第 十 五 条 項 る 第 合 で 第 三 兀  $\mathcal{O}$ 的 条 条 場 第 第 定 六 条 + う 基 か 項 第 \_\_\_ 第 第三 四 + 項 兀 5 合 8 準 5 第 八 若 条 +に る 七 第 政  $\mathcal{O}$ 項 第 + 号 あ 条 範 条 し 五. 項 第 令 う に 五. 七 及 0 第 囲 第 < +若 で 5 お 条 + 条 び て 内 は 七 項 定 政 L 1 七 及 項 項 第二 < 8 て 同 第 に 令 び は 条 条 兀 若 0 ま お  $\mathcal{O}$ は 第 で 条 第 る 階 項 兀 뭉 当 規 第 ŧ 定 0 八 L 五 Š 12 + + 該 定 7 第  $\mathcal{O}$ 8 段 増 に 増 は 七 る 等 段 係 第 項 七 次 る ょ 項 条 Ł 条

# 2~4 (略)

公

共

事

業

 $\mathcal{O}$ 

施

行

等

に

ょ

る

敷

地

面

積

0

減

少

に

0

V

て

 $\mathcal{O}$ 

第

条

等

 $\mathcal{O}$ 

規

定

 $\mathcal{O}$ 

準

用

第 は  $\mathcal{O}$ 条 敷  $\mathcal{O}$ 地 九 又 は 第 現 三 に 条 第 建 築、 項 修 及 繕 び 若 第 項 < は 第 模 様 替 号 0) 及 工 び 事 第 中  $\mathcal{O}$ 号 建 を 築 除 く。 物 若 Ļ <  $\mathcal{O}$ は 規 そ 定 0) は 敷 地 次 が に 掲 当 げ 該 る 事 事 業 業  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 施 施 行 行 に  $\mathcal{O}$ ょ 際 るこ 現 に れ 存 す 5 0 る 建 建 築 物  $\mathcal{O}$ 若

敷

替 条 合 地 え 例 面  $\mathcal{O}$ な 積 規  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 定 部 減  $\mathcal{O}$ 分 少 す 施 を に る 行 有 ょ り、 又 す る は に 適 用 至 0 法 0 た場 とあ 律 若 合に る L  $\mathcal{O}$ < は、 はこ 0 て準 れ 第 に 八 用 基 +す づ رِّ چ < 六 条 命 ح 0 令  $\mathcal{O}$ 若 九 場 第 L 合に < 項 は 各号 お 条 V 例 て、 に 0 掲 規 げ 同 定 る事 項 に 第 適 業 三 合 号 0 L 中 施 な 行 この ことと に ょ 法 る 建 律 な 築 又 0 は た 物 場  $\mathcal{O}$ 合 敷 れ 地 に 面 基 は づ 積 < れ 0) 減 6 命 令 0 少 若 規 لح 定 読 < に 4 は 適

る 都 土 市 地 計 収 画 用 事 法 第三 業 又 は 条 各号に れ 5 0) 掲 事 げ 業 る に ŧ 係  $\mathcal{O}$ に る 土 関 す 収 る 用事 法第 業若 + L 六 < 条 は 都 に 規 市 定 計 す 画 る 法 関  $\mathcal{O}$ 規 連 定 事 に ょ ŋ 土 地 を 収 用 若 は 使 用 す が で き

そ 0 他 前 号 0) 事 業 に 準 ず る事 · 業で 政 令 で 定 地 8 る t

#### 2 略

る

ŧ

と

用 途  $\mathcal{O}$ 変 更 に 対 す るこ  $\mathcal{O}$ 法 律  $\mathcal{O}$ 準 用

第 で及 除  $\mathcal{O}$ 八 用 十 لح び 途 七 第 あ 条 相 る + 互 0 兀 第 間 建 は 項 六 に 築 か 条 お 物 5  $\mathcal{O}$ け  $\mathcal{O}$ 第 兀 用 建 る 築主 ŧ + 途 第 六  $\mathcal{O}$ を 項 で 変 事 あ 更 に 項 ま 第一 る場 で L 届 け  $\mathcal{O}$ て 号及び 合を除 第六 規 出 派定を 準 なけ 条 く。 第 第 れ 用 ば 号 な す 項 5 る。 に 第  $\mathcal{O}$ な 建 お ح <u>ر</u> ۲ 築 11 묶  $\mathcal{O}$ 物 7  $\mathcal{O}$ لح 場 に は 特 読 合 係 殊 に る 4 建 同 替えるも お 部 条 築 分に限 11 物 第 て、  $\mathcal{O}$ VI 項、 る。  $\mathcal{O}$ 第 ず لح 七 れ す 条 第 か ` 五項 る 第 لح す 第 る場 項 七 及 条 中 び 第 第 合 建 六 (当 項 項 築 主 並 を 該 事  $\mathcal{U}$ 除 用 < °  $\mathcal{O}$ に 途 検 第  $\mathcal{O}$ 查 +変 八 更 を 申 条 第 が 請 第 六 政 条 令 な 項  $\mathcal{O}$ で か け 指 n 6 定 第 ば 第 す な る 6 項 項 類 を

#### 2 4 略

建 築 設 備 0 準 用

第 条 を 用 八 る に 除 は 係 0 す +兀 る は る 同 七 場 ŧ 第 項 条 合  $\mathcal{O}$ 及  $\mathcal{O}$ そ に び 項 を 第 兀  $\mathcal{O}$ あ 第 第 第 含 八 受 0 八 六 む +政 理 7 + 号 条 七 令 九 及 条 で は 0 L び 兀  $\mathcal{O}$ 第 指 そ 条 た 第二号 規定 日 0 カゝ 定 受理 第 項 する 5 か 第 に に 5 九 項 昇 七 L  $\mathcal{O}$ ょ お た + 建 第 る 降 日 1 日 条 通 て 機 以 築 内 0) 号 準 物 そ カコ 知 に 三 ら を に 及 用  $\mathcal{O}$ 要 三 ま 係 び す 他 と +第 で る す る  $\mathcal{O}$ 読 五.  $\mathcal{O}$ 部 る 場 建 分に 場 規 号 合 築 4 日 合 替 定 以  $\mathcal{O}$ を 設 含 える 内 を 限 建 を 備 準 る。 に、 築 除 む。 を き、 ŧ 用 物 第 0) 同 す に 六 とす る。 第  $\mathcal{O}$ 係 項 条 第 る部 規 六 第 第 うる。 定に 兀 七 条 分に 号 0 条 項 ょ 場 第 に  $\mathcal{O}$ 第 係 合 六 限 る に る。 項 号 確 る Ł お 第 認 カコ 又 は + 第 5 0 1 ` て、 八 第 に Ŧī. 条 第 項 第 あ 第六 十八 号 って 及 七 (第 条 び ま 条第 は 兀 か 第 で 条 第二 5 六 そ 項 四 項 0 第 カン 掲 を 項 受 項 5 七 げ 理 中 第 除 条 る (第 <  $\mathcal{O}$ 建 L 十 同 兀 八 築 た +項 ま 物 日 項 か 第 ま で、 七 に 5 で 第 条 設 七 号 及 第 六 第 け か び 七 条 る 日  $\mathcal{O}$ 以 5 第 条 項 場 第三 に 内 0 合 + 五 お ( 第 五 11 お لح ま 項 第 三 て を 六 項 淮 7

 $\widehat{\pm}$ 

作

物

 $\mathcal{O}$ 

準

用

な ま 似

+ る 物 係  $\mathcal{O}$ 第 建 る 部 j 築 基 兀 条 以 る + + 5 号 準 0 分 外 部 物 分、 そ 八 項 五. 規  $\mathcal{O}$ 第 に に 及  $\mathcal{O}$ 分 政 条 項  $\mathcal{O}$ 条 لح 定 令 規 限 認 に  $\mathcal{O}$ 係 び そ 他 を、 +あ 定 る。 証 限 で る 第 0 第 る を 兀 型 る 定 部 他 五. れ 穾 0 準 昇 条 式 め 第 分 号  $\mathcal{O}$ 項 5 は 用 降 第 に る + に 0) ŧ 及 部 に 広 機 係 ŧ 八 限 建 す 0 び 類 材 告 第三十 る。 等 項 等 条 る。 に 第 る 0 築 す 塔 部 る 政 に 物 に 0 六 (第 分に 係 係 7 令 0 に 項 Т. 三十 で  $\mathcal{O}$ 1 る 七 係 て 作 る 兀 を 定 場 て 限 部 条 部 項 る は 除 物 水 は、 る。 め 六 八 合 分 か 部 同 で 分 る に 条 に 第 に 条 ŧ 政 5 項 分 技 第 限 に お 限 第 か 第  $\mathcal{O}$ 令 擁 **全**  $\bar{+}$ る。 る。 十三 限 5 術 11 七 兀 لح で 壁 第八 る。 て、 降 Ļ 的 条 八 指 そ 第 号 0) 機 条、 項 基 + 0) 定  $\mathcal{O}$ 六、 第二 + 準 に ま 建 す 他 第 第三 係 六 第 第 条 築 で る +匹 第 条 及 لح る 八 ま 第 物 項 b れ +で、 + = 部 読 条  $\mathcal{O}$ ++ び 七 に 及 b 4 第 分 七 六条、 第 条 係 てド に \_ 条 、 替 条 第 第 か る 第 以 に 条 類 二十 限 + え 項 第  $\mathcal{O}$ 第 5 部 兀 下 す する。 る 第三 第 中 項 七 兀 項 分 る 章 に 項 条 七 £ 項 第 は  $\mathcal{O}$ 工 十三 第二十 次 か  $\mathcal{O}$ を 項  $\mathcal{O}$ 第 条 限 作  $\stackrel{\cdot}{=}$ 及 5 項 昇 と  $\mathcal{O}$ 除 五.  $\mathcal{O}$ る。 に 物 -条 、 す 各 第 び く。 項 兀 降 お で 第 (第 第三 · 条 に 11 る 号 兀 ま 機 政 ( 第 第三 で、 項 六 等 て に 令 係 +++ 第 ま に 掲 で で、 る 部 +第 号 昇 七 八 八 第 六 指 げ 0 条に <u>-</u>+ 条 兀 条 る 条 を 七 11 降 定 分に の 二 の 二 第 建 条 除 条  $\mathcal{O}$ て 機 す 条、 十二条 第一 係  $\mathcal{O}$ 築 は 等 る +物 る 限 第 五. t 第 る。 同 部 第二 項 第二 لح  $\mathcal{O}$ 0 第六 0 分に 区 及 項 V 条 及 + 分に 第 項 第 び 項 う。 第 75 限 に 八 第 条 を 昇 る。 号 応 第 第 号 + 条 六 除 9  $\mathcal{O}$ 降 じ、 + 八 項 及 11 六  $\mathcal{O}$ 兀 く。 かに 機 び + 7 条 第 か 6 0 ` そ 条 六 第 は 6 第 11 ウ れぞ  $\mathcal{O}$ 前 条 避 同 第 項 7 オ 条  $\mathcal{O}$ 号 同 雷 条 九 第 第 号 は Ì れ 及 七 に 項 設 各 項 六 ま タ 当 び 次 第 掲 に 号 ま 号 条 で 備 第 で、 該 0) 第 げ 規 に 及 シ 条 及  $\mathcal{O}$ 並 各 項 定 兀 + る てバ 掲 75 建 条 ユ 号 八 基 す 昇 げ び 第 第 築 第 る 第 に 条 に 進 降 る + 物 第  $\vdash$ 号 第 第 機 基 定 に 建 に 六 九 係 築 条  $\mathcal{O}$ 項 係

七 ŧ ま 製 で、 並 + 項 造 ま 第 び 施 で、 条 か に 0 項 6 第 第 七 設 第 第 第 六 十 条 第 九 兀 第 第 九 + 五.  $\mathcal{O}$ 貯 + + 兀 項 条 条 項 蔵 項 + ま 0) 0) 及 施 九 条 八 で、 第 び 条 並 設 第 七 び 第 0 条 か 条 に 兀 第 第 游 5 0 第 項  $\mathcal{O}$ 第 八 + 項 戱 項 規 六 +八 六 施 五. は 六 条 定 + か 第 か 設 を 八 6 条 六 5 第 等 (第 準 条  $\mathcal{O}$ + 条 第 第 0 項 用 ま 0) 条 兀 九 工 +七 で 項 作 す 兀 第  $\mathcal{O}$ 条 第 る。 項 物 及 第 か  $\mathcal{O}$ 三 号 で び ま 項  $\mathcal{O}$ 5 第 項 第 ま カュ 政 で、 十三 で、 第 第 6 令 0 六 及 場 で + び 第 兀 兀 第 合 八 第 兀 +項 項 第 指 に 条 + 八 ま 뭉 定 五. 十 第 で お  $\mathcal{O}$ 項 九 条 ま す 条、 る に 条 第 六 及 で 11 + び Ł て、 第 係 カコ 0 第 5 項 第 建  $\mathcal{O}$ る 条 十 二 に 項 0 築 第 部 第 カコ +六 に 分 五. 6 九 物 0 11 条 係 に 十 第 第 項 条 に 第 限 + か 第 係 7 る 三 部 条 兀 項 5 る。 五. は る 第 項 ま 項 部 分 項 分に ま 第 <u>二</u> 十 第 及 に (第 限 で び 六 三 三項 条 る。 三号 別 及 + 限 八 六 び る。 表 八 ぼまで + 第 第 + 第 条 を 除 七  $\mathcal{O}$ 六 条 五. < o 中 を 前 条 0) + 条 除 第六 第 第 「床 条 ( 第 く。 条 第 項 に 項 及 条 面 次 び 項 項 係 及  $\mathcal{O}$ 積 条、 第 第 る び 0 合 兀 部 第 第 第 第 第 六 計 九 +六 分 五. 兀 項 第 五. +八 + に 項 + か 項 と 条 条 限 八 5 項 及 あ 第 0) 第 条 第 を び 条 る 六 カュ 九 第 る 除 + 第 項 6 六  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 項 項 八 は 九 カコ 第 ま 条 で、 5 第 Ŧī. を 兀 0 第 八 + 除 +項 + <

2

面 積 と、 第 六 + 八 条  $\mathcal{O}$ 第 項 中 敷 地 構 造 建 築 設 備 又 は 用 途 لح あ る  $\mathcal{O}$ は 用 途 読 4 替 え る Ł  $\mathcal{O}$ す る

3 • 4 (略)

(工事現場の危害の防止

第九十条 (略)

2 (略)

3 係 る 部 分 条 を 第 除 く。 項 及 び 並 第 び に 項 第 + 第 八 九 条 条 第 第 項 + 及 三 び 項 第二 及 び +第 五. + 項 兀  $\mathcal{O}$ 項 規 を 定 除 <\_ は 第 項 第 九  $\mathcal{O}$ 工 条 事  $\mathcal{O}$ 0 施 第 工 九 に 0 条 0 7 準 用 設 す 計 者 及 び 宅 地 建 物 取 引 者

工 事 中 0) 特 殊 建 築 物 等 に 対 す る 措 置

第

当 さ 九 他 安 該 + れ 全 建 て 条 上  $\mathcal{O}$ 築 11 物 る 防  $\mathcal{O}$ 第 火 建 六 特 上 築 条 定 主 第 行 又 又 政 は は項 庁 澼 第 は 難 所 有 上 者、 号 第 必 カゝ 九 要 条又 な 管 5 措 理 第 者 は 置 号 若 を 第 採 し ま 十 < で 条 ること は  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 占 建 規 を 有 築 定 命 者 物 に ず に が、 ょ ること る 対 場 安 L て、 全 合 が 上  $\mathcal{O}$ で 相 ほ きる 当 防 か  $\mathcal{O}$ 火 猶 上 建 又 予 築 期 は 限 避 修 難 を 繕 付 上 若 け 著 L < て、 L < は 支 当 模 該 障 様 建 が 替 築 あ 又 る 物 は لح  $\mathcal{O}$ 除 使 認 却 用  $\emptyset$  $\mathcal{O}$ 禁 る 工 止 場 事 合  $\mathcal{O}$ 使 に 施 用 お 工 制 中 限 て 12 そ は 使 用

2 (略

第

工 事 中 に お け る 安 全 上  $\mathcal{O}$ 措 置 等 に 関 す る 計 画  $\mathcal{O}$ 届 出

九 上 お ŧ 又  $\mathcal{O}$ + 11 は 7  $\mathcal{O}$ 条 避 新 0) は 難 築 上 当  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 該 工 别 措 建 事 表 置 築 又 第 に 主 は 関 は こ (い) す ħ 欄 る 玉 5  $\mathcal{O}$ 計 土  $\mathcal{O}$ (-)項 画 交 建 を 通 築 (二) 項 作 省 物 令 に 成 で L 係 及 て る 定 び 避 (四) 特  $\Diamond$ 定 る 難 項 とこ 行 施 に 政 設 掲 ろ 庁 等 げ に に に る 届 ょ 関 用 り、 す 途 け る に 出 あ 工 供 な 事 け 5 す n カコ  $\mathcal{O}$ る ば じ 施 建 な  $\emptyset$ 築 工 中 物 ら な 当 に 並 該 お び 工 11 12 事 7 地 当 0 下 該 施  $\mathcal{O}$ 建 工 工 中 築 作 に 物 物 を 内 お 使 け に 用 る 設 当 し、 け 該 る 建 又 建 築 は 築 物 使 物 0) 用 で 安 さ 政 全 令 せ る で 場 定 合 防 8 に 火 る

許 可 又 は 確 認 に 関 す る 消 防 長 等  $\mathcal{O}$ 同 意 等

第

九

2

外

はは

 $\mathcal{O}$ 消 確 十 防 認 +区 域 署 に 長 七 条 又 条 内 長 係 は  $\mathcal{O}$ に 0 る 特 消 兀 お 同 建 定 防 に け 意 築 行 署 る を 物 政 お 庁、 得 長 住  $\mathcal{O}$ 11 宅 工 は 7 な 準 け 事 建 長 前 用 れ 施 築 す 屋 ば 主 項 工 る 事  $\mathcal{O}$ 地 規 第 共 又 又 定 六 同 該 は は に 条 住 許 指 所 宅 ょ 第 可 在 定 0 そ 又 地 確 て  $\mathcal{O}$ 項 は を 認 同 若 他 確 管 検 政 認 轄 意 L 査 を 令 を す 機 求 は で す る 関 る こ  $\Diamond$ 第 定 消 は 5 六  $\otimes$ 防 لح 条 る 長 れ が 住  $\mathcal{O}$ た  $\mathcal{O}$ 場 宅 で 消 法 を 合 第 き 防 律 に な 除 本  $\mathcal{O}$ ? ? *١* ، お 項 部 規 71  $\mathcal{O}$ を 定 規 た 置 て に で だ 定 ょ は カュ に あ な る 許 当 ょ る 11 場 該 る 確 市 可 又 建 確 合 認 町 認 又 に は 築 村 物 は を 係 に 確 0 す 建 る あ 認 る 築 建 計 0 を 築 場 主 て す 画 合 事 物 が は る 若 場 法 が に 律 防 合 お L 市 < 又 1 火 町 に 村 は 7 は 地 お は 指 域 長 11 れ 定 及 7 確 び 以 に は 準 認 基  $\mathcal{O}$ 下 づ 防 当 限 同 検 火 U n 杳 該 命 で 機 地 許 令 な 関 域 可 11 が 以 又 又

\ \ \ 同 違 司 大 規 意 項 反 該 模 を L 0 は 特 求  $\mathcal{O}$ な 規  $\mathcal{O}$ 条 定 場 8 1 定 模 例 行 合 6 ŧ に 様  $\mathcal{O}$ 政 に n 0) ょ 替 規 庁 お た で ŋ 若 定 V 日 あ 読 L て < 建 る 建 カ 4 築主 لح 替 6 は 築 き 消 七 主 え 用 事 は 防 日 7 事 途 又 以 適 長  $\mathcal{O}$ 又 は 又 内 同 用 変 は は 指 に 項 さ 更 指 消 同 又 定 第 れ 定 防 兀 は 確 意 る 確 署 号に 認 を 第 同 認 与 長 六 項 検 検 ムは、 査 え 係 条 第 查 機 7 る 第 機 三 関 同 そ 場 号 関 に 意 0) 合 項に が 通 す 旨 に  $\mathcal{O}$ 掲 第 るこ 知 を あ 政 げ 六 当 L 0 令 る 条 لح 該 て な で 建  $\mathcal{O}$ が 特 け は 定 築 兀 定 で n 物  $\emptyset$ 第 き ば 行 同 る  $\mathcal{O}$ な な 政 意 建 建 項 **歩庁、** 5 11 を 築 築 第 な 事 求 基 に 建 準 号 由  $\otimes$ 11 0 築 5 法い 若 が 主 令 あ n て L 確 る 事 た  $\mathcal{O}$ < لح 又 規 日 認 は 認 は 第二 か 定 す 8 指 を る 5 ると 場 号 定 除 合に に く。 確 日 掲 き 認 以 は 内 げ 検 お に、 で る 査 V 建 て 建 機 そ 築 関 同 築 れ ら に  $\mathcal{O}$ 物 意 物  $\mathcal{O}$ 通 他  $\mathcal{O}$ を 0 期 知  $\mathcal{O}$ 防 求建 限 L 場 火  $\otimes$ 築 内 な 合 5 関 け に に れ 規 ħ あ す た そ る ば 0 模  $\mathcal{O}$ な て ŧ き  $\mathcal{O}$ 事 5 修 は  $\mathcal{O}$ は 由 な 繕

3 規 定 に 六 ょ + 0 八 T 条 同  $\mathcal{O}$ 意 を + 求 第 8 項 5 n (第 た場 六 合 + に 凣 条 行 う 0 審 査 +に 第 0 11 7 項 進 に 用 お す 11 7 る 準 用 す る 場 合 を 含 む。  $\mathcal{O}$ 規 定 は 消 防 長 又 は 消 防 署 長 が 第 項  $\mathcal{O}$ 

4 る 防 る 通 確 0 建 長 認 規 知 築 に を 定 主  $\mathcal{O}$ 受 に 事 通 申 知 け 請 ょ 又 L た を る は な 場 受 確 指 け 合 け 認 定 た 申 n に 確 ば お لح 請 認 き又は な 書 検 を受理 て 5 査 は、 な 機 関 第 11 遅 + L は たとき 滯 八 条 第 な く 第 若 項 項 L た だ < れ (第 は を L 当 八 第 書 該 +六  $\mathcal{O}$ 申 七 条 場 請 条  $\mathcal{O}$ 合 第 に 又 第 は お 項 通 11 又 項 7 知 に は 第 係 第 第 六 八 八 条 る 建 + + 第 築 七 七 物 条 条 項 0  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 第 工 兀 几 事 に に 八 +施 お お 七 工 11 11 地 7 て 条 潍 潍 又  $\mathcal{O}$ は 用 用 兀 に 所 す す る 在 る お 場 地 場 1 を 合 合 7 管 を を 準 轄 含 含 用 す む む す る る 場 消 防  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 合 規 規 長 を 定 又 定 含 に に は む 消 ょ ょ

11 昭 に に 合 通 ょ 7 和 建 を る 含 準 兀 知 築 主 用 + L 通 む な 知 す 五. 事 け を る 年 又 れ 受  $\mathcal{O}$ 場 法 は ば け 規 合 律 指 な た 定 を 第 定 b 場 に 含 確 合に +な ょ 認 む 号) る 検 お 確 査  $\mathcal{O}$ 第 1 認 機 規 関 て  $\mathcal{O}$ 定 条 申 は は 請 に 第 第三 遅 を ょ 受 る 項 滞 け +な 確 に た場 規 < 認 定 条  $\mathcal{O}$ ح 申 す 合 第 る n 又 請 を は 書 特 項 当 第 を 定 に 該 +受 建 規 理 八 築 定 申 物 請 条 す L 第一 に 又 た る 場 該 は 屎し 当 通 項 合 尿 す 知 浄 第 第 る に 化 八 六 建 係 槽 +築 る 条 又 建 七 物 は  $\mathcal{O}$ 築 条 に 建 物 第 第 関 築  $\mathcal{O}$ 物 L て、 工 項 項 12 事 に お 第六 第 施 お け る 工 V 八 地 て +条 衛 準 第 生 又 七 用 条 的 は す 第 項環 所 在 る 境 第 地 場 項  $\mathcal{O}$ を 合 に 八 確 管 を お + 保 含 七 轄 に 11 す 関 む 7 条 第 進 る す 用 る 保 項 健  $\mathcal{O}$ す 法 規 る に 律 所 長 定 場 お

5

6 確 認 検 健 査 所 機 長 関 は に 必 対 要 L が 7 意 あ ると 見 を 認 述 べ 8 ること る 場 合 が に で お き V 7 は  $\mathcal{O}$ 法 律  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 許 可 又 は 確 認 に 0 11 て、 特 定 行 政 广 建 築 主 事 又 は 指 定

書類の閲覧)

第 九 る 書 類 条  $\mathcal{O}$ Š ち 特 当 定 該 行 処 政 分若 庁 は 確 は 認 報 そ 告  $\mathcal{O}$ に 他 係  $\mathcal{O}$ る 建 建 築 築 基 物 準 若 法 令  $\mathcal{O}$ は 規 建 定 築 物 ょ  $\mathcal{O}$ る 敷 処 地 分 並  $\mathcal{O}$ 所 び 有 に 者 第 管 理 条 者 第 若 項 L < 及 は び 占 第 有 者 項 又  $\mathcal{O}$ は 規 第 定 者 ょ 0 る 権 報 利 告 利

不 当 侵 害 す る お そ れ が な V £  $\mathcal{O}$ لح L 7 れ 玉 ば 土 交 通 省 令 7 定  $\Diamond$ る ŧ 0 に 0 1 て は 玉 土 交 通 省 令 で 定 8 る ところ に ょ ŋ 閲 覧 0 請 求

不 服 申 立 て

が

あ

0

場

合

に

は

n

を

閲

覧

さ

せ

な

け

な

5

な

第

た 員 す 定  $\mathcal{O}$ 検 定 九 又 る。 市 兀 検 構 査 行 適 十 町 又 機 兀 査 は 造 政 合 関 庁 計 村 は 性 機 都 条 関 道  $\mathcal{O}$ 算 又 第 で 判 に 府 場 適 は 八 あ 建 定 建 県 合 合 都 + る 築 機 築 指 知 に 性 道 八 場 主 関 基 定 事 お 判 条 合 事 府  $\mathcal{O}$ 準 構 で 定 県 第 若 処 V に 法 あ 诰 あ て、 機  $\mathcal{O}$ L 分 令 る場 くは 項 計 関 建 又 0  $\mathcal{O}$ 若 7 は 算 不 に 築 規 適 合 作 そ 審 は そ L 建 定 に  $\mathcal{O}$ 合 為  $\mathcal{O}$ 査 < 当 築 に に 監 性 あ 構 숲 は 該 不 ょ に、 判 造 処 視 作 0 0 第 る 7 分又 定 VI 計 員 為 特 項 指 又 機 は て 算 に 定 関 当 適 定 に は は  $\mathcal{O}$ 0 行 構 で 該 審 合 お 不 都 11 政 あ 市 査 性 造 1 作 道 て 庁 町 判 計 府 る 請 7 為  $\mathcal{O}$ 場 準 審 村 求 定 算 に 県 建 合  $\mathcal{O}$ は を 適 用 係 知 査 築 に 長 行 す る 事 請 合 主 又 建 で あ 建 わ 性 る 求 事 は 場 0 築 せ 判 築 あ は 若 審 て 都 た 定 合 物 る 道 査 都 又 場 は 機 を 行 < 含 当 会に 関 は 合 府 道 政 は 該 県 府 で む 工 に 不 建 指 知 代 県 あ 作 あ 服 築 事 え 知 る 物 0 監 定 審 に、 構 て、 事 場  $\mathcal{O}$ に て 査 視 合 規 は 造 が 法 0 員 定 計 指 当 統 に 11 当 第 該 括 該 算 定 あ に 7 兀 都 適 確 不 す ょ 第 市 条 0 道 作 る て る 六 町 合 認 第 府 は 確 性 検 為 都 条 村 県 号 査 庁 道 認 第 判 第 又 知 を は に 定 機 + が 府 事 関 県 す 項 都 規 機 八 関 で 特  $\mathcal{O}$ 条 る 道 定 指 第 定 建 に あ  $\mathcal{O}$ 権 府 す 定 対 る 築 限 八 県 る 行 確 場 +処 L 政 審 第 を  $\mathcal{O}$ 認 て 合 建 庁 査 有 七 分 検 す 築 に 会 項 す 条 庁 査 る あ 建 に  $\mathcal{O}$ る 第 審 又 機 0 築 対 規 建 査 は 関 て 主 L 定 築 項 会 不 又 に、 ŧ は 事 て に 主 作 は 当 す 第 為 で ょ 事 指 が き 該 建 る 1) 八 庁 指 定 る。 当 置 + 指 築 t 定 が 構 該 監 七 浩 定  $\mathcal{O}$ カコ 確 確 視 لح 指 n 条 認 特 計

3 2  $\mathcal{O}$ あ 他 5 建 定 建 築  $\mathcal{O}$ に 築 か じ 関 審 ょ 審 ŋ 係 8 査 査 人 会 不 会 又 審 は 備 は は 查 を 補 前 請 前 れ 求 項 項 正 す 前 人  $\mathcal{O}$ 6 ベ 裁 段 0 きこと 者 特 決  $\mathcal{O}$ 0 定 を 規 代 行 定 行 う場 を に 理 政 庁、 命 ょ 人 合 U る 0 建 に 出 た 審 場 頭 築 お 査 主 を 1 合 請 事、 求 T に 求 あ  $\otimes$ は が さ て、 建 0 築 行 て れ 公 監 政 は た 開 視 場 不 当 に 員 服 合 該 に 審 不 る 都 査 お 備 道 法 П 11 頭 府 第 が て 審 県 補 は 査 知 十 正 事 兀 さ 当 を 条 行 れ 該 指 た 審 わ  $\mathcal{O}$ 日 規 な 査 定 け 確 定 請 か 認 に 求 n ょ が ば 検 5 n さ な 査 当 5 月 れ 機 該 以 な 関 た 審 内 日 11 指 査 に、 **行** 請 定 構 裁 求 政 を 造 決 不 計 却 を 服 算 下 審 適 す な 査 け 法 合 る 場 れ 第 性 合 ば 判 十三 な 定 を 除 5 機 な 条 関 き 0

ょ

4 略

市 町 村  $\mathcal{O}$ 建 築 主 事 築  $\mathcal{O}$ 特 例

第 九 る。  $\mathcal{O}$ + 七 法  $\mathcal{O}$ 律 条 場 中  $\mathcal{O}$ 合 建 に 築 お 主 第 V 事 兀 7 条 0 は 権 第 限 項 に  $\mathcal{O}$ 属  $\mathcal{O}$ 法 す 市 律 る 以 中 t 外 建  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ لح 築 市 さ 主 又 事 れ は に て 町 関 村 11 す る に る 事 お 規 務 11 定 で て は 政 は 令 当 で 同 定 該 条 市 8 第 町 る 村 Ł 項 が  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 置 を 規 < 0 定 建 か に 築 さ ょ どら 主 る 事 ほ に せ カ 適 る 用 た 当 が 8 該 あ に、 市 る 町 建 ŧ 村  $\mathcal{O}$ 築 0 لح 主 長 す 事 0 る 指 を 置 揮 監 督 0 が 下 で

2 兀 条 第 項 及 び 第 兀 項  $\mathcal{O}$ 規 定 は 前 項  $\mathcal{O}$ 市 町 村 が 百 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ ŋ 建 築 主 事 を 置 場 合 潍 用 す る

3 項 0 規 定 に ょ ŋ 建 築 主 事 を 置 市 町 村 は 同 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ n 建 築 主 事 が 行 うこととなる事 務 に 関 す る 限 0 法 律 0 規 定

 $\mathcal{O}$ 適 用 は に 0 置 くこと 7 は、 が 第 で 兀 、きる」 条 第 Ŧ. とす 項 に る 規 定 す る 建 築 主 事 を 置 < 市 町 村 4 な す。  $\mathcal{O}$ 場 合 に お 1 て、 第 七 + 八 条 第 項 中 置 < لح あ る

- 4 当 ょ 該 ŋ 市 建  $\mathcal{O}$ 町 築 法 主 村 律 0 事 中 都 長 を に 置 道 関 < 府 す 市 県 Ź 知 町 規 事 村 定 0) た . る特 とし 長 が て当 行 定 なう 行 該 政 市 ŧ 庁 町  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 村 لح 権  $\mathcal{O}$ す 限 長 る。 に に 属 ح 適 す 用  $\mathcal{O}$ る が 場 事 あ 合 務 るも に で お 政  $\mathcal{O}$ 1 令 とす て で は 定 る  $\otimes$ る ŧ  $\mathcal{O}$ 法  $\mathcal{O}$ 律 は 中 政 都 道 令 で 府 定 県 知  $\Diamond$ 事 るところ た る 特 定 に 行 ょ り、 政 庁 に 第 関 す 項 る 0 規 規 定 定 は に
- 5 括 準 該 不 す 法 る 作 令 為 都 項  $\mathcal{O}$ に 道 規 0 係 府 定 規 る 県 に 定 市  $\mathcal{O}$ ょ に 町 建 る ょ 村 築 処 ŋ 審 分又はその 建  $\mathcal{O}$ 査 築主 長 会に に 対 事 対してする を L 置 てすること 不 作 < 為に 市 町 ŧ 0 村 ŧ  $\mathcal{O}$ 11  $\mathcal{O}$ と で て 長 **`**きる。 たる特 す  $\mathcal{O}$ る。 審 査 請 定  $\mathcal{O}$ 求 行 は、 場 政 合に 庁、 当 該 同 お 市 項 11 て 町 0) 村 建 不 に 築 建 主 作 築審 事 為 又 に は 査 0 1 会が 当 該 て 0) 特 置 定 審 か 行 査 れ 請 政 て 庁 求 11 が な は 命 11 と 建 じ き 築 た 審 は 建 査 築 会 当 監 視 該 代 市 員 え 町 0 7 村 建 を 築 当 包 基

特別区の特例)

第 す 九 法 律 る + 中 ŧ 七 建 条  $\mathcal{O}$ とさ 築 0) 主 三 事 れ に て 特 関 V 别 す る 区 Ś 事 に 規 務 お で政 定 1 ルは、 て は、 令 で 特 定 別 第 区 80 兀 が る 条 置 £ 第 <  $\mathcal{O}$ 建 を 項 築 0  $\mathcal{O}$ 主 か 規 事に さどら 定 に 適 ょ せるたい 用 る が ほ あ か、 るも 8 に、 特  $\mathcal{O}$ 別 と 建 区 築主 す  $\mathcal{O}$ る。 長 事 0 を置 指 揮 監 くことが 督 0) 下 できる。 に、 0) ک 法  $\mathcal{O}$ 律 場 中 合 建 築 に 主 お 事 11  $\mathcal{O}$ て は 権 限 に 0 属

- 2 揮 監 前 督 項 0)  $\mathcal{O}$ 下 規 に 定 建 は 築 主 特 事 別 区に · を置 置 くことを妨げる カゝ れ る 建築 主 ŧ 事 0)  $\mathcal{O}$ で 権 は 限 な に 属 L な 11 特 別 区  $\mathcal{O}$ 区 域 に お け る事 務 を 0 か さどら せ る た  $\Diamond$ に 都 が 都 知 事  $\mathcal{O}$ 指
- 3 なう 别 区 Ł 0) 0 長 法  $\mathcal{O}$ に لح 律 適 す 中 る。 用 都 が 道 あ ک 府  $\mathcal{O}$ 県 る ŧ 場 知 合 事 0 とす に た る特 お V る て 定 は、 行 政 ے 庁  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 法 権 律 限 中 に 都 属 する 道 府 県 事 知 務 事 で た 政 る 令 特 で 定 定 行  $\otimes$ 政 る 庁 Ł に  $\mathcal{O}$ 関 は す える規 政 令 定 で 止は、 定 8 特 るところ 別 区  $\mathcal{O}$ に 長 ょ に り、 関 す 特 る 規 別 定 区 لح  $\mathcal{O}$ L 長 て が 特 行
- 4  $\equiv$ 同 意 項 特 を 中 别 得 区 た場 協 が 議 第 合 兀 に な 条 お け 第 れ 1 て 項 ば 0 とす لح 規 あ 定 に る 0) ょ ŋ は 建 協 築 議 主 事 L を そ 置こうとする場 0 同 意 を 得 な 一合に け れ お ば け と る 同 同 条 第三 条 第 項 兀 項 及 中 び 第 っに 四 項 ょ n  $\mathcal{O}$ 協 規 定 議  $\mathcal{O}$ L て 適 用 と に あ 0 る 1 て 0 は は に 同 ょ 条 る 第

(事務の区分)

第九十七条の五 (略)

2 条 七 0 +条 第 第 兀 兀 項 項 に (第 お 七 1 て + 準 兀 用する場合を含 条 第 項 第 七 む。 + 六 条 0 第 七 第 +六 項 条 に お ( 第 七 て + 準 兀 用 条第 す る 場 項 合 及び を 含 第 む。 七 十六条 以 下  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 三 項 第 に 兀 お 項 に 7 お 同 ľ 1 7 準 用 及 す び る 第

条 +合を含 11 0 六 る 条 事 三 第 0 む。 務 匹 は 項 第 地 に 兀 方 お 項 自 11 に 七 **十**二 治法第二条第九項 て お 準 V 甪 て 条 準 する場 同 用 でする場 条第二 ※合を含い 合 第二号 項 む。 を含 0) 規 に 定 む 規 に  $\mathcal{O}$ 規定に 定する第二号 ょ ŋ 及 建 び より 築協 第 七 十三条第三項 定 市 書に 法定受託事務とする。 町 村 意見 ( 建 築 を 主 付 第 事 する事務 を 七 十四四 置 か に な 条第二項、 係 11 る部 市 町 対に限 分を除 第七 る。 +き、 五 第 条  $\mathcal{O}$ 七 が 処 + 理 第 几 す 兀 条 ることとさ 項 第 及 び 項 第七 及 び 十六 れ 第 七

 $\bigcirc$ 建 築 士 法 昭 和 +五. 年 法 律第二 百二号)

定 義

第二条 略

2 0 業 務  $\mathcal{O}$ を行う者を 法 律で 級 . う。 建 逆築 士 」 لح は 玉 土 交 通 大 臣  $\mathcal{O}$ 免許 を受け 級 建 築 士  $\mathcal{O}$ 名 称 を用 て、 建 築 物 に 関 設 計 工 事 監 理 そ 0 他

3 10 略

級 建 築士で な け れ ばできな い 設 計 又 は 工 事 監 理

る。 を新築 左 の 各 する 号に 場 掲 合に げ る建 お 築物 V) て は、 建 築 級 基 建 準 築 法 士 第 で 八 なけ +五. れば、 条第 そ 項 0 又は第二 設 計 又 は項 工 に 事 規定する応急仮 監理をしては なら 設建築物 な を 除 く。 以下こ 0) 章 中 同 様 とす

学校、 病院、 劇 場 映 画 館 観 覧場、 公会 堂、 集会場 オ ] デ 1 1 IJ ア ム を 有 L な 1 ŧ 0 を 除 < 又 は 百 貨 店 0) 用 途

木造 0) 建 築 物 又 は 建 築 物  $\mathcal{O}$ 部 分で、 高さが十三メ 1 ル 又 は 軒 0 高 さ が 九 メ 1 ル を 超 え る ŧ

建

築物で、

延

べ

面

積

が

五.

百

平

方

メ

]

1

ル

をこえるも

 $\mathcal{O}$ 

三 で、 鉄 筋 延 コ ン 面 ク 積 IJ が ] 1 百 造 平 方 鉄 メ 骨 造、 石造、 ル、 高 さが れ ん瓦 十三メ 造、 コ ン ク ル 又 IJ は 軒 1  $\mathcal{O}$ ブ 高 口 ツ が ク 九 造 若 < は ルをこえるも 無筋コ クリ 1 造 0 建 築物 又 は 建 築 物 0 部

兀 延 べ 面 積 が 千 平 方 メ Ì 1 ル をこえ、 且. つ、 階数 が二 以 上 0 建 築 物

三

1

 $\vdash$ 

1

1

さ

メ

]

1

2 略

 $\bigcirc$ 建 築 物 に お け る 衛 生 的 環 境 0 確 保 に 関 す る 法 律 昭 和 兀 + 五. 年 法 律 第 + 号) 抄

定

第 0 法 律 に お 1 て 特 定 建 築物」 と は、 興 行 場、 百 貨 店 店 舗 事 務 所 学 校 共 同 住 宅 等 0) 用 に 供 され る相 当 程 度 0 規

模

に

供

す

る

有 する 又 は 建 築 利 用 物 建 か 築 つ、 基 準 . 法 そ 0) (昭 維 持 和 管 + 理 五 に 年 0 11 法 て 律 第二 環 境 衛 百 生上 号) 特 に 第二条第 配 慮が 必 号に 要 な £ 掲 0) げ として政 る建築物 をい 令で定め · う。 るも 以 下  $\mathcal{O}$ 同 をい ľ . う。 で、 多 数 0 者 が 使 用

2 略

 $\bigcirc$ 行 政 不 服 審 査 法 平成二十六年 法 律 第六 -八号)

審 査 請 求 を す 、べき行 2政庁)

第 兀 に応じ、 条 審 当該各号に 查 請 求 は 定める行政庁に対してするも 法 律 (条例に . 基 づ < 処 分に つ 0) 7) とする。 て は、 条 例) に 特 別 0 定  $\emptyset$ が ある場合 を 除 < ほ か、 次 0) 各 号 に 掲 げ る 場 合 0 区 分

号) 同 じ。 処 分宁等 第 四 に上 + 九条第 級 行 分をした行政庁 政 項若 庁 が しくは ない場 一合又 第二項若しく 以 八は処 下 処 分 ?分庁」 庁 は 等 玉 が 家行 主任 という。 の大臣 政 組 織 若 又は 法 しく (昭 不 作 は 和 為に 宮 二十三年法律第百二十号) 内 庁 係 る行政 長 (官若し 庁 くは 以 内 下 | 閣府設| 不不 第三条第二 作 為庁」 置 法 平 とい 項 成 う。 に規 +定 年 す 法 を んる庁 律 第八十 う。 以 九 下

5 兀 (略)

あ

る

場

合

当

該

処

分分庁

審 理 手 続を 経 な 1 で する却 下 裁

第二十 で、 兀 第 条 兀 +前 五. 条 条 0) 第 場 合に 項 文は お *\*\ て、 第 兀 審査請求 +九 条 第 人 項が  $\mathcal{O}$ 同 規 条 定に (T) 期 間 基 づ 内 き、 に 不 裁 備 決で、 を補 正 当 L 該 な 審 11 査 ときは、 請 求 を却 審 下 査 一庁は、 すること 次 が 節 できる。 に 規定す る 審 理 手 続 を 経 な

2 審 查 請 求 が 不 適 法 で あ って 補正することが できないことが 明ら かなときも、 前 項と同じ 様 とする。

 $\bigcirc$ 地 方 自 治 法 昭 和 十二年法律第六十七号) (抄

第二条 地 方 公共 寸 体 は 法 人とする。

2 普 通 地 方公 共 寸 体 は 地 域に おける事務 及 び そ 0 他  $\mathcal{O}$ 事 務 で 法 律 又 はこ れ に 基づ < 政 令 に ょ ŋ 処 理 す ることとさ れ る ŧ  $\mathcal{O}$ を 処 理 す

を 処 町 理 す Ź ŧ  $\mathcal{O}$ لح す る。 って、

市 町 村 は 前 項 0) 規 定 に か カゝ わ 5 ず、 次 項 に 規 定する事 務 0) うち、 そ  $\mathcal{O}$ 規 模 又は 性質に お 1 て 般 0) 市 町 村 が 処 理 す ることが 適

4

3

市

村

は、

基

礎

的

な

地

方

公

共

寸

体とし

第

五.

項

に

お

11

て

都

道

府

県

が

処

理

す

る

ŧ

0) とさ

れ

て

11

る

ŧ

0)

を

除

き、

般

的

に、

前

項

 $\mathcal{O}$ 

事

る。

な 1 と 認 8 6 れ る t  $\mathcal{O}$ に 0 V て は、 当 該 市 町 0 規 模 及 び 能 力 に 応じ て、 れ を 処 理 す ることが で き

- (5) る ŧ 都 道  $\mathcal{O}$ 及 府 び 県 そ は  $\mathcal{O}$ 規 市 模 町 又 村 は を 包 性 質 括 に す る お 広 11 て — 域  $\mathcal{O}$ 般 地  $\mathcal{O}$ 方 市 公 共 村 町 村 寸 が 体 処 と 理 L て、 す ることが 第一 項 適  $\mathcal{O}$ 当 事 で 務 で、 な 11 لح 広 認 域  $\otimes$ に 5 わ た れ る る ŧ ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を 処 市 理 町 す 村 る に ŧ 関  $\mathcal{O}$ す と る 連 絡 調 整 関 す
- 6 道 府 県 及 び 市 町 村 は そ 0) 事 務 を処 理 す る に 当 0 て は 相 互. に 競 合 L な 1 ょ うに L な け れ ば な 5 な
- $\bigcirc$ 别 地 方 公 共 寸 体 は この 法 律  $\mathcal{O}$ 定 め るところ に ょ り、 そ  $\mathcal{O}$ 事 務 を 処 理 す る
- 8 0) 法 律 に お て 自 治 事 務 لح は、 地 方 公 共 寸 体 が 処 理 す る 事 務  $\mathcal{O}$ う ち 法 定 受 託 事 務 以 外 0 Ł  $\mathcal{O}$ を
- 9  $\mathcal{O}$ 法 律 に お 11 て 法 定受託 事 務」 لح は、 次 に 掲 げ る 事 務 を 11 う。

号

- 係 以 る 法 ŧ 下 律  $\mathcal{O}$ 又 第 で は あ つ れ て、 法 に 定 基 受 玉 づく政令に 託 に 事 お 務」 *\* \ 、てその より とい う。 適 都 正 道 な 府 県、 処 理 を 市 町 特 に 村 確 又 は 保 す 特 る 別 区 必 要 が が 処 あ 理 る す ŧ ることとさ  $\mathcal{O}$ とし て 法 れ る 律 事 又 は 務  $\mathcal{O}$ う れ ち、 に 基 づ 玉 < が 政 本 令 来 に 果 特 た す に ベ 定 き 8 る 役 ŧ 割  $\mathcal{O}$ 12
- $\mathcal{O}$ ŧ 法  $\mathcal{O}$ 以 で 律 あ 下 又 はこ 0 第二 て、 れ 号 都 に 法 基 道 至づく政 定 府 受託 帰に 令に 事 お 務 71 てその より とい 市 う。 適 町 正 村 な 又 処 は 理 特 を 别 特 区 に が 処 確 保 理 す す る ることとさ 必 要が あ るも れ る 0) 事 とし 務 0) 7 う ち、 法 律 又 都 は 道 府 れ 県 が に 基づ 本 来 < 果 政 た 令 す べ に き 特 役 定 割 8 に る 係
- 10 下 掲 欄  $\mathcal{O}$ に げ 法 る 掲 律 げ 法 又 る 律 は لح に お 0 れ ŋ V) に 基づく で てそれぞれ あ ý, 政 政 令 令に 同 に 表の 規 定 定 下 す  $\emptyset$ る る 欄 に、 法 ŧ 定  $\mathcal{O}$ 受 第二  $\mathcal{O}$ 託 ほ 事 묽 か、 務 法 は 定 法 受 律 0) 託 に 事 法 定 務 律 8 に に る 基 あ 法 づく 0 定 て 受 政 は 託 令に 别 事 表 務 示 第 は す 第 لح 0) お 号 上 一欄に ŋ 法 で 定 あ 受 掲 る げ 託 事 る 法 務 律 に に あ 0 0 て て は そ 别 れ 表 ぞ 第 n  $\mathcal{O}$ 同 表 上

き

لح

لح

え

t

で

- (12) (11) を け 解 地 れ 地 釈 方 ば 方 公 地 な L 公 共 共 5 及 寸 な 寸 び 体 体 運 に に 用 関 関 す す す る る る法 ヹ 法 うに 令 令  $\mathcal{O}$ 0) 規 L 規 定 定 な け は、 は、 n ば 地 地 な 方 方 に、 5 自 自 な 治 治  $\mathcal{O}$ 0) 本 n 本 旨 旨 解  $\mathcal{O}$ に に 釈 場 基 基 合 づ づ に 1 て、 お び か て、 つ、 運 か つ、 特 玉 別 玉 地 と 地 方 地 方 公共 公 方 共 公 寸 共 团 寸 な 体 体 に 体 関 لح 0) 0 適 す る 適 切 法 切 な 令 な 役 役 割  $\mathcal{O}$ 規 割 分 分担 定 担 は を を 踏 踏 ま ま 0 え 法 た て、 律 に 0 定 n な
- (13) 体 が 法 地 律 域 又 は 0 特 性 n に に 応 基 Ū づ て < 当 政 該 令 に 事 務 ょ ŋ を 処 地 方 理 公共 す ること 寸 体 が が で 処 きるよ 理す ることとさ う 特 に 配 慮 れ L る な 事 け 務 れ が ば 自 な 治 5 事 な 務 で あ る 場 合 に お 11 7 は 玉 は 地 方 公 共 寸

る

別

方

公

共

寸

体

0

特

性

に

ŧ

照

応

す

るよう

۲

を

L

及

用

L

な

け

れ

ば

な

5

(14) な け 方 公 れ ば 共 な 寸 5 体 な は そ 0 事 務 を 処 理 す る に 当 つ て は 住 民  $\mathcal{O}$ 福 祉 0 増 進 に 努  $\otimes$ るととも 最 少 0 経 費 で 最 大 0 効 果 を 挙 げ る

よう

る

- **1**5 け 地 ば 方 なら 公 共団体は、 な 常にその組 織及び運営の合 理 化に努めるとともに、 他 0) 地方公共団体に協力を求めてその 規模 0) 適 正 化を図らな
- 16 0) 事 地れ 務 方公共団 を処理 体は、 してはならない。 法令に違反してその事 務 を 処 理 しては なら ない。 な お、 市 町 村 及び 特 別 区 は、 当 該 都 道 府 県 の条 例 に 違反してそ
- 17) 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定に 違 反して行つた地方公共団! 体 の行為は、 これを無効とする。

別表第二 第二号法定受託事務 (第二条関係)

備 考 この 表の下 欄 0 用語の意義及び字句の意味は、 上欄に掲げる法律に お ける用語の意義及び字句の意味によるものとする。

(略)	(略)
世第七十条第四項(第七十四条第二項(第七十六条の三第四項において準用する場合を含む。)の規定により市町村(建築主事を置かない市町村に限る。)が処理することとされて十二条(同条第二項の規定により建築協定書に意見を付する事務に係る部分を除き、第七十四条第二項の規定により建築協定書に意見を付する事務に係る部分を除き、第七十四十二条(第七十四条第二項及び第七十六条の三第四項において準用する場合を含む。)、第七十四条第一項(第七十四条第二項(第七十六条の三第四項において準用する場合を含む。)、第七十四条第四項(第七十四条第二項(第七十六条の三第四項において準用する場合を含む。)、第七十条第四項(第七十四条第二項(第七十六条の三第六項において準用する場合を含む。以	第二百一号)
(略)	(略)
事	法律

 $\bigcirc$ 消 防 法 昭 和 + Ξ 年 法 律 第 百 八 + - 六号) 抄

第 法 に 七 ょ  $\mathcal{O}$ は  $\mathcal{O}$ す 規 項 る 他 確 お る 条 に 政 昭 認 定 確 行 11 令 規 認 に て 建 和 又 政 定 を で 兀 は ょ 準 庁 築 す 定 + 同 る す 用 若 物 る 8 項 確 る す L  $\mathcal{O}$ 場 る 年  $\mathcal{O}$ 認 指 る < 新 合 住 法 規 に 定 場 は 築 宅 定 係 そ に 律 合 確 を に を お 第 認  $\mathcal{O}$ 増 る 除 含 建 百 ょ 検 委 11 築 ¿ ° 査 号) む。 て る 築 任 機 は 確 物 を 改 受け 第 関 以 築、 認 0) 八 で を 工 を 下 条第 خ あ 0) す 事 V た 移 る場 · う。 者 ること 転 限 施 0) 項 り 工 又 項 以 に は 修 で 合 地 第 な 又 が 又 下 お 建 繕 は 11 五. で は ۲ V 築 建 号 き 所  $\mathcal{O}$ 7 基 模 条 同 築 に な 在 準 様 *١* ، 主 掲 地 に U 法 替、 事 げ を お が る た 管 昭 用 V 防 だ て 建 轄  $\mathcal{O}$ 和 途 Ļ 同 規 築 火 す 0 定定に る ľ 基 + 変 地 潍 消 更 域 確 五. 若 法 及 認 防 ょ 年 は、 第 び 長 る 法 L 八 準 同 又 確 律 < +防 項 は 当 認 第 は  $\mathcal{O}$ 消 を 七 火 該 使 百 地 規 許 行 条 防 用 可 定 署  $\mathcal{O}$ 域 う に 指 号) 兀 以 に 長 0 外 ょ 0) 認 に 定 V 可 お 0) る 同 第 7 確 意 若 認 六 許 11 区 確 て 域 認 を L 検 条 可 Š 潍 内 を 得 査  $\mathcal{O}$ は 用 に 含 機 認 な け 確 す お む 関 第 可 る け 認 若 れ ば、 同 同 る 又 項 L に 法 住 は 法 < 当 第 宅 係 同 第 同 は 六 る 該 法 七 法 確 条 長 建 許 第 十 第 認 第 屋 築 可 六 七 八 を 物 条 + す 条 項 0 共 が 認  $\mathcal{O}$ 七 る 同 都 可 0 条 権 若 第 + 規 住 市 第 限 宅 定 計 L を そ < 第 画 項 項 有

2 を含 に、 で < 模 < け 意 4 替 は  $\mathcal{O}$ は れ を あ 消 そ ば 求 る え 用 修 む。 条 防 لح 例 長  $\mathcal{O}$ な て 8 途 繕 き 又 事 6 5 適 0 0 由 な n は 用 変 同  $\mathcal{O}$ 規 は を 1 た さ 更 法 規 定 消 当 日 同 れ 又 第 定 防 該 法 る は に 建 署 か  $\mathcal{O}$ 5 第 同 条 ょ 長 同 行 築 場 り 基 は 七 六 第 政 法 項 進 建 庁 合 条 第 日 第 + 第 若 に 以 六 兀 築 法 前 号 条 内 号 主 第 L お 項 に 項 第 に 事 六 0 < 1  $\mathcal{O}$ 条 は て、 同 第 掲 大 又 規 規 そ 兀 項 げ は 第 定 意 消 兀 に  $\mathcal{O}$ を 号  $\mathcal{O}$ る 模 指 委 防 与 に 建 政  $\mathcal{O}$ 定 項 ょ 任 長 築 修 確 又 0 え 係 令 又 は を て、 る で 物 繕 認 て 受 場 は 定  $\mathcal{O}$ を 検 第 同 け そ 合 建 査 六 意 消  $\Diamond$ 11 た る う。 条 防  $\mathcal{O}$ に 築 機 を の 二 者 署 旨 あ 建 に 関 求 又 長 を 築 が 8 0 0 は は 当 て 基 1 同 第 5 該 指 は 準 て 法 れ 大 規 法 第 定 同 行 確 項 た 認 令 模 場 確 意 政 六 同 广广 意 す 同 認 す  $\mathcal{O}$ 条  $\mathcal{O}$ 合 ること 規 る 検 若 を 模  $\mathcal{O}$ 法 に 査 L 求 定 場 様 兀 第 お 機 <  $\otimes$ を 合 替 第 八 11 関 が は 5 除 + に て、 そ 同 で れ く。 項 七 に お きな 第 0) た 法 条 当 通 1 第二 日 第 知 委 て 該 で 同 号 任 カン L 1 建 建 意 条 若 項 な 事 を 5 築 受 三 け 由 築 を 第 0) L 物 け 日 物 求 + 規 れ が <  $\mathcal{O}$ た者 ば あ 以  $\mathcal{O}$ 8 五. 定 は 計 ると な 内 防 5 号 に 第 画 5 に、 又 火 n  $\mathcal{O}$ ょ が 認 は に 号 ŋ な た 大 法 規  $\otimes$ そ 関 لح に 指 律 き す る 模 掲 れ 定  $\mathcal{O}$ 又 ع げ る は 確 他  $\mathcal{O}$ 5 は き 0 t 模 る  $\mathcal{O}$ 認 は 検 場  $\mathcal{O}$ 同 様 建 規 れ 査 合 に 項 替 築 定 に 違  $\mathcal{O}$ 物 を 機 を 基 関 準 規  $\mathcal{O}$ づ n あ 反 11 う。 定 建 用 12 < 0 L 、 築、 7 な に す 0 诵 命 る 期 知 は ょ 令 11 限 ŧ n 若 場 若 L 大 読 規 合 な 同 0 L L

③ (略)

 $\bigcirc$ 市 計 画 法 昭 和 兀 +年 法 律 第 百 号) 抄

(地域地区)

第 八 条 都 市 計 画 区 域 に 0 11 て は 都 市 計 画 に、 次 に 掲 げ る 地 域 地 区 又 は 街 区 を定めることが

#### 5 兀 $\mathcal{O}$ 略

五. 防 火 地 域 又 は 準 防 火 地 域

五.

の <u>ニ</u> く

十

六

略

 $\bigcirc$ 登 録 免 許 税 法 昭 和 兀 年 法 律 第三 + 五. 号) 抄

課 税  $\mathcal{O}$ 録 範 开

0 1 て 課 す る

第 条 登 免 許 税 は 别 表 第 に 掲 げ る 登 記 登 録、 特 許 免 許 許 可 認 可 認 定、 指 定 及 び 技 能 証 明 以 下 登 記 等 لح 1 う。

非

課

税

登

記

等 )

第五条 当す っるも 次に  $\mathcal{O}$ 掲 で あ げ ることを証 る 登 記 等 (第 する財 兀 뭉 文は 務 省令で定 第 五. 号  $\otimes$ に る 掲 書 げ 類を添え る 登 記 付 又は L て受けるも 登 録 に あ つ  $\mathcal{O}$ て は、 に 限る。 該 登 に 記 つ 等 V が ては、 れ 5 登  $\mathcal{O}$ 号に 録 免 許 掲 税 げ を る 課 登 さ 記 又 な は 登 録 に

玉 又 は 別 表 第二に 掲げる者 が これら 登記 0) 者 以 外 0) 者に代え 位 L て する 登 記 又 11 は 登 録 が

登

記

機

関

登

記

官

又

は

登 記

以

外

0

等

を

す

んる官庁

若

L

<

は

寸

体

 $\mathcal{O}$ 

長

を

う。

以

下

同

ľ

職

権

に

基

づ

11

て

す

る

登

記

又

は

登

録

三 八 で 会社 百二 政令で定 十二条 法 平  $\emptyset$ 第三 成 る +ŧ 項 t 0) 年 日 法 本に 律 第 あ 八 る外 十六号) 国 숲 第二 社  $\mathcal{O}$ 編 財 産 第 に 九 0 章 11 第 7 節  $\mathcal{O}$ 清 算) 特 別 に 清 算) お 1 て 0) 準 規 定に 用 する場 又は ょ る 合に 株 式 録 会社 お け る  $\mathcal{O}$ 同 特 条 別 第 清 算 項 同  $\mathcal{O}$ 規 節 定  $\mathcal{O}$ に 規 定 ょ る を 同 日 本 法 に 第

兀 ょ る 住 住 居 表 居 示に 表 示 0) 関 実 す 施 る 法 又 律 は 変更に 昭 和三 伴う + -七年法: 登 記 事 項 律 又 第 は 百 登 +録 九 号) 事 項 第三  $\mathcal{O}$ 変 更 条 第 0 登 項 記 又 及 は び 第二 登 録 項 又は 第 兀 条 住 居 表 示  $\mathcal{O}$ 実 施 手 続 等 0 規 定 に

あ

る外

国

会社

 $\mathcal{O}$ 

財

産

についての

清算を含

む。

に

関

L

裁

判

所

0)

嘱

託

に

ょ

ŋ

す

,る登記

登

五. 行 に 行 伴う 政 区 地 画 番 0) 郡 変 更 区 を含 市 む。 町 村 内 に 0 . 伴う 町 若 登 しく 記 事 は 字又 項 又 んはこ は 登 録 れ 事 ら 項  $\mathcal{O}$ 0 名 称の 変 更 0) 変 更 登 記 (そ 又 は  $\mathcal{O}$ 変更に 登 録 伴 う 地 番  $\mathcal{O}$ 変 更 及 び 次 号 に 規 定 す る 事 業 0 施

年 法 土 律 地 第 改 百 良 + 法 九号) 昭 和 第二条第一 十四四 年 法 項 律 第百 (定 義) 九 +に Ŧī. 号) 規 定する土 第二 条 地 第 区 項 画 整理 定 事 義 業 に  $\mathcal{O}$ 規 施 定 行 でする土 0 た  $\otimes$ 必 地 要 改 な土 良 事 事業又は 地 又 は 建 土 地 物 に 区 関 画 す 整 る 理 法 登 記 昭 (政令で 和 二十 定 九

8

る

ŧ

0

を

除

該

七 12 てバ 備 密 てド 促 規 進 鉄 事 集 住 都 定 業 に 道 市 宅 市 す 関 整  $\mathcal{O}$ 街 地 再 る大 す 備 施 地  $\mathcal{O}$ 開 る  $\mathcal{O}$ 行 に 供 発 都 特 0 お 給 法 别 体 た け 市  $\mathcal{O}$ 措 促 昭 地 的 8 る 域 置 推 防 必 進 和 るとみ 法 進 要 災 に 兀 な 街  $\mathcal{O}$ に 関 + な 特 関 兀 土 区 す さ る 例 す 地  $\mathcal{O}$ 年 る れ 整 特 法 又  $\mathcal{O}$ 特 は 備 別 る 律 規 措 区 別 建 第  $\mathcal{O}$ 域 定 措 物 促 置 + 内 に 置 **(当** 進 法 に 八 ょ 法 に 号) 昭 あ り 該 関 平 る 大 住 す 和 土 都 成 宅 る Ŧī. 第 地 市 元 街 法 +又 地 年 区 律 年 条 は 域 整 法 法 第 平 建 に 律 備 律 物 事 号 お 第 成 第 業に 六 を け 九 六 +定 + 除 る 年 < 住 係 法 七 義 号) 号) 宅 る 律 及 土 第 に び 第 地 兀 第 規 関 住 ++ 定 又 する 宅 七 は 条 す 九 á 号) 地 条 建 第 登 0 物 兀 市 大 記 供 に 第 뭉 街 給 都 あ 地 (定 政 条 0) 市 0 再 令で て 第 促 地 義) 開 進 域 は、 五. 発 定 に に に 号 事 業、  $\Diamond$ 関 お 大 規 (定 る す け 都 定 る 義) Ł る 市 す 大 特 住 地  $\mathcal{O}$ る 都 を 别 宅 域 に 住 市 除 措 及 に 規 宅 地 置 び お 定 街 域 法 住 け す 区 に 第 宅 る 整 る お 宅 備 け 地 防 条 災  $\mathcal{O}$ 地 事 る 第 供 開 街 業 住 給 区 又 発 宅 は 묶  $\mathcal{O}$ 及 整 及

八 玉 土 調 査 法 昭 和 + 六 年 法 律 第 百 八 十 号) 第三 + 条 0) 第 項 代 位 登 記 0) 規 定 に ょ る 土 地 に 関 す る 登 記

九  $\equiv$ 入 条 会 第 林 野 項 等 に 旧 係 慣 る 権 使 用 利 関 林 野 係 整  $\mathcal{O}$ 備 近 代  $\mathcal{O}$ 効 化 果  $\mathcal{O}$ 等) 助 長 に に 関 お 11 す Ź 7 潍 法 用 律 す 昭 る 場 和 合 兀 を + 含 む 年 法 律 0) 第 百二十 規 定 に 六 ょ る土 号) 地 第 に + 関 兀 す 条 第 る 登 項 登 記 同 法 第

十 墳墓地に関する登記

滞 納 処 滞 分 納  $\mathcal{O}$ 処 例 分 に (そ ょ ŋ  $\mathcal{O}$ 処 例 分す に ょ る る Ł 処  $\mathcal{O}$ 分 とさ を 含 む。 れ て 11 に る 担 関 保 に 7 係 す る る 登 登 記 記 又 又 は は 登 登 録 録  $\mathcal{O}$ 抹 換 消 価 を 12 含 ょ む。 る 権 利 0 移 転  $\mathcal{O}$ 登 記 又 は 登 録 を 除 ŧ 0

+ \_ 登 記 若 登 L 記 < 機 は 関 登  $\mathcal{O}$ 過 録 誤 0 に 口 よる 復 0 登 登 記 記 若 若 L L < < は は 登 登 録 録 又 は そ  $\mathcal{O}$ 抹 消 が あ 0 た 場 合  $\mathcal{O}$ 当 該 登 記 若 L < は 登 録  $\mathcal{O}$ 抹 消 若 < は 更 正 又 は 抹 消

設 十三 立. 許 す 相 号 免 る 続 許 か 法 又 5 人 は 許 第 若 法 可 百 L 人 六 < 0) +認 合 は 併 号 事 可 ま 若 業 でに 認 を L <定 承 は 又 掲 継 げ は す 分 指 る る 割 法 定 登 に 録 伴 人 が 11 特 相 被 続 許 相 人 免 続 又 許 人 は 又 合 は 許 併 合 後 可 併 存 続 認 に 可 ょ す ŋ る 認 消 法 滅 人 定 若 又 L は しく た 法 指 定 は 人 を引 若 合 併 L き < に 続 は ょ 分 割 ŋ 1 設 て 受け 立 を し す た る る 場 法 法 合 人 人 若 に  $\mathcal{O}$ お 受 L け け < る た は 当 别 分 該 割 表 第 登 に 録 ょ ŋ 第

兀 五. 項 公 益 **企** 社 益 寸 認 法 定 人 及 0 取 び 公 消 益 し 財 0 寸 規 法 定 人  $\mathcal{O}$ に 認 ょ 定 る 等 般 に 社 関 寸 す 法 る 法 人 若 律 L 平 < 成 は +般 八 財 年 寸 法 法 律 人 第 又 兀 は + 九 公 号) 益 社 寸 第 法 九 人 条 若 第 į < 項 は 名 公 益 称 等) 財 寸 法 又 は 人 第  $\mathcal{O}$ 名 + 称  $\mathcal{O}$ 九 変 条

(課税標準及び税率)

0

登

記

第 九 掲 げ 登 る 録 金 免 額 許 又 税 は  $\mathcal{O}$ 課 数 量 税 及 標 び 潍 同 及 表 び  $\mathcal{O}$ 税 税 率 は、 率 欄 に 掲  $\mathcal{O}$ げ 法 る 律 割 に 合 别 又 段 は  $\mathcal{O}$ 金 定 額 8 に が ょ あ る。 る 場 合 を 除 ほ か 登 記 0 区 分 応 别 表 第 0 課 税

L

た

#### 不 動 産 等 0 価 額

+ 不 有  $\mathcal{O}$ 動 権 登 以 産 别 記 外 等 又 表  $\mathcal{O}$ は 第 権 と 登 利 1 録 第 う。 そ  $\mathcal{O}$ 0) 場 号 合 他 処 0 に 価 分 お  $\mathcal{O}$ 号 額 け 制 は る 又 限 課 は が 当 税 第 兀 存 該 標 す 登 潍 号 Ź 記 た カコ 又 る 5 き は 第 不 は 兀 登 動 録 産 号 当  $\mathcal{O}$ 0 該 時 船 権 ま に 舶 利 お で そ け ダ に る 掲  $\mathcal{O}$  $\Delta$ げ 他 不 使 処 動 用 る 分 産 権 不  $\mathcal{O}$ 等 動 制 の公 産 価 共 限 施 が 額 船 な に 設 舶 ょ 等 V る。 ダ t 運 営 ム  $\mathcal{O}$ とし 使 権 0) 用 又 た場場 場 は 権 合 樹 合 に 木 公  $\mathcal{O}$ 共 お 採 価 施 11 取 額 て、 権 設 に 等 ょ 当 以 運 る 該 下 営 不 権 動  $\mathcal{O}$ 又 産 項 は 等 に 樹 0 な 木 上 VI 採 に て 取

2 割 権 合 0 前 を 持 項 に 乗 分 じ  $\mathcal{O}$ 規 て 取 定 計 得 す 算 に る L 係 登 た る 記 Ł 又 金 は 額  $\mathcal{O}$ に で 登 ょ あ 録 ると る。 を す き る 場 は 合 当 に 該 お 不 11 動 て、 産 当 又 は 該 船 登 舶 記 又 0 は 価 額 登 は 録 が 当 别 該 表 第 不 動 第 産 又 は 号 又 船 は 舶 第  $\mathcal{O}$ 同 一号 項 に  $\mathcal{O}$ 規 掲 定 げ に る ょ 不 る 動 価 産 額 又 に は 当 船 該 舶 持  $\mathcal{O}$ 分 所 有

3 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 は 所 有 権 以 外  $\mathcal{O}$ 権 利  $\mathcal{O}$ 持 分  $\mathcal{O}$ 取 得 に 係 る 登 記 又 は 登 録 に 0 1 て  $\mathcal{O}$ 課 税 標 潍  $\mathcal{O}$ 額  $\mathcal{O}$ 計 算 に 0 1 て 準 用 す る

共 同 担 保  $\mathcal{O}$ 登 記 等  $\mathcal{O}$ 場 合  $\mathcal{O}$ 課 税 標 準 及 び 税 率

第

十三 お 表 L  $\mathcal{O}$ て、 不 第 11 て 動 に 産 等 掲  $\mathcal{O}$ 抵 げ 法 当 に  $\mathcal{O}$ る 律 権 関 登 税  $\mathcal{O}$ 等 す 記 規  $\mathcal{O}$ る 率 官 定 設 権 署 が 等に 利 異 を 定 を 適 な 登 目 るとき 用 記 お 等 \_ す 的 11 る。 て、 لح لح は、 す 1 る 同 う。 そのうち 先 時  $\mathcal{O}$ 取 場  $\mathcal{O}$ 合 特 申 に を 権 請 受 最 お ŧ け 質 官 11 て、 る場 低 権 庁 11 又 又 税 当 合 は は 率 該 に 抵 公 抵 署 を は 当 ŧ 当 権  $\mathcal{O}$ 0 権 嘱  $\mathcal{O}$ て 保 等 れ 託 当  $\mathcal{O}$ 5 存 を 該 設  $\mathcal{O}$ 若 含 抵 定 抵 L む 当 当 < 登 記 権 権 は 次 等 等 等 設 項 定、  $\mathcal{O}$ に  $\mathcal{O}$ に 設 係 設 お 移 定 る 定 1 登 不 登 て 転 記 動 記 又 同 等 等 は 産 じ  $\mathcal{O}$ 等 を 信 登 に 託 関  $\mathcal{O}$ に 録  $\mathcal{O}$ す 抵 登 免 ょ る 当 許 記 n 権 税 権 又 同  $\mathcal{O}$ 利 等 は 税  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 登  $\mathcal{O}$ 率 種 設 録 債 類 定 権 す  $\mathcal{O}$ 以 登 0 ر ک 記 下 別 た 箬 に 8 ょ لح  $\mathcal{O}$ に n 4 条 数 に 别 な

2 申 権 登 請 記 同 を  $\mathcal{O}$ 等 す 設  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ る 債 定 申 ŧ 登 請 権  $\mathcal{O}$ 記 が  $\mathcal{O}$ に 等 最 た 限 が 初  $\otimes$ り、 に  $\mathcal{O}$ 0 申 数 項 当 請 個 該  $\mathcal{O}$ 以  $\mathcal{O}$ 抵 規 外 不 当 動 定  $\mathcal{O}$ に 権 ŧ 産 等 該 等  $\mathcal{O}$ 当 に  $\mathcal{O}$ で す 関 あ 設 る す 定 る لح る 登 ŧ き 記  $\mathcal{O}$ 権 等 で は、 利 に あ を 当 係 ること 目 る不 該 的 抵 と を 当 す 動 産 証 権 る す 等 等 抵 る 当 に  $\mathcal{O}$ 関 財 設 権 す 務 定 等 る 省 登  $\mathcal{O}$ 令 権 記 設 利 で 等 定 定 登  $\mathcal{O}$ に 件  $\otimes$ 係 記 る る 等 数 を受け 書 登 件 類 録 を に 免 添 る場 0 許 き千 付 税 L 合  $\mathcal{O}$ て 課 に 五. 当 税 百 お 円 11 該 標 لح 抵 準 て、 す 当 及 る 権 び 当 等 税 該 率 抵  $\mathcal{O}$ 当 設 は 定 権 当 筡 登 記 該  $\mathcal{O}$ 抵 設  $\mathcal{O}$ 定

課 税 標 準  $\mathcal{O}$ 金 額  $\mathcal{O}$ 媏 数 計 算)

第 + 千 五. 条 す 別 表 第 に 掲 げ る 登 記 又 は 登 録 に 係 る 課 税 標 潍  $\mathcal{O}$ 金 額 を 計 算 す る 場 合 に お 11 て、 そ 0) 全 額 が 千 円 に 満 た な 1 لح き は れ

課 税 標 準 0 数 量 0 端 数 計 算

第

十

表

第

掲

る

登

録

に

係

る

課

税

標

準

数

を

算

す

る

場

合

に

は

次

定

8

る

ところ

ょ

别 表 別 第 号 に に 掲 げ げ る 航 空 機 0 重 量 は 航  $\mathcal{O}$ 空 機 量  $\mathcal{O}$ 自 計 重  $\vdash$ 数 に ょ り 当 該 に 1 ン 数 に  $\vdash$ 未 満  $\mathcal{O}$ 端 数 が あ ると き は そ 0 端

切 ŋ 捨 当 該 1 ン 数が一ト シに 満 た とき これ を一ト ンとす

が あ別 記等のなるときい 表 第 第二十 は、 そ - 号に  $\mathcal{O}$ 端 数を切り る鉱 り 捨 区 若 て、 しく 当 合該はな の面租 税積鉱 積 M 区 ス さ は、 - 万平 方メートルに満たないときは、表第二十二号に掲げる共同開 発 こ鉱区 を十  $\mathcal{O}$ 面 万積平に 方 + メ 万 ] 平 方  $\vdash$ ルとす メ ]  $\vdash$ る。 ル 未 満  $\mathcal{O}$ 端 数

仮 登 あ る 不 動 産 座等の移 転 登記  $\mathcal{O}$ 場 率 0 特 例

の信 保 同 託 存 七 号 若  $\mathcal{O}$ 条 0) 登 し < 記 税 別 率 又 は 表 欄 は 移 第 に 相 転 第一 掲 続  $\mathcal{O}$ げ 財 登 登記、地上海一号十二イカ る割 産の分離 合 カュ 権、 5  $\mathcal{O}$ カュ らへ 次 登記を受け 永小作品 0 、までに掲げ 表の上 権、 欄に る場 に掲げる登ったは、こり 賃 げ 借権 る 仮登記 若 登記のといっている。 が さ 5 採 X れ 分に応じ  $\mathcal{O}$ 石 て 登 権 11 記に る の設 同 定、 号に 司 係 保る登録免許はた、転貸若しく 表 掲  $\mathcal{O}$ げる不 下 欄 に · 掲 げ くは 税 動  $\mathcal{O}$ 産 税率 る割合を 移 に 転 0 は、 11  $\mathcal{O}$ 登 当 記、 控 当 該 除 不 配 L た 動 偶 産 者 登記 割 合 に居 に基 とする。 9 住 い権 て  $\mathcal{O}$ づ  $\mathcal{O}$ 設 き 当 定 所 該  $\mathcal{O}$ 有 登 登 権 記  $\mathcal{O}$ 

所有権の保存の登記	千分の二
所有権の相続(相続人に対する遺贈を含む。以下同じ。)又は法人の合併による移転の登記	千分の二
じ。)の分割による移転の登記所有権の共有物(その共有物について有していた持分に応じた価額に対応する部分に限る。以下同	千分の二
所有権のその他の原因による移転の登記	千分の十
地上権、永小作権、賃借権又は採石権の設定又は転貸の登記	千分の五
地上権、永小作権、賃借権又は採石権の相続又は法人の合併による移転の登記	千分の一
持分に応じた価額に対応する部分に限る。以下同じ。)の分割による移転の登記地上権、永小作権、賃借権又は採石権の共有に係る権利(その共有に係る権利について有していた	千分の一

地上権、永小作権、賃借権又は採石権のその他の原因による移転の登記	千分の五
配偶者居住権の設定の登記	千分の一
所有権の信託の登記	千分の二
先取特権、質権又は抵当権の信託の登記	千分の一
所有権、先取特権、質権及び抵当権以外の権利の信託の登記	千分の一
所有権である相続財産の分離の登記	千分の二
所有権以外の権利である相続財産の分離の登記	千分の一

2 6  $\mathcal{O}$ 千 仮 所 分 登 有  $\mathcal{O}$ 記 権 兀 に 0 を 基 移 控 づ 転 きそ 除 0 L 仮 た 0 登 割 所 記 又は 合とする。 有 権 所有  $\mathcal{O}$ 移 転 権 0  $\mathcal{O}$ 登 移 記転 を請 受 求 け権 る  $\mathcal{O}$ 場保 合 全 に 0) には、 た め 当  $\mathcal{O}$ 該 仮 登 登 記 記 に が 係 さ れて る 登 録 いる別 免 許 表第一 税 0 税 率 第二号に は、 司 号 掲 (二) げ の税がる船 率 舶 欄に に 0 掲 1 て、 げ る 割 合 れ か 5

3 登 録 所 有 を受けるとき 権  $\mathcal{O}$ 移 転  $\mathcal{O}$ さは、 仮 登 金録又はで 当 □該登録 所有 に係る登 7権の 移 録 転 免 請 許 求 税 権  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 税 保 率 全 は、  $\mathcal{O}$ た <u>ト</u> 8 0 仮 に 登 つき一万五 録 が さ れ て いる航 千円とする。 空機に 0 1 て、 れ 5  $\mathcal{O}$ 仮 登 録 に 基 づ き 移 転

4 いる す 受けると ź。 地 建 上 権、 物 き に は、 0 永 11 小 て、 当 作 該 権 登 そ 記  $\mathcal{O}$ 賃 土地 借 に 係 権 又は る 若 登 L くは 録 建 免許 物に 採 係 税 石 るこ  $\mathcal{O}$ 権 税  $\mathcal{O}$ れら 率 設 は、 定  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 別 権 登 表 利 記 第  $\mathcal{O}$ が 登 さ 記 第 れ 名義 て 뭉 11 る土 人が  $(\underline{\phantom{a}})$ 0) 税 そ 地 率  $\mathcal{O}$ 又 八は賃借 土 欄 一地又は に 掲 権若し げ 建 る 割 物 くは 合に  $\mathcal{O}$ 取 百 得 配 に 分 偶 0) 伴 者 五 居 11 そ + 住 を  $\mathcal{O}$ 権 乗 所  $\mathcal{O}$ じ 有 設 て 権 定 計  $\mathcal{O}$ 0 算 移 登 転 記 L が た  $\mathcal{O}$ 割 登 さ 合 記 れ を て

特 例 有 限 숲 社  $\mathcal{O}$ 通 常  $\mathcal{O}$ 株 式 会社 0) 移 行  $\mathcal{O}$ 登 記

第十 七 条の  $\equiv$ 会 社 法  $\mathcal{O}$ 施 行に 伴う関係法 律  $\mathcal{O}$ 整 備 等に 関 以する法 律 平 成 十 七 年 法律第八 + Ł 号) 第 四 + 六 条 特 例 有 限 会 社  $\mathcal{O}$ 通

常

0

式 記 0 移 行 0 登  $\mathcal{O}$ 記 法  $\mathcal{O}$ 律  $\mathcal{O}$ 規 規 定 定 に ょ る 株 用 す 式 る 会 社 0 設 寸.  $\mathcal{O}$ 登 記 は 別 表 第 第二 + 兀 号 (-)ホ に 掲 げ る 組 織 変 更 に ょ る 株 式 숲 社  $\mathcal{O}$ 設 立.

な

 $\mathcal{O}$ 

登

لح

4

て

を

適

以 上  $\mathcal{O}$ 登 記 等 を 受 け る 場 合  $\mathcal{O}$ 税 額

+ 登 八 額 記 等  $\mathcal{O}$ 同 区 金 分 0 額 に 登 応 記 じニ 等  $\mathcal{O}$ 以 申 H. 請  $\mathcal{O}$ 書 登 **(当** 記 等 該 を 登 受け 記 等 る が 場 官 合 庁 に 又 お は け 八 る 署 登  $\mathcal{O}$ 録 嘱 免 託 許 に 税 ょ 0 る 額 場 合 は に には、 各 登 記 当 等 該 に 登 0 記 き 築 同  $\mathcal{O}$ 表 嘱 託 に 掲 書) げ に る 税 ょ り、 率 を 别 適 用 表 第 7 に 掲 げ

定 率 課 税 0 場 合 0) 最 低 税 額

た

金

 $\mathcal{O}$ 

合

計

لح

す

る。

+ 登 録 九 に 係 る 別 登 表 録 第 免 許 に 税 掲 げ  $\mathcal{O}$ . る 登 額 は 記 千 又 円 は 登 す 録に る 0 き 同 表 に 掲 げ る 税 率 を 適 用 L て 計 算 L た 金 額 が 千 円 に 満 た な 11 場 合 に は 当 該 登 記 又 は

嘱 託 登 記 等  $\mathcal{O}$ 場 合  $\mathcal{O}$ 納 付

と

記 8 付 る 十三 場 る に 書 係 合  $\mathcal{O}$ に 類 嘱 る 条 は、 託 領 第 書 収 官 <del>-</del>+ 証 当 庁 当 書 該 又 五. 該 を 登 は 官 当 記 条 公 及び 署 庁 等を受け 該 又 官 が んは 第 庁 別 三十一 公署 又 表 る者 は 第一 が 公 一署に 条 電 は 第 第 子 号 情 提 当 三 項 出 該 カュ 報 に 処 L 登 5 お 理 な 記 第 組 け 等 11 て 織 れ に 同 を ば 0 U 使 な き 号 5 課 用 ま さ な で L に に て れ 11 貼り 当 る 掲 該 げ ベ き 付 登  $\mathcal{O}$ る 場 け 記 登 登 て 等 合 録 記 登  $\mathcal{O}$ に 免 等 記 お 嘱 許 を 官署 託 1 税 受 を行 て、 け  $\mathcal{O}$ 等に 額 る 当 者 う に 場 提 該 相  $\mathcal{O}$ 合に 官 当 出 た する 庁 す 8 又 る に は 当 ŧ は 登 当  $\mathcal{O}$ 公 録 該 署 لح 該 免 登 す 登 は、 許 記 記 税 等 当 等 を を に 該 玉 登 係 領 に 記 収 納 官 る 登 署 証 付 記 書 等 を に 機 当 関 当 嘱 該 該  $\mathcal{O}$ 託 定 登 納 す

2 る お 官 前 て、 庁 項 又  $\mathcal{O}$ 場 当 は 公署 該 合 官 に 庁 に お 対 1 又 は て、 Ĺ 公 署 登 当 録 は 該 登 免 当 許 録 該 免 税 印 許  $\mathcal{O}$ 紙 税 額 を  $\mathcal{O}$ が 三 同 額 万 項 に に 相 円 規 当 以 す 定 下 す る で る 金 あ 額 る 登 لح 記  $\mathcal{O}$ き 等 印 は 0) 紙 嘱 を 託 提 登 書 出 記 に L 等 貼 て を 受け 登 ŋ 付 録 る者 け 免 て 許 登 は 税 記 を 玉 同 官 署等 に 項 納  $\mathcal{O}$ に 規 付 提 定 す 、ること 出 に す カゝ るも カゝ が わ 0) で ら ず、 き る。 す 同 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 場 嘱 合 託 す

免 許 等  $\mathcal{O}$ 場 合  $\mathcal{O}$ 納 付  $\mathcal{O}$ 特 例

免 許 + 登 に、 等」 兀 記 条 官 署 当 と 7 等 該 別 う。 に 登 表 提 録 第 出 免 に に L 許 な 掲 税 0 き げ け  $\mathcal{O}$ 課 れ 額 る ば さ 登 に な 相 れ 録 5 当 るべ す な 特 る き 許、 登 登 録 免 録 免 免 許 許 許 許 税 税 可、 を に 玉 0 に 認 11 て 可、 納 付 は 認 し 当 定、 当 該 該 免 指 納 許 定 付 等 又 を は に 受け 技 係 る 能 る者 領 証 明 収 証 は で 書 政 を 当 令 当 で 該 定 該 免 許 8 登 記 等 る 機 に ŧ 関 係  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ る 以 定 登 8 記 下 る 機 書 関 0 章 類 が に 定 貼 8 お ŋ た 1 付 期 て け 限

0 限 許 等 当 に 該 係 免 る 許 登 等 記 を 機 す 関 る は 日 当 か ら 該 免 月 許 等 を 経 に 過 係 す る る 前 日 項 後  $\mathcal{O}$ 登 録 て 免 は 許 な 税 5 0 な 納 付 0 期 限 及 び 書 類 を 定 8 な け れ ば な ら な 0) 場 合 は そ

2

更  $\mathcal{O}$ 届 出 に 係 る 登 録 が 新 た な 登 録 لح 4 な さ れ る 場 合  $\mathcal{O}$ 当 該 届 出 0 取 扱 11

ょ  $\mathcal{O}$ +る 規 定 兀 届 に 出 条 に ょ 0 ŋ 保 1 同 険 て 法 業 は 第 法 平 百 れ 成 七 を当 七 十 六 年 該 条 法 律 登 へ 登 録 第 録) に 百 係 五. 号) る  $\mathcal{O}$ 申 特 第 請 定 لح 保 4 険 百 な 慕 八 集 + L て、 条 人 0 第 ک 登 項 0) 録 とみ 法 変 律 0 な 更 規 さ 等 定 れ  $\mathcal{O}$ 届 を る ŧ 適 出 等) 用  $\mathcal{O}$ す に る 係  $\mathcal{O}$ 規 る 定 同 に 法 ょ 第 る 百 登 八 録 + $\mathcal{O}$ う 条 5 第 别 項 表 第 第 第 号 0 + 規 定 七 号

届 出 が 有 料 職 業 紹 介 事 業  $\mathcal{O}$ 許 可 とみ なさ れ る 場 合 0) 当 該 届 出  $\mathcal{O}$ 取 扱 1

八 0 条 + 許 第二 兀 可 条 項  $\mathcal{O}$ 0 有 業 料 務  $\mathcal{O}$ 別 等 職 表 業 第 紹  $\mathcal{O}$ 規 第 介 定 事 八 に 業 +ょ 0 る 号 許 届 0) 可 とみ 規 出 定 に な に 0 さ 11 ょ ŋ 7 れ は、 る 職 業安 高 年 定 れ 齢 を 者 法 当 等 昭 該  $\mathcal{O}$ 許 雇 和 二 十 二 可 用 12  $\mathcal{O}$ 係 安 定 年 る 申 等 法 に 請 律 とみ 関 第 す 百 な る 兀 法 L + \_\_ て、 律 号) 昭 前 第三 章 和 及 兀 ++ び 六 条 年  $\mathcal{O}$ 第 章 法  $\mathcal{O}$ 律 項 規 第 定 六 有 料 を + 八 適 職 号) 用 業 する。 紹 第三 介 事 業

認

定

が

般

貨

物

自

動

車

運

送

事

業

 $\mathcal{O}$ 

許

可

等

と

4

な

さ

れ

る場

合

 $\mathcal{O}$ 

取

扱

1

復 当 能 次 日 該 本 興 + 向  $\mathcal{O}$ 同 各 大 再 兀 上 震 条 意 号 生 事 災 に を 業 計 0 L に 掲 復 画  $\equiv$ た 係 げ 興  $\mathcal{O}$ 者 る る 特 同 福 許 規 別 条 島 0) 当 定 区 第 復 認 に 域 該 +興 可 法 ょ 等 兀 再 登 記  $\mathcal{O}$ ŋ 項 生 平 等に 当 特 0 特 成二 該 認 例 别 係 各 定 措 号 + る  $\mathcal{O}$ 置 同 に  $\dot{\equiv}$ 申 同 法 年 請 法 意 定 伞 と を  $\Diamond$ 法 第 4 L る 律 七 成 た 第 な 登 条 者 百二 記 +L  $\mathcal{O}$ 等 て、 に 兀 とみ <u>十</u> 二 年 0 第 法 1 号) 章 て な 項 律 さ 第二 及 は 第六 東 び れ る場 当 日 +本大震 条第  $\mathcal{O}$ 該 五. 号) 章 合 福 0 島 に 規 復 お 項 災 第 定 興 け 復 七 認 興 再 る を 条 適 生 福 特 第 定 計 復 用 島 別 興 す 復 区 項 画 る。 興 推 に 域 再 福 係 進 法 生 計 る  $\mathcal{O}$ 島 特 同 準 復 画 別 用) 興 法  $\mathcal{O}$ 第 措 変 再 更) 七 置 に 生 条 法 お 計 第 第  $\mathcal{O}$ 11 画 変 七 7  $\mathcal{O}$ 項 十 更 読 認  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 4 定 規 条 認 替 定 第 定 え に を に 7 規 項 含 潍 定 ょ む。 用 る す (流 す 申 る る 請 通 福 が 東 機 島

- 物 自 別 動 表 車 第 運 送 第 事 百 業 + $\mathcal{O}$ 許 五. 뭉 可 貨 物 自 動 車 運 送 事 業 法 平 成前 元 年 法 律 第 八 +三 号) 第 三 条  $\widehat{\phantom{a}}$ 般 貨 物 自 動 車 運 送 事 業 0 許 可 0 般 貨
- + 許 0 若 別 表 L 可 登 五. < 若 録 条 第 L 若 第 は < L 同 第 は < 項 法 百 第 三 同 は 事 七 +法 同 法 業 条 九 第 第 計 묽 兀 第 十六 三十 画 及 項 貨 条 び 九 物 (変 第 条 集 利 配 更 用 第 項 事 登 運 業 項 録 送 事 計 事 等 業 変 画 業 更 計 0) 法 登 変 画  $\mathcal{O}$ 事 更 平 録 等) 業  $\mathcal{O}$ 登 成 事 計 録 元 年 業  $\mathcal{O}$ 画 変  $\mathcal{O}$ 同 法 計 更 変 法 律 画 第二十 更 登 第 0 変  $\mathcal{O}$ 八 録 + 更 認 又 0 は 可 条 号) 認 同 許 法 同 可 法 可 第 第 兀 第 三 条 十  $\mathcal{O}$  $\overline{+}$ 五. 第 第 条 五 第 種 条 項 第 貨 項 物 登 項 利 録 許 用 可 登 運  $\mathcal{O}$ 送 録 第 事  $\mathcal{O}$ 業 第  $\mathcal{O}$ 種 第  $\mathcal{O}$ 貨 種 許 物 貨 種 可 利 物 若 貨 用 利 物 L 運 < 用 利 送 運 用 は 事 送 渾 百 業 事 送 法  $\mathcal{O}$ 業 事 第 登
- 更 登 别 表 等 第  $\mathcal{O}$ 第 変 百 更 兀 登 +録 号 倉 庫 業 法 昭 和 三 十 年 法 律 第 百 +号) 第 条 登 録 0 倉 庫 業 者  $\mathcal{O}$ 登 録 又 は 同 法 第 七 条 第 項 変

認 定 が 旅 行 業 者 代 理 業  $\mathcal{O}$ 登 録 とみ なされ る場 合 0 取 扱 い

さ が +  $\mathcal{O}$ 别 れ る 規 る 表 兀 産 定 場 第 業 条 12 合 振  $\mathcal{O}$ ょ に 第 興 兀 る お 百 促 申 け 兀 進 奄 請 +計 る 美 を 奄 画 群 当 묽 美  $\mathcal{O}$ 島 該 群  $\mathcal{O}$ 戸 振 同 規 圃 島 条 第 意 振 定 開 を 興 に 八 発 L 開 ょ 項 特 た ŋ 别 発 者 同 特 旅 措  $\mathcal{O}$ 別 法 置 行 当 措 業 第 法 該 置 法 十 登 法 昭 三 録 昭 条 第 和 に +和 第 係 + る 条 +項 九 申 第 七 年 請 認 五. 年 法 لح 項 法 定 律 4  $\mathcal{O}$ 第 律 産 な 同 第 業 百 L 意 振 八 て を 百 興 + L 促 九 三 た +前 号 進 者 章 九 計 号) 及 に 画 第 び 0 + 0  $\overset{\sim}{\smile}$ 11 第 変 更)  $\mathcal{O}$ て 三 条 章 は 条 第 に  $\mathcal{O}$ 登 規 当 項 お 定 録) 該 11 を 産 て 産 潍 適 業  $\mathcal{O}$ 業 用 用 振 旅 振 す 興 行 す 興 る 促 業 る 促 進 者 場 進 計 代 合 計 画 理 を 画 業 含 0 認 係  $\mathcal{O}$ 75 る 登 定 同 録 に لح  $\mathcal{O}$ 条 4 第 認 規 な 定 定

2 申 第 促 百 兀 進 請 五 小 + لح 項 計 笠 原 4  $\mathcal{O}$ 画 な 同 号  $\mathcal{O}$ 諸 L 意  $\mathcal{O}$ 同 島 て を 規 条 振 L 定 第 興 前 た 開 に 八 項 章 者 ょ 発 及 特 に ŋ 旅 同 別 び 0 V 行 法 措  $\mathcal{O}$ て 業 第 置 法 章 は 十 法  $\mathcal{O}$ 第 昭 当 条 規 条 定 該 第 和 を 産  $\mathcal{O}$ 兀 適 業 旅 項 十 用 振 行 兀 す 興 業 認 年 促 者 法 る 定 進 代 産 律 計 玾 業 第 業 振 七 画 興 に  $\mathcal{O}$ +係 促 九 登 る 録 進 号 لح 計 同 条 4 画 第 第 な  $\mathcal{O}$ + さ 変 更 項 れ 条 第 る  $\mathcal{O}$ 場 に 規 項 定 合 お に に 1 (産 ょ て お 準 る け 業 申 用 振 る 小 興 請 す 笠 る 促 を 当 場 原 進 該 諸 合 計 同 島 を 画 含 意 振  $\mathcal{O}$ を 興 認 む 開 L 定 た 発 者 特  $\mathcal{O}$ に  $\mathcal{O}$ 別 認 規 当 措 定 定 該 置 す が 法 登 別 る 表 録 第 産 + 第 業 に 係 振 る 条 第 興

認 定 が 鉄 道 事 業  $\mathcal{O}$ 許 可 等 と 4 な さ n る 場 合  $\mathcal{O}$ 取 扱

施 規 画 法 第  $\mathcal{O}$ + 定 六 実 計 ビ に 項 兀 係 施 画 ス 継 + に 条 ょ る  $\mathcal{O}$ る 同 七 お に 認 続  $\mathcal{O}$ 申 法 条 V 規 定 事 五. 請 第  $\mathcal{O}$ て 定 業 を 準 す  $\mathcal{O}$ 地 +第 用 る 同 実 域 七 地 三 す 施 公 条 共 れ 条 項 る 域 第 場 に 5  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 公 六 交 共 通 項  $\mathcal{O}$  $\equiv$ 司 合 規 意又 同 第 を 交 に 定  $\mathcal{O}$ 通 含 す 意 お 活 を 項 は 利 る 性 む 11  $\mathcal{O}$ 地 L 同 便 て 化 た 規 法 準 域 増 及 者 定 第  $\mathcal{O}$ 進 用 旅 てバ  $\mathcal{O}$ に 認 実 再 す 客 当 ょ +定 施 る 運 生 該 る 七 が 計 場 送 に 申 合 サ 関 登 条 次 画 記 請  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 0 を ] す 等 + 各 同 含 ピ る 又 は 六 号 法 ス に む 法 に 第 継 係 当 第 律 る 該 掲 続 +申 項 げ 実 亚 地  $\mathcal{O}$ 請 域 る 七 認 施 成  $\mathcal{O}$ 公 同 規 条 定 計 + 4 共 意 定  $\mathcal{O}$ 又 画 九 な 交 を に + は  $\mathcal{O}$ 年 L 通 L ょ 七 同 同 法 て た り 利 第 法 法 律 当 者 第 便 第 第 前 増 該 項 に 五. + + 章 進 0 + 各 V) 地 及 号 九 実 七 七 号) 施 に び 7 域 条 条 ے は 定 公  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 計  $\mathcal{O}$ 共 第二 画  $\otimes$ + 章 に 当 る 交 六 第 通 +  $\mathcal{O}$ 係 該 登 第 規 記 利 項 る 地 七 定 司 域 等 便 項 条 を 法 لح 増 地 旅  $\mathcal{O}$ 地 適 4 進 域 第 客 用 運 な 実 域 旅 第 す + 送 さ 施 公 客 る 七 サ れ 計 共 運 項 条 る 画 交 送 1  $\mathcal{O}$ 場  $\mathcal{O}$ サ ピ 通 地 + ス 合 認 1 利 域 に 定 継 便 ピ 七 旅 第 続 お 増 ス 客 実 H 淮 継 渾 施 項 同 る 事 続 送  $\mathcal{O}$ 計 同 条 業 実 +

- 別 は 表 第 第 種 第 鉄 百 道 +事 業 뭉  $\mathcal{O}$ 許 鉄 可 道 又 事 は 業 法 軌 道 昭昭 法 和 大 六 + 正 +年 年 法 法 律 律 第 第 九 七 +十 六 号) 号) 第 第 三 条 条 第 事 項 業 0 許 特 可 許)  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 軌 第 道 事 種 業 鉄 道  $\mathcal{O}$ 特 事 業 第 種 鉄 道 業
- 客 別 自 表 動 第 車 運 第 送 百 事 業 + 五.  $\mathcal{O}$ 許 号 可 又 道 は 路 同 運 法 送 第 法 十 (昭 五. 条 和 第 + 項 六 年 事 法 業 律 計 第 百 画  $\mathcal{O}$ 八 + 変 更) 号)  $\mathcal{O}$ 事 第 業 兀 条 計 第 画  $\mathcal{O}$ 項 変 更  $\widehat{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 認 般 可 旅 自 動 車 運 送 事 業  $\mathcal{O}$ 許 可  $\mathcal{O}$ 般
- 登 別 表 第 0 第 変 百 更 + 登 五. 뭉 0 道 路 運 送 法 第 七 + 九 条 登 録 0 自 家 用 有 償 旅 客 運 送 者  $\mathcal{O}$ 登 録 又 は 同 法 第 七 十 九 条 0 七 第

項

変

兀 客定期航路事業の許可別表第一第百三十三号 海上運送法 (昭和二十四年法律第百八十七号)第三条第一項(一般旅客定期航路事業の許可)の一 般旅

別表第一 第十七条の三―第

(ペン三十二) (略) (一) (一) (三十三) 建築基準法(昭和二十五年法律第二百一号) (四) (三十三) 建築基準法(昭和二十五年法律第二百一号) (四) (三十三) 建築基準適合判定資格者の登録 (日) 構造計算適合判定資格者の登録 (日)	登録証の書換えの申請をした場合における当該書に注)社会保険労務士法(昭和四十三年法律第八十九二により社会保険労務士法(昭和四十三年法律第八十九二十二人の資格の登録若しくは認定又は技能証明	(略)	登記、登録、特許、免許、許可、認可、認定、指定又は
登録)の構造計が又は同法第七十七条の五	登録)の構造計 登録)の構造計 登録)の構造計 登録)の構造計		技能証明の事項
登 録 妹 件 数 数			課税標準
一 件 に つ き 一 万			税
Ĥ Ĥ	録とみなす。 「同法第五条(の付記)の規定		率

略

 $\bigcirc$ 社 会保険労務 士 法 (昭和四十三年法律第八十九号) (抄)

紛紛 争 解決手 続 代 理 業務の付記)

第十四 条の +の 三 連合会は、 前 条の規定に よる申請を受けたときは、 遅滞なく、 当該社会保険労務 士 0) 登 録 に 紛 争 解 決 手 続代 理 業

2 3 (略)

務

0

付

記をし、

な

け

れ

ば

ならない。

 $\bigcirc$ 業 環境測 定 法 昭和五十 年法律第二十八号)(抄)

作 業環境測定 士 の資格)

第五条 講 習 作業環境測定士となる資格を有する。 ( 以 下 作業環境測 「講習」という。 定士試験 (以下「試験」という。) に合格 )を修了した者その他これと同等以上の能 į かつ、 厚生労働大臣又は都道府県労働 力を有すると認められる者で、 厚生労働省令で定めるも 局 長の 登録を受けた者が行  $\mathcal{O}$ は う

(登録)

第七条 作業環境測 定士となる資格を有する者が作業環境測定士となるに は、 厚生労働省令で定めるところにより、 作 業環 境 測 定 士 名

簿に、 次 の 事項に ついて登録を受けなければならない。

登 録 年月日 及 び 登 立録番号

氏名及び 生 年 月 日

三 作 業 環 境 測 定 士  $\mathcal{O}$ 種別

兀 そ 0) 他厚 生 労 働 省令で定める事 項

 $\bigcirc$ 都 市 緑 地 法 昭昭 和 四 十八年法律第七十二号) (抄)

緑 化 施設  $\mathcal{O}$ 工 事 0) 認定)

兀 ŧ 長  $\mathcal{O}$ 十三 0 他 に 申  $\mathcal{O}$ 限 P L る。 出 む を て、 以 得 三 そ 下 な +  $\mathcal{O}$ 五. 11 旨  $\mathcal{O}$ 理 条 条 由 又  $\mathcal{O}$ に 認 は に 定 お ょ 地 を受け り 11 区 て 建 計 同 築 画 ľ ること 基 等 準 緑 法 化 が を 第 率 完了す で 六 条 き 条 例 る 第 0 ること 規 項 定  $\mathcal{O}$ に が 規 ょ で る 定 き に 規 ょ な 制 る 11  $\mathcal{O}$ 場 工 対 合 事 象 に  $\mathcal{O}$ لح 完 な お る 1 了 て  $\mathcal{O}$ 建 日 は 築 ま 物 でに 玉 0) 土 新 交 緑 築 通 化 又 省 施 は 令で 設 増 に 築 関 を 定  $\otimes$ す るところ ようとする る 工 事 に 植 ょ 栽 ŋ は、 工 事 市 に 気 町 係 温 村 る そ

2 に 付 11 対 ること 建 し、 な 築 基 け を そ 準 れ ば 認  $\mathcal{O}$ 法 な 8 検 第 た 查 七 な 場 に 条 一合に 係 第 兀 る 建 お 項 に 築 1 規 て 物 及 定 は び す その る 同 建築 法 第七 敷 主 地 が、 条 事 第 等 五. 緑 又 は 項 化 文は 施 同 設 法 第 に 第 七 関 七 す 条 条 る 0 0 工 第 事 第 Ŧī. が 項 完 項 0) 了  $\mathcal{O}$ 規 規 L 定に て 定 V に か な ょ か 1 る わ 指 ことを除 定を受け 5 ず、 き、 た者 れ 5 建 築 は 0 規 基 定 準 前 に 関 項 ょ 係 0 る 規 検 定 定 に 査 を 受 済 谪 つ け 証 合 を L た て 者

3 4 略

5

 $\bigcirc$ 化 槽 法 昭 和 五. + 八 年 法 律 : 第 四 十三号) 抄

定 義

第一 0 法 律 に お 11 て、 次 0 各 号 に 掲 げ る 用 語 0 意 義 は、 そ れ ぞ れ当 該各号に 定めるところによ

+ 略

< 九 は + 特 定 七 特 別 条 行 の 二 区 政 0) 庁 長 第 又 建 築基 は 項 都  $\mathcal{O}$ 市 道 準 府 町 法 県 村 (昭 知 又 事 は 和 二十 を 特 别 11 う。 区 五. 年  $\mathcal{O}$ 区 法 域 律 に 第 0 百 11 て 号) は 第二 当 該 条 浄 第三 化 槽 +に 係 五. 号 る 建 本 文に 築 物 規  $\mathcal{O}$ 定 審 する 査 を 特 行 定 う べ 行 き 政 庁 建 築 を 主 11 · う。 事 を ただ 置 < 市 L 同 村 若 法

設 置 等 0) 届 出 勧 告 及 び変更 命 令)

第

十 二 5 条 保 五. る な 第 健 条 建 建 *١* ، 兀 条 築 築 所 を  $\mathcal{O}$ 主 主 項 浄 兀 事 事 た 設 化 だだ に  $\mathcal{O}$ 第 置 第 槽 通 確 L 兀 す を 知 認 + る 項 設 す 当 九 市 に 置 を ベ 申 該 条 又 お L 第 は きときは、 請 浄 V て 又 化 特 す は 項 べ 同 槽 別 きと ľ その に 及 X び 関 に こ の  $\smile$ き、 第五 構造 あ をし つて 十七 若 限 建 又 築 は、 よう ŋ は L で 基 < 同 条 法 準 を کے 市 は 除 す 第 法 長 規 又 第 る 模 き、 は 六 者 八  $\mathcal{O}$ 条第二 条 以 は、 変 区 第 下 長 更 とす 同 玉 ľ 項 項 玉 土 る。 交 土 同 同 通 交 通 法 法 及 第 省 第 び 第 五. 令 省 当 八 八 項 令 + +該 環 七 第 境 環 七 都 省令 条第 条第 七 境 道 条第 省令 府 県 で 項 定 項 知 で 項 に 事  $\otimes$ 定 に る め お お を ところ る 1 経 第 + = て準 軽 て 由 準 微 L 用 て に 用 条 な す す 変 特  $\mathcal{O}$ ょ ŋ 更 る る 定 兀 第二 場 場 を 行 合を含 合を 除 政 そ < 庁 項  $\mathcal{O}$ 含 に 旨 む。 む 届 第 を 第 け 都 七 五. 出 章 道 条  $\mathcal{O}$ な  $\mathcal{O}$ 府 第 規 規 け 県 第 項、 定 兀 定 n 知 に に ば + 事 ょ ょ な 八 第

#### 2 4 略

5  $\mathcal{O}$ に 第 限 る。 項 0) 規 は、 定 に 地 ょ 方 ŋ 自 保 治 健 所 法 を設 昭昭 和二 置 する 十二年 市 又 法は 律 特 第 別 六 区 + が 処 七 号) 理 することとさ 第二条第 九 項 れ 第二 て V 号 る 事 に 規 務 定 (都 す る第 道 府 県 二号 知 法 事 に 定 受 対 す 託 る 事 務 届 لح 出 す 0 る。 経 由 に 係 る

設 置 後 等 0 水 質 検 査

第 七 るところにより、 を受け 、 う。 条 新たに な け は、 れ ば 都 設 な 道 置 6 府 当 さ これ、 な 県 該 知 浄 事 又 は 化 が 槽 · 第 五  $\mathcal{O}$ そ 所  $\mathcal{O}$ 十七 有 構 者、 造 若 条第 しく 占 有 項 者 は  $\mathcal{O}$ そ 規 規  $\mathcal{O}$ 模 定により 他  $\mathcal{O}$ 変更をさ  $\mathcal{O}$ 者 で 指 当 定する者 該 れ た浄 浄 化 槽 化  $\mathcal{O}$ 槽 以 管 に 下 理 0 に 11 指 て 0 ٧Ì 定検 は、 て 権 查 環 機 原 境 関 を有するも 省令で定 という。  $\otimes$ る 0) 期 以 間 0) 行 下 内 う 水質 浄 環 化 E 槽 境 関 管 省 はする 理 令 者 で 定 検 لح 査 8

2 略

第 十二 条 0 兀 略

2 市 町 村 は 前 項 0) 規 定 に ょ ŋ 浄 化 処 理 促 進 区 域 を指 定 しようとするとき は あ 5 カ じ  $\otimes$ 都 道 府 県 知 事 に 協 議 な け れ ば な 5

2 兀 3 + 条 略

第 3

八

略

略

4 違 法 市 又 町 は 村 不 長 適 保保 正 な 健 事 所 を 実 設 が 置 ある する市 と認  $\otimes$ 及 るとき び 特 別 は、 区 0) 都 長 を 道 除 府 < 県 知  $\overline{\phantom{a}}$ 事 は に 対 第 L 必 項 要 0) な 登 措 録 置をとるべ を 受け た浄 きことを申 化 槽 0 保 守 点 L 検 出 を業とする ることが で きる。 者 0) 業 務 に 関 L

浄 化 槽 台 帳  $\mathcal{O}$ 作 成

第 兀 設 置 + す 九 る 条 市 又 都 は 道 特 府 別 県 区 知  $\mathcal{O}$ 事 長 は は 当 当該 該 都 市 道 又 府 は 県 特  $\mathcal{O}$ 別 区 区 域  $\mathcal{O}$ 区 保 健 域 所を設 12 存 す る 置 す 浄 る市 化 槽ごとに、 及 び 特 別 次に 区 0) . 掲げ 区 域 る事 を除 項 を記 に 載 存 L する た 浄 浄化 化 槽 台 槽 ごとに、 帳 を 作 成 す 保 る 健 ŧ 所 0 を

その 浄 化 槽 0) 存 す る土 地 0) 所 在 及 び 地 番 並 び に 浄 化 槽 管 理 者 0 氏 名 又 は 名 称 とす

第 七 条 第 項 及 び 第 +条 第 項 本 文 0 水 質 に 関 す る 検 査 0 実 施 状

況

2 3 略

そ

0

他

環

境

省

令

で

定め

る事

項

#### 指 定 検 査 機 関

第 Ŧī. 指 +定 七 す 条 る。 都 道 府 県 知 事 は 当 該 都 道 府 県  $\mathcal{O}$ 区 域 に お 1 て 第 七 条 第 項 及 び 第 + \_\_ 条 第 項 本 文 0 水 質 に 関 す る 検 查 0) 業 務 を 行 j 者

- 2 都 道 府 県 知 事 は 前 項  $\mathcal{O}$ 指 定 をしたとき は、 環 境 省令 で 定 8 る 事 項 を 公 示 L な け れ ば な 5 な
- 3 第 項  $\mathcal{O}$ 指 定  $\mathcal{O}$ 手 続 そ  $\mathcal{O}$ 他 指 定 検 査 機 関 に 関 L 必 要 な 事 項 は 環 境 省 令 で 定 んめる。 の

 $\bigcirc$ 建 築 物  $\mathcal{O}$ 耐 震 改 修 0 促 進 に 関 す る 法 律 伞 成 七 年 法 律 第 百二十三号) 抄

定 義

#### 第 条 略

2

略

3 府  $\mathcal{O}$ 県 第 他 知 0) 0) 事 項 市 法 又 町 律 は す 村 に る。 第 又 お 九 は V + 特 て 別 七 所 条 区 0  $\mathcal{O}$ 管 =区 行 第一 域 政 庁 に 項 0 لح  $\mathcal{O}$ 11 規定 は、 て は に 都 建 ょ 道 築 ŋ 府 主 建 県 事 築主事 知 を 事 置 を < を 市 11 · う。 置 町 < 村 ただし、 市 又は 町 村 特 又 別 は 建 区 特 築  $\mathcal{O}$ 基 別 区 区 準 域  $\mathcal{O}$ 法 に 区 0 (昭 域 V 内 和 て 0 は +政 当 令で Ħ. 該 年 市 定 法 町  $\emptyset$ 律 村 る 第二 又 建 は 築 百 特 物 别 号) に 区 0 0 1 第 長 て 九 を +11 七 都 条 道  $\mathcal{O}$ そ

#### 計 画 0) 認 定

غ

第 + 庁 0) 七 認 条 定 を申 建 築 請 物 す 0) ることができる。 耐 震 改 修 を しようとする者 は 玉 土 交通 省 令 で 定 8 るところ に ょ り、 建 築 物 0 耐 震 改 修  $\mathcal{O}$ 計 画 を 作 成 所 管 行 政

#### 2 3 略

知 を 第 要 1 す 項 Ś  $\mathcal{O}$ ŧ 申  $\mathcal{O}$ 請 で に あ 係 る る 場 建 合 築 に 物 お  $\mathcal{O}$ 11 耐 て、 震 改 計 修  $\mathcal{O}$ 画  $\mathcal{O}$ 計 認 画 が 定 を 建 築 L 基準 ようとするとき 法 第六条 第 は、 項 所  $\mathcal{O}$ 管 規 定によ 行 政 庁 る は 確 あ 認 又 5 は か 同 じ め、 法 第 建 + 築 八 条第 主 事  $\mathcal{O}$ 同 項 意  $\mathcal{O}$ を 規 得 定 に な け ょ る れ ば 通

#### 5 5 9 略

な

5

な

10

認 知 済 を 第 要 証 す  $\mathcal{O}$ 項 交 る  $\mathcal{O}$ 付 ŧ 申 が  $\mathcal{O}$ 請 あ で に つ あ 係 た る る ものとみなす。 場 建 合 築 物 に お  $\mathcal{O}$ 11 耐 て、 震 改 所 修  $\mathcal{O}$ 管  $\mathcal{O}$ 場 計 行 合 政 画 に 庁 が お が 建 1 計 築 て、 基 画  $\mathcal{O}$ 準 所 法 認 管 定 第 行 をしたとき 六 条 政 庁 第 は 項 そ は  $\mathcal{O}$ 規  $\mathcal{O}$ 定に 旨 同 · を建 法 第 ょ 築主 六 る 条 確 事 第 認 に 又 は 通 項 知する 又 同 は 法 第 第 Ł + + 0) 八 八 とする。 条第二 条第三 項 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 規 定 定 に に ょ ょ る る 通

 $\bigcirc$ 密 集 市 街 地 に お け る 防 災 街 区 0 整 備  $\mathcal{O}$ 促 進 に 関 す る 法 律 亚 成 九 年 法 律 第 兀 + 九

(建替計画の認定)

第 0) 市 兀 建 町 条 第 え 村 長 防 項の を 関 災 す 再 規 11 る 開 定 計 発 に そ 画 促 ょ 0) 進 ŋ 他 以 地 下この 建  $\mathcal{O}$ 区 築 市 0 主 町 区 事 村 節 域 を 0) に 内 置 X お に < 域 11 お 市 に て て、 町 0 村 建 11 0 て 替 建 区 は 計 築 画 域 都 物 内 道  $\mathcal{O}$ 0 府 と 建 いう。 政 県 替 令 知 え で 事 を 定め を しようとする を作成 11 、 う。 る 建 築物に ただし、 Ĺ 者 所 管行 は、 0 7 建 て 築 政 玉 は 基 庁 土 準 交 建 通 法 都 築主 省令 道 第 府県 九 事 で +知 七 を 定 事 置 条 8 とす < る  $\mathcal{O}$ ところ 市 る。 町 第 村 以 項  $\mathcal{O}$ に 下 又 区 ょ 同 は 域 り、 ľ 第 に 九 建 0 V 築  $\mathcal{O}$ 七 て 物 認 条 は

2~4 (略)

定

を

申

請

する

が

で

、きる。

(建替計画の認定基準

第五条 (略)

- 2 建 替 建 替 計 計 画  $\mathcal{O}$ 画 認 が 定 建 を 築 L 基 ようとす 準 法 第六条 ると 第一 き は、 項 0 所 規 管 定 行 に 政 ょ 庁 る は、 確 認 あ 又 5 は か 同 ľ 法  $\Diamond$ 第 + 建 八 築 条 主 第 事  $\mathcal{O}$ 項 同 0 規 意 を 定 得 に な ょ る け 通 れ ば 知 な を 5 要 な す V) る ŧ あ る 場 合 に お い 7
- 3 を 行 4 建 替 政 建 該 庁 え 基 築 所 て 準 主 管 関 通 適 事 行 知 用 係 は 政 L さ 規 庁 な れ 定 前 に け る 項 同 同  $\mathcal{O}$ 通 れ ば 法 法 同 知 意を求 第六 第 な L 5 六 な 条 条 け な \ \ \ 第  $\mathcal{O}$ れ  $\Diamond$ ば 兀 5 この なら 項 第 れ べに規 た場 場 項 な 合 定 に 合 に す 規 に お る 定 お 建 す 11 VI 築基 る て、 て、 建 建 潍 築 当 築 関 物 該 主 建 係  $\mathcal{O}$ 事 規 替 新 定) 築に 計 は 画 に 同 0  $\mathcal{O}$ うち 意 適 1 す 合 て ることが す 同 新 築する 意を求り る ŧ  $\mathcal{O}$ 建 で で  $\Diamond$ き あ 5 築 な 物 る れ とき た場 に 係 事 は、 合に る 由 部 が あ あ 同 分 意を与 ると 0 が て 建 認 は 築 えて  $\Diamond$ 基 る 同 準 لح そ 項 法 き  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 第 旨 規 六 は 定 を 条 当 そ に 第 該  $\mathcal{O}$ ょ 事 所 ŋ 項 管 読 由  $\mathcal{O}$
- 4 (略)
- 5 す。 所 管 建 替 行  $\mathcal{O}$ 政 計 場 庁 画 合 が が に 建 建 お 替 築 計 基 1 準 て 画 法 0 第六 認 所 管 定 をし 行 条 政 第 たとき 庁 項 は  $\mathcal{O}$ は、 そ 規 0 定 旨 同 に を 法 ょ 第六 建 る 築 確 主 条 認 事 第 又 に は 項 同 通 又 法 知 す は 第 る 第 + ŧ + 八 0) 八 条 条第 と 第 す る。 項 項  $\mathcal{O}$ 規  $\mathcal{O}$ 規 定 定 に に ょ ょ る る 通 確 知 認 を 要 済 す 証 る  $\mathcal{O}$ 交 ŧ 付  $\mathcal{O}$ が で あ あ 0 る 場 た 合に Ł 0 とみ お て
- $\bigcirc$ 宅 0 品 確 保  $\mathcal{O}$ 促 進 に 関 す る 法 律 伞 成 十 年 法 律 第 八 + 号) (抄

(登録

#### 第 七 略

- 2 別ご 前 とに 項  $\mathcal{O}$ 玉 申 土 請 交 は、 通 省 玉 合で定 土 一交通 省  $\otimes$ る区 令で定め 分に るところ 従 って 行 に わ ょ な ŋ, け れ ば 評 な 価 5 0 業 な 務 V を 行 お うと す る住 宅 0) 種 類 及 び 規 模 に 応じ、 次 に 掲 げ る 住 宅 0) 種
- 建 築士法 昭昭 和  $^{-}$ -五年法 律 第二百 二号) 第三 一条第 項 第 号 か 5 第 兀 号 までに 掲 げ る 建 築物 で あ る

住

宅

### 二 <u>•</u> 三 略

#### 登 録 基 準 等

第 九 条 玉 1土交 通 大 臣 は 登 録 0 申 請 をし た 者 以 下 0 項 に お 11 て 登 録 申 請 者 لح V う。 が 次 に 掲 げ る 基 準 0 す べ 7 に 適 合 て

- るときは、 第 十三 条 そ  $\mathcal{O}$ 評 0 価 登 員 録 をしな 別 表 各 け 号 れ 0 ば なら 上 一欄に な 掲 げ る 住 宅 性 能 評 価 を 行う住 宅  $\mathcal{O}$ 区 分に応じ、 それ だれ 当 該 各 号  $\mathcal{O}$ 中 欄 に 掲 げ る 者 12 該 当
- す る も 別表各日 0) に 号 限 る。 0) 上 欄 以 下この に 掲げる住宅 号 に お 性 11 て 同 能 評 U<sub>o</sub> 価 を 行う住 が 住 宅 宅  $\mathcal{O}$ 性 区 能 分ごとに、 評 価を 実 施 そ し、 れ ぞ そ れ当該各号の  $\mathcal{O}$ 数 が 次  $\mathcal{O}$ V ず 下 欄 れ に に 掲 Ł げ 適 合す る 数 え も (そ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 数 で が あ ること。 一未満 で あ
- 口 لح きは、 以 上 一であること。 宅 性 能 評 価 を 行 う 住 宅  $\mathcal{O}$ 区 分 0 以 上 に わ たる住宅に 0 71 . て住宅: 性 能 評 価 を 行 う場 合 に あ 0 て は、
- 第 十三条の 別 表各 号 評 0 価 上 員 欄 に  $\mathcal{O}$ 総 掲げる住 数が、 それ

5

 $\mathcal{O}$ 

区

分に

応じ

そ

れ

ぞ

れ

当

該各

号

 $\mathcal{O}$ 

下

欄に

掲

げる数

を

合計

した

数

(そ

 $\mathcal{O}$ 

数

が 二

未

満

で

あると

上

で

- 登 は、 録 申 請 以 者 が 業として、 あること。 住 宅 」 を 設 計 L 若 L < は 販 売 Ļ 住 宅 0 販 売 を 代 理 L 若し くは 媒 介 し、 又 は 新 築 住 宅  $\mathcal{O}$ 建 設 工 事 を 請 け
- 負う 者 以 下 住 宅 関連事 業 者」 とい う。 に 支 ?配さ れ て *\* \ るも のとし て 次  $\mathcal{O}$ 1 ず れ か に 該 当 す る ŧ  $\mathcal{O}$ で な いこ
- 九 条第 申 請 項 者 に が 規 株 定する親法 式会社である場合にあ 仏をい 、 う。 以 つ て 下 は、 同 ľ 住宅関 で あ 連 ること。 事 業者が そ 0) 親 法 人 (会社 法 伞 成 十 七 年 法 律 第八十 六 号) 第 八 百 七
- 口 行 0 す 割 登 る 合 録 が二分 申 社 員 請 者 0) に 0) 占 役 8 員 超えてい る住宅関 待 分会社 ること。 連 事 (会社 業者  $\mathcal{O}$ 法 役 第 員 Ŧī. 又 百 七十 は 職 員 五. 条 ( 過 第 去二 項に規・ 年 間 に 定 でする 当 該 持 住 宅関 分会社 連 事 を 業 V · う。 者  $\mathcal{O}$ 役 以 員 下 同 又 ľ は 職 員 に で あ あ 0 0 た 7 者 は、 を含 業 務 を 執

を

- 録 申 役 員 請 又 者 は 法 職 人にあ 員 で あ 0 っては、 た 者を含 その む。 代 表 で 権 を あ 有する役 ること。 員 が 住 宅 関 連 事 業 者 0 役 員 又 は 職 員 (過 去 年 間 に 当 該 住 宅 関 連
- 三 評 価 0 業 務 を 適 正 に 行 うため に評 価の 業務 を行う部門に 専 任 0 管 理 者 が 置 カコ れ 7

る

兀 債 務 超 過 0 状 態 に な

2 登 録 は 登 録 住 宅 性 能 評 価 機 関 登 録 簿に 次 に 掲 げ る事 項 を 記 載 てする ŧ 0 とする。

登 録 年 月 日 及 び 登 録 番 号

登 録 住 宅 性 能 評 価 機 関 0) 氏 名 又は 名 称 及 び 住 所 並 び に 法 人に あっ 7 は、 そ 0) 代 表者 0 氏

名

 $\equiv$ 登 録  $\mathcal{O}$ 区 分

几 登 録 住 宅 性 能 評 価 機 関 が 評 価  $\mathcal{O}$ 業務 を 行 Ď 事 務 所  $\mathcal{O}$ 所 在 地

Ŧ. 第 十三 条  $\mathcal{O}$ 評 価 員  $\mathcal{O}$ 氏 名

六 前 各号に 掲 げ る t 0) 0 ほ か、 玉 土 交 通 省 令 で 定 8 る 事 項

**(評** 

価

員)

第十三条 る者に 録講習 該当する者 機 関 登 録 という。 住 宅 しであっ 性 能 評 て、 が行う講習の 価 機 第二十五 関 は 別 一条から: 課程 表各 を 号 第二 修  $\mathcal{O}$ 了 上 +欄 たも 七 に 条ま 掲  $\mathcal{O}$ げ  $\mathcal{O}$ で る うち  $\mathcal{O}$ 住 規 宅 定 性 カ 5  $\mathcal{O}$ 能 評 定 評 価  $\otimes$ 価 員を るところにより を行う住 選任 しな 宅 0 け 区 分に れ 玉 1土交通-ば ならな に応じ、 大臣 そ  $\mathcal{O}$ れ ぞ 登 れ 当 録 を受け 該 各 た 号 者 0) 中 (以下 欄 に 掲 げ 登

**登** 録 基 全準等)

第二十七条 しているとき 国土交通 は、 そ 大臣  $\mathcal{O}$ 登 録 は、 を L 登 なけ 録  $\mathcal{O}$ れ 申 ればなら 請 を L た な 者 以 この 下こ 場 合  $\mathcal{O}$ に 項 に お お て、 11 て 登 録 登 録 に 関 申 して必 請 者」 要な とい . う。 手 続 は、 が 次に 玉 土 一交通 掲 げる 省 令 基 で 準 定  $\mathcal{O}$ 8 す る。 ベ てに 適 合

(略)

で あること。 前号 0 住 宅 性 能 評 価 に 関 す る 実 務 に 関 す る 科 目 に あ 0 て は、 次  $\mathcal{O}$ 11 ず れ カゝ に 該 当 す る者が 講 師 لح L 7 講 習  $\mathcal{O}$ 業 務 に 従 事 す る ŧ 0

住 宅性能 第五条 建 築士 評 第 法 第二 価 に 項  $\mathcal{O}$ 条 0 建 第二項に規定する V 築基 て 評 価 準 員として三年 適 合判 定資 級 格 以 者 建 検 上 築 定に合格  $\mathcal{O}$ 士 実 以 務 0) 下 経 L た者 験 を有するも 級 建 (以下 築 土 لح 建 築 **,** \ 基準 う。 適 又は 合 判 定 建 資 築 格者 基 準 検 法 定合格 (昭 和 者\_  $\overline{+}$ という。 五. 年 法 律 第 7二百 であって

口 略

兀 略

認定員 (略)

2

第四 選 任 + 七 L な 条 け れ 登 ば 録 な 住 5 宅 な 型 11 式 性 能 認 定 等 機 関 は、 次 0) 各 号に 掲 げる業務 0 種 別 に 応じ、 それぞれ 当該各号に 定 める者のうち カコ 5 認 定 員 を

当する者

第 四 十 四条第二 項 第 号 に 掲 げ る業 務 次  $\mathcal{O}$ 1 か 5 = ま で 0) 11 ず れ か に 該

# イ・ロ (略)

評 価 員とし 級 建 築 て 士 五. 又 年 は 以 建 上の 築基 実務 準 適 0 合判定資格 経験を有するもの 者 検 定合格者 で あ 0 て、 第七 条第二 項 第 号に 掲げる住宅に係る住宅性 能 評 価に 0

いて

## 二 (略)

(略)

別表 (第九条、第十三条関係)

\_ 備 住 考 (略) 三 第七 宅 性 条第二 略 能 項 評 第 価 号 を に 掲 行 げ る う 住 宅 住 宅 格 評 知 略 識 者 級 及び 検定合格者又はこれら 建 築 経験を有 士 若 L < する者 は 価 建 築基 لح 準 同 適 合判定 等 以 上の 資 員 数 除 を行う建 住 (略) を 宅 L た数の 百 性 九十では 能 設さ 評 合計 価 れ 除 を 行う た L 住 た 数 数 宅 設 及  $\mathcal{O}$ 計 棟  $C_{i}$ さ 数 住 れ を 宅 た 百 性 住 能 宅 十で 評  $\mathcal{O}$ 価 棟

# (都市再生安全確保計画)

第十九条の十五 (略)

2 都 市 再 生 安 全 確 保 計 画 に は 次 に 掲 げ る 事 項 を 記 載 す る ŧ 0 لح す

#### 事項

都 略 市 開 発 事 業 0 施 行 に 関 連 L 7 必 要 と な る 都 市 再 生 安 全 確 保 施 設 0 整 備 に 関 す んる事 業 並 び そ 0

実

施

主

体

及

び

実

施

期

間

に

関

す

る

条

者

### 三 (略)

兀 第  $\mathcal{O}$ 都 安 項 市 全 に 再  $\mathcal{O}$ 規 生 確 定 安 保 す 全 る を 確 义 耐 保 震 る 施 た 改 設 め 修 を 有 に を する 1 必 , う。 要 な事 建 第 築 · 業 物 + 及 九 0 び 条 耐 そ  $\mathcal{O}$ 震 0) +改 実 八 修 施 第 建 主 体 項 築 に に 物 関 お  $\mathcal{O}$ す 11 耐 る 7 震 事 同 改 ľ 項 修 0 促 そ 進 に  $\mathcal{O}$ 関 他 す  $\mathcal{O}$ る 大 規 法 模 律 な 平 地 成 震 が 七 発 年 生 法 L 律 た 第 場 百 合 十三 に お 号) け る 第 滞 在

# 五・六 (略)

3

5

6

略

(建築確認等の特例

第

法 司 規 + を 条 築 得 第 第 法 定 基 九 る + 第 す 準 条 る 六 法  $\mathcal{O}$ 項 八 لح 条第二 大規 に 条 +昭 が 規 第 七 で 定 模 和 ·きる。 す 項 項 0) 協 る場 模 +議 同 同 様 五. 会 の合を除 は、 替 年 法 法 第 第 又 法 は 八 八 律 都 十七 +用 第 市 七 途 再 百 条 条  $\mathcal{O}$ 生 第 第 に 変 安 号) 更 限 全 項に を る。 項 確 に 第 11 保 う。 お お 計 11 は 11 条 画 7 て 以 第 に 十三 準 準 下 玉 第 土 用 用 同 + 交通 号 じ。 す す 九 る場 る場 に 条  $\smile$ 省 規  $\mathcal{O}$ · 令 で 合を に 合 定 + (する: を 関 五. 含 する事 含 第二 定 さき。 む。  $\emptyset$ 建 るところに 築 項 次 次 項 第 項 項 を 同 12 及 記 号 条 び 載 第 又は お ょ 11 第 し + り、 て同 匹 兀 ょ 第 ふうと 号に 項 兀 ľ に あ 뭉 す に 5 規 お  $\smile$ 然定する. るとき か 11 掲 て同 ľ  $\mathcal{O}$ げ め、 規 る じ。 大 定 事 (当 規 建 に 項 築 該 模 と ょ 主 建 L る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 築 事 通 修 て に 知 定 物 繕 建 協 を に  $\mathcal{O}$ 築 要 ょ 建 同 物 議 す る 築 条  $\mathcal{O}$ L る 等 第 確 建 そ 場 認 に + 築 合  $\mathcal{O}$ 又 0 五. 等 同 は V 号 次 同 7 建 意

2 建 第 築 建 項 物 築 基 0) 0 準 規 建 定 築 法 に 等 第 ょ に 九 十三 る 関 す 確 る 条 認 事 を 0 要 項 規 す に 定 る 0 は 建 11 建 築 て 築 物 前 主  $\mathcal{O}$ 項 事 建  $\mathcal{O}$ が 同 築 同 等 意 法 第六 を に 関 L よう す 条 る 第 事 لح 項 す 項 る に  $\mathcal{O}$ 場 規 0 合 11 定 て に に 前 0 ょ 項 1 る て、  $\mathcal{O}$ 確 同 認 又 意 同 は を 法 L 第 同 ょ 九 法 うと 十三 第 + 条 す 八 る 0) 条 場 第二 合 0) 規 に 項 0 定  $\mathcal{O}$ 規 11 は て、 建 定 築 に そ 主 ょ れ 事 る ぞ が 通 同 れ 知 法 準 を 用 第 要 す 六 す る る

#### 4 第 項 又 は 前 項 0 同 意 を得 た 事 項 が 記 載 さ れ た 都 市 再 生 安 全 確 保 計 画 が 第 + 九 条 $\mathcal{O}$ + 五. 第 五. 項 0 規 定 に ょ ŋ 公 表 さ れ た

とき

は

当

3

八 七 該 +条 公 六 第 表 条  $\mathcal{O}$ 第 項 日 に に 項 お 第 若 V L て 項 < 潍 0 は 用 同 第 す 意 る場 を 項 得 合 た 第 を 事 含 八 項 に 十 む 六 係 条 る  $\mathcal{O}$ 事  $\mathcal{O}$ 八 規 業 第 定 0 に 実 項 ょ 施 若 る 主 確 体 L < 認 に は 済 対 第 証 す る 八  $\mathcal{O}$ 十 交 建 七 付 築 条 又 基 のは 準 法 前 第 項 第六  $\mathcal{O}$ 項同 条  $\mathcal{O}$ 意 第 規 を 得 定 項 若 に た 事 ょ L る 項 < 認 に は 定 第 係 + が る 建 八 あ 0 築 条 た 物 第 ŧ に 2 項  $\mathcal{O}$ لح V 4 同 7 法 な  $\mathcal{O}$ す。 百 第 法 八 第 +

建 築 物  $\mathcal{O}$ 耐 震 改 修  $\mathcal{O}$ 計 画  $\mathcal{O}$ 認 定  $\mathcal{O}$ 特 例

第 関 関 す す 九 る る 条 事  $\mathcal{O}$ 法 +律 項 第二 八 を 記 条 載 協 第三 議 L よう 会 項 は عَ に す 規定する所 都 ると 市 再 き 生 さは、 安 管 全 玉 確 行 政 土 保 庁 交 計 通 を 画 省 に 11 う。 令 第 で + 次 定 九 項 8 条 に る  $\mathcal{O}$ ところに + お 11 五 て 第二 同 ľ ょ 項 ŋ 第 뭉 に あ 協 5 又 は 議 か じ 第 L しめ、 兀 そ 号 0) に 所 管 同 掲 意を得 行 げ 政 る 事 庁 ること 項 建 築 が 物 7 で  $\mathcal{O}$ 建 き 耐 築 震 物 改  $\mathcal{O}$ 修 耐 0 震 促 改 進 修 に に

2 3 略

都 市 再 生 歩 行 者 経 路 協 定  $\mathcal{O}$ 締 結 等)

第 兀 +五. 条 0 略

2 3 略

4

都 市 再 生 歩 行 者 経 路 協 定 は 市 町 村 長  $\mathcal{O}$ 認 可 を 受 け な け れ ば な 5 な

認 可  $\mathcal{O}$ 申 請 に 係 る 都 市 再 生 歩 行 者 経 路 協 定  $\mathcal{O}$ 縦 覧 等

村

第

兀

十

五.

条

 $\mathcal{O}$ 

三

略

2 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 公 告 が あ 0 たとき c は、 関 係 人 は 同 項  $\mathcal{O}$ 縦 覧 期 間 満 了  $\mathcal{O}$ 日 ま で に 当 該 都 市 再 生 歩 行 者 経 路 協 定 に 0 1 て、 市 町

長 に 意 見 書 を 提 出 す ることが できる。

都 市 再 生 歩 行 者 経 路 協 定  $\mathcal{O}$ 変 更)

第 兀 け 行 な 者 + け 経 五 路 条 れ ば 協  $\mathcal{O}$ な 定 五. 6 に な お 協 V 11 定 て 区 定 域  $\Diamond$ 内 た  $\mathcal{O}$ 事 土 項 地 を に 変 係 更 る L 土 ょ 地 う 所 と 有 す 者 る場 等 合 当 該 に お 都 市 11 再 7 生 は 歩 そ 行  $\mathcal{O}$ 者 全 経 員 路  $\mathcal{O}$ 協 合 定 意  $\mathcal{O}$ をも 効 力 0 が てその 及ば な 旨 11 を 者 定 を  $\otimes$ 除 市 町 村 は 長 都  $\mathcal{O}$ 認 市 可 再 を 生 歩

2 前 条  $\mathcal{O}$ 規 定 は 前 項  $\mathcal{O}$ 変 更 0) 認 可 に 0 11 て 準 用 す る。

0) 所 有 者 に ょ る 都 市 再 生 歩 行 者 経 路 協 定 0 設 定

第

兀

行 者 + 経 五 条 路  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 整 +備 又 は 都 管 市 再 理 生  $\mathcal{O}$ 緊 た  $\Diamond$ 急 整 必 要が 備 地 あ 域 ると 内  $\mathcal{O}$ 認  $\Diamond$ 寸 るとき  $\mathcal{O}$ 土 地 で、 は 市  $\mathcal{O}$ 町 所 村 長 有  $\mathcal{O}$ 者 認 以 可 外 に を 受 土 け 地 所 7 有 当 者 該 等 が 土 地 存 0 L な 区 域 11 を ŧ 協  $\mathcal{O}$ 定  $\mathcal{O}$ 区 所 域 有 者 す は る 都 都 市 市 再 再 生 生 歩

経 路 協 定 を 定  $\otimes$ ることが できる

行

# 2~4 (略)

第四十五条の十四(

略

### 2 (略)

え

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

لح

す

る

3 뭉 第 路  $\mathcal{O}$ 前 0 項 土 項 節 各 各 لح 地 号 第 あ  $\mathcal{O}$ 号 る 区 兀 と  $\mathcal{O}$ 域 لح + は を あ 五 1 る 条 う。 退  $\mathcal{O}$ 兀  $\mathcal{O}$ は + 避 第 五 施 以 第 設 条 下 0) 項  $\mathcal{O}$ 兀 0) 七 +及 と 節 五. 及 び び に 条 第 第 第  $\mathcal{O}$ お 兀 兀 11 +項 +て 兀 十 を 五. 同 第 除 五. 条 ľ 条 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ + 兀 各 に 号」 中 第  $\mathcal{O}$ 規 と、 と、 第 項 定 兀 第 は + 同 号 項 協 退 五 並 条 中 定 避  $\mathcal{O}$ び 区 施 第 に 域 設 第 几 第 に 協 + 兀 定 لح 項 五. +に 条 五. あ 0 لح  $\mathcal{O}$ 条 る V あ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 7 る 第 +は 準 0) 協 用 項 は 第 す 各 定 る。 号」 第 項 X. 兀 及 域 لح +び 0 あ 第 第 場 五. 条 る 兀 合 + $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 項 に + は 中 五. お 兀 条

第第都のて

項

読の

4

兀

十 再 四 同

五

条

十

四 経

市十

生

歩

行

者

第

項

第

条

第

項

4 に 協  $\mathcal{O}$ 議 お 項 建 第 す 11 又 築 は て 主 る 事 ŧ 項 準 第  $\mathcal{O}$ 用 兀 を と 前 す +置 す 項 る 五. カゝ に 第 条 な お 兀  $\mathcal{O}$ 11 + 十 市 11 Ŧi. 7 町 準 条 第 村  $\mathcal{O}$ 用  $\mathcal{O}$ す 項 市 る 第  $\mathcal{O}$ 町 兀 第 認 村 兀 項 可 長 は + 又 を は 五. L 条 第 ょ 退  $\mathcal{O}$ 几 う 避 لح 五. + 施 す 第 Ŧī. 設 条 る 協 項  $\mathcal{O}$ لح 定 に き 五 に お 第 は 0 1 い て 項 都 7 進  $\mathcal{O}$ 道 前 用 認 府 項 す 可 県 に を 知 る お 場 L 事 11 ょ 合 に T 準 を う 協 とす 含 用 議 む L す る な る لح け 第 き  $\mathcal{O}$ れ 兀 こは、 規 ば +定 五 な に 5 前 条 ょ 項 な  $\mathcal{O}$ n に 11 提 お 第 ح 出 11 兀 さ 7  $\mathcal{O}$ 項 n 進 場 た 用 合 第 意 す に 兀 見 る + お 書 第 VI 五 兀 を て 条 添 + 0 え 五. 前 五. 条 項 第

第四十五条の二十一(略

### 2 (略)

3

لح 兀 都 同 + + あ 条 市 前 第 る 再 五 節 生 第 条  $\mathcal{O}$ 歩 第  $\mathcal{O}$ は 項 行 項 中 兀 +第 者 第 + 兀 経 前 五. 第 + 路 号 項 条 各  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 五.  $\mathcal{O}$ 項 号」 土 条 لح 地 第  $\mathcal{O}$ <u>二</u> 十 あ ىل  $\mathcal{O}$ 読 区 あ 項 る 域 4  $\mathcal{O}$ る 及 替 第 は を  $\mathcal{O}$ び え 11 は 第 う。 る 項 非 第 常 Ł 各 項 号」 用 以 几  $\mathcal{O}$ を と 電 下 +除 ٢, す 気 五. 等  $\mathcal{O}$ 条 節 第 供  $\mathcal{O}$ 兀 給 に  $\mathcal{O}$ +施 +規 お 五. 設 V 定 条 7 第  $\mathcal{O}$ は 同  $\mathcal{O}$ と、 じ 項 七 非 各 及 常 第 び 뭉 用 に 第 兀 電 兀 + と 気 ٢, +等 五. 五. 条 供 条 同 協  $\mathcal{O}$ 給  $\mathcal{O}$ 兀 項 定 施 十 第 並 X 設 中 び 域 協 項 に に 定 第 第 第 に 兀 兀 لح 0 十 묶 +あ VI 五 中 五. る 7 条 条  $\mathcal{O}$ 進  $\mathcal{O}$ 第  $\mathcal{O}$ 用 は 兀 +す 第 + 協 る。 第 定 五. 項」 条 区  $\mathcal{O}$ 項 域  $\mathcal{O}$ لح 及 場 第 あ 第 び 合 兀 る 第 項  $\mathcal{O}$ + お は 各 項 五 中 号 条 7 第  $\mathcal{O}$ 

お 十 建 五. 築 主  $\mathcal{O}$ 前 五. 事 項 第 を に 置 項 カコ お 又 な 1 は 7 11 準 市 第 用 兀 町 す 村 + る 五  $\mathcal{O}$ 第 条 市 兀  $\mathcal{O}$ 町 + +村 五. 長 条 第 は  $\mathcal{O}$ 非 項 第 常  $\mathcal{O}$ 兀 認 用 項 可 電 又 を 気 は 筡 L 第 ょ 供 兀 う 給 لح + 施 五. す 設 る 条 協 と  $\mathcal{O}$ 定 五. き に 第 は 0 11 項 都 7 前  $\mathcal{O}$ 道 認 府 項 に 可 県 を 知 お L 事 11 に て ょ 潍 う 協 とす 議 用 L す る な る لح け 第 き 兀 れ は ば + な 五. 前 b 条 項 な  $\mathcal{O}$ に 1 第 お ح 兀 7  $\mathcal{O}$ 項 場 用 合 第 す 兀

書 兀 を + 添 え 五. て 条 協  $\mathcal{O}$ 議 三 第二 す る ŧ) 項  $\mathcal{O}$ 前 とす 項 る に お 1 7 潍 用 す る 第 兀 + 五. 条 0 五. 第 項 に お 1 て 準 用 す る 場 合 を 含 む。 0 規 定 に ょ ŋ 提 出 さ n た 意

 $\bigcirc$ 特 定 都 市 河 Ш 浸 水 被 害 対 策 法 伞 成 十 五. 年 法 律 第 七 +七 号) 抄

特 定 建 築 行 為 0 制 限

第 県 ことを 六 土 築 地 物 + 知 事 六  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 含 等 区 条 建 域 む。 築 と が 浸 11 指 以 既 水 う。 定 下 存 被 都 0) 害 市 特 建 防 0) 等 定 築 止 建 許 物  $\mathcal{O}$ 区 築 域 可 区  $\mathcal{O}$ を 域 行 用 内 受け 方に 為 に 途 を お とい 変更 なけ あ 1 る場 て、 、 う。 れ L て ば 合 住 なら に 住 宅 を あ 宅  $\mathcal{O}$ な 0 す  $\mathcal{O}$ 用 る者 て 用 途 は、 途 に ただ、 は に 供 当 供 す し、 該 あ す る 指 る 5 建 定 か 建 築 次 ľ 都 築 物 に 掲 市 8 物 又 等) げ 又 は る 当 は 第 行  $\mathcal{O}$ 該 同 五. 長 特 + 為 項 定建築 第二号 Ė に ( 第 つい 条第二 六 · 若 し 行為をする土 て +凣 項 は < 第二 条 か は  $\mathcal{O}$ 6 号 第 限 第 若 号 七 地 り L で + $\mathcal{O}$ に < な 区 掲 は 条ま 第三 域 げ 11 る で 係 用 뭉 に る 途 に 都  $\mathcal{O}$ 掲 お げ 道 建 11 T 築 る 府 県 物 用 都 لح 途 当 す 道 0 該 府 る 建

- 第 六十三 条 第三 項 0) 規 定 に より 公告さ れ た そ  $\mathcal{O}$ 地 盤 面  $\mathcal{O}$ 高 さが 基準 水 位 以 上 で あ る土 地 0 区 域 に お 11 て 行 う 特 定 建 築 行
- 非 常 災 害  $\mathcal{O}$ た  $\Diamond$ に 必 要 な 応 急措 置 として 行 う 行 為 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 政 令で 定  $\Diamond$ る 行 為

三 当 該 浸 水 被 害 防 止 区 域  $\mathcal{O}$ 指 定 0) 際 当 該 浸 水 被 害 防 止 区 域 内 に お 1 て 既 に 着 手 L て 1 る 行

許 可  $\mathcal{O}$ 基 準)

第 六 + 八 条 略

2 3 略

4

建 築 主 事 を 置 カコ な い 市 0 市 長 は 第 六 十 六 条  $\mathcal{O}$ 許 可 を ようとするとき は 都 道 府 県 知 協 議 な け れ ば な 6 な

 $\bigcirc$ 津 波 防 災 地 域 づ < ŋ に 関 する 法 律 平 成二 +  $\equiv$ 年 法 律 第 百二十三号) 抄

指 定 避 難 施 設  $\mathcal{O}$ 指 定

第 当 Ŧī. 該 + 市 六 町 条 村 が 市 管 町 理 村 す 長 る は 施 設 警 を除 戒 区 域 に お で 11 あ 7 津 0 て 波 次 0) に 発 掲 生 げ 時 る に 基 お 準 け に る 適 円 合 滑 す カコ る 0 Ł 迅 0) 速 を な 指 避 定 難 避  $\mathcal{O}$ 難 確 施 保 設と を 义 して指 る た め、 定 す 警 ること 戒 区 域 が 内 で に 存 す る 施

- 当 該 施 設 が 津 波 に 対 して 安 全な 構 造  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ と L て 玉 土 交 通 省 l 令 で・ 定  $\otimes$ る 技 術 的 基 準 に 適 合 す á ŧ  $\mathcal{O}$ で あ ること。
- 基 準 水 位 以 上 0 高 さに 避 難 上 有 効 がな屋 上 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 場 所 が 配 置 さ れ か つ、 当 該 場 所 ま で 0 澼 難 上 有 効 な 階 段 そ 0) 他 0 経 路 が

あ

る

- 三 津 波  $\mathcal{O}$ 発 生 時 に お 1 . て 当 該 施 設 が 住 民 等 に 開 放 Ź れることその 他 当 該 施 設  $\mathcal{O}$ 管 理 方 法 が 内 閣 府 令 玉 土 交 通 省 令 で 定 め る 基 準 に
- 2 略

適

合

す

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

で

あ

ること。

- 3 に よる指 建 築主 事 定 を を L 置 ようとするときは か な V 市 町 村  $\mathcal{O}$ 市 町 あ 村 5 長 は、 か じ 建  $\otimes$ 築 都 物 道 又 は 府 県 建 知 築 事 基 準 に 法 協 議 第 八十 L な け 八 条 れ ば 第 ならない。 項  $\mathcal{O}$ 政 令 で 指 定 する 工 作 物 に 0 1 て 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定
- 4 略

第六 ようとすると + 兀 条 建 築 き 主 は 事 を あ 置 5 か か な じ 11 め、 市 町 都 村 は、 道 府 県 建 築 知 事 物 に 又 は 協 議 建 築基 L な 準 け 法 れ ば 第 八十 な 5 な 八 条 第 項 0) 政 令 で 指 定 す る 工 作 物 に 0 1 て 管 理 協 定 を 締 結

特 定 建 築 行 為  $\mathcal{O}$ 制 限

第 可 に を受け · 掲 げ + る 条 なけ 用 途 特 れ  $\mathcal{O}$ 別 ば 建 警 な 築 戒 5 物 区 な とすることを含 域 內 に ただし、 お 11 て、 次に掲 む。 第 七 以 下 + げ 三 る 条 第二 行 特 為に 定建 項 築行 0 各 V 뭉 ては、 為 に 掲 という。 げ る  $\mathcal{O}$ 用 限 途 ŋ 0) で をしようとす 建 な 築 11 物  $\mathcal{O}$ 建 築 える者 既 自は、 存  $\mathcal{O}$ あ 建 5 築 か 物 じ  $\mathcal{O}$ 用  $\otimes$ 途 を変 都 道 府 更 県 L て 知 事 同 等 項 各  $\mathcal{O}$ 許 뭉

X 域 第 に 七 + お 1 九 て 条 行 第 う Ξ 特 項 定 又 建 は 築行 都 市 為 計 画 法 第三十六条第三 一項後段 0 規 定に より 公 告されたそ 0 地 盤 面  $\mathcal{O}$ 高 さ が 基 準 水 位 以 上 で あ る 土 地  $\mathcal{O}$ 

非 常 災 害 0 た 8 に 必 要な応急措 置 とし て 行 う 行 為そ  $\mathcal{O}$ 他 0) 政 令 で 定 8 る 行

許 可  $\mathcal{O}$ 基 準

第 八 +兀 条 略

2

略

4

建 3

築

主

事

を

置

か

な

1

市

0

市

長

は、

第八

十二条

0)

許

可

をしようとするときは

都

道

府

県

知

協

議

L な

け

れ

ば

なら

な

- $\bigcirc$ 景 観 法 平 成 + 年 法 律 第百 [十号) (抄)

景 観 協 定  $\mathcal{O}$ 締 結 等

第 八 +条 略

2 景 観 協 定 に お 1 て は 次 に 掲 げ る 事 項 を 定  $\otimes$ る ŧ 0)

略

良 好 な 景 観 0) 形 成 0 た  $\Diamond$ 0 次 掲 げ る 事 項 0) う から、 必 要 な Ł

イ (略)

口 建 築 物 0 敷 地 位 置 規 模 構 造、 用 途 又 は 建 築 設 備 に 関 す Ź 基

ハ〜ト (略)

三・四(略)

3 · 4 (略)

(認可の申請に係る景観協定の縦覧等)

第八十二条 (略)

2 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定によっ る 公 告があったときは、 関 係 人 は 同 項  $\mathcal{O}$ 縦 覧 期 間 満 了  $\mathcal{O}$ 日 までに、 当 該 景 観 協 定 に つ ١, て、 景 観 行 政 寸

(景観協定の認可) 意見書を提出することができる。

八十三条

景

観

行

政

団

体

の長は、

第八十

条

第

匹

項

0

規定による景観協

定

0

認

可

0

申

請

が、

次

0

各号

0)

11

ず

れにも該当するとき

体

 $\mathcal{O}$ 

長

当該景観協定を認可しなければならない。

一 申請手続が法令に違反しないこと。

土 地 建 築 物 又 は 工 作 物 0) 利用を不当 に 制 限 するも 0 で ないこと。

接 地 第 に 八 関 + す る 条 事 第 項 へを含い 項 各 号に む。 撂 に げ つい る 事 て国 項 当 土 交 該 通 景 省令 観 協 定に 農 林 お 水 いて景観協 産省令 で 定 定  $\otimes$ 区 る 域 基準 隣 接地 に を定め 適 合するも る場合に ので あ あ ること。 0 て は、 当 該 景 観 協 定 区 域

た景観: 建 築基準法 協 定に 0 第 7 兀 て 条 第 前 項  $\hat{o}$ 項 認 0 可 建 をし 築主事を ようとす 置 か るときは な 71 市 町 村 前 で 条 あ 第一 る景観行 項 0 規 政 定 寸 に 体 ょ  $\mathcal{O}$ 長は、 ŋ 提 出 され 第 八十一 た意見 条第二項 書 0) 写 第二号 L を添えて、 ロに 掲 都 げ 道 る 事 府 県 項 知事 を 定

3 (略)

協

議

L

なけ

れ

ば

なら

な

2

三

 $\bigcirc$ 高 齢 者 障 害 者 等 0 移 動 等 0 円 滑 化  $\mathcal{O}$ 促 進 に 関 す る 法 律 平 成 + 八 年 法 律 第 九 + 号) (抄)

(定義)

第 一条 0 法 律 に お 1 7 次 の各号に掲げ る 用 語  $\mathcal{O}$ 意 義 は、 そ れぞれ 当 該各 号に 定めるところによる。

# 略

<u>-</u> + -別 主 区 事  $\mathcal{O}$ を 区 所 置 域 管 < に 行 市 0 政 町 V 庁 村 て は 又 建 は 築主 都 特 道 別 事 府 県 区 を 置 0) 知 事 < 区 を 市 域 内 11 町 う。 村  $\mathcal{O}$ 又 政 は 令 た だ で 特 定 Ĺ 别 8 区 る 建  $\mathcal{O}$ 建 築 区 築 基 域 物 準 に に 法 0 0 第 い 1 九 て て +は は 七 当 条 該 都  $\mathcal{O}$ 市 町 道 第 府 村 県 又 知 項 は 事 又 特 は 別 す 第 区 九  $\mathcal{O}$ 長 +七 を 条 V  $\mathcal{O}$ 11 そ 第 0 項 他  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 市 定 町 に 村 ょ 又 *(*) は 建 特

# 二十三~三十二 略

特 別 特 定 建 築 物 0 建 築 主 等  $\mathcal{O}$ 基 準 適 合 義 務

第十 動 0 等 条 兀 に 円 条 滑 お 化 11 建  $\mathcal{O}$ て 築 た 同 主 U  $\otimes$ 等 に は 必 要 をしようとするとき 特 な建 別 特 定 築 物 建 特 築 物 定 施  $\mathcal{O}$ 設 政 は、 令  $\mathcal{O}$ 構 で 当 定 造 及 該  $\otimes$ 特 る び 配 別 規 置 特 模 に 定 以 関 建 上 す 築  $\mathcal{O}$ る 物 建 築 政 以 令 用 で 下 定 途  $\otimes$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 条にお 変 )更を して 1 以 て 下 特 「新 別 建 築 特 特 築 定 別 物 建 移 特 築 物 動 定 等 建 円 築 す ることを含 物 滑 化 لح 基 準 う。 とい む 以

2 建 築主 な 等 は そ 0) 所 有 管 理 又 は 占 有 す る 新 築 特 別 特 定 建 築 物 を 建 築 物 移 動 等 円 滑 化 基 準 に 適 合 す るように 維 持 L な け れ ば

に

適

合

さ

せ

な

け

れ

ば

な

5

な

5

3 事 築 円 項 物 滑 地 を 方 に 公 利 追 付 用 共 加 加 Ĺ で 団 きる 体 第 は よう が項 そ É で  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ きる。 ける目 建 地 築 方 0 0) 規 的 自 を十 模 然 的 を 条例 分に 社 会 的 で 達 成 同 条 項 す 件  $\mathcal{O}$ ることが  $\mathcal{O}$ 政 特 令 殊 で 性 定 で に き  $\Diamond$ ょ り、 る な 規 11 کے 模 前 認 未 満  $\Diamond$ 項 る  $\mathcal{O}$ で 別 場 規 合に 定 に 定  $\mathcal{O}$ め、 みに お 1 7 ょ 又 は 0 は て 建 は、 築 特 物 別 移 特 高 定 動 齢 等 建 者 築 円 物 滑 障 化 に 害 基 条 者 準 例 等 に で が 特 条 定 例 8 定 る で 建 必 築 特 定 要 物 建 を

#### 4 7 略

を

す

るこ

لح

特 別 特 定 建 築 物 に 係 る 基 準 適 合 命 令

是 正 五. す る た 所 8 管 に 行 必 政 要 庁 な は 措 置 前 条第 を とるべ 項 きこと か 5 第三 を 項 命 ず ま で ること  $\mathcal{O}$ 規 が 定 で に きる。 違 反 L 7 1 る 事 実 が あると認 8 ると き 建 築 主 等 に 対 L 該 違 反

2 8 庁 ると ば 玉 な きは、 5 国 都 な 道 都 府 直 道 県 ち 府 又 県 は に 又 建 そ 築 は 主 建 0 旨 事 築 を置 主 を 当 事 を 該 < 置 特 市 别 < 町 特 市 村 定 町  $\mathcal{O}$ 特 建 村 築  $\mathcal{O}$ 別 物 特 特 定 を 别 管 特 建 理 定 築 す 建 物 る 築 に 機 物 0 関 が 11 て 0 前 長 条 は、 に 第 前 通 項 知 項 カゝ  $\mathcal{O}$ 6 規 第 定 前 三項 項 は に ま 規 適 で 定 用 0 す L る措 規定 な 11 置 に を 違 لح 反  $\mathcal{O}$ る 場 L べ て 合 きこと 1 に る お 事 11 を 実 て、 要 が 請 あ 所 ると 管 な 行 認 政

特 定 建 築 物  $\mathcal{O}$ 建 築 築 及 び 維 持 保 全 0 計 画 0 認 定

第 + 七 条 略

- 2 略
- 3 所 管 行 政 庁 は 第 項 0 申 請 が あ 0 た場 合 に お 1 て、 当 該 申 請 12 係 る 特 定 建 築 物 0 建 築 等 及 び 維 持 保 全  $\mathcal{O}$ 計 画 が 次 に 掲 げ る 基 準 に

適 合 すると 認 め る لح き は 認 定 を す ることが で きる

- 導 す 前 べ 項 第 き 主 号 務 省 に 「 令 で 掲 げ 定め る 事 る 項 が、 建 築 物 建 特 築 物 定 施 移 設 動 等  $\mathcal{O}$ 構 円 造 滑 化 及 び 基 配 準 置 を に 超 関 え、 す る基 カ つ、 準 に 高 適 齢 合すること。 者 障 害 者 等 が 円 滑 に 利 用 で きるよう に す る た 8 に 誘
- 前 項 第 兀 号 に 掲 げ る資 金 計 画 が 特 定 建 築 物 0 建 築 等 0) 事 業 を 確実に 遂 行 するため 適 切 な Ł  $\mathcal{O}$ で あ るこ
- 4 同 準 法 出 用 前 第 す 項 六 る  $\mathcal{O}$ 条 場 認 が 第 合 定 で を  $\mathcal{O}$ きる 項 含 申  $\mathcal{O}$ む 請 建 を 第 す 築基準関 んる者 七 項 に は 係 お 規 71 所 定に て 管 同 行  $\overset{\text{\tiny $\Gamma$}}{\circ}$ 適 政 合 庁 す に る  $\mathcal{O}$ 対 規 旨 L 0 定 当 建 に 築 ょ 該 主 る 申 事 確 請 0) 認 に 併 通  $\mathcal{O}$ 申 知 せ て、 請 以 書 下 を 建 提 築 0) 出 基 条 準 L に て、 法 お 第 当 六 11 条 て 該 第 申 適 請 合 項 に 通 係 同 る 知 特 法 と 第 定 ١ را 八 建 + う。 築 物 七  $\mathcal{O}$ 条 を 建 第 受け 築 等 項 るよ に 0 計 お う 画 い 由 が 7
- 5 前 項  $\mathcal{O}$ 申 出 を 受け た 所 管 行 政 庁 は、 速 Þ か に 当 該 申 出 に 係 る 特 定 建 築 物  $\mathcal{O}$ 建 築 等 0 計 画 を 建 築 主 事 に 通 知 L な け れ ば な 6 な

6

ること

- る。 建 築 建 主 築 基 事 準 は 法 申 第 請 + 八 に 条 係 第 る 特 項 定 建 及 び 築 物 第 0 + 匹 建 項 築 等  $\mathcal{O}$ 規 0) 計 定 は 画 が 第 建 + 築 兀 主 条 事 第 が 前 項 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 通 定 知 を に 受けた場 適 合 す る か 合 どう に 0 か 11 を て 準 審 用 査 す す る。 ることを ے  $\mathcal{O}$ 要 場 L 合 な に お t 11 0 て とす は
- 7 項 所  $\mathcal{O}$ 管 規 行 定 政 に 庁 ょ が る 確 適 合 認 通 済 証 知 を受け  $\mathcal{O}$ 交付 が て あ 第 0 た 項 ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 認 لح 定 4 を 、なす。 L たと き は 当 該 認 定 に 係 る 特 定 建 築 物 0 建 築 等  $\mathcal{O}$ 計 画 は 建 築 基 準 法 第 六 条 第
- 建 築 基 準 法 第 + = 条 第 八 項 第 九 十三 条 及 び 第 九 十三 条 0 0 規 定 は 建 築 主 事 が 適 合 通 知 を す Ź 場 合 に 0 11 て 準 用 す る

 $\bigcirc$ 長 期 優 良 住 宅 0) 普 及 0 促 進 に 関 す る 法 律 伞 成二 +年 法 律 第 八 + 七 号) 抄

定 義 8

第 条 略

- 2 5 略
- 6 0 法 は律に お 1 7 所 管 行 政 庁 لح は、 建 築 主 事 を 置 < 市 町 村 又 は 特 別 区 0 区 域 に 0 1 7 は 当 該 市 町 村 又 は 特 別 区 0) 長 を

そ

項  $\mathcal{O}$ 他 規  $\mathcal{O}$ 定 市 に 町 ょ 村 ŋ 又 建 は 築 特 主 别 事 区 を  $\mathcal{O}$ 置 区 < 域 市 に 町 0 村 1 て 又 は は 特 都 別道 区府  $\mathcal{O}$ 県 区 知 域 事 内 を  $\mathcal{O}$ い う。 政 令 ただ で 定 Ļ 8 る 住 建 宅 築 に 基 準 0 11 法 て 第 九 は + 都 七 道 条 0 府 県 知 第 事 項 لح す 又 る は 第 九 + 七 条 第

(長期優良住宅建築等計画等の認定)

第 交 て 五. 通 そ 定 0 す 行 省 る 令 構 住 政 宅 庁 で 造 区  $\mathcal{O}$ 定 及 分 認  $\otimes$ び 所 区 定 る 設 有 分 ところ 備 者 所 を 申 を を 有 請 長 11 住 に う。 することが 期 宅 ょ 使 り、 用 が 構 以 当 造 存 上 できる 該 等 す 0 لح る 住 X 宅 住 分  $\mathcal{O}$ 宅 所 建 自 を 有 築 5 11 者 う。 及 そ び 0) 建 維 建 以 物 持 築 下  $\mathcal{O}$ 保 後 同 区 0) ľ 全 分 に 住 所 関 宅 有 す に を 等 る 0 除 に < 計 V 関 画 て す 長 以 る 以 期 下こ 法 下 優 律  $\mathcal{O}$ 良 長 住 項 昭 期 宅 か 和 優 と 6 L 良 第 住 て 七 宅 維 項 年 建 持 ま 法 築 保 で 律 等 全 に 第 を 計 お 六 画 行 11 + お 7 九 لح 号) う 同 V と ľ う。 す 第 る 者 条  $\mathcal{O}$ は、 を 建 第 築 玉 を 項 成 L 土

2 う。 す 請 す る 項 住 場 る 及 宅 合に び  $\mathcal{O}$ は、 第 建 が 当 お + 築 で 該 け 三 を き 譲 る 条 L 第二 る 受 当 て 入と 該 そ 項 0) 譲 共 構 渡 に 同 を お 造 しようと 11 及 L て、 て び 設 「譲 玉 備 しする者 土 受 を 交 人 長 通 期 と 省 使 次 令 11 用 項、 う。 で 構 定 造 8 第 等 るところ 九 に と 条 し、 お 第 1 そ て 当該 に 項  $\mathcal{O}$ 及 建 ょ ŋ び 建 築 第 築 後 長 +後  $\mathcal{O}$ 期 三 住  $\mathcal{O}$ 優 条 住 宅 第 良 宅 を 住 に 他 項 宅 0  $\mathcal{O}$ 11 建 に 者 築 お に て 等 ٧١ 長 譲 計 て 期 渡 優 画 L \_ を 良  $\mathcal{T}$ 作 戸 そ 住 建 宅  $\mathcal{O}$ 成 لح て 者 住 し 以 所 宅 7 管 等 維 下 行 分 持 政 譲 保  $\mathcal{O}$ 事 庁 全 業 を 0 者 認 行 第 定 お 九 と う を 条 لح

3 独 0 7 で 当 長 戸 期 該 建 優 住 7 良 宅 住 住 0 宅 宅 建 等 建 築 分 に 譲 築 等 関 事 するエ 計 業 画 者 を は 作 事 に 成 譲 達手 受 人 する 所 を 管 決 必 行 定 政 要 す 庁 が る ま  $\mathcal{O}$ あ ると 認 で 定 に き を 相 申 は 当 請  $\mathcal{O}$ す 前 期 っること 間 項 0) を 規 要 が 定 す で ると に き か らる。 見 カコ わ 込 ま 5 ず、 れ る 場 玉 土 合 交 に 通 お 省 11 令 て、 で 当 定 8 該 る 譲 受 人 ろ  $\mathcal{O}$ 決 定 12 先 畄 立

4 に 当 項  $\mathcal{O}$ お 該 住 す 規 区 宅 11 玉 る 定 て 同 分 場 複 土 に 準 法 所 交 合 ょ 用 第 有 数 通 に n す 六 住  $\mathcal{O}$ 省 お 置 る + 宅 者 令 け 場 六  $\mathcal{O}$ に か 合 条 管 で る n 譲 定 当 に 渡 を 理 た 理 含  $\Diamond$ 該 お 者 す む。 る 譲 事 11 等 る こと ところ て 渡 を 建 準 を 11 う。 に L 0) 用 物 に ようとす 規 す 0 ょ 定に る ŋ ょ 区 以 場 ŋ 下 分 区 同 ょ 合 所 分  $\overset{\text{\tiny $\Gamma$}}{\circ}$ る る 長 を 有 所 期 者 法 含 等 有 優 人 に 住 む 第 に に 関 良 宅 住 九 お 0 す لح 宅 条 11  $\mathcal{O}$ る す 11 建 第 て て 規 る 法 当 同 定 築 律 ŧ 項 築 該 法 に 第  $\mathcal{O}$ 及 建 第 ょ 計 に 兀 条 び ŋ 限 画 築 る。 + 選 若 を 第 後 作 十  $\mathcal{O}$ 九 任 L 成 区 条 さ  $\langle$ 条 第 れ  $\mathcal{O}$ 分 は 所 第六十 第 た 建 管 築を 所 項 有 項 管 理 住 同 者 五 行 に 宅 L 条に 又 て 政 お に 法 第 は そ 庁 11 0 六 規  $\mathcal{O}$ て 11 同  $\mathcal{O}$ 認 て +法 定 構 六 区 定 長 第 す 造 条に る を 期 兀 分 及 申 優 所 +4 U 請 良 お 七 体 設 有 住 条 住 い す に 備 宅 7 第 る 宅 0 を 準 分 と 11 長 譲 L 用 項 T 期 が て す 同 使 で 維 る 同 法 用 き 者 持 場 法 第 構 る 保 合 第 造 六 + 全 を 等 含 を + 五 と う。 六 行 む 条 条

宅 分 所 有 て 住 維 宅 持  $\mathcal{O}$ 保 増 全 築 を 又 行 は お 改 うとす 築 をし る当該 て そ  $\mathcal{O}$ 区 構 分 造 所 及 有 び 住 設 宅 備  $\mathcal{O}$ を 管 長 理 期 者 使 等 用 は 構 造 玉 等 土 と 交 L 通 省令 そ  $\mathcal{O}$ で 増 定 築 め 又 るところ は 改 築 後 に  $\mathcal{O}$ ょ 区 ŋ 分 所 長 有 期 住 優 宅 良 に 住 0 宅 建 7 築 長 等 期

5

画 を 作 成 Ļ 所 管 行 政 庁  $\mathcal{O}$ 認 定 を 申 請 す るこ لح が で **、きる。** 

6~8 (略)

(認定基準等)

第六条 (略)

2 築基 宅 7 建 は 前 準 築 条 当 等 法 第 該 計 第 申 六 画 項 請 条 か に 第 住 5 併 宅 第 項 せ  $\mathcal{O}$ 五. 建 て、 に 項 · 規 まで 築 同 に 定 項 す 係 0) 0) る 規 る 建 部 規 定 定に に 築 分 基 に ょ 限 潍 る ょ る。 る 関 認 確 係 定 認 規 以 0) 定 下 申  $\mathcal{O}$ に 申 請 請 適  $\mathcal{O}$ を 書 合 条 す を す に る 提 る お 者 出 か 11 は どう 7 L な 同 所 ľ け カ 管 れ  $\mathcal{O}$ 行 ば 審 政 な 査 を 庁 を 建 5 に 受け 築主 な 対 Ļ 1 事 る ょ に 当 う 該 通 申 知 所 管 L 出 行 当 ること 政 該 庁 長 が が 期 当 で 該 優 き 良 申 る。 住 請 宅 12 建 係 築 0 る 場 等 長 合 計 期 に 画 優 が 良 お 建 VI 住

3 5 な 前 \ \ \ 項 0) 規 定 に ょ る 申 出 を受け た 所 管 行 政 庁 は 速 B か に、 当 該 申 出 に 係 る 長 期 優 良 住 宅 建 築 等 計 画 を 建 築 主 事 に 通 知 L な け れ ば な

4 建 築 基 準 法 第 + 八 条 第 項 及 び 第 + 兀 項  $\mathcal{O}$ 規 定 は 建 築 主 事 が 前 項 0 規 定 に ょ る 通 知 を受け た場 合 に 0 1 て 準 用 す る

5 ~ 8 (略

 $\bigcirc$ 都 市  $\mathcal{O}$ 低 炭 素 化  $\mathcal{O}$ 促 進 に 関 す る 法 律 平 成二 + 兀 年 法 律 第 八 十 几 号) 抄

集約都市開発事業計画の認定)

第

他 数 九 あ 画 土 交 0  $\mathcal{O}$ 条 لح 通 て、 公 者 共 1 省 が 第 う。 令 都 施 利 七 で 市 設 用 条 定 機 す 第 を  $\Diamond$ 能 次 る 作 る 条 建 項  $\mathcal{O}$ 第 成 ところに 集 築 第 物 約 号 項 を 以 図 イに 市 第 三号に 町 ょ る 下 り、 た 掲 村 め 特 げ 長  $\mathcal{O}$ 当  $\mathcal{O}$ お 定 る 該 拠 建 事 認 11 低 定 点 て 築 項 炭 を  $\mathcal{O}$ 物 が 申 素 形 特 記 請 ま 成 定 と 載 5 す に 公 さ 11 共 う。 ることが づ 資 れ す くり 施 た る 設 低 計 ŧ 及 炭 で と び 素 画  $\mathcal{O}$ きる そ ま に 1 以 · う。 即 ち 0 敷 下 づ L < 7 地 集 集  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ŋ 約 約 整 整 計 都 備 備 都 画 市 市 に に に 開 開 関 関 係 発 発 す す る る事 る事 事 事 計 業」 業 画 に 業 業 区 **永を含** とい 関 域 (す 内 á う。 に む。 れ と併 計 お け 画 並 る を せ 以 施 び 病 T に 行 整 下 院 備 集 ょ れ す 共 約 う に る 同 都 لح 附 住 道 す 帯 市 宅 路 る そ 開 す 者 うる事業 発  $\mathcal{O}$ 公 事 は、 亰 他 業 そ 0 計 玉 で 0 多

2 (略)

集 約 都 市 開 発 事 業 計 画  $\mathcal{O}$ 認 定 基 準 等)

第 + 基 に 適 市 合 町 する 村 長 لح は 認  $\Diamond$ 前 るときは 条 第 項 0) そ 規 0 定 認 に 定 ょ をす る 認 ることができる。 定  $\mathcal{O}$ 申 請 が あ 0 た 場 合 に お 7 当 該 申 請 係 る 約 都 市 開 発 事 業 計 画 が 次 掲 げ

る

- 当 あ る 該 集 認 約 8 都 5 市 れ 開 る 発 事 業 が 都 市 機 能  $\mathcal{O}$ 集 約 を 义 る た 8  $\mathcal{O}$ 拠 点 0 形 成 に 貢 献 れ を 通 ľ て、 酸 化 炭 素 0 排 出 を 抑 制 す る Ł 0
- 項 集 第 約 都 号 市 及 開 び 発 第 事 業 号 計 に 画 掲 特 げ る 定 基 建 準 築 に 物 適  $\mathcal{O}$ 合 整 す 備 る に Ł 係  $\mathcal{O}$ る で 部 あ 分 る に 限 る。 次 項 カン 5 第 兀 項 ま で 及 び 第 六 項 に お 11 て 同 じ。 が 第 五. 十 兀 条 第
- 三 が 講 当 じ 該 5 集 れ 約 る 都 ŧ 市 開  $\mathcal{O}$ で 発 あ 事 業 る に ょ ŋ 整 備 さ ħ る 特 定 建 築 物  $\mathcal{O}$ 敷 地 又 は 特 定 公 共 施 設 12 お 1 て 緑 化 そ  $\mathcal{O}$ 他 0 都 市 0 低 炭 素 化 0 た 8 0 措 置
- 兀 集 約 都 市 開 発 事 業 計 画 に 記 載 ž n た 事 項 が 当 該 集 約 都 市 開 発 事 業 を 確 実 に 遂 行 す る た 8 適 切 な £  $\mathcal{O}$ で あ るこ
- 2 で 主 五 事 建 あ を る 築 当 場 主 該 置 < 合 事 集 市 に を 約 町 お 置 都 村 け カ 市 な を る 開 含 建 発 11 築 市 事 む 基 業 町 村 潍  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 法 施 (そ 0 市 行 ٧V 昭 町  $\mathcal{O}$ に 区 村 和 必 長 域 要 +は 内 な に 経 五. 年 お カゝ 前 済 項 法い 的 律 7  $\mathcal{O}$ 基 認 第 施 礎 都 定 行 及 百 さ び を L れ 号) ょ る れ う 集 を とす 第 的 約 都 九 確 る +市 と 七 開 遂 き 条 発 行 は 事 す  $\mathcal{O}$ 業 る 当 第 に た 同 該 ょ 8 認 項 ŋ に 整 定 又 必 に は 備 要 さ な 係 第 れ そ る 九 集 る  $\mathcal{O}$ ħ +ば 約 七 特 他 定 な 条  $\mathcal{O}$ 都 建 能 市  $\mathcal{O}$ =築 な 開 力 物 が 発 第 事 が + 業 項 政 分 計  $\mathcal{O}$ 令 で 規 で あ 画 定 定 る が 同 に 8 る 項 ょ 第 ŋ 建 建 築 묽 築 物

に

掲

げ

る

基

準

に

適

合

す

ること

に

て、

あ

5

じ

 $\otimes$ 

道

府

県

知

事

に

協

議

L

そ

 $\mathcal{O}$ 

意

を

得

な

け

5

11

- 3 4 \ <u>`</u> 事 ょ う 前 に 前 申 項 通 条 第 0 L 知 規 出 L 定 る 項 に 当  $\mathcal{O}$ ょ 該 規 る が 定 集 申 約 に で き ょ 出 都 る。 る認 市 を 受け 開 定 発 た  $\mathcal{O}$ 事  $\mathcal{O}$ 市 場 業 申 町 合 計 請 に 村 画 を す 長 お が る は 11 建 て 築 者 速 は 基 は B 準 カゝ 当 法 市 に 該 第 町 申 六 村 当 請 条 長 該 に 第 に 併 申 対 項 Ĺ 出 せ に に 7 係 規 当 る 同 定 該 集 項 す 市 る  $\mathcal{O}$ 町 約 規 建 村 都 定 築 長 市 開 に 基 が ょ 準 当 発 関 該 事 る 業 確 係 申 計 規 認 請 定  $\mathcal{O}$ に 画 に 係 を 申 建 適 る 請 合 築 書 集 主 を す 約 事 提 る 都 に 出 カン 市 ど 通 開 う 知 な 発 け か 事 L 業 な れ  $\mathcal{O}$ け ば 審 計 な れ 査 画 を を ば 6 受 な な 建 11 け 5 築 主
- 5 建 築 基 準 法 第 + 八 条 第 項 及 び 第 兀 項  $\mathcal{O}$ 規 定 は 建 築 主 事 が 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 通 知 を 受 け た 場 合 に 0 11 て 潍 用 す る

#### 6 ( 10 略

低 炭 素 建 築 物 新 築 築 計 画  $\mathcal{O}$ 認 定

第

う。 う。 修 五. 者 繕 十 は 若 玉  $\mathcal{O}$ 条 を L < 作 土 設 成 交 置 は 市 通 若 模 街 省 様 化 L < 区 所 令 替 若 管 は 域 で 定 等 行 建 l 内 政 8 築 < は 物 に 庁 る に 建 お 建 ころ 設 築 11 物 築 け て、 主 た に 事 空 0 建 ょ を 気 空 築 置 調 気 物 < 低 和 調  $\mathcal{O}$ 市 炭 設 低 和 素 炭 町 備 設 村 化 等 備 素  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ そ 化 区 た 改  $\mathcal{O}$ に 域 8 修 他 資  $\mathcal{O}$ す に 0 以 建 政 る 0 令 築 下 建 11 て 物 で 築 低 は  $\mathcal{O}$ 定 物 市 新 炭 8  $\mathcal{O}$ 町 築 素 る 新 等 化 村 建 築 長 に  $\mathcal{O}$ 築 又 を 関 た は 設 す  $\Diamond$ 備 建 11 る  $\mathcal{O}$ 1 築 以 計 建 物 そ 築 画 下  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 物 低 以 他  $\mathcal{O}$ 0 炭  $\mathcal{O}$ 新 項 素 下 市 に 化 築 等 低 町 お  $\mathcal{O}$ 村 炭 た 11 لح 素 0 T 8 区 建 11 0 域 築 う。 空 建 に 物 気 築 新 調 物 0 築 を 和  $\mathcal{O}$ 11 等 設 て 増 ょ は 計 備 う 都 画 筡 改 道 لح لح す 府 1 県 る V

知 令 で定 事 をい め . う。 る 建 築 た 物 だ し、 に 0 V 建 築基 て は 準 法 都 第 道 九 府 県 + 七 知 事 条 لح 0 す 第 る。 項又は 以 下 同 じ 第 九 + t 0 認 条 定 0) を 三 申 第 請 す 項 ることが 0) 規 定に できる ょ ŋ 建 築 主 事 を 置 < 市 町 村 0 区 域 内 0) 政

2 (略)

低 炭 素 建 築 物 新 築 築 計 画 0 認 定 基 準 · 等)

第五十四条 (略)

2 6 を受けるよう申 建 築主 な 前 条 事 第 に 通 項 知  $\mathcal{O}$ L L 規 出 定 当 に ることが 該 よる認 低炭 できる。 素 定 建 0) 築物 申 請 新 をす 築等 0) 場 る 合 計 者 は、 に 画 が お 建 所 11 管 7 築 基 は 行 準 政 当 庁 法 第六 該 に 申 対 条第 請 Ļ に 当 併 せ 項 該 て、 に 所 規 管 定する 行 同 項 政 庁 0) 規 建 が 定 当 築 基 該 に 準 申 ょ る 関 請 確 係 に 認 規 係 定に る  $\mathcal{O}$ 低 申 炭 適 請 合十 書を 素 す 建 提 る 築 出 カコ 物 どう 新 L 築 な 等 け か  $\mathcal{O}$ n 計 審 画 ば な 査 を

3 5 ない。 前 項 0 規 定 に ょ る 申 出 を受け た所 管 行 政 庁 は 速 B か に、 当 該 申 出 に 係 る 低 炭 素建 築 物 新 築 等 計 画 を 建 築 主 事 に 通 知 L な け n ば な

4 建 築 基 準 法 第 + 八 条 **第三** 項 及び 第 + 兀 項 0 規 定 は 建 築 主 事 が 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に よる通 知を受け た場 合 に 0 V て 準 用 す る

5

5

9

略

 $\bigcirc$ 築 物 建 0) 築 工 物 ネ 0 ル 工 ギ ネ 1 ル 消 ギ 費 1 性 消 能 費 性  $\mathcal{O}$ 向 能 上 0) に 向 関 上 一等に する 関 法 す 律 る 等  $\mathcal{O}$ 法 律 部 伞 を -成二十 改 正 す 七 る 年法 法 律 律 **令** : 第 五 和 十三号) 兀 年 法 律 第六十 (抄) 九 (脱炭· 号) 第 素 社 条 슾 0 に 実 ょ 現 る改 に 正 資 後 するため 0 建

第二条 0) 法 律 に お 11 て、 次 0) 各 号に 掲げ る 用 語 0) 意 義 は そ れ ぞれれ 当 該 各 号に 定めるところによる

一~四 (略)

定

義

等)

五. 建 た 築物 だ 所 し、 管 行 0 建 政 1 築 庁 て 基 は 準 建 法 築 第 主 都 **九十七** 事 道 を 府 県 置 条の 知 < 事 市 とする。 町 第 村  $\mathcal{O}$ 項 区 域 又 は に 第 0 九 11 + て 七 は 条 市 町 0 村 第 長 を 項 1 V. 0 規 定 そ に  $\mathcal{O}$ より 他 0 建 市 築 町 主 村 事 0 · を置 区 域 に < 市 0 町 11 村 7 0 は 区 都 域 道 内 府 0 県 政 知 令で 事 を 定 . う。 め

2 (略)

建 築 物 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 適 合 性 判 定

第 建 築 主 は 特 定 建 築 行 為をしようとするときは、 そ 0 工 事に着手する前 に、 建 築 物 エ ネ ル ギ 消 費 性 能 確 保 計 画 特 定

建

築

 $\mathcal{O}$ 行 お 11 建 為 7 築 に 同 物 係 ľ 工 る ネ 特 ル 定 が ギ 建 建 築 Ì 築 消 物 物 費 0 性 工 工 ネ 能 ネ ル 適 ル ギ 合 ギ Ì 性 消 判 消 定 費 費 性 性 建 能 能 基 築  $\mathcal{O}$ 準 確 物 に 工 保 適 ネ 0 た 合 ル す ギ 8 る 1  $\mathcal{O}$ 消 か 構 ど 費 造 う 性 及 カン 能 び  $\mathcal{O}$ 確 設 判 保 備 定 計 に を 関 画 11 す う。 非 る 住 計 以 宅 画 下 部 を 同 分 11 う。 ľ に 係 る 以 を 部 下 受 分 同 に け じ 限 な け る。 n を ば 第 提 な 五. 出 b 項 し 及 な て てド 所 第 管 六 行 項 政 に 庁

2 性 る る لح 能 軽 建 き 確 微 築 保 主 は な 変 計 は 所 画 更 管 を を 前 行 所 除 項 管 政 <  $\mathcal{O}$ 庁 建 行 築  $\mathcal{O}$ 政 建 庁 を 物 築 に L 工 物 提 7 ネ 工 出 特 ル ネ 定 ギ L な ル 建 1 ギ け 築 消 n 行 費 消 ば 為 性 費 な を 能 性 5 L 適 能 な ょ 合 う 適 11 性 合 لح 圳 す 定 性 判  $\mathcal{O}$ る を 場 لح 受 定 き け を 合 は、 受 に た け お 建 な 11 そ 築 け て  $\mathcal{O}$ 物 工 工 れ 当 事 ネ ば な 該 に ル 変 着 ギ 5 更 な 手 1 が す 消 11 非 る 費 前 性 住 宅 能 に 部 確 そ 分 保 に  $\mathcal{O}$ 計 変 係 画 更  $\mathcal{O}$ る 変 部 後 更 分  $\mathcal{O}$ 0 建 変 築 玉 更 物 土 を 交 エ 含 ネ 通 省 ル む ギ Ł 令  $\mathcal{O}$ で で 消 定 あ 費 8

3 + 兀 所 管 日 以 行 内 政 に 庁 は 当 該 前 提 項 出 に 0 係 規 定 る に 建 築 ょ 物 る 建 工 ネ 築 物 ル ギ 工 ネ 1 消 ル 費 ギ 性 能 消 適 費 合 性 性 能 判 確 定 保  $\mathcal{O}$ 計 結 画 果  $\mathcal{O}$ 提 を 記 出 載 を 受け L た 通 た 場 知 合に 書 を 当 お 該 い 提 7 出 は 者 そ に 交  $\mathcal{O}$ 付 提 出 L な を 受 け れ け た ば な H 5 か 5 な

い

4 き そ は  $\mathcal{O}$ 所 期 管 間 行 + を 政 延 八 庁 長 日 は す  $\mathcal{O}$ 範 る 前 理 囲 項 由 内  $\mathcal{O}$ に 場 を 記 お 合 に 載 VI て、 お L た V て、 通 同 知 項 書  $\mathcal{O}$ 同 を 期 項 同 間  $\mathcal{O}$ 項 を 期  $\mathcal{O}$ 延 間 期 長 内 間 す に るこ 内 当 に 該 当 لح 提 該 が 出 提 で 者 きる。 出 に 者 同 に 項 交  $\mathcal{O}$ 付  $\mathcal{O}$ 通 場 L 知 な 合 書 け に を お れ 交 ば 付 11 て す な るこ 5 は な <u>ک</u> そ 11  $\mathcal{O}$ が 旨 で 及 き び な そ 11  $\mathcal{O}$ 合 延 理 長 的 す な る 理 期 由 間 が 並 あ び る

5 計 を な 記 画 所 け 載 管 が 建 れ L 行 ば た 築 政 な 涌 物 庁 5 知 エ は な 書 ネ を 11 ル 第 同 ギ 三 項 項 消  $\mathcal{O}$ 0 期 費 場 性 合 間 能 に 前 基 お 準 項 11  $\mathcal{O}$ て、 に 規 適 建 定 合 に す 築 ょ る 物 ŋ か エ そ تح ネ Š  $\mathcal{O}$ ル 期 ギ カン 間 を 1 決 を 消 定 費 延 長 す 性 る L 能 た 確 لح 場 保 合 が 計 に で 画 あ き  $\mathcal{O}$ 0 な 記 7 載 11 は 正 に 当 ょ 当 な 0 該 理 て は 延 由 当 長 が 該 後 あ 建  $\mathcal{O}$ る 期 築 لح き 間 物 は 工 ネ 内 に そ ル 当 0 ギ 該 旨 提 及 消 75 費 出 そ 者 性 に  $\mathcal{O}$ 能 理 交 確 付 由 保

6 係 条 築 れ 場 る ば  $\mathcal{O}$ 行 消 建 合 建 な 為 費 築 ら 12 主 + 性 は 築 物 な 係 能 は 0 11 第 る 基  $\mathcal{O}$ 計 建 準 第 限 画 項 築 に た を だ に 基 適 項 で 規 潍 合 11 L  $\mathcal{O}$ な 定 法 う す 規 当 す る 第 定 る ŧ 次 該 六 に 特 指 条 項  $\mathcal{O}$ ょ 第 及 定 定 で ŋ び 建 あ 交 確 項 る 付 第 築 認 لح 又 八 行 検 を は 判 項 為 査 受 機 第 定 け に に 六 お 係 関 さ た 11 を 条 れ る 通 建 て 11  $\mathcal{O}$ た 知 う。 同 築 旨 書 じ 物 第 が が 第 記  $\mathcal{O}$ 適 項 計 八 載 合 項 に 画  $\mathcal{O}$ さ 判 規 に 0 れ 定 定 た 同 お 11 通 に 7 法 11 诵 知 同 第 7 ょ 知 書 法 六 同 る 書 第 条 確 を 当 じ 第 六 認 11 該 う。 条 を 建 第 項 に す 築 七 又 る 以 物 は 当 建 下 項 工 同 又 第 該 築 ネ 六 は 主 じ 適 ル 事 ギ 第 条 合 六 0 判 又 は で 条 定 消 あ  $\mathcal{O}$ 第 涌 指 費 知 定 る 性 第 項 書 場 確 能 兀 認 合  $\mathcal{O}$ 又 確 項 規 は 検 に 保  $\mathcal{O}$ 定 そ 査 お 計 通 に  $\mathcal{O}$ 機 11 画 知 ょ 写 関 7 が 書 る L は 建 同 を 築  $\mathcal{O}$ 確 当 交 認 法 提 物 第 該 付  $\mathcal{O}$ 出 工 を 申 七 特 ネ L 受 + 定 請 な ル け け 七 建 ギ

7 建 築 主 は 前 項 0 場 合に お 11 て、 特 定 建 築 行 為 に 係 る 建 築 物 0 計 画 が 建 築 基 準 法 第 六 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 建 築 主 事 0 確 認 に 係 る

ŋ

に لح

0 Ł 0 で 日 前 あ ま る で と に き は 前 同 項  $\mathcal{O}$ 条 滴 第 兀 合 圳 項 定 0 通 期 間 知 書 同 又 は 条 そ 第  $\mathcal{O}$ 六 写 項 L  $\mathcal{O}$ を 規 当 定 該 に 建 ょ n 築 そ 主 事  $\mathcal{O}$ に 期 提 間 出 が L 延 な 長 け さ れ れ ば た 場 な 5 合 に な 11 あ 0 7 は 当 該 延 長 後  $\mathcal{O}$ 期 間  $\mathcal{O}$ 末 H

- 8 適 第 る。 合 建 判 項 築 0) 主 定 通 規 事 知 定 は 書 に 又 ょ 建 は る 築 基 そ 確  $\mathcal{O}$ 認 進 写  $\mathcal{O}$ 法 L 申 第 六 0 請 提 を 条 受 出 第 け を 受 た場 項 け  $\mathcal{O}$ 合 規 た 場 に 定 合 お に 1 ょ 限 て、 る 確 建 認 同 築  $\mathcal{O}$ 物 申 法 第  $\mathcal{O}$ 請 六 計 書 条 画 を 第 が 受 特 理 項 定 L 又 建 た は 場 築 第 行 合 六 為 に 条 に お 0) 係 11 る て、 第 t 0 指 項 で 定  $\mathcal{O}$ あ 確 規 る 認 定 لح 検 に き 査 ょ は 機 る 関 確 建 は 築 認 主 を 同 す か 法 る 5 第 第 六 六 条 が 項  $\mathcal{O}$ で  $\mathcal{O}$
- 9 玉 建 等 築 に 物 対 エ す ネ る ル 建 ギ 築 1 物 消 工 費 ネ 性 ル 能 ギ 確 保 消 計 費 画 性 12 関 能 適 す 合 る 性 書 判 類 定 及 てバ 関 第 す る 項 手 カコ 続 6 0 第 特 五. 例 項 ま で  $\mathcal{O}$ 通 知 書 0 様 式 は 玉 土 交 通 省 令 で 定  $\otimes$

き

- 第 + は 条 適 用 l 玉 な 11 都 道 府 県 0 場 又 は 合 に 建 お 築 V 主 て 事 を は 置 次 < 項 市 カコ 町 5 村 第 以 九 項 下 ま 玉 で  $\mathcal{O}$ 等 規 と 定 に 1 う。 定  $\Diamond$ る と  $\mathcal{O}$ 機 ろ 関 に  $\mathcal{O}$ ょ 長 る。 が 行 う 特 定 建 築 行 為 に 0 1 て は 前 条  $\mathcal{O}$ 規 定
- 2 政 庁 玉 等 に 通  $\mathcal{O}$ 知 機 L 関 0 建 長 築 は 物 エ 特 ネ 定 ル 建 ギ 築 ] 行 消 為 費 を 性 L 能 ょ う 適 合 と す 性 判 る لح 定 を き 求 は 8 そ な け  $\mathcal{O}$ 工 n ば 事 に な 5 着 な 手 す 11 る 前 に 建 築 物 エ ネ ル ギ Ì 消 費 性 能 確 保 計 画 を 所 管 行
- 3 ŧ 令 で  $\mathcal{O}$ 1 玉 で 消 等 定 費 あ 8  $\mathcal{O}$ 機 る 性 る لح 能 軽 関 き 確 微  $\mathcal{O}$ は 保 な 長 変 は 計 更 所 画 を 管 を 前 所 除 行 項 管 政  $\mathcal{O}$ 庁 建 行  $\mathcal{O}$ 政 築 建 庁 を 物 に 築 工 L ネ 物 通 7 工 知 特 ル ネ 定 ギ L ル な 建 1 ギ け 築 消 費 れ 行 消 ば 為 性 費 な を 能 性 6 適 L 能 な ょ 合 う 性 適 11 لح 判 合 性 す 定 ると を受 判  $\mathcal{O}$ 場 定 を 合 き け 求 に は た 建  $\otimes$ お そ 築 な 11 け て、 物  $\mathcal{O}$ n 工 工 ば 当 事 ネ な 該 に ル 5 変 着 ギ 更 な 手 1 11 が す 消 非 る 費 性 住 前 宅 能 に、 部 確 そ 分 保 に  $\mathcal{O}$ 計 係 変 画 る 更  $\mathcal{O}$ 部 後 変 更 分  $\mathcal{O}$ 0 建 変 築 玉 更 物 土 を 工 交 含 ネ 通 t p ル 省
- 4 工 ネ 所 管 ル ギ 行 1 政 消 庁 費 は 性 能 前 適 項 合 性  $\mathcal{O}$ 判 規 定 定  $\mathcal{O}$ に 結 ょ 果 る を 通 記 知 載 を 受 L た け 通 た 場 知 書 合 を に 当 お 該 11 て 通 は、 知 を そ L た  $\mathcal{O}$ 玉 通 等 知  $\mathcal{O}$ を 機 受 け 関 た  $\mathcal{O}$ 長 日 12 か 交 5 付 + L 兀 な 日 け 以 内 れ ば な 6 当 な 該 通 知 係 る 建 築 物
- 5 5 理 延 長 的 な 所 す 管 な 理 る 行 期 由 政 間 が 庁 並 あ は び る لح 前 に そ き 項 は  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 場 期 間 合 +に を 延 八 お 日 1 長 す て、  $\mathcal{O}$ る 範 同 理 开 内 項 由 を に  $\mathcal{O}$ お 期 記 載 11 間 L て 内 た に 通 同 当 知 項 該 書  $\mathcal{O}$ 通 を 期 知 間 を 同 項 を L た  $\mathcal{O}$ 延 期 長 玉 間 す 等 る 内  $\mathcal{O}$ 機 に لح 当 関 が 該  $\mathcal{O}$ で 長 通 き に 知 る。 同 を 項 L た  $\mathcal{O}$ 国  $\mathcal{O}$ 通 等 場 知 書  $\mathcal{O}$ 合 機 に を 関 お 交 付 0 11 長 7 す るこ に は 交 そ لح 付 が  $\mathcal{O}$ 旨 で な け き 及 び な n そ ば い な 0 合
- が 計 画 所 管 非 行 き 住 政 は 宅 庁 部 は そ 分 第 0 に 旨 係 兀 項 及 る 部 び  $\mathcal{O}$ そ 場 分  $\mathcal{O}$ に 合 理 限 に 由 お る。 を 11 記 て、 が 載 建 第 L た 築 物 項 通 知 エ 又 書 ネ は を 第 ル 第 ギ 兀 項 1 消 項  $\mathcal{O}$ 0 費 規 性 定 期 間 能 に 基 ょ 前 準 る 項 に 通 適 0 知 規 合 0 定 す 記 に る 載 ょ か に ŋ تلح ょ う そ 0 0 カ て 期 を は 当 間 決 を 定 該 延 す 建 長 る 築 物 لح た 工 場 が ネ 合 で ル に き ギ あ な 消 0 V て 正 費 は 当 性 な 能 当 玾 確 該 由 保

6

延 長 後  $\mathcal{O}$ 期 間 内 に 当 該 涌 知 を L た 玉 等  $\mathcal{O}$ 機 関 0 長 に 交 付 L な け れ ば な 5 な

7 当 同 築 基 該 玉 特 準 等 定 法  $\mathcal{O}$ 兀 建 第 機 項 築 + 関 行 八  $\mathcal{O}$ 通 為 条 長 知 に 第 は 係 書 三 項 第  $\mathcal{O}$ る 建 交 兀  $\mathcal{O}$ 付 築 規 項 を受け 物 定  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ に 規 計 ょ 定 に る 画 審 ょ (同 り 査 は、 条 を 交 す 第 付 る を  $\mathcal{O}$ 項 建 受 限 け  $\mathcal{O}$ 築 規 主 た で 定 事 诵 に な に 知 V ょ 書 る 当 が 通 該 適 知 適 合 に 合 判 係 判 定 定 る 通 知 建 通 書 築 知 物 書 で あ 0) 又 は 計 る 場 画 そ を  $\mathcal{O}$ 合 に 写 1 う。 お L を VI 第 提 て 九 出 は 項 し 当 に な 該 お け 11 れ 特 7 ば 定 同 な 建 ľ. 築 6 な 行 11 に に 0 た 係 だ る い て L 建

条

第

+

 $\mathcal{O}$ 

た

場

合

ح

n

- 8 5 合 に な 玉 い あ 等 0 0 7 機 は 関  $\mathcal{O}$ 当 長 該 は 延 長 前 後 項 0  $\mathcal{O}$ 期 場 間 合 に お  $\mathcal{O}$ 末 11 て、 日 0 三 建 日 築 前 基 まで 準 法 に 第 +前 八 条 項 第 0 適 合 項 判  $\mathcal{O}$ 定 期 通 間 知 書 同 又 条 は 第 そ + 三 0) 写 項 L 0 を 規 当 定 該 に 建 ょ 築 ŋ 主 そ 事  $\mathcal{O}$ に 期 提 間 出 が L 延 な 長 さ け れ れ ば た な
- 9 玉 等 建 築 0 主 機 関 事  $\mathcal{O}$ は 長 カゝ 建 築 5 第 基 準 七 項 法  $\mathcal{O}$ 第 適 + 八 合 判 条 定 第 通 項 知 書  $\mathcal{O}$ 又 場 は 合 そ に  $\mathcal{O}$ お 写 V て、 L  $\mathcal{O}$ 提 建 出 築 を 物 受  $\mathcal{O}$ け 計 た 画 場 が 特 合 に 定 限 建 り、 築 行 同 為 12 条 第 係 る 項 Ł  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ で 確 認 あ る 済 لح 証 き を 交 は 付 す 当 るこ 該 通 ے 知 が を で L き た

建 築 物 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 向 上 計 画  $\mathcal{O}$ 認 定 る。

第三 は 物 ネ + ル  $\mathcal{O}$ ギ 玉 増 兀 土 条 築 消 交 費 通 改 建 性 省 築 築 令 若 主 能 等 向 で L 定 < は 上 計 8 は るところに 画 修 工 ネ 繕 لح 等 ル 1 ギ う。 以 ょ 消 下 ŋ 費 \_ を 工 性 作 エ ネ 能 ネ 成 ル  $\mathcal{O}$ ル ギ ギ 層 所 消  $\mathcal{O}$ 管 消 費 向 費 性 行 上 性 政 能 に 庁 能 資  $\mathcal{O}$ す  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 認 層 る 定 層  $\mathcal{O}$ 建 を  $\mathcal{O}$ 向 築 申 向 上 物 請 上  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ た 新 す ること た 8 築 又 8  $\mathcal{O}$ は 0 建 が 建 築 工 で 築 物 ネ きる 物  $\mathcal{O}$ ル ギ 0 新 新 築 等 築 消 等 費 と に 性 関 能 11 す う。  $\mathcal{O}$ る 層 計 画 を  $\mathcal{O}$ 向 L 以 ょ 上 Š 下 0 لح た 建 す 8 る 築  $\mathcal{O}$ 物 と 建 き 築

( 4 略

建 築 物 工 ネ ル ギ 消 性 能 向 上 計 画  $\mathcal{O}$ 認 定 基 準 等

第 五. 条 略

- 2 に 画 向 お が 上 前 計 建 条 11 第 T 築 画 は 基 準 他 項 当 法  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 該 第 建 規 申 六 築 定 請 条 物 に 第 に ょ に 併 係 る る部 項 認 せ て に 定 規 分 0 同 定 を 申 す 除 項 請 る  $\mathcal{O}$ を す 規 建 築 る 定 以 基 者 に 下 ょ 準 ۲ は 関  $\mathcal{O}$ る 確 係 条 所 認 規 に 管  $\mathcal{O}$ 定 お 行 申 に V 政 庁 請 適 7 合す 書 に 同 ľ を 対 る 提 L 出 か L を 当 う な 建 該 け か 築 所 れ  $\mathcal{O}$ 主 管 ば 審 事 行 な 査 に 政 5 を 通 庁 受 な が 知 け 11 当 L 該 る 当 ょ 申 請 う 該 申 建 に 築 係 L 出 物 る るこ 建 エ ネ 築 لح ル 物 が ギ 工 で 1 ネ き 消 ル 費 ギ る 性 能 消  $\mathcal{O}$ 向 費 場 上 性 合 計 能
- 3 な け れ 項 ば  $\mathcal{O}$ な 規 6 定 な に ょ る 申 出 を受け た 所 管 行 政 庁 は 速 B カン に 当 該 申 出 に 係 る 建 築 物 工 ネ ル ギ 消 費 性 能 向 上 計 画 を 建 築 主 事 に 通

知

L

4 建 築 基 準 法 第 + 八 条 第 項 及 び 第 + 兀 項 0 規 定 は 建 築 主 事 が 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る通 知 を け た場 合 に 0 1 て 準 用 す る。

 $\bigcirc$ 炭 素 社 会 0) 実 現 資 するた め 0) 建 築 物  $\mathcal{O}$ エ ネ ル ギ 1 消 費 性 能  $\mathcal{O}$ 向 上 に 関 す る法 律 等 0) 部 を改 正 す る 法 律 令 和 兀 年 法 律 第 六 +

九 抄

建 築 物  $\mathcal{O}$ 工 ネ ル ギ Ì 消 費 性 能  $\mathcal{O}$ 向 上 等 に 関 す る 法 律  $\mathcal{O}$ 部 改 正

第二条 建 築 物 0 工 ネ ル ギ 1 消 費 性 能  $\mathcal{O}$ 向 上 等 に 関 す á 法 律  $\mathcal{O}$ 部 を 次 0 ょ j に 改 正 す る。

略

確 認 適 要 + = 特 合 確 定 判 認 定 条 建 特 築 通 定 第 行 知 建 六 為 書 築 項 又 行 中 (第 は 為 その 特 に 項 定 へただし 孚 改 建 L め、 築 を当 行 書に 為 と 該 き 規 建 を は 定 築 す 主 要 る 事  $\mathcal{O}$ 確 玉 に 下 認 土 提 特 に 交 出 定 通 L 建 省 な 前 築 令 け 行 項 で れ  $\mathcal{O}$ 為 定 ば 規 に 8 定 る を に 改 め、 特 ょ し 定 る 建 な 適 司 築 け 合 条 行 判 第 れ ば 為 定 七 で 通 項 に あ 知 中 る 改 書 ŧ め、 建 又 0) は 築 を除 そ 主 同  $\mathcal{O}$ は、 条 第 写 \_ 八 L 項  $\mathcal{O}$ を 中 提 削 に 出 は 改 特 め、 定 建 を 特 築 定 同 加 え、 条 行 建 を 築 第 行 を 為 前 を 条 要 項

略

とす

る。

 $\mathcal{O}$ 

め、 築行 加 を第十二 え、 同 十三条第 為 条 第 を 八 項 前 六 要 項 中 項 す 通 0) 中 適 玉 知 \_ 特 合 等 非 定 判  $\mathcal{O}$ 機 建 定 住 築行 通 関 宅 知  $\mathcal{O}$ 部 書又 為 分に 長 は ( 第 は 係 る部 二項 そ を  $\mathcal{O}$ た 写 削 分 り、 だ L に を 限 当 る。 書 に 該 お 規 建 V . て \_ 定 築 す 主 を る国 事  $\mathcal{O}$ 削 に り、 下 1土交通: に 提 出 同 し 条 省令 な 同 第 け 項 七 で  $\mathcal{O}$ れ 項 定め ば 規 中 定 る特定 を 特 に ょ 定 し る 建 建 適 な 築 築行 け 合 行 判 れ 為 ば 為 定 であ を 通 に 知 るも 改 書 要 め、 又 通 は 0) 知 を 同 そ 特 除 条  $\mathcal{O}$ 定 第 写 建 九 築 項  $\mathcal{O}$ 行 中 提 に 出 に 改 特 は 定  $\otimes$ 改

建 を

同

第 兀 条 建 築 基 準 法  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ よう ĺZ 改 正 す

略

高

六 条の 三 第 項 た にだし書 を 次 0) ように 改 8 る

度 た だ 0 専 Ļ 門 的 当 知 該 建 識 及 築 び 物 技  $\mathcal{O}$ 術 計 を有 画 に す 係 る者とし る 確 認 審 て 査 当 が 該 次 各  $\mathcal{O}$ 号 各 に 号 掲 に げ 掲 げ る 確 る 認 確 審 認 査 審 査  $\mathcal{O}$ 区 で あ 分に応じて国 る場 合 に お 1土交通: 1 て、 省 当 令 該 で 確 定 認  $\Diamond$ 審 る 査 を 件 構 を 造 備 計 える者 算 関 で す

検査員にさせるときは、この限りでな る建築主事がするとき又は前 条第一項の規 定 に よる指定を受けた者が当該 要件を備える者である第七十 七 条の二十 兀 第 項 0) 確 認

(略)

改める。

ただし、

当該

建

築物の計

画

に

保る審査

査 が

各号に る審査

る審査である場合にお

いて、

該 審査

を構

造 計

算に関

す る

度

 $\mathcal{O}$ 専門

的

える者である建

築 高

来主事が

する

第十八条第四 項 本 文中「審 査」 0) 下に「(以下この項及び次項におい て「審査」 という。 を 加 え、 同 項ただし書を次のように

ときは、

知

識及び技術を有する者とし この限りでない。

て当該各号に

掲 次

げ  $\mathcal{O}$ 

の区 掲 げ

分に応じて国土交通省令で定める要件を備

略

(略)